

令和2年度
蒲郡市
市民意識調査
調査結果報告書

令和3年1月

蒲 郡 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
(2)	蒲郡市の住みやすさ・印象について	10
(3)	日常生活や地域活動等の実施について	29
(4)	蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度について	37
(5)	これからのまちづくりについて	76
(6)	子育て支援について	101
(7)	健康づくり・スポーツ習慣について	114
(8)	環境保全について	161
(9)	新型コロナウイルス感染症について	179
	これからのまちづくりに関する意見	188
III	調査票	192

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の皆様に満足していただける市政の実現に向けて、調査を実施するものです。

2 調査対象

蒲郡市在住の18歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和2年7月1日から令和2年7月20日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	1,104通	55.2%

6 調査結果の表示方法

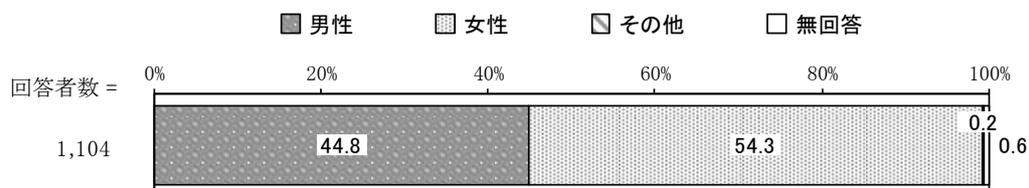
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

Ⅱ 調査結果

(1) 回答者属性

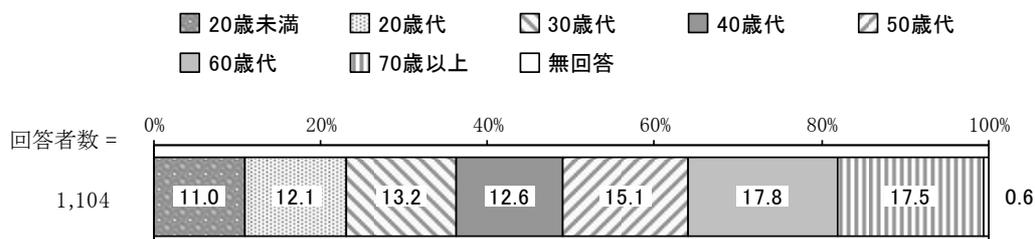
問1 あなたの性別は（○は1つだけ）

「男性」の割合が44.8%、「女性」の割合が54.3%となっています。



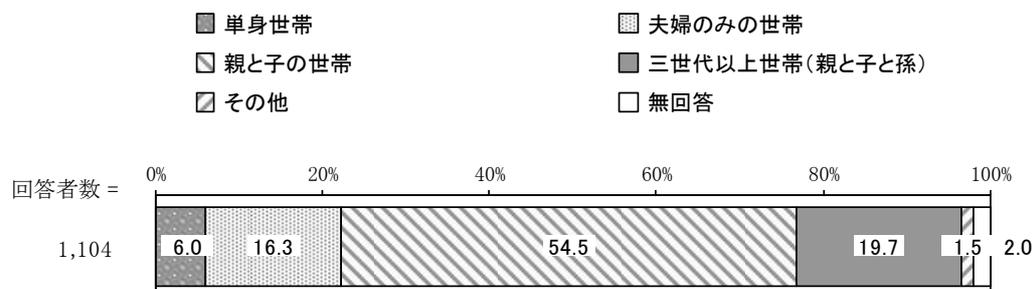
問2 あなたの年齢は（令和2年7月1日現在の満年齢）（○は1つだけ）

「60歳代」の割合が17.8%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が17.5%、「50歳代」の割合が15.1%となっています。



問3 あなたの家族構成は（○は1つだけ）

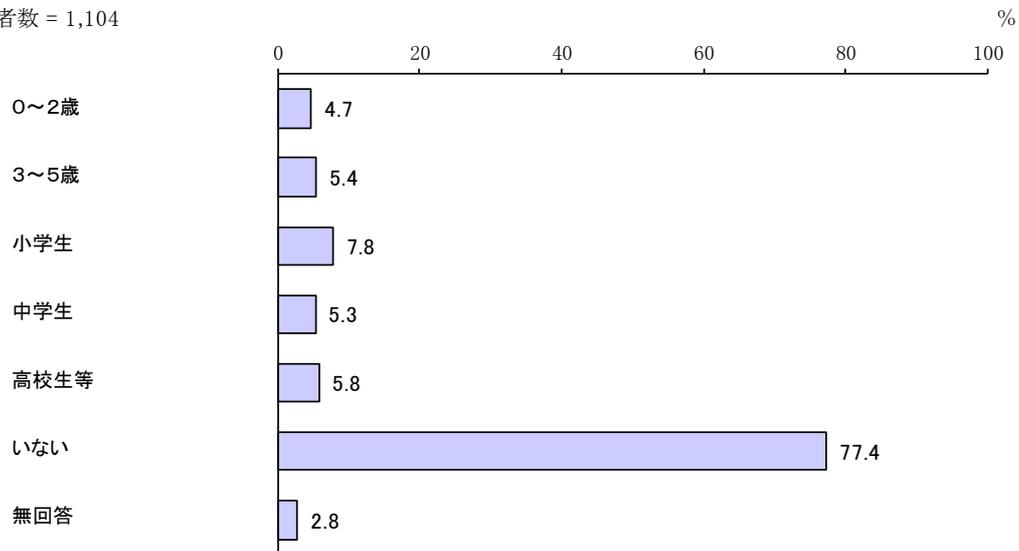
「親と子の世帯」の割合が54.5%と最も高く、次いで「三世代以上世帯（親と子と孫）」の割合が19.7%、「夫婦のみの世帯」の割合が16.3%となっています。



問4 あなたに18歳未満の子どもはいますか（該当する項目に○）

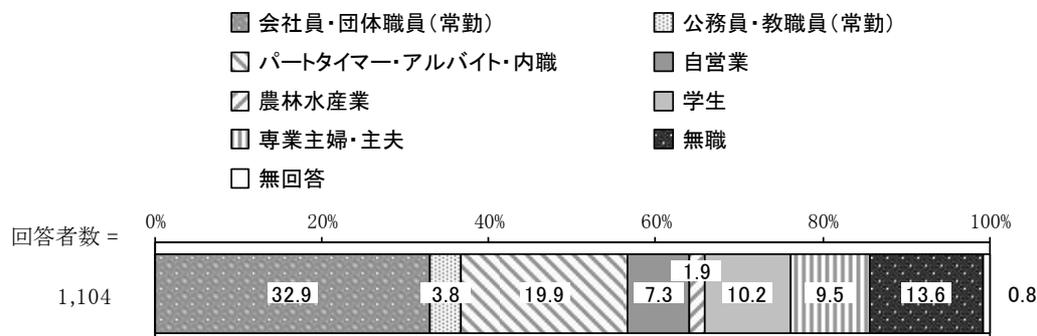
「いない」の割合が77.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,104



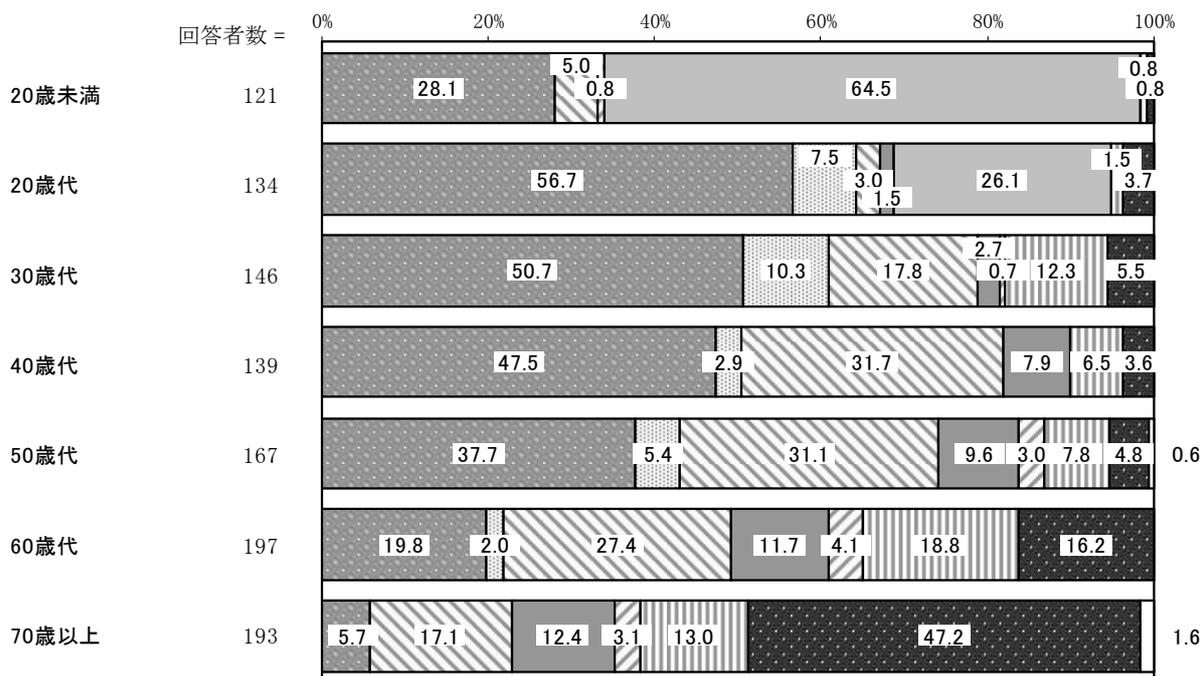
問5 あなたの職業は（〇は1つだけ）

「会社員・団体職員（常勤）」の割合が32.9%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト・内職」の割合が19.9%、「無職」の割合が13.6%となっています。



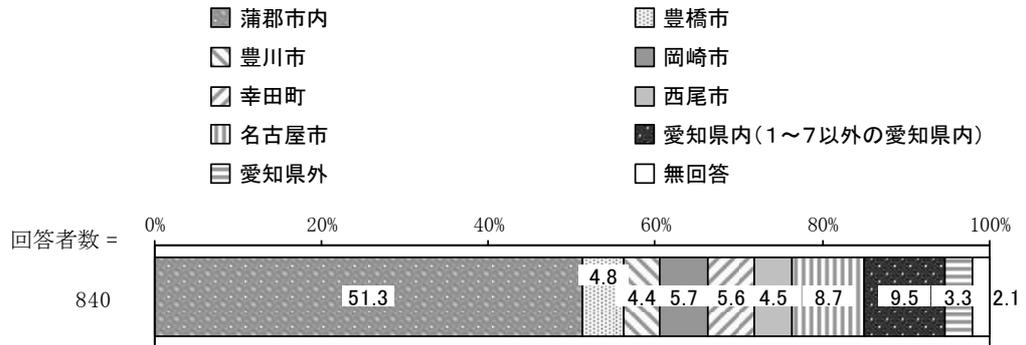
【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で、年代が低くなるにつれ「会社員・団体職員（常勤）」の割合が高くなっており、20歳代で5割半ばとなっています。また、他の年代に比べ、40歳代から60歳代で「パートタイマー・アルバイト・内職」の割合が高く、約3割となっています。



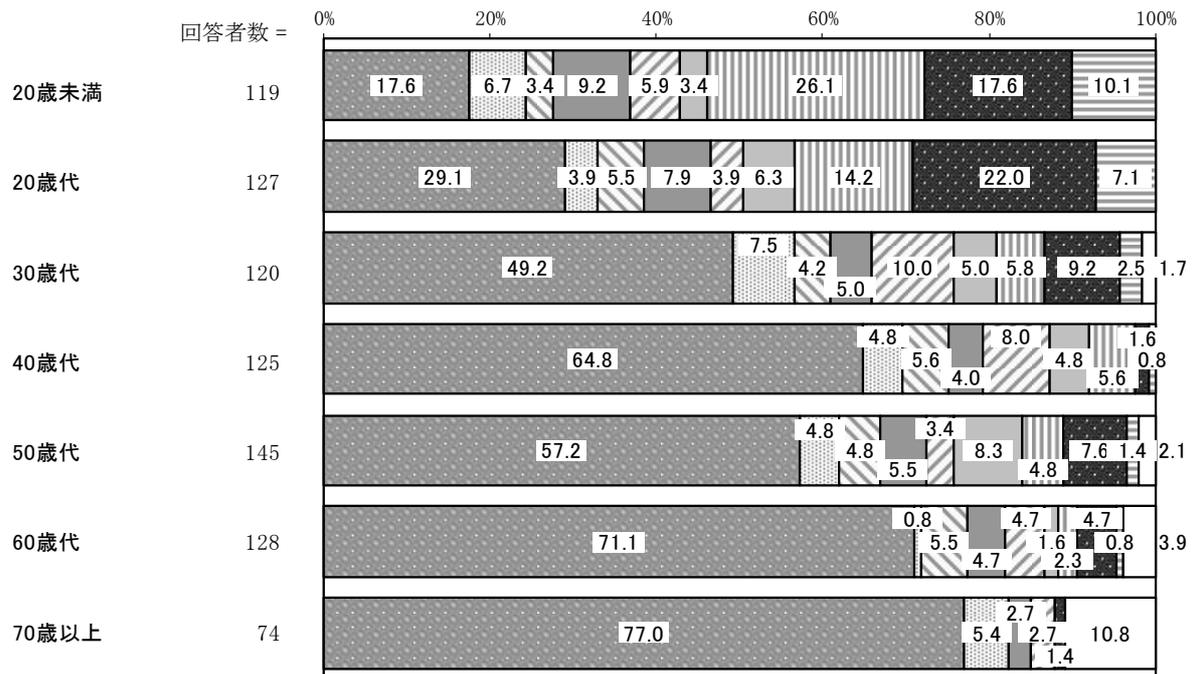
問5-1 あなたの通勤（就業）・通学先は（○は1つだけ）

「蒲郡市内」の割合が51.3%と最も高くなっています。



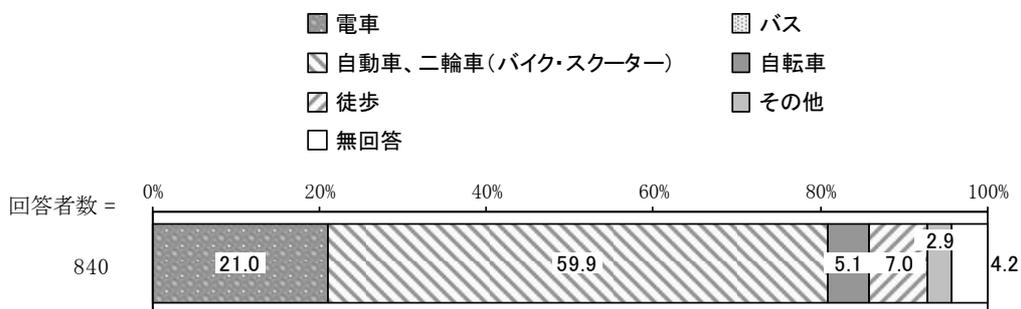
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「蒲郡市内」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約8割となっています。また、他の年代に比べ、20歳未満、20歳代で「愛知県内（1～7以外の愛知県内）」の割合が高く、約2割となっています。



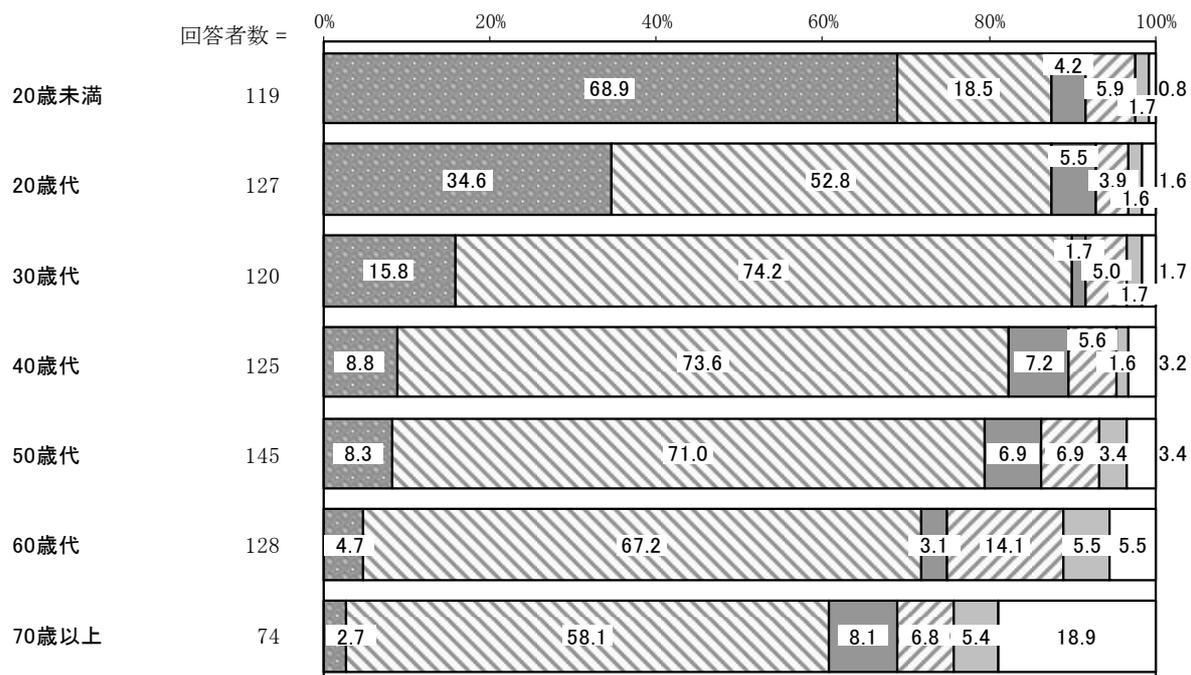
問5-2 あなたの通勤・通学の際の主な交通手段は（〇は1つだけ）

「自動車、二輪車（バイク・スクーター）」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「電車」の割合が 21.0%となっています。



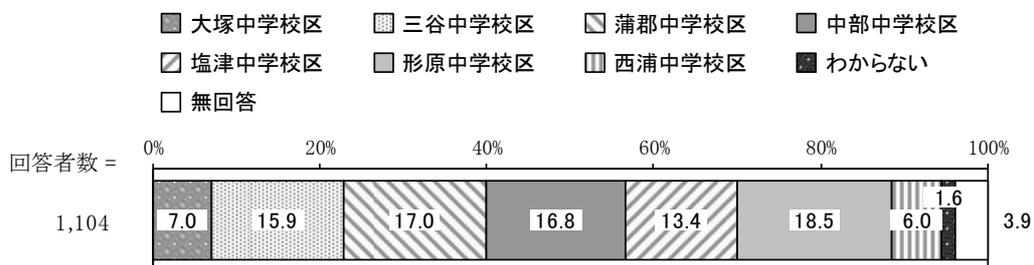
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「電車」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で約7割となっています。また、他の年代に比べ、30歳代から50歳代で「自動車、二輪車（バイク・スクーター）」の割合が高く、7割を超えています。



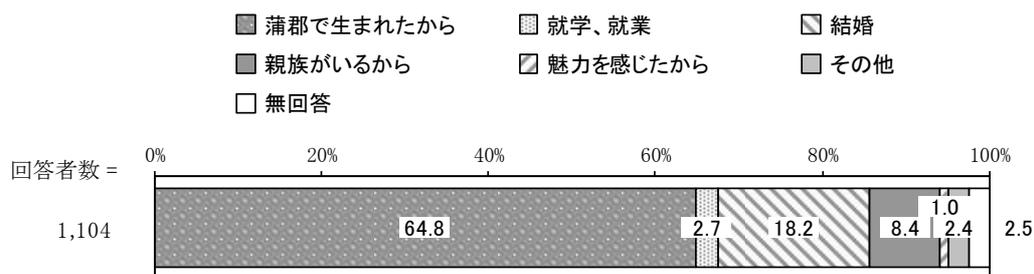
問6 あなたの居住地区(中学校区)は (○は1つだけ)

「形原中学校区」の割合が18.5%と最も高く、次いで「蒲郡中学校区」の割合が17.0%、「中部中学校区」の割合が16.8%となっています。



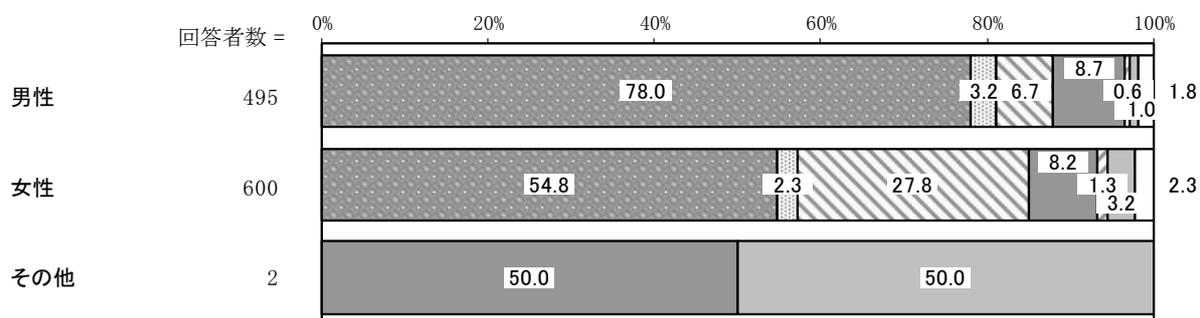
問7 蒲郡市に住むことになったきっかけは (○は1つだけ)

「蒲郡で生まれたから」の割合が64.8%と最も高く、次いで「結婚」の割合が18.2%となっています。



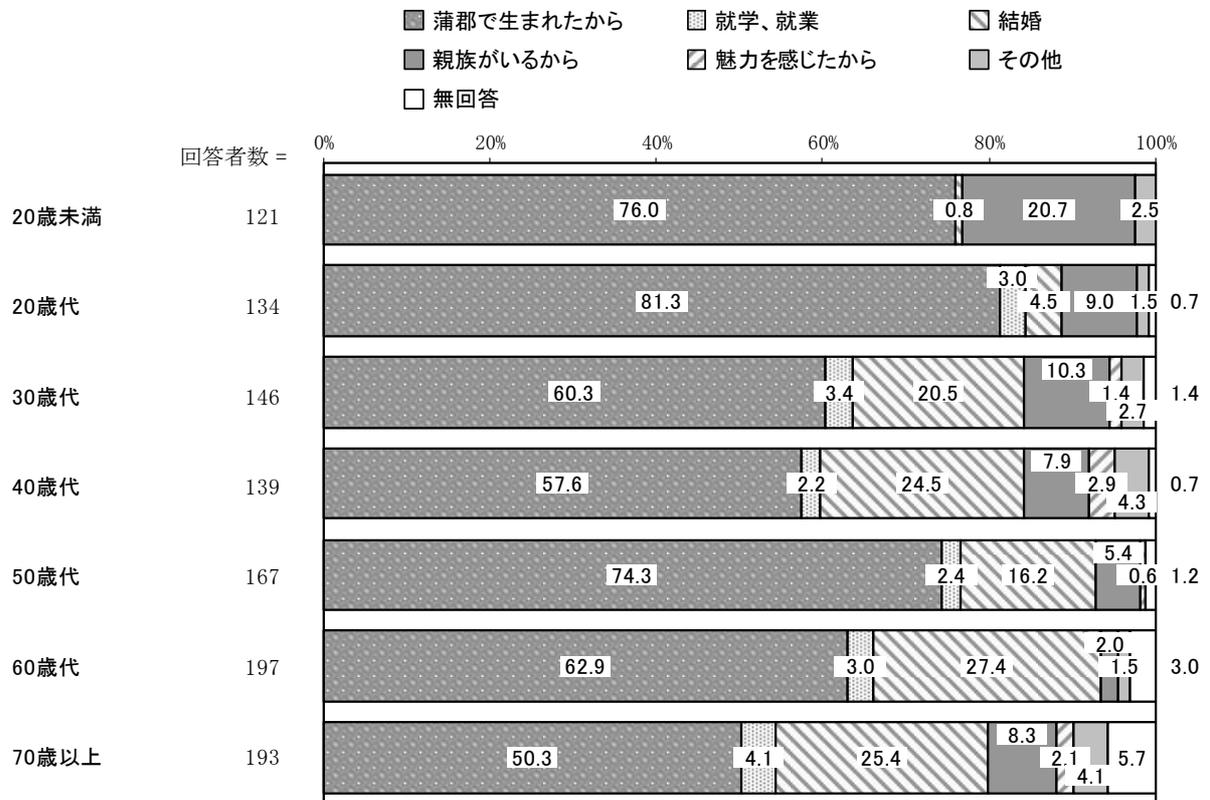
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「蒲郡で生まれたから」の割合が高く、約8割となっています。また、男性に比べ、女性で「結婚」の割合が高く、約3割となっています。



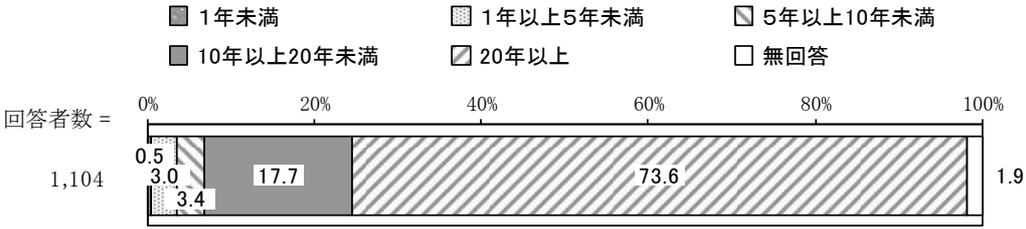
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「蒲郡で生まれたから」の割合が高く、約8割となっています。また、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上で「結婚」の割合が高く、2割を超えています。



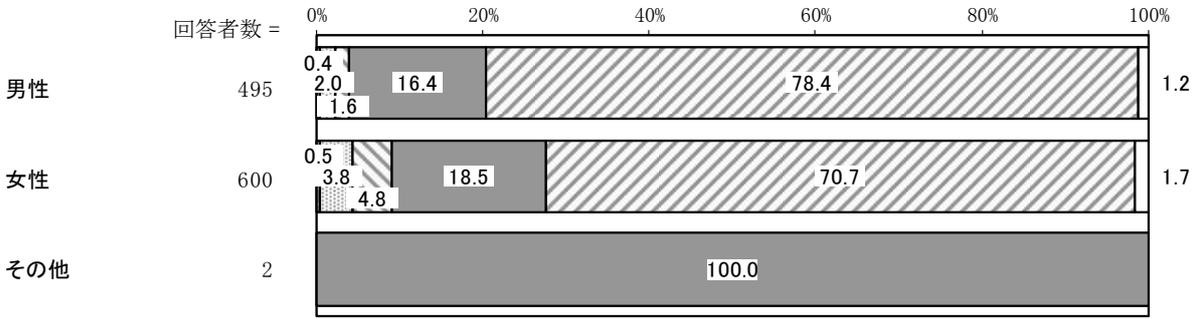
問8 蒲郡市における居住歴は（〇は1つだけ）

「20年以上」の割合が73.6%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が17.7%となっています。



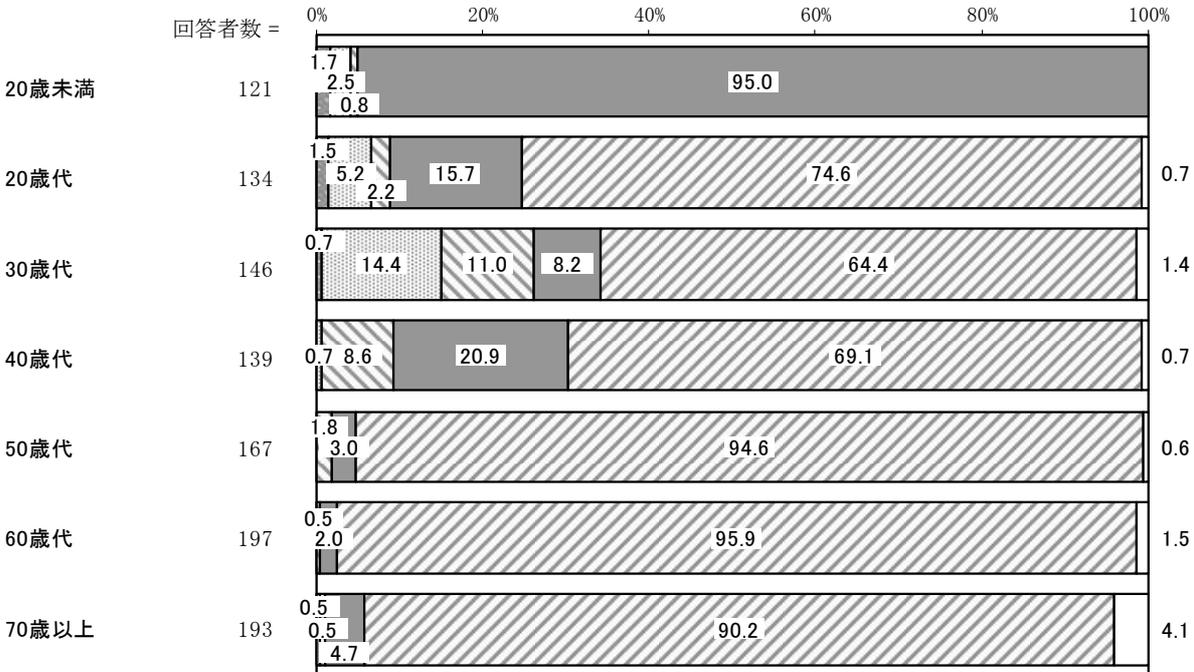
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「20年以上」の割合が高く、約8割となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳未満で「10年以上20年未満」の割合が、50歳代以上で「20年以上」の割合が高く、9割を超えています。

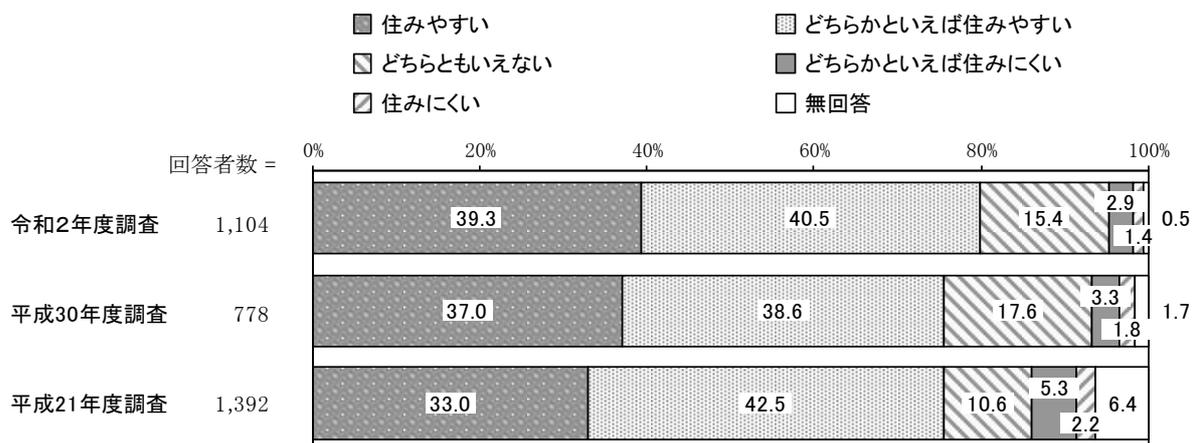


(2) 蒲郡市の住みやすさ・印象について

問9 あなたは、蒲郡市は住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つだけ)

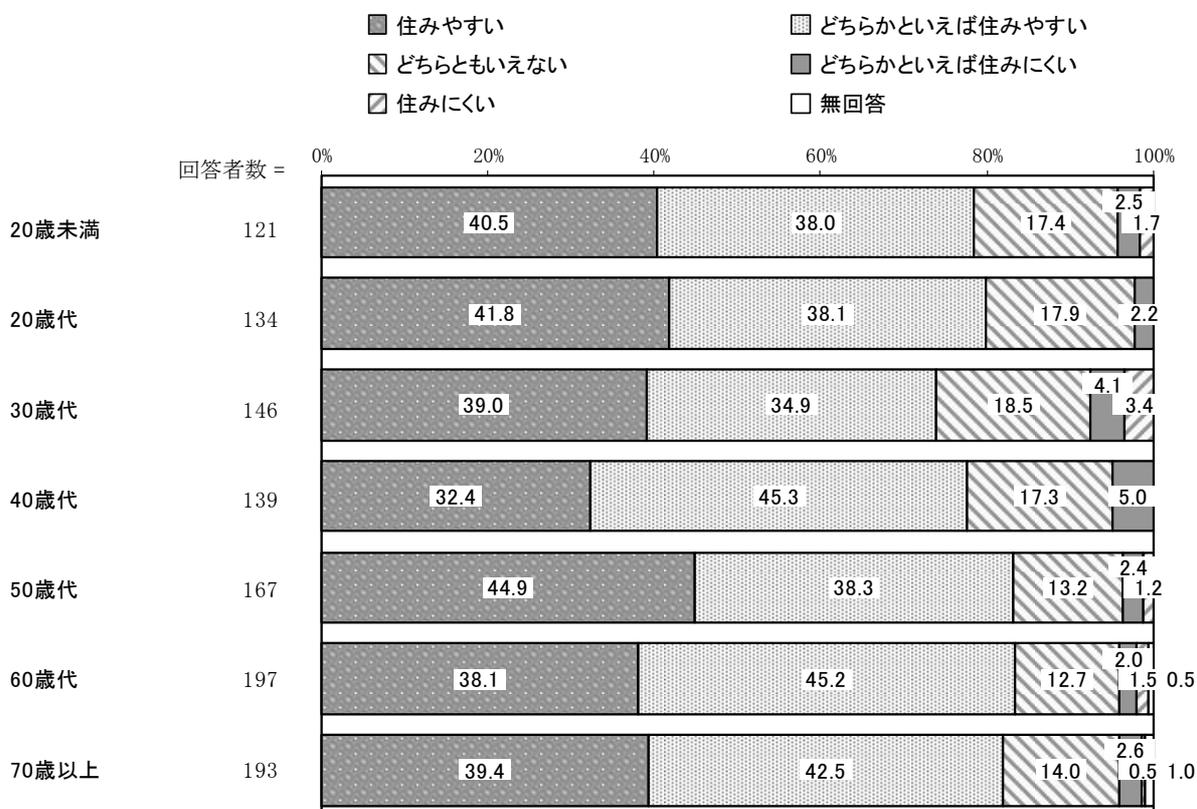
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”の割合が79.8%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた“住みにくい”の割合が4.3%、「どちらともいえない」の割合が15.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



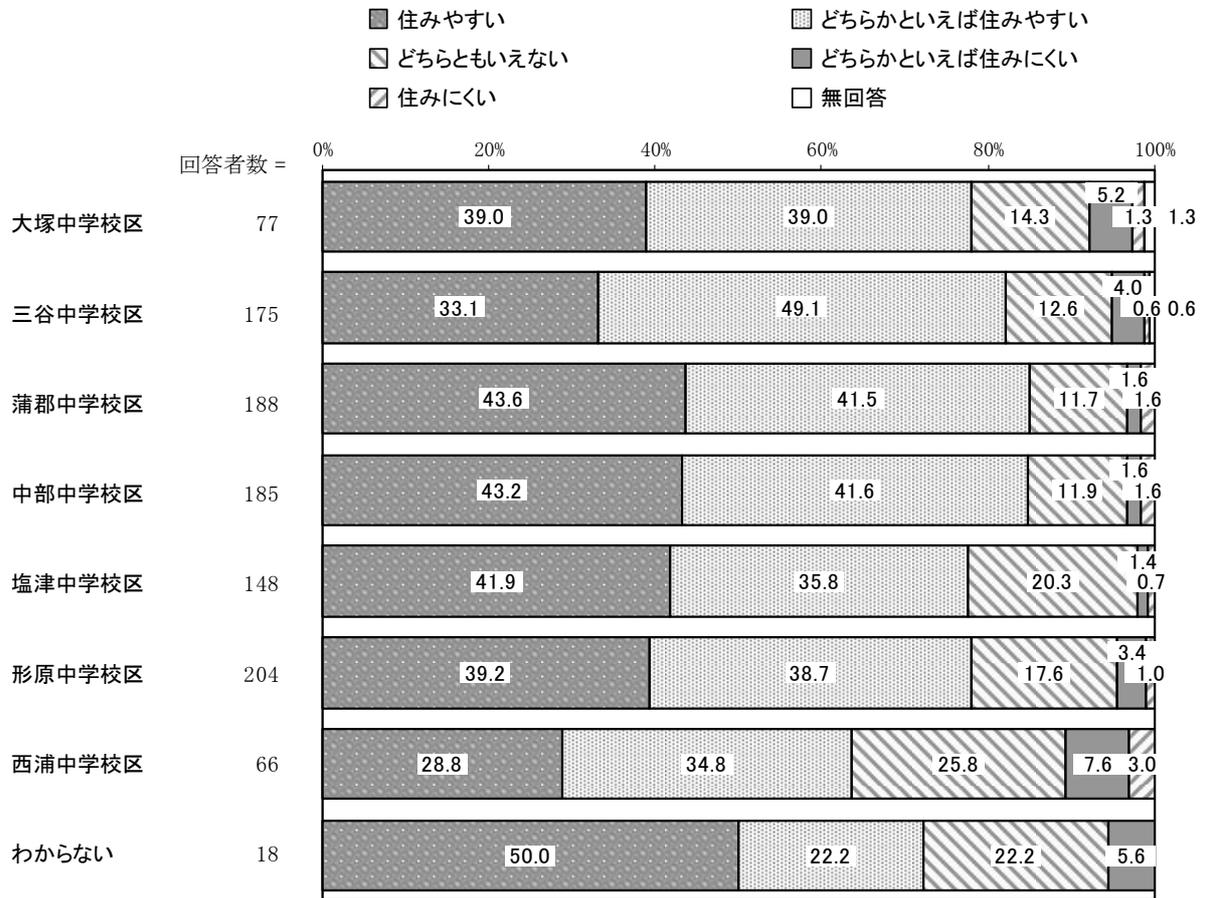
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“住みやすい”の割合が低くなっています。



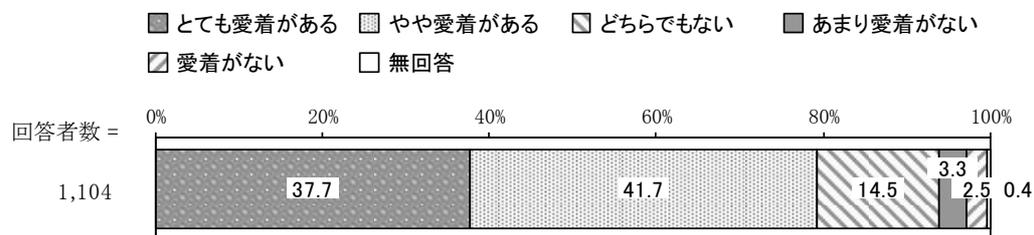
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、蒲郡中学校区、中部中学校区で“住みやすい”の割合が高く、8割半ばとなっています。また、西浦中学校区で“住みにくい”の割合が高く、約1割となっています。



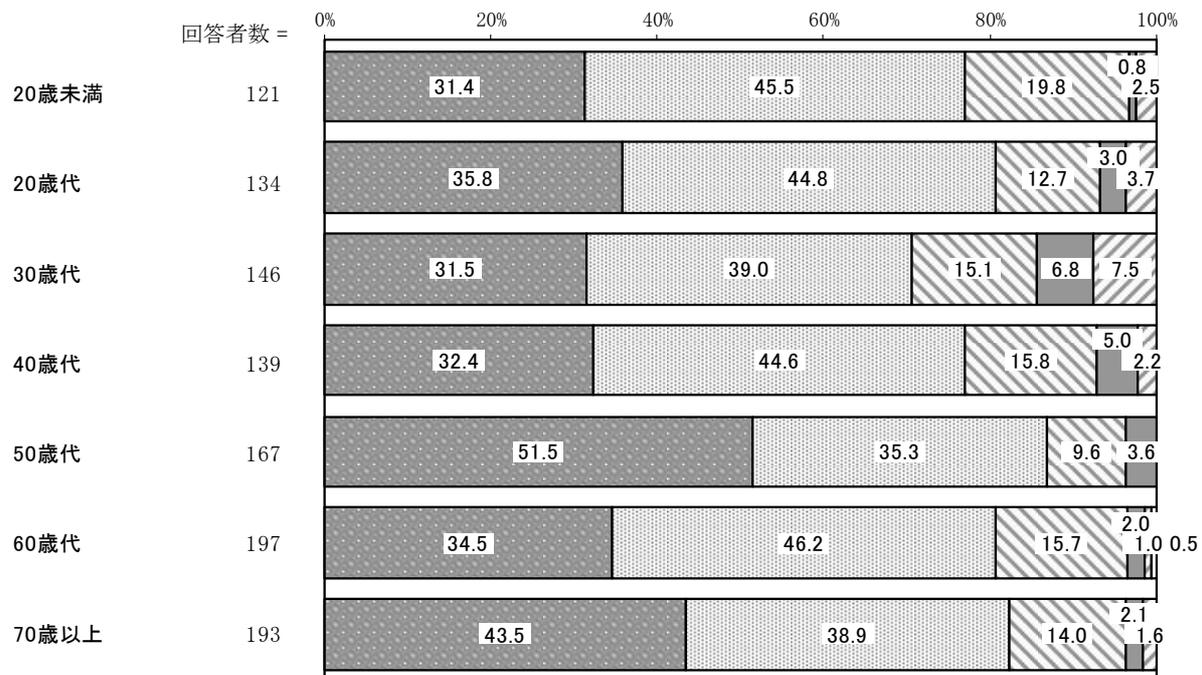
問 10 あなたは、蒲郡市に愛着がありますか。(〇は1つだけ)

「とても愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた“愛着がある”の割合が79.4%、「あまり愛着がない」と「愛着がない」を合わせた“愛着がない”の割合が5.8%、「どちらでもない」の割合が14.5%となっています。



【年代別】

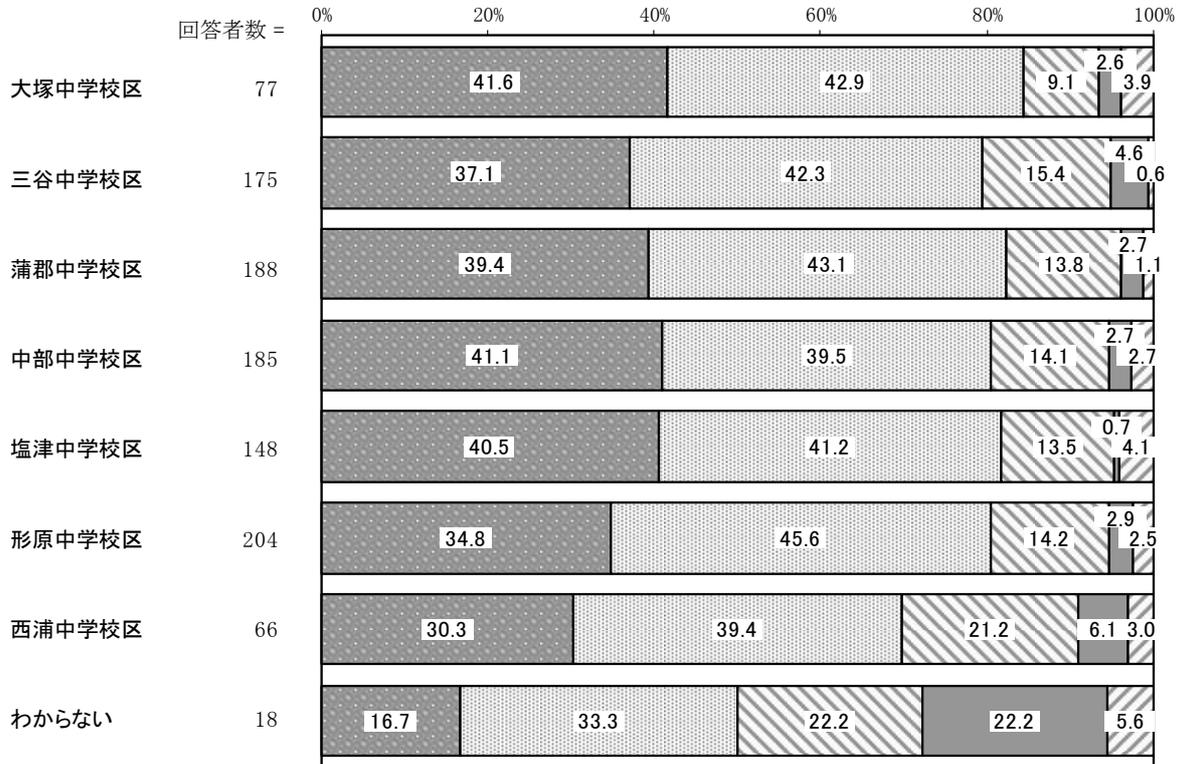
年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“愛着がある”の割合が高く、8割半ばとなっています。また、30歳代で“愛着がない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



【中学校区別】

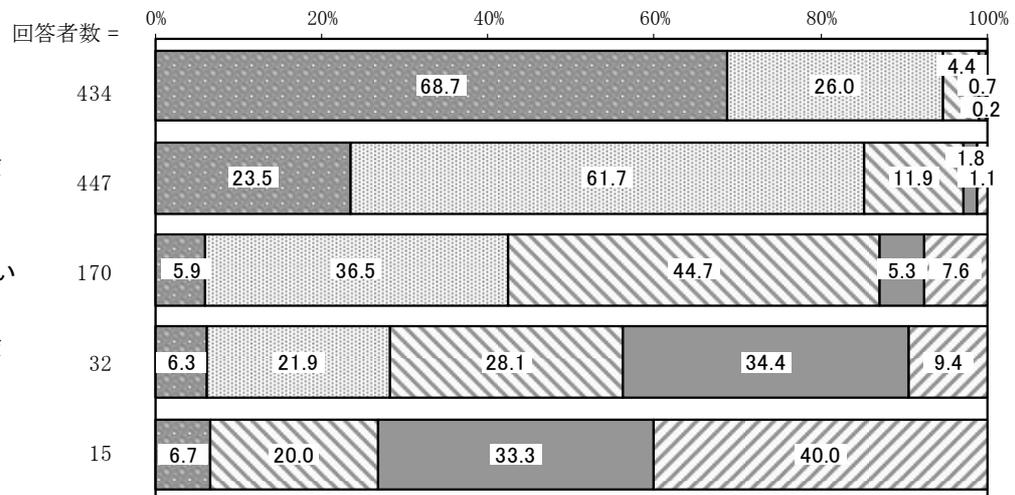
中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区で“愛着がある”の割合が高く、8割半ばとなっています。また、西浦中学校区で“愛着がある”の割合が低く、約7割となっています。

とても愛着がある
 やや愛着がある
 どちらでもない
 あまり愛着がない
 愛着がない
 無回答



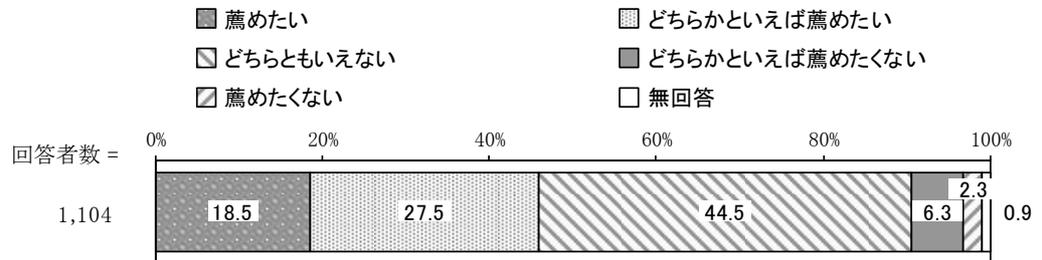
【住みやすさ別】

住みやすさ別でみると、住みやすいと思っている人ほど“愛着がある”の割合が高くなっており、住みやすいで9割半ばとなっています。



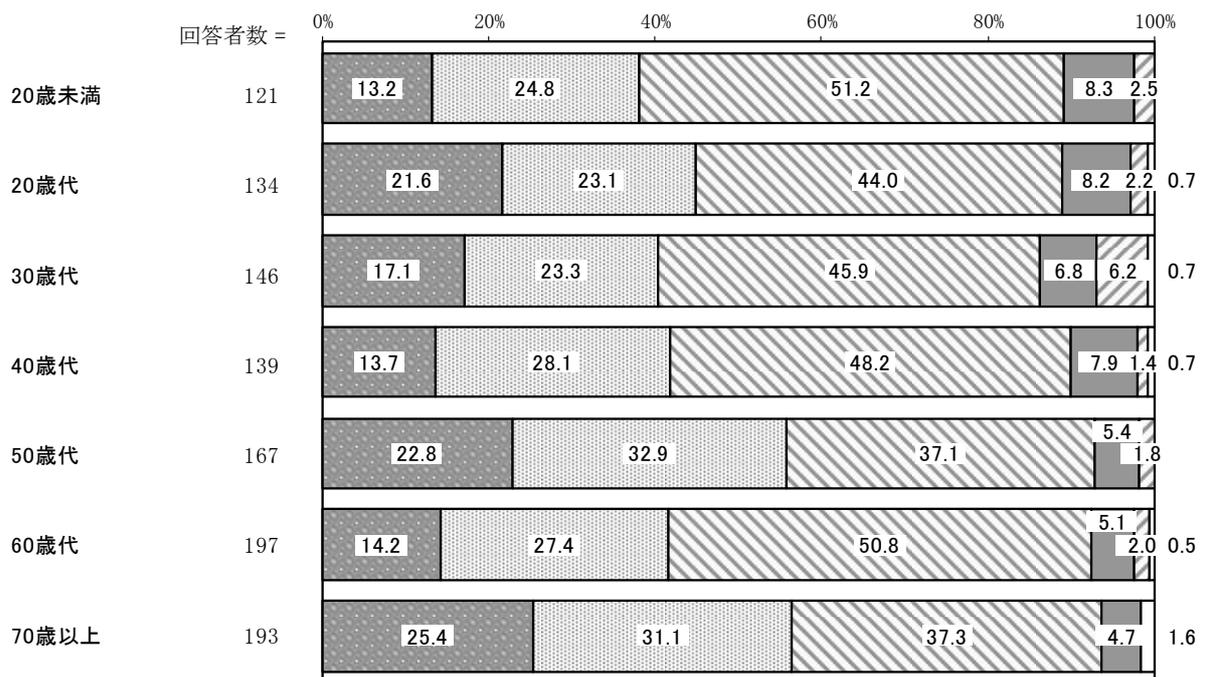
問 11 あなたは、知人に住む場所として蒲郡市を薦めますか。(○は1つだけ)

「薦めたい」と「どちらかといえば薦めたい」を合わせた“薦めたい”の割合が46.0%、「どちらかといえば薦めたくない」と「薦めたくない」を合わせた“薦めたくない”の割合が8.6%、「どちらともいえない」の割合が44.5%となっています。



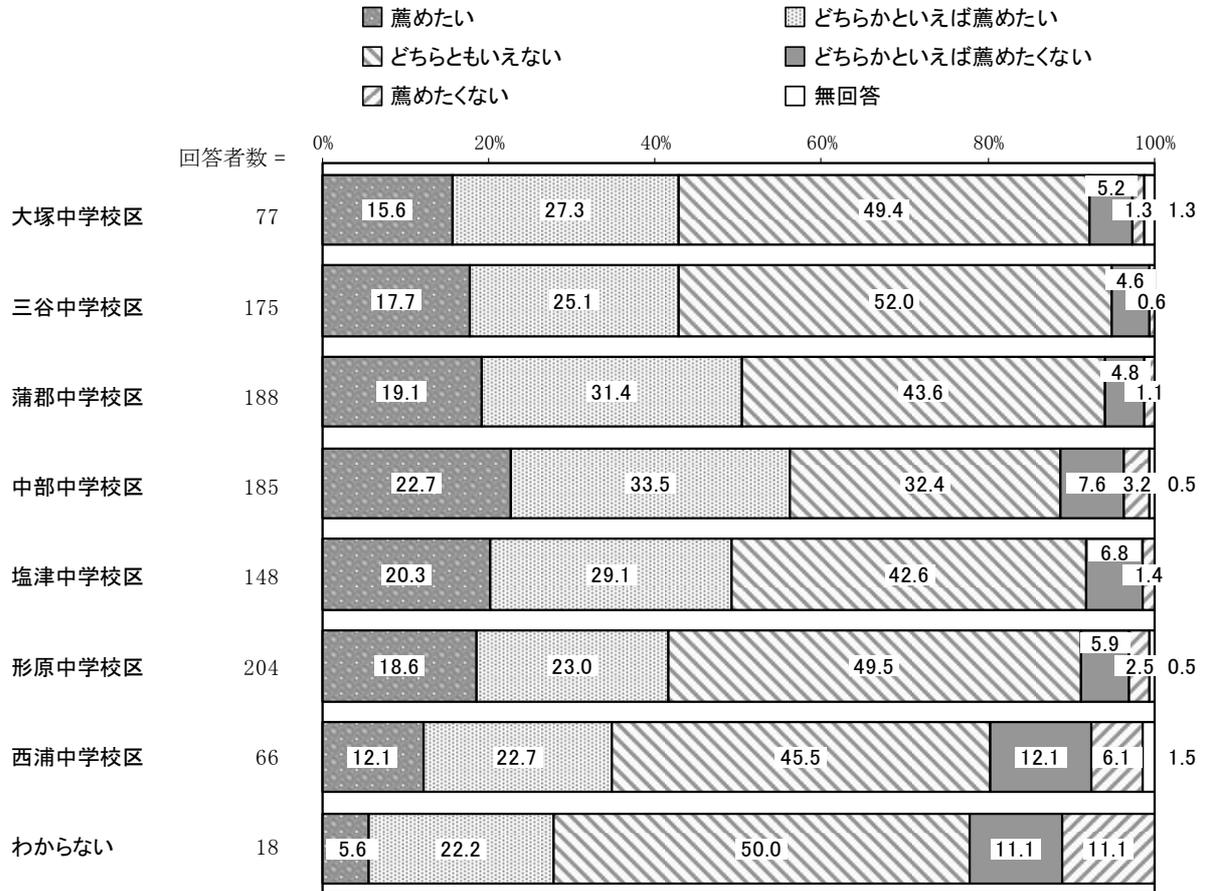
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、70歳以上で“薦めたい”の割合が高く、5割半ばとなっています。



【中学校区別】

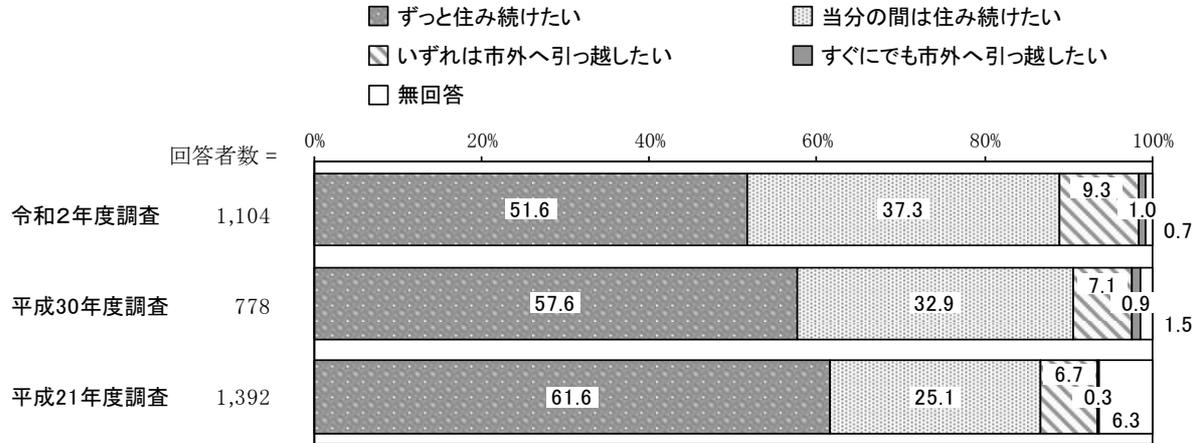
中学校区別で見ると、他の地区に比べ、中部中学校区で“薦めたい”の割合が高く、5割半ばとなっています。また、西浦中学校区で“薦めたくない”の割合が高く、約2割となっています。



問 12 あなたは、これからも蒲郡市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

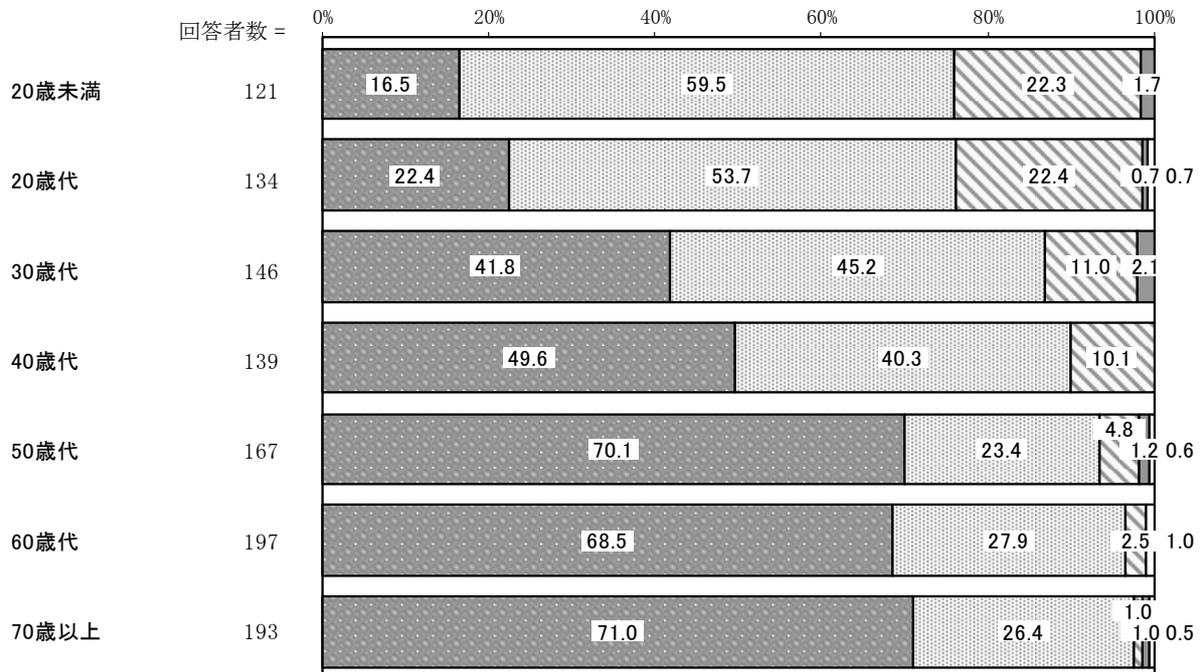
「ずっと住み続けたい」の割合が51.6%と最も高く、次いで「当分の間は住み続けたい」の割合が37.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」の割合が減少しています。



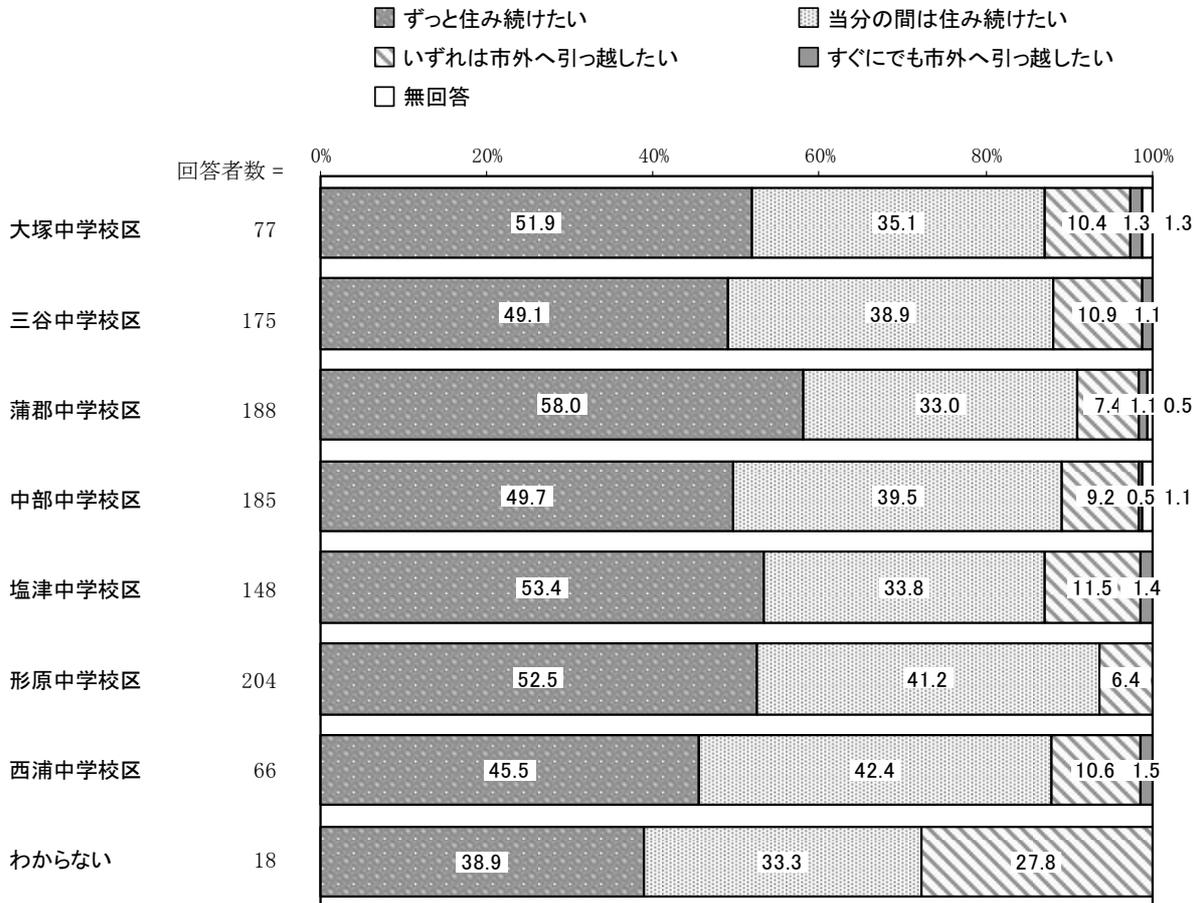
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ずっと住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられ、50歳代以上で約7割となっています。



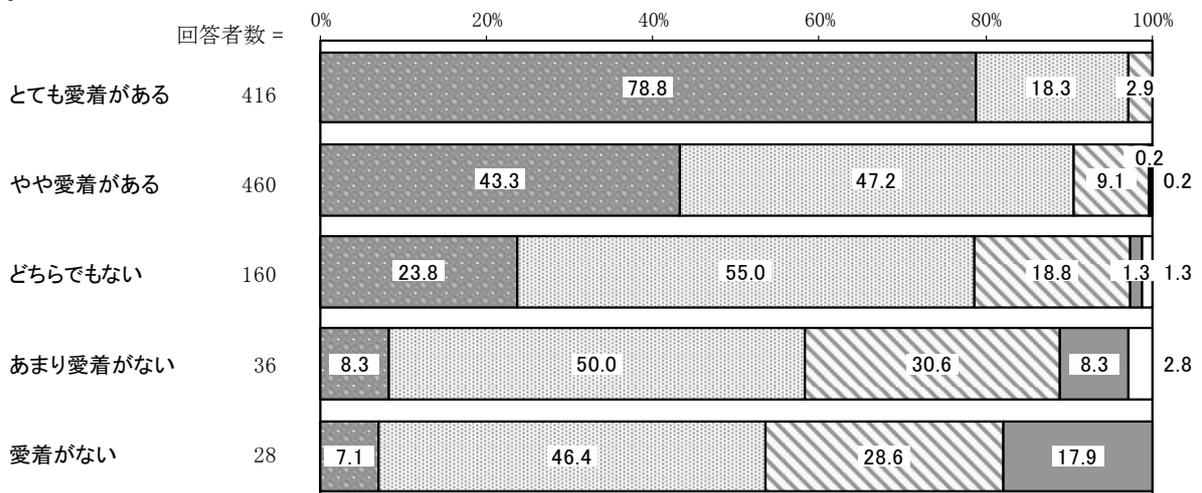
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、蒲郡中学校区で「ずっと住みたい」の割合が高く、約6割となっています。



【市への愛着度別】

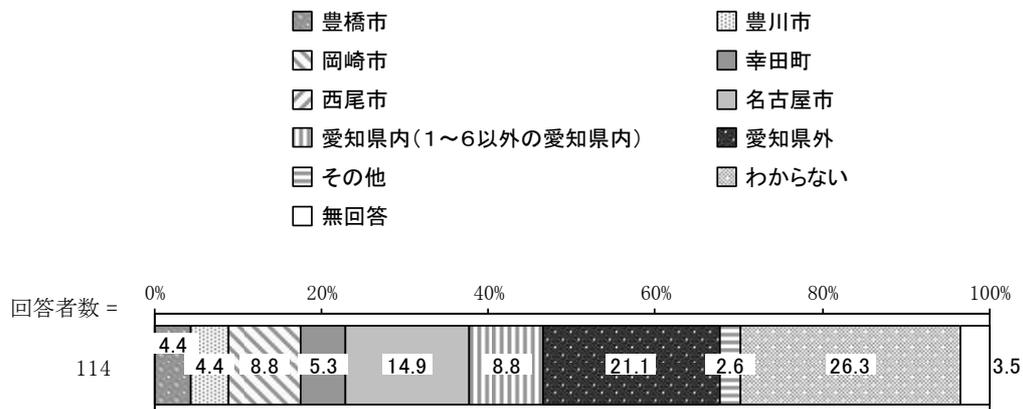
市への愛着度別でみると、愛着が強くなるにつれ「ずっと住みたい」の割合が高くなる傾向がみられ、とても愛着がある人で約8割となっています。また、愛着が弱くなるにつれ「いずれは市外へ引っ越したい」「すぐにでも市外へ引っ越したい」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 12 で「いずれは市外へ引っ越したい」「すぐにでも市外へ引っ越したい」と答えた方にお聞きします。

問 12-1 どちらへ引っ越したいと思いますか。(○は1つだけ)

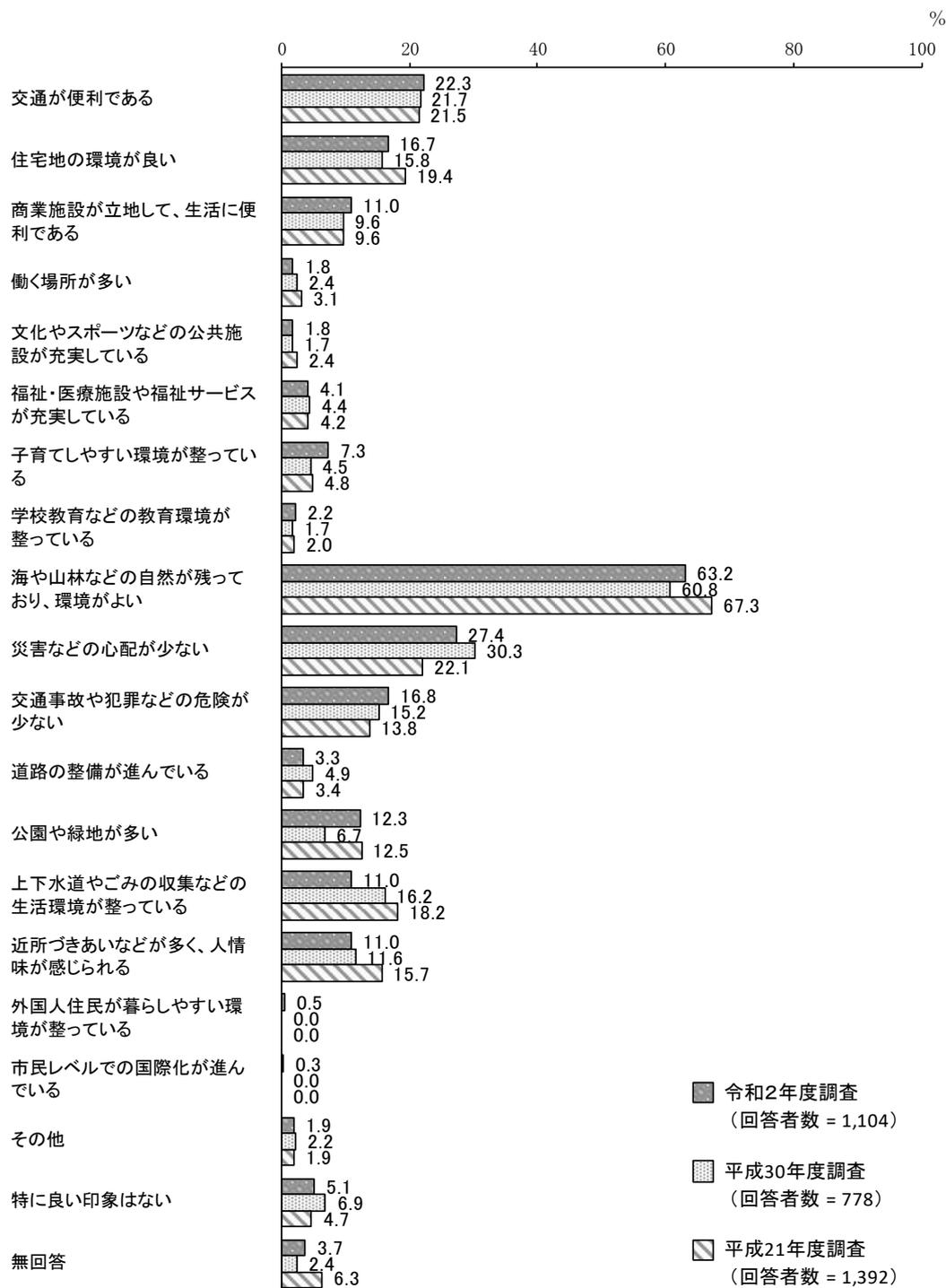
「わからない」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「愛知県外」の割合が 21.1%、「名古屋市」の割合が 14.9%となっています。



問 13 あなたは、蒲郡市に対しどのような良い印象をお持ちですか。(〇は3つまで)

「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」の割合が63.2%と最も高く、次いで「災害などの心配が少ない」の割合が27.4%、「交通が便利である」の割合が22.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「公園や緑地が多い」の割合が増加しています。一方、「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「災害などの心配が少ない」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代以上で約4割となっています。また、他の年代に比べ、30歳代で「公園や緑地が多い」の割合が、70歳以上で「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、 生活に便利である	働く場所が多い	文化やスポーツなどの 公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉 サービスが充実している	子育てしやすい環境が 整っている	学校教育などの教育環境 が整っている	海や山林などの自然が 残っており、環境がよい	災害などの心配が少ない
20歳未満	121	20.7	14.0	8.3	1.7	5.0	4.1	4.1	5.8	62.0	17.4
20歳代	134	24.6	23.1	8.2	1.5	5.2	3.0	4.5	2.2	61.2	13.4
30歳代	146	19.9	13.7	10.3	1.4	0.7	2.1	15.8	3.4	58.9	19.2
40歳代	139	21.6	22.3	12.9	2.9	—	2.2	11.5	2.2	62.6	20.9
50歳代	167	18.0	18.0	9.6	0.6	1.2	6.0	6.6	2.4	66.5	34.7
60歳代	197	24.4	11.2	12.2	2.5	1.0	3.6	7.6	—	66.5	37.6
70歳以上	193	26.4	17.1	13.5	2.1	1.0	6.7	2.6	1.0	64.2	38.3

区分	交通事故や犯罪などの 危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集 などの生活環境が整って いる	近所つきあいなどが多く、 人情味を感じられる	外国人住民が暮らしやすい 環境が整っている	市民レベルでの国際化が 進んでいる	その他	特に良い印象はない	無回答
20歳未満	9.9	2.5	16.5	6.6	9.9	1.7	0.8	2.5	5.0	2.5
20歳代	14.9	3.7	14.9	7.5	13.4	—	—	4.5	8.2	3.0
30歳代	16.4	2.1	19.9	0.7	11.0	0.7	—	4.1	8.9	3.4
40歳代	14.4	1.4	10.8	6.5	7.9	0.7	0.7	0.7	3.6	2.9
50歳代	22.2	3.6	5.4	13.2	11.4	0.6	—	—	3.0	5.4
60歳代	18.3	3.6	10.7	14.7	12.7	—	0.5	1.5	5.1	3.0
70歳以上	18.7	5.2	10.9	21.2	10.4	—	—	1.0	2.1	3.6

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区、西浦中学校区で「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」の割合が高く、7割半ばから約8割となっています。また、蒲郡中学校区で「交通が便利である」の割合が、中部中学校区で「災害などの心配が少ない」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、生活に 便利である	働く場所が多い	文化やスポーツなどの 公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉 サービスが充実している	子育てしやすい環境が 整っている	学校教育などの教育環境が 整っている	海や山林などの自然が 残っており、環境がよい	災害などの心配が少ない
大塚中学校区	77	14.3	14.3	—	2.6	2.6	3.9	3.9	2.6	75.3	20.8
三谷中学校区	175	20.0	20.0	13.7	1.1	1.7	5.1	5.1	2.3	61.1	21.7
蒲郡中学校区	188	35.1	18.6	11.7	1.1	1.1	3.2	6.9	—	61.7	31.9
中部中学校区	185	27.6	16.8	7.6	1.1	1.6	5.4	9.2	2.2	62.2	35.7
塩津中学校区	148	25.7	12.8	21.6	4.1	2.7	2.7	8.8	2.7	60.8	27.7
形原中学校区	204	12.7	18.6	9.8	2.0	2.5	4.4	7.4	3.4	67.6	20.6
西浦中学校区	66	9.1	12.1	1.5	1.5	1.5	3.0	12.1	3.0	77.3	28.8
わからない	18	—	16.7	22.2	5.6	—	5.6	16.7	5.6	33.3	22.2

区分	交通事故や犯罪などの 危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集など の生活環境が整っている	近所つきあいなどが多く、 人情味が感じられる	外国人住民が暮らしやすい 環境が整っている	市民レベルでの国際化が 進んでいる	その他	特に良い印象はない	無回答
大塚中学校区	20.8	5.2	9.1	15.6	15.6	1.3	—	3.9	7.8	2.6
三谷中学校区	16.6	5.1	11.4	13.7	12.6	0.6	1.1	1.7	6.3	4.0
蒲郡中学校区	17.6	3.2	11.2	13.8	8.0	—	0.5	2.1	2.7	4.3
中部中学校区	16.2	3.2	15.1	8.1	9.2	0.5	—	1.6	3.2	2.7
塩津中学校区	11.5	2.7	11.5	8.1	12.2	0.7	—	2.0	2.7	2.7
形原中学校区	18.1	1.5	15.7	8.8	11.3	0.5	—	1.5	7.4	2.5
西浦中学校区	24.2	—	4.5	9.1	16.7	—	—	1.5	4.5	1.5
わからない	11.1	—	22.2	—	5.6	—	—	5.6	16.7	11.1

【住みやすさ別】

住みやすさ別でみると、住みやすいと思っている人ほど「交通が便利である」「住宅地の環境が良い」「商業施設が立地して、生活に便利である」の割合が高く、「特に良い印象はない」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、生活に便利である	働く場所が多い	文化やスポーツなどの公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉サービスが充実している	子育てしやすい環境が整っている	学校教育などの教育環境が整っている	海や山林などの自然が残っており、環境が良い	災害などの心配が少ない
住みやすい	434	27.9	24.0	16.8	1.8	1.8	4.8	10.4	3.0	64.3	30.2
どちらかといえば住みやすい	447	22.8	15.4	10.1	1.1	2.5	4.0	6.7	1.8	67.8	27.3
どちらともいえない	170	11.8	5.3	1.8	2.9	0.6	2.9	2.4	1.8	54.7	24.1
どちらかといえば住みにくい	32	6.3	6.3	—	6.3	—	—	3.1	—	50.0	15.6
住みにくい	15	6.7	—	—	—	—	6.7	6.7	—	40.0	13.3

区分	交通事故や犯罪などの危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	近所つきあいなどが多く、人情味を感じられる	外国人住民が暮らしやすい環境が整っている	市民レベルでの国際化が進んでいる	その他	特に良い印象はない	無回答
住みやすい	14.1	2.5	12.7	11.5	12.9	0.2	0.2	1.8	1.4	4.8
どちらかといえば住みやすい	19.9	3.8	12.1	12.1	12.1	0.4	0.2	1.8	2.5	2.0
どちらともいえない	15.3	1.8	12.9	7.1	4.7	1.2	—	1.8	15.3	3.5
どちらかといえば住みにくい	25.0	12.5	12.5	9.4	9.4	—	3.1	—	25.0	3.1
住みにくい	6.7	6.7	6.7	6.7	—	—	—	13.3	33.3	—

【継続居住希望別】

継続居住希望別でみると、他に比べ、ずっと住みたい人で「商業施設が立地して、生活に便利である」「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」「災害などの心配が少ない」の割合が高くなっています。

単位：%

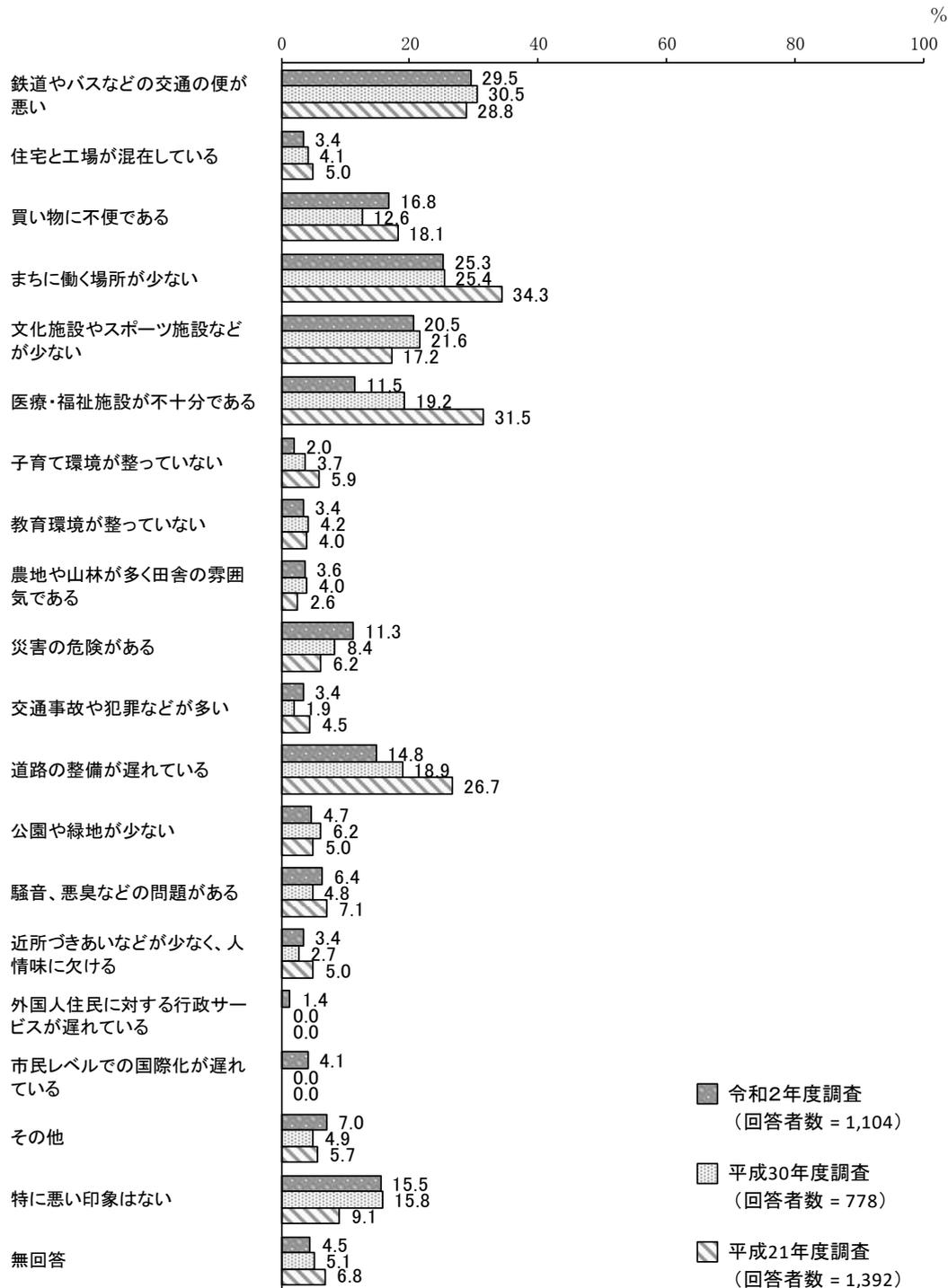
区分	回答者数 (件)	交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、生活に便利である	働く場所が多い	文化やスポーツなどの公共施設が充実している	福祉・医療施設や福祉サービスが充実している	子育てしやすい環境が整っている	学校教育などの教育環境が整っている	海や山林などの自然が残っており、環境がよい	災害などの心配が少ない
ずっと住みたい	570	24.4	19.6	15.6	1.8	1.2	4.9	8.2	2.3	66.8	32.3
当分の間は住みたい	412	20.6	15.3	5.6	2.2	2.4	3.4	6.8	2.2	60.4	24.5
いずれは市外へ引っ越したい	103	21.4	8.7	8.7	—	2.9	2.9	5.8	1.9	58.3	13.6
すぐにでも市外へ引っ越したい	11	—	—	—	9.1	—	—	—	—	54.5	27.3

区分	危険が少ない	交通事故や犯罪などの危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている	近所づきあいなどが多く、人情味を感じられる	環境が整っている	外国人住民が暮らしやすい	市民レベルでの国際化が進んでいる	その他	特に良い印象はない	無回答
ずっと住みたい	16.5	3.0	10.7	13.3	12.3	0.4	0.4	2.1	1.1	4.6		
当分の間は住みたい	18.4	3.9	13.6	9.2	10.7	0.7	0.2	1.0	8.3	1.5		
いずれは市外へ引っ越したい	13.6	2.9	16.5	4.9	6.8	—	—	2.9	12.6	3.9		
すぐにでも市外へ引っ越したい	9.1	—	9.1	—	—	—	—	9.1	18.2	9.1		

問 14 あなたは、蒲郡市に対しどのような悪い印象をお持ちですか。（〇は3つまで）

「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「まちに働く場所が少ない」の割合が 25.3%、「文化施設やスポーツ施設などが少ない」の割合が 20.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「医療・福祉施設が不十分である」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳未満で「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」「買い物に不便である」の割合が高くなっています。また、50歳代で「まちに働く場所が少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	鉄道やバスなどの交通の 便が悪い	住宅と工場が混在している	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設 などが少ない	医療・福祉施設が不十分で ある	子育て環境が整っていない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の 雰囲気である	災害の危険がある
20歳未満	121	38.0	4.1	26.4	18.2	26.4	5.0	—	2.5	6.6	16.5
20歳代	134	35.8	3.7	21.6	22.4	21.6	6.7	1.5	4.5	3.7	13.4
30歳代	146	26.0	2.7	15.1	19.9	19.2	13.0	4.8	4.1	4.1	15.8
40歳代	139	29.5	2.9	20.9	22.3	21.6	9.4	5.8	5.8	3.6	7.9
50歳代	167	25.7	1.8	15.0	36.5	25.7	17.4	0.6	2.4	2.4	8.4
60歳代	197	27.9	5.1	15.2	27.4	17.3	12.7	1.5	3.6	3.0	11.7
70歳以上	193	26.9	3.6	9.8	26.9	14.0	13.0	0.5	2.1	3.1	8.3

区分	交通事故や犯罪が多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題がある	近所つきあいなどが少なく、 人情味に欠ける	外国人住民に対する行政 サービスが遅れている	市民レベルでの国際化が 遅れている	その他	特に悪い印象はない	無回答
20歳未満	3.3	9.9	5.0	4.1	0.8	0.8	2.5	9.1	14.9	2.5
20歳代	4.5	11.2	1.5	11.2	0.7	—	4.5	3.7	12.7	6.7
30歳代	3.4	21.2	2.1	7.5	1.4	0.7	3.4	11.0	9.6	6.2
40歳代	2.2	15.8	7.2	7.9	2.2	1.4	3.6	9.4	14.4	5.0
50歳代	3.0	15.6	3.0	4.2	1.2	0.6	6.0	7.8	16.2	1.8
60歳代	1.5	14.7	6.1	6.6	3.6	2.0	3.0	6.1	17.8	3.6
70歳以上	4.7	14.5	7.3	4.7	11.4	3.6	5.2	2.6	20.7	5.7

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、形原中学校区で「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」の割合が、大塚中学校区で「買い物に不便である」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	鉄道やバスなどの交通の 便が悪い	住宅と工場が混在している	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設 などが少ない	医療・福祉施設が不十分で ある	子育て環境が整っていない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の 雰囲気である	災害の危険がある
大塚中学校区	77	36.4	—	37.7	20.8	23.4	11.7	6.5	6.5	3.9	11.7
三谷中学校区	175	27.4	2.9	17.1	20.6	20.0	13.7	1.7	5.1	1.1	14.9
蒲郡中学校区	188	19.1	3.7	14.4	25.5	23.9	13.3	1.6	4.8	5.3	10.6
中部中学校区	185	27.6	1.6	15.1	27.0	19.5	11.4	1.6	2.7	5.4	6.5
塩津中学校区	148	24.3	3.4	12.2	26.4	21.6	8.8	2.0	3.4	4.7	14.2
形原中学校区	204	40.7	6.4	13.7	26.5	20.6	8.8	1.0	0.5	2.5	10.3
西浦中学校区	66	37.9	4.5	31.8	34.8	19.7	9.1	4.5	—	3.0	13.6
わからない	18	38.9	5.6	—	27.8	11.1	5.6	—	—	—	11.1

区分	交通事故や犯罪などが多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題がある	近所つきあいなどが少なく、 人情味に欠ける	外国人住民に対する行政 サービスが遅れている	市民レベルでの国際化が 遅れている	その他	特に悪い印象はない	無回答
大塚中学校区	2.6	19.5	6.5	9.1	1.3	1.3	3.9	9.1	6.5	5.2
三谷中学校区	2.3	12.6	2.3	5.7	4.6	0.6	4.0	5.1	17.7	4.6
蒲郡中学校区	4.3	12.2	9.0	6.4	1.6	1.6	6.9	10.1	14.9	3.2
中部中学校区	1.6	19.5	2.7	7.6	4.3	1.6	2.7	6.5	16.8	4.3
塩津中学校区	7.4	17.6	7.4	10.1	2.7	3.4	4.1	6.8	14.9	2.0
形原中学校区	2.5	15.2	2.5	4.4	3.4	0.5	3.4	5.9	17.6	5.9
西浦中学校区	1.5	10.6	6.1	1.5	1.5	—	3.0	4.5	10.6	4.5
わからない	5.6	5.6	5.6	11.1	5.6	—	—	11.1	16.7	11.1

【住みやすさ別】

住みやすさ別でみると、住みにくいと感じるほど「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」「買い物に不便である」「子育て環境が整っていない」「教育環境が整っていない」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	鉄道やバスなどの交通の 便が悪い	住宅と工場が混在している	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設 などが少ない	医療・福祉施設が不十分で ある	子育て環境が整っていない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の 雰囲気である	災害の危険がある
住みやすい	434	23.0	3.2	11.3	23.0	22.4	10.1	0.5	1.6	1.8	11.5
どちらかといえば住みやすい	447	31.1	4.3	18.6	26.2	19.9	12.5	2.5	3.4	5.4	11.2
どちらともいえない	170	38.2	2.4	25.3	27.1	16.5	11.2	3.5	6.5	4.1	12.4
どちらかといえば住みにくい	32	53.1	3.1	31.3	28.1	21.9	15.6	9.4	12.5	—	9.4
住みにくい	15	33.3	—	6.7	46.7	26.7	20.0	—	6.7	6.7	6.7

区分	交通事故や犯罪などが多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題がある	近所つきあいなどが少なく、 人情味に欠ける	外国人住民に対する行政 サービスが遅れている	市民レベルでの国際化が 遅れている	その他	特に悪い印象はない	無回答
住みやすい	4.4	13.4	4.6	6.5	3.0	1.6	5.3	6.9	21.2	4.1
どちらかといえば住みやすい	2.5	14.8	4.7	6.9	4.0	0.9	2.7	6.0	14.3	4.0
どちらともいえない	3.5	19.4	5.3	5.3	1.2	1.8	5.3	7.1	8.8	4.1
どちらかといえば住みにくい	—	9.4	6.3	6.3	12.5	3.1	3.1	9.4	—	6.3
住みにくい	6.7	20.0	—	6.7	—	6.7	—	26.7	—	13.3

【継続居住希望別】

継続居住希望別でみると、転居希望が強くなるにつれ「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」「買い物に不便である」「災害の危険がある」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

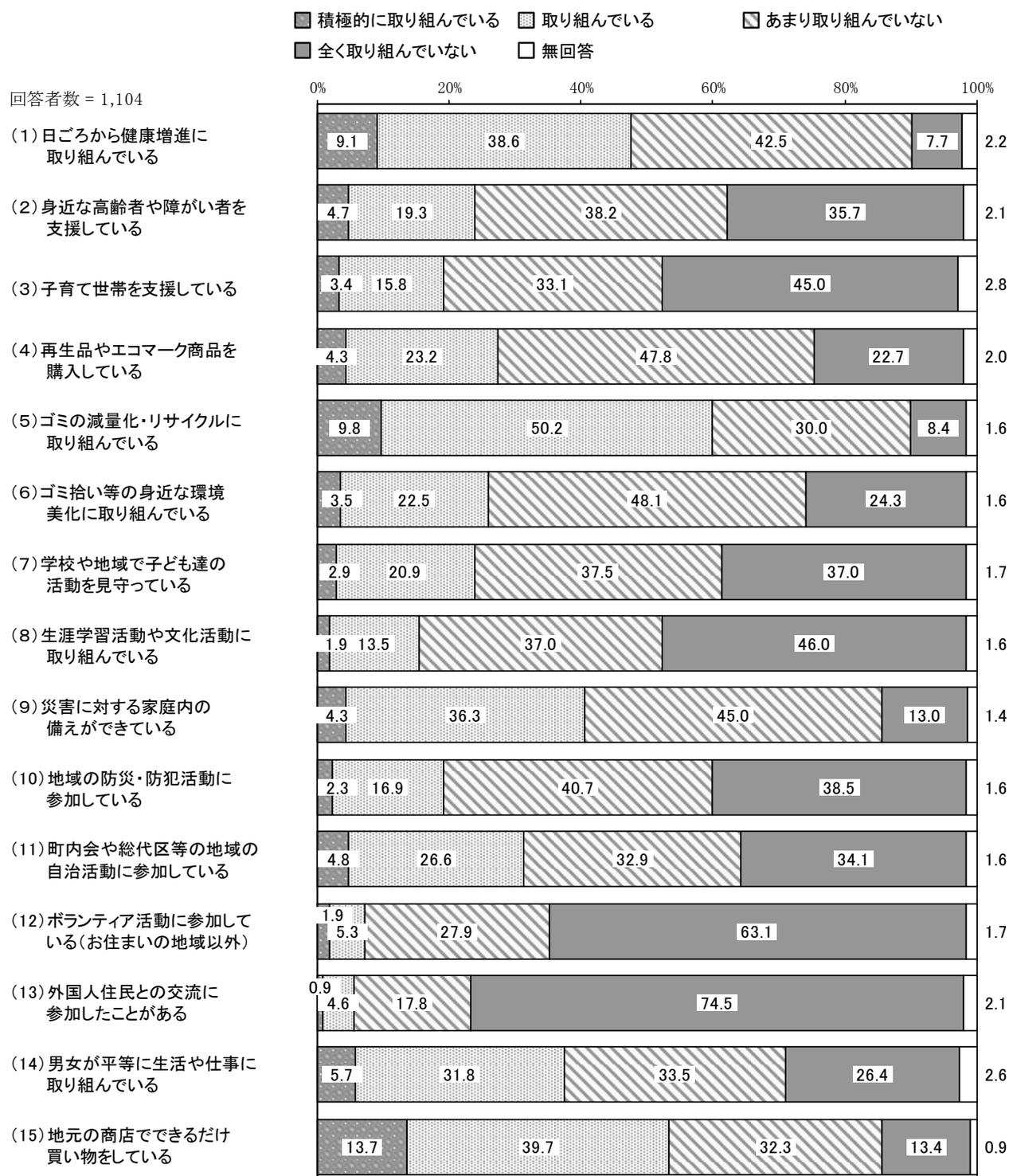
区分	回答者数 (件)	鉄道やバスなどの交通の便が悪い	住宅と工場が混在している	買い物に不便である	まちに働く場所が少ない	文化施設やスポーツ施設などが少ない	医療・福祉施設が不十分である	子育て環境が整っていない	教育環境が整っていない	農地や山林が多く田舎の雰囲気である	災害の危険がある
ずっと住み続けたい	570	24.2	2.6	13.7	25.4	20.9	12.6	1.6	1.6	2.5	9.5
当分の間は住み続けたい	412	35.2	5.1	19.9	25.0	19.7	10.2	2.2	4.9	5.1	12.6
いずれは市外へ引っ越したい	103	35.9	1.9	21.4	26.2	22.3	8.7	2.9	6.8	4.9	15.5
すぐにでも市外へ引っ越したい	11	45.5	—	36.4	27.3	18.2	27.3	—	9.1	—	27.3

区分	交通事故や犯罪などが多い	道路の整備が遅れている	公園や緑地が少ない	騒音、悪臭などの問題がある	近所つきあいなどが少なく、人情味に欠ける	外国人住民に対する行政サービスが遅れている	市民レベルでの国際化が遅れている	その他	特に悪い印象はない	無回答
ずっと住み続けたい	3.2	14.2	5.4	5.8	3.3	1.8	4.2	6.8	20.0	4.0
当分の間は住み続けたい	3.6	15.3	3.9	7.5	3.6	1.0	3.2	7.0	12.1	2.7
いずれは市外へ引っ越したい	2.9	18.4	4.9	6.8	1.9	1.9	6.8	5.8	6.8	11.7
すぐにでも市外へ引っ越したい	9.1	—	—	—	—	—	9.1	18.2	—	9.1

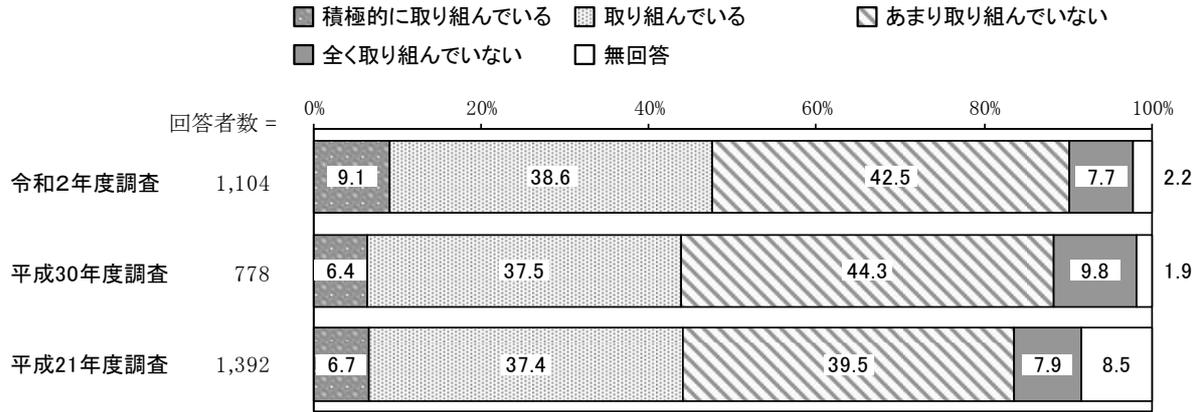
(3) 日常生活や地域活動等の実施について

問 15 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。(1)～(15)それぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

『(5) ゴみの減量化・リサイクルに取り組んでいる』で「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいる」をあわせた“取り組んでいる”の割合が高くなっています。一方、『(12) ボランティア活動に参加している(お住まいの地域以外)』『(13) 外国人住民との交流に参加したことがある』で「あまり取り組んでいない」と「全く取り組んでいない」をあわせた“取り組んでいない”の割合が高くなっています。

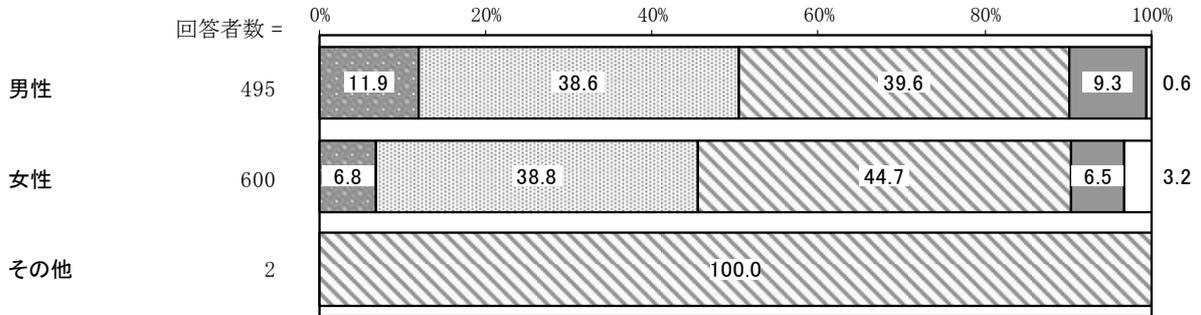


(1) 日ごろから健康増進に取り組んでいる



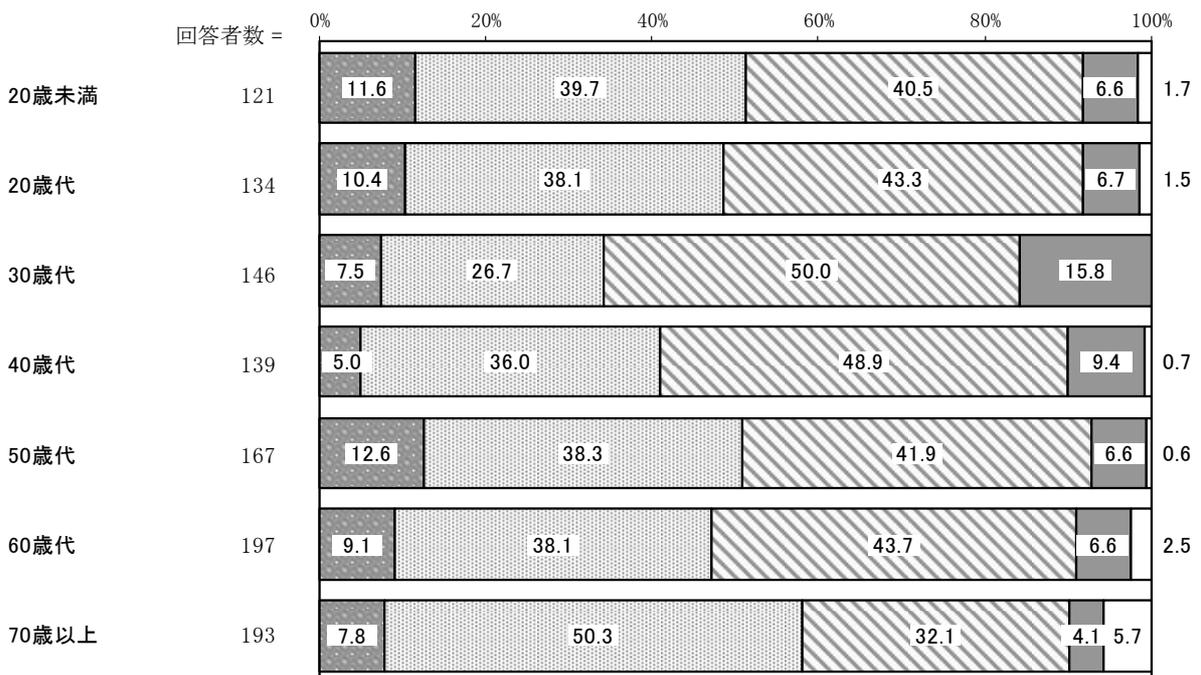
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“取り組んでいる”の割合が高く、約5割となっています。



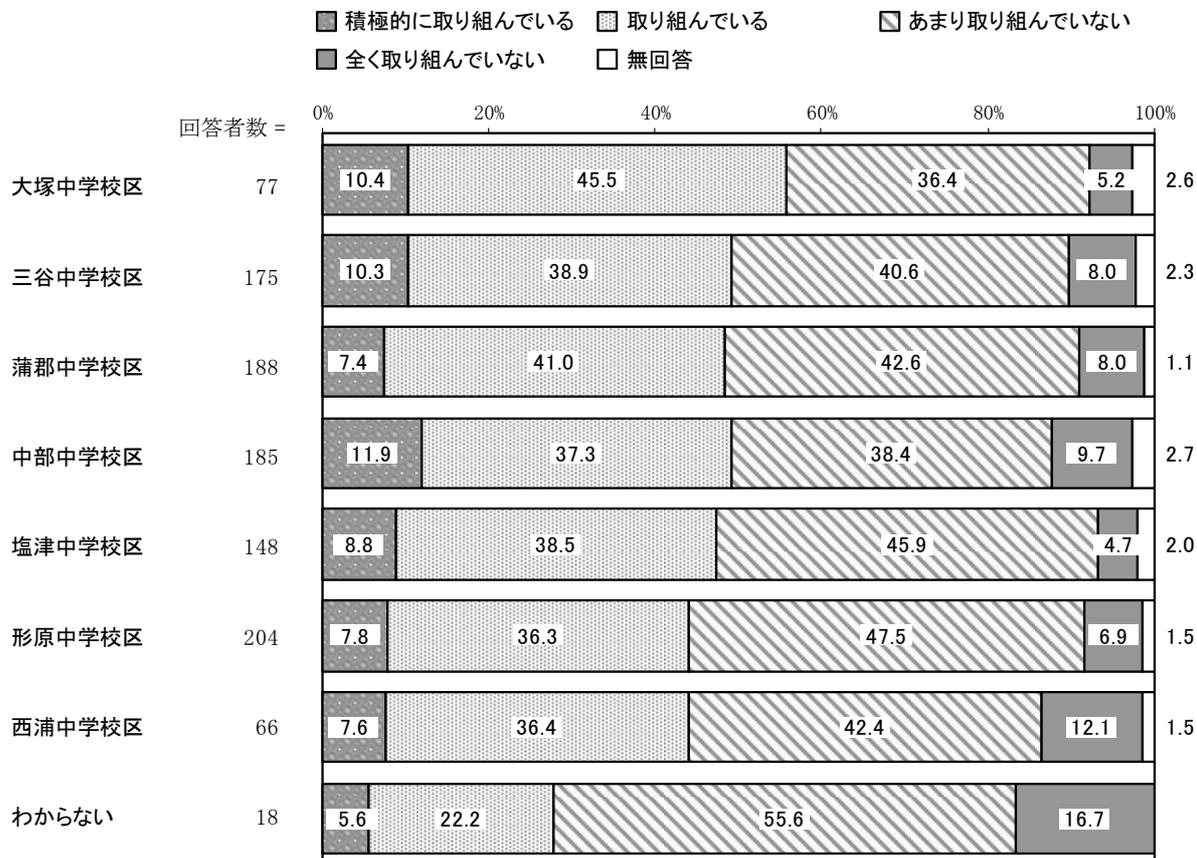
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で“取り組んでいる”の割合が高く、約6割となっています。また、30歳代で“取り組んでいない”の割合が高く、6割半ばとなっています。

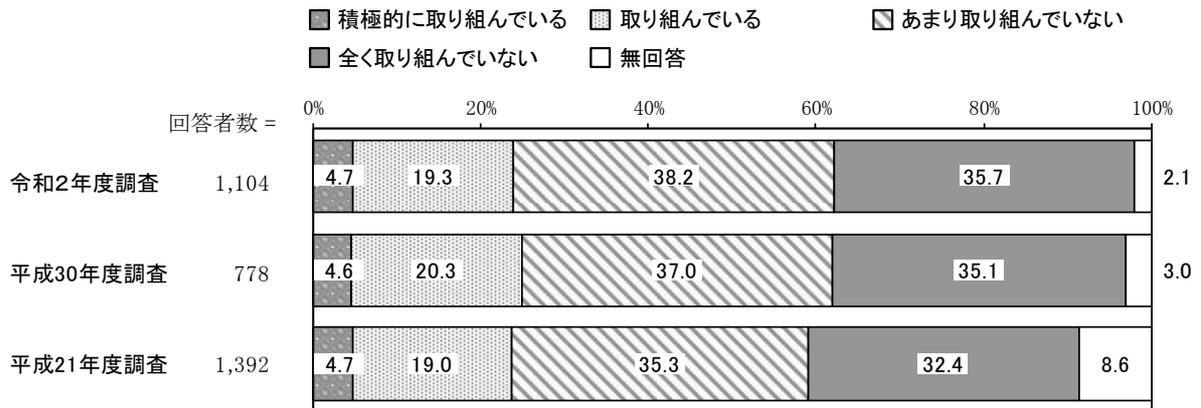


【中学校区別】

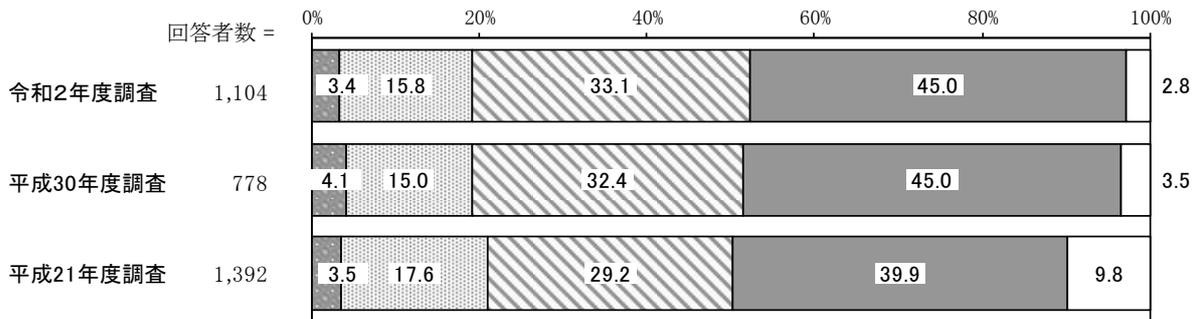
中学校区別で見ると、大塚中学校区で“取り組んでいる”の割合が高く、5割半ばとなっています。また、形原中学校区、西浦中学校区で“取り組んでいない”の割合が高く、5割半ばとなっています。



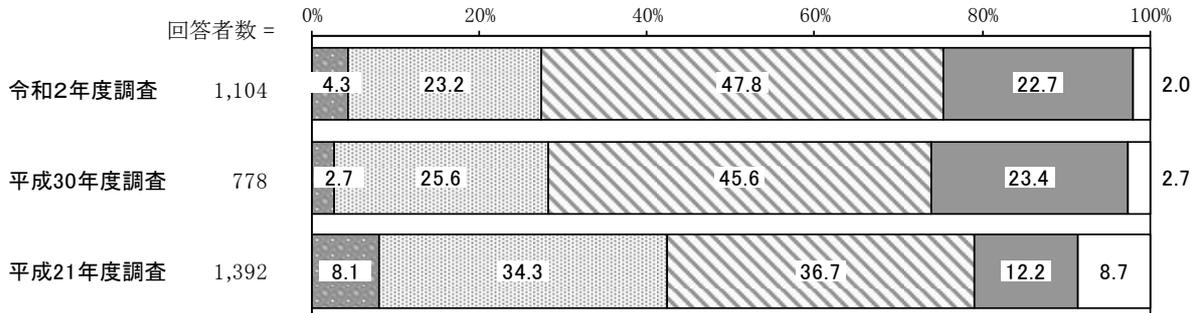
(2) 身近な高齢者や障がい者を支援している



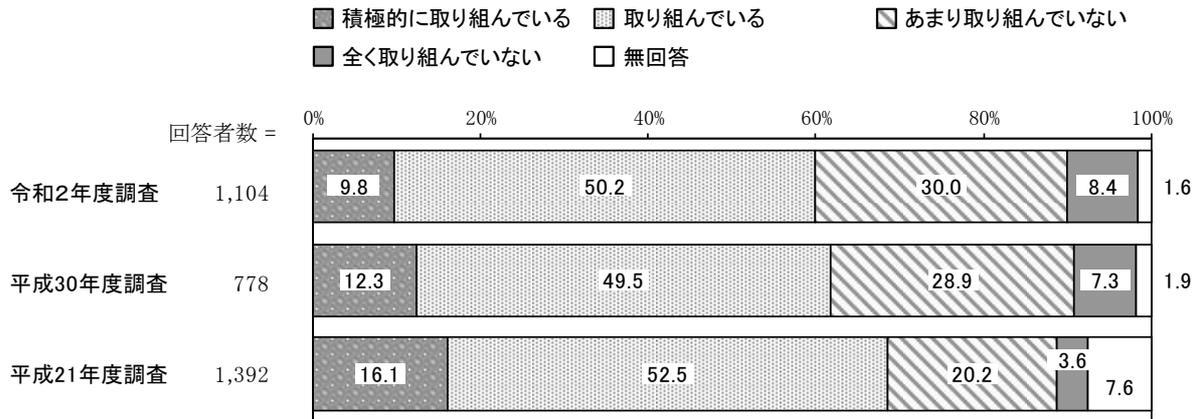
(3) 子育て世帯を支援している



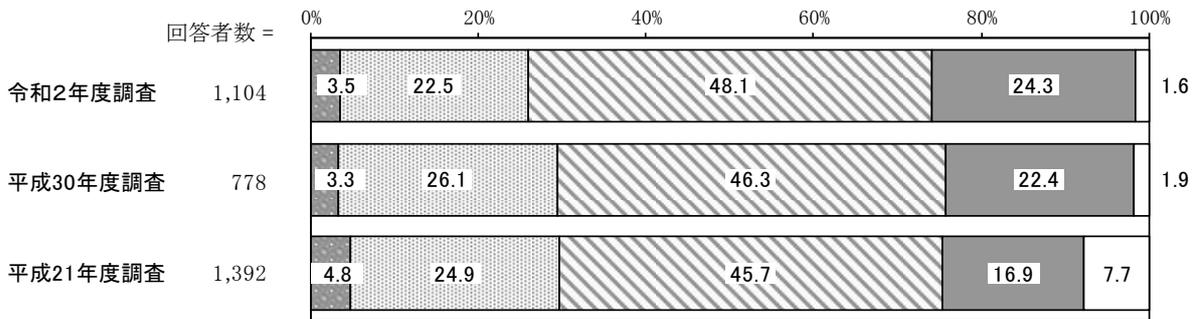
(4) 再生品やエコマーク商品を購入している



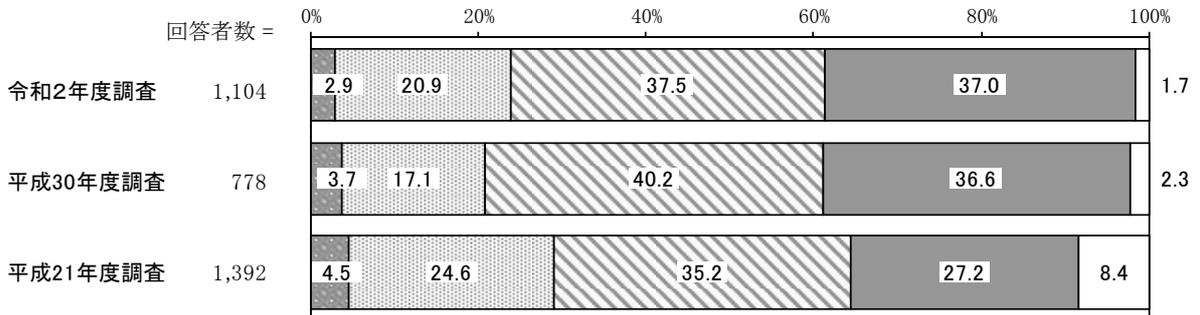
(5) ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる



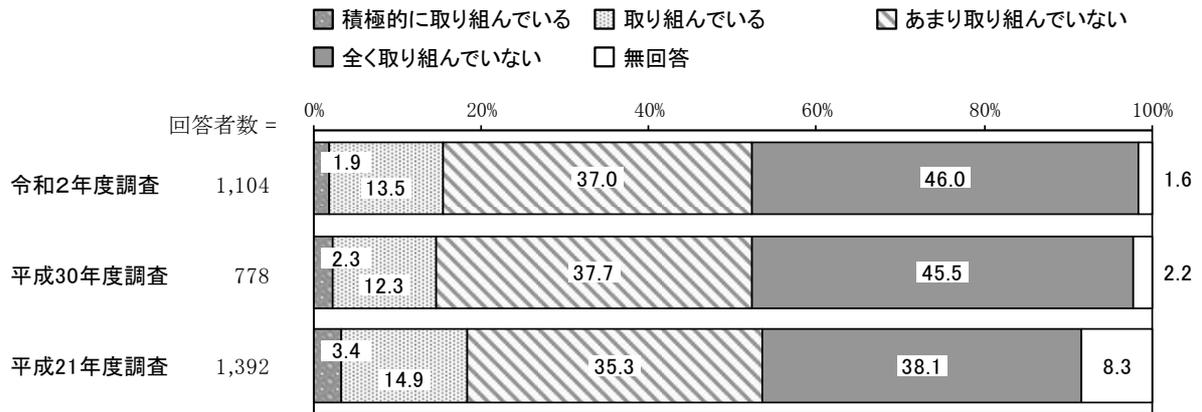
(6) ゴミ拾い等の身近な環境美化に取り組んでいる



(7) 学校や地域で子ども達の活動を見守っている

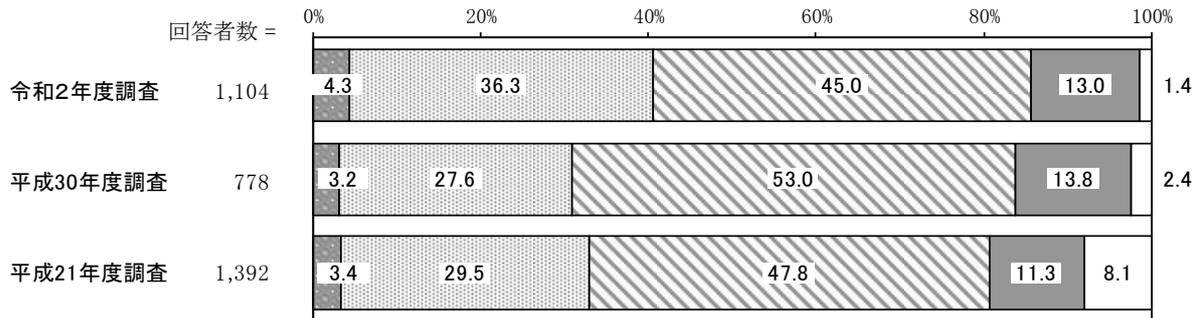


(8) 生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる

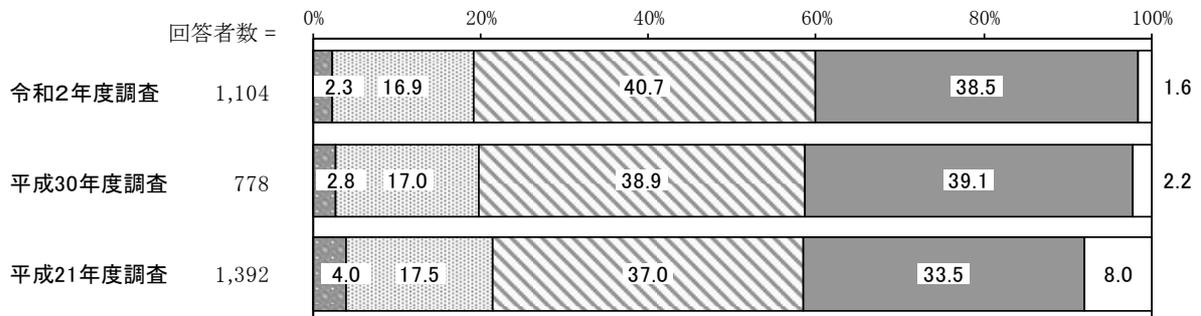


(9) 災害に対する家庭内の備えができている

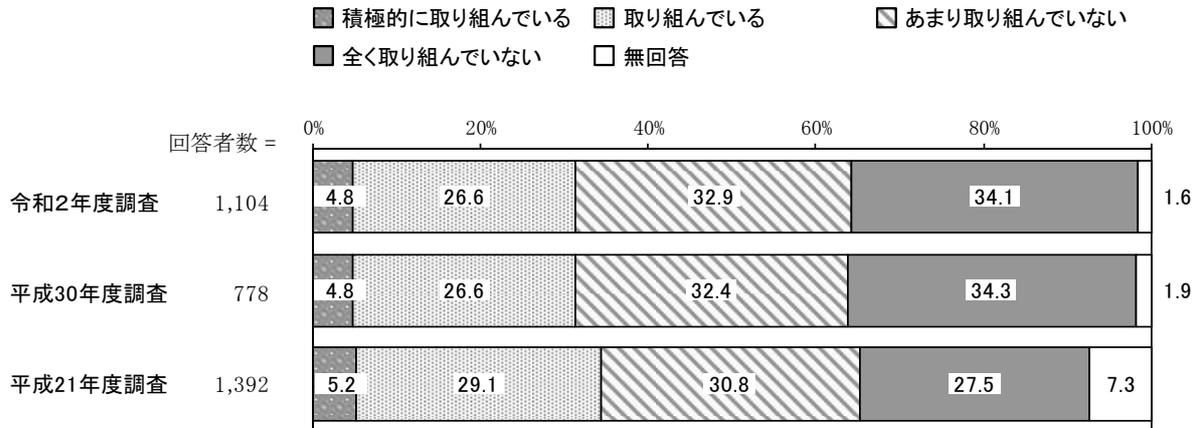
平成30年度調査と比較すると、“取り組んでいる”の割合が増加し、“取り組んでいない”の割合が減少しています。



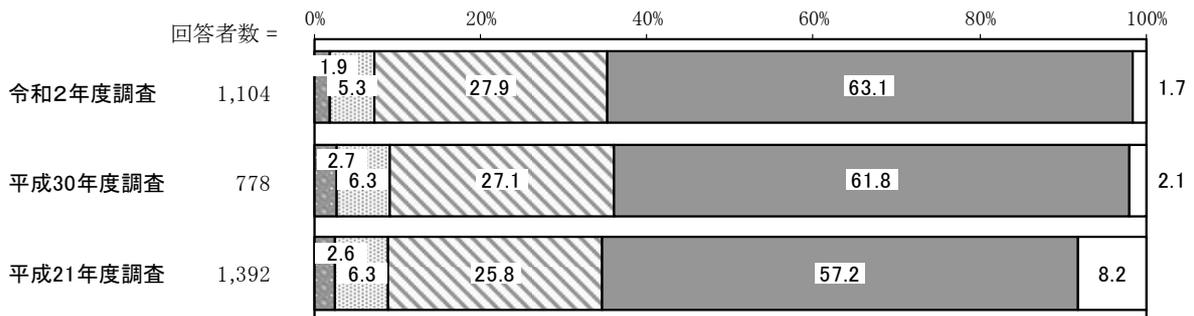
(10) 地域の防災・防犯活動に参加している



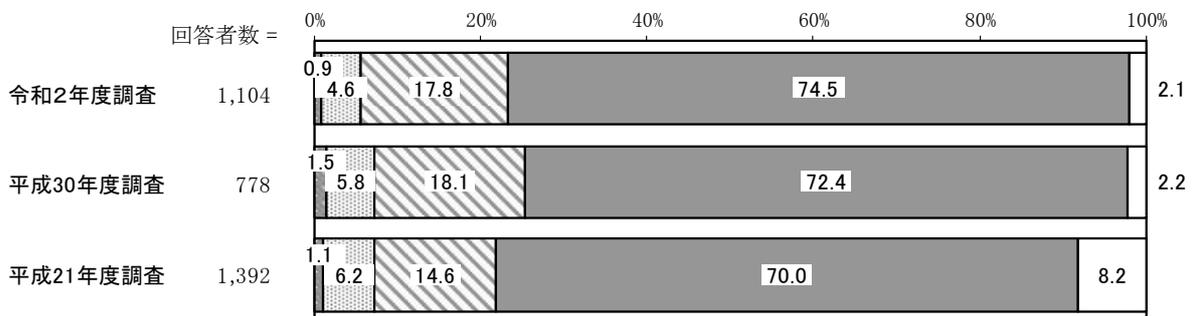
(11) 町内会や総代区等の地域の自治活動に参加している



(12) ボランティア活動に参加している（お住まいの地域以外）

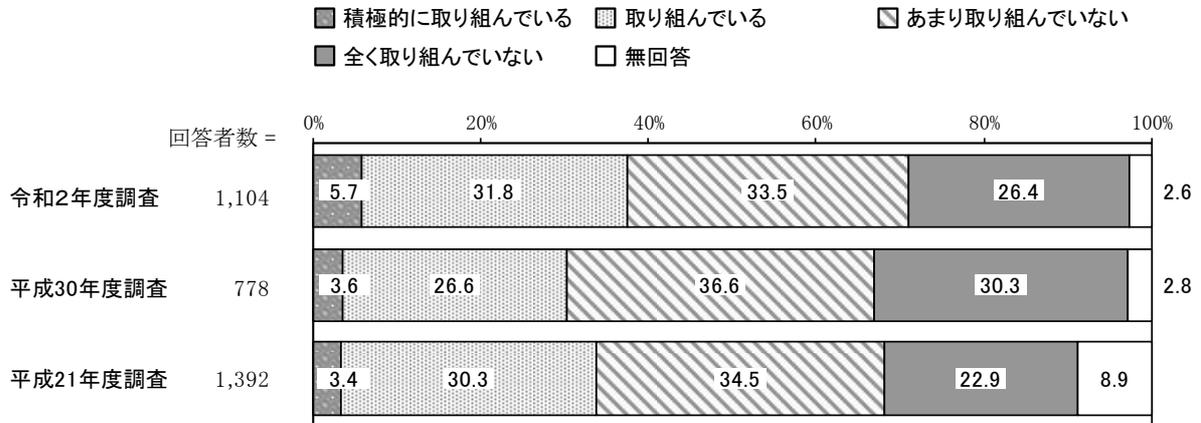


(13) 外国人住民との交流に参加したことがある

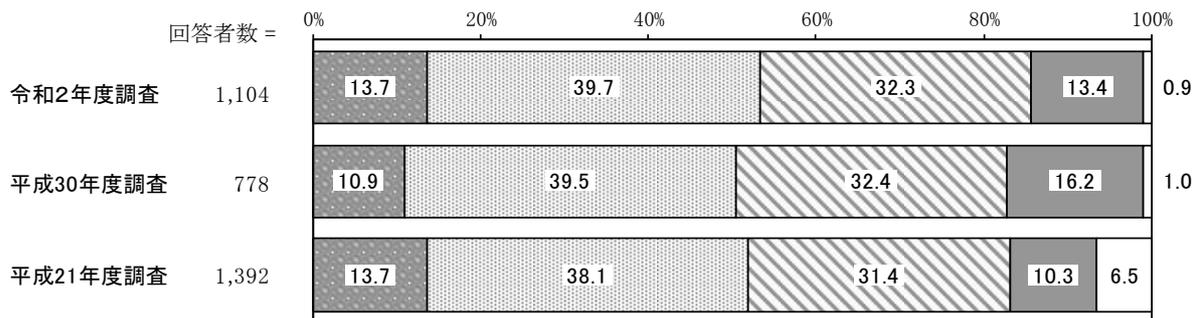


(14) 男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる

平成30年度調査と比較すると、“取り組んでいる”の割合が増加し、“取り組んでいない”の割合が減少しています。



(15) 地元の商店でできるだけ買い物をしている

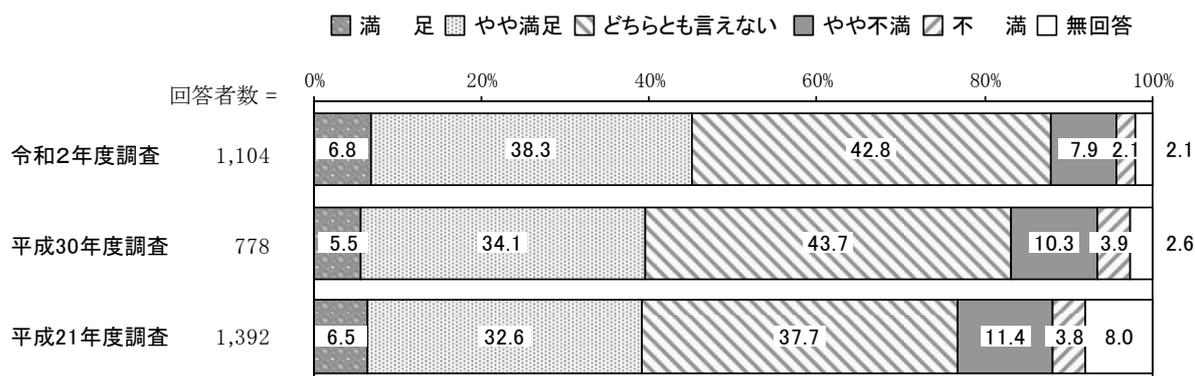


(4) 蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度について

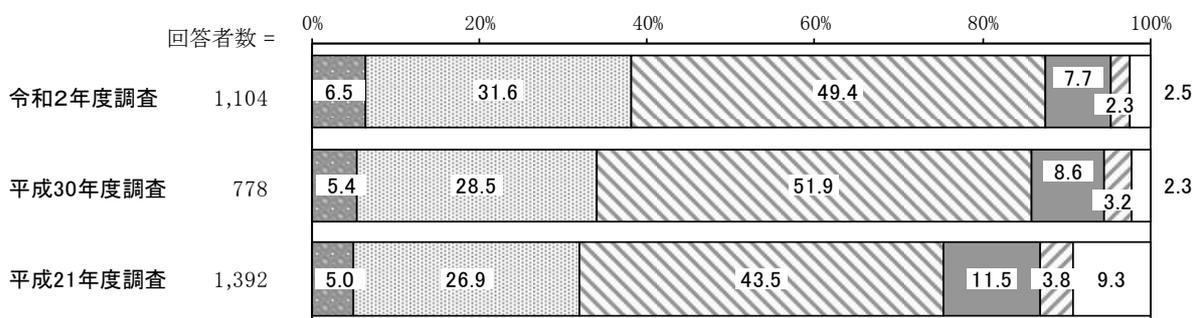
問 16 あなたは、これまでの蒲郡市における(1)～(40)の現状について、どの程度満足していますか。また、今後の蒲郡市のまちづくりにおいて、どれくらい重要であると思いますか。各項目の「満足度」と「重要度」それぞれの欄に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

<満足度>

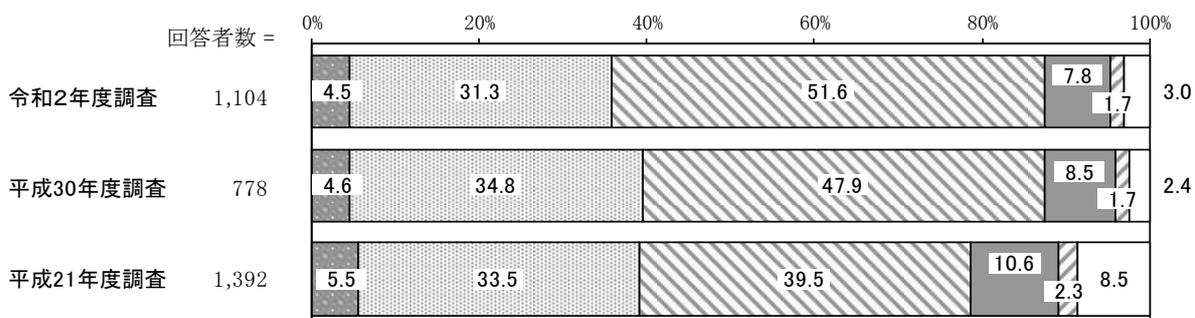
(1) 海や山などの自然環境の保護



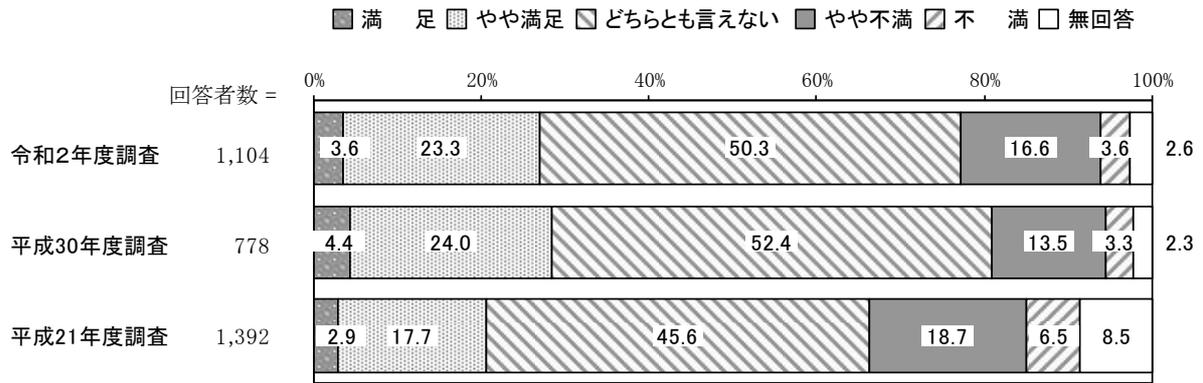
(2) 海とふれあうまちづくり



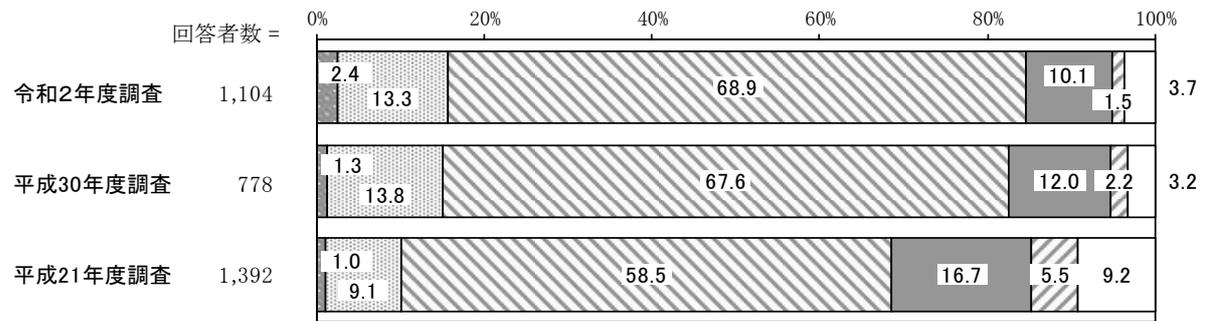
(3) ごみの減量化、リサイクル活動



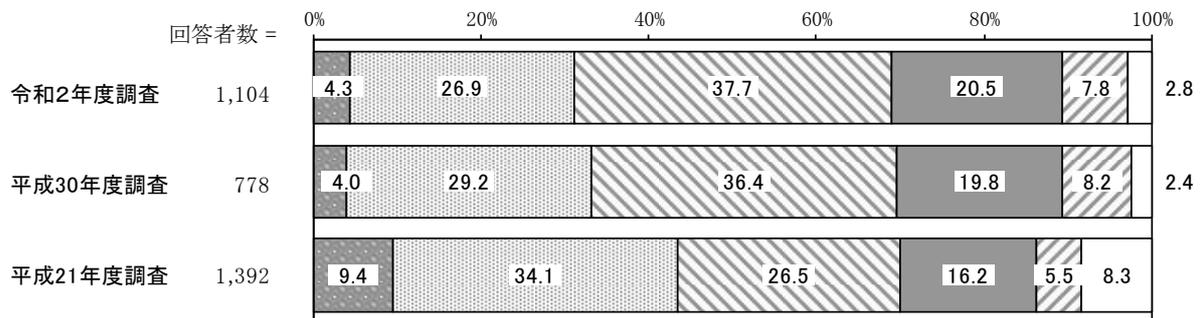
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策



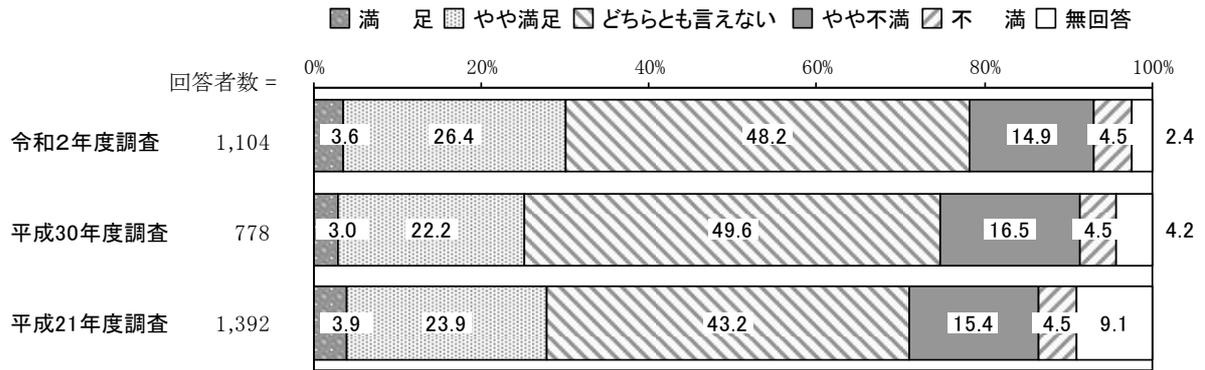
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動



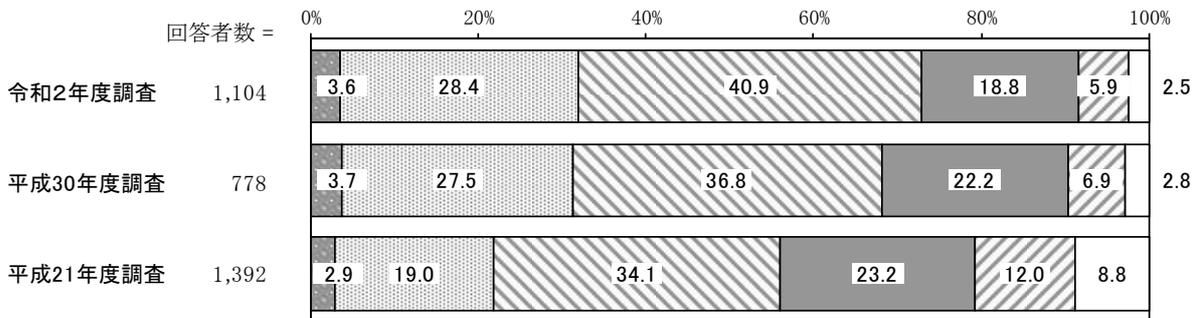
(6) 駅前などの市街地の整備



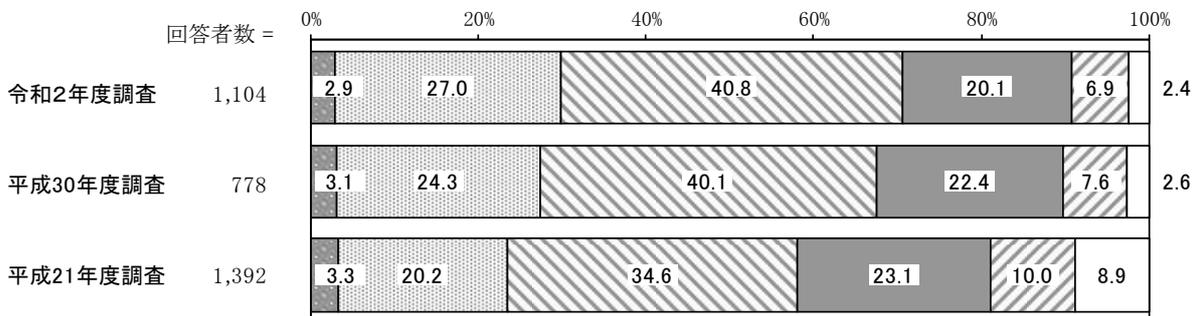
(7) 景観・まちなみへの配慮



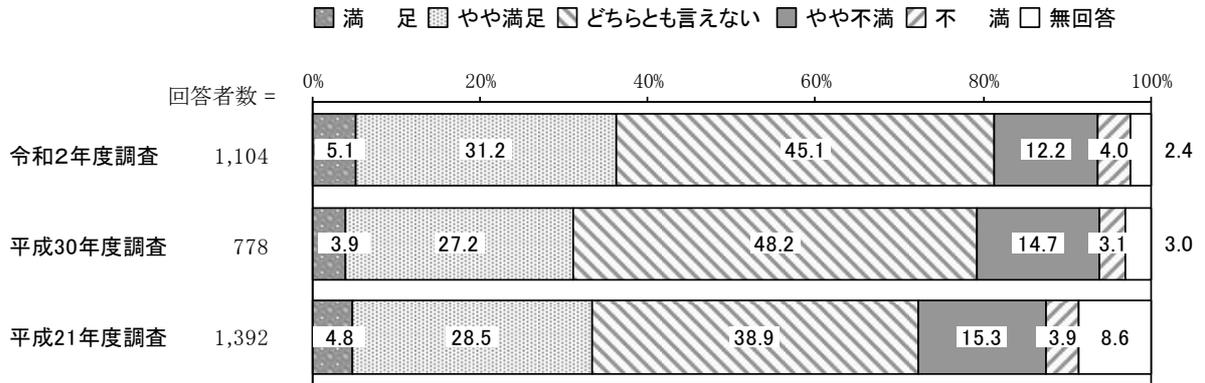
(8) 幹線道路の整備



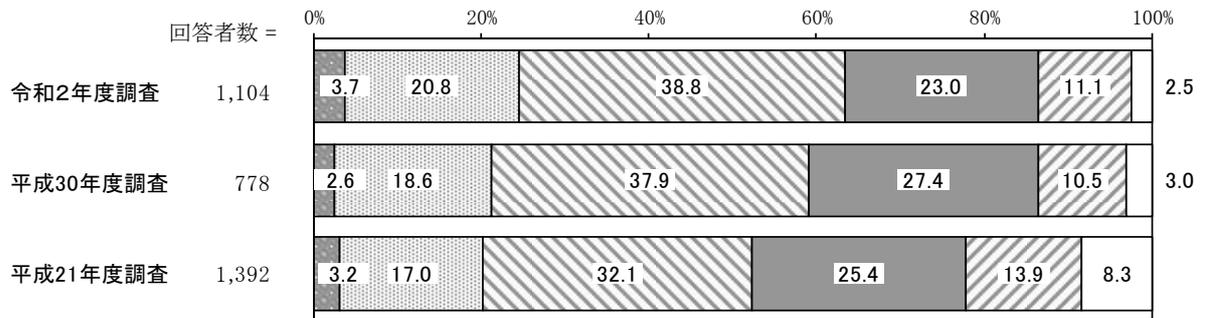
(9) 生活道路の整備



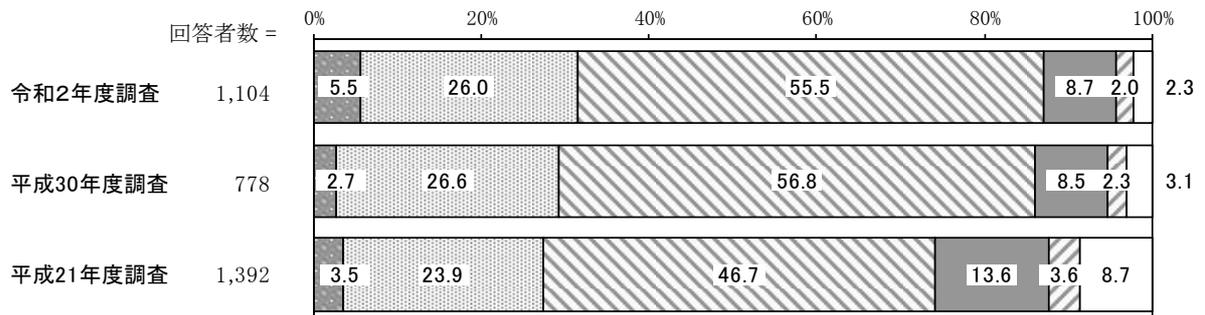
(10) 公園・緑地の整備



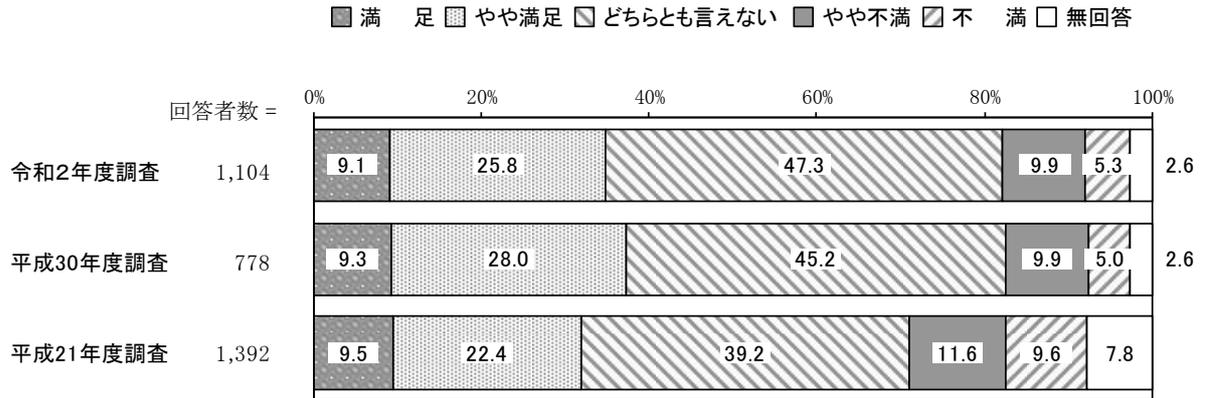
(11) 公共交通の利便性



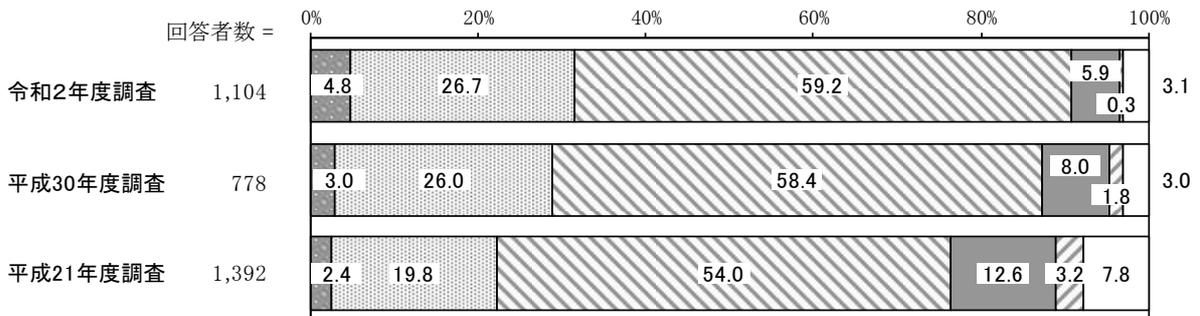
(12) 住宅・宅地の環境



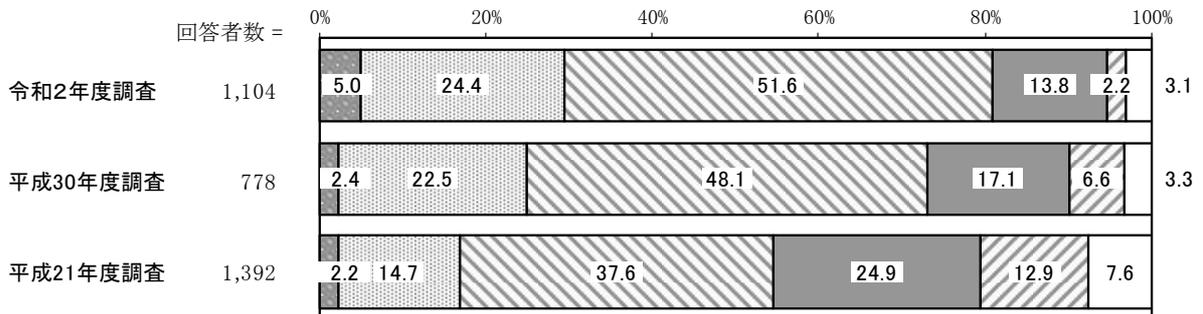
(13) 下水処理対策



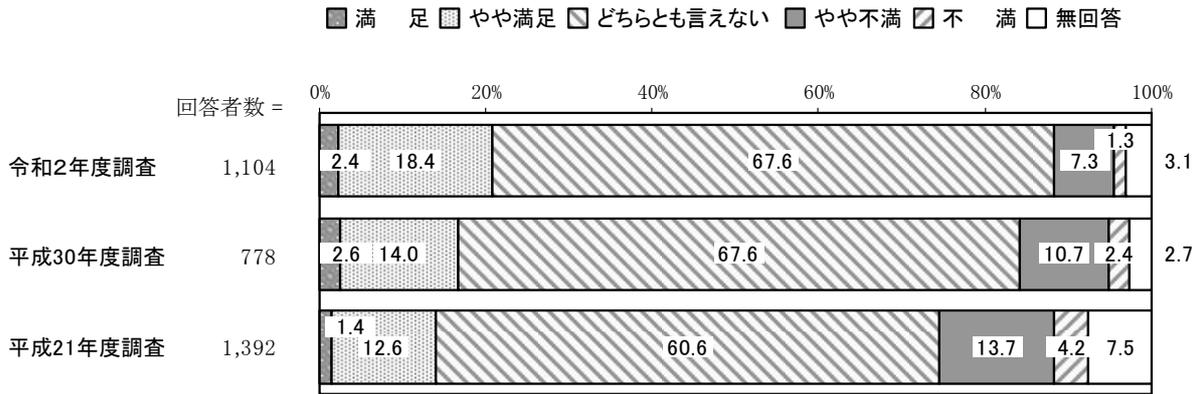
(14) 健康づくり・疾病対策



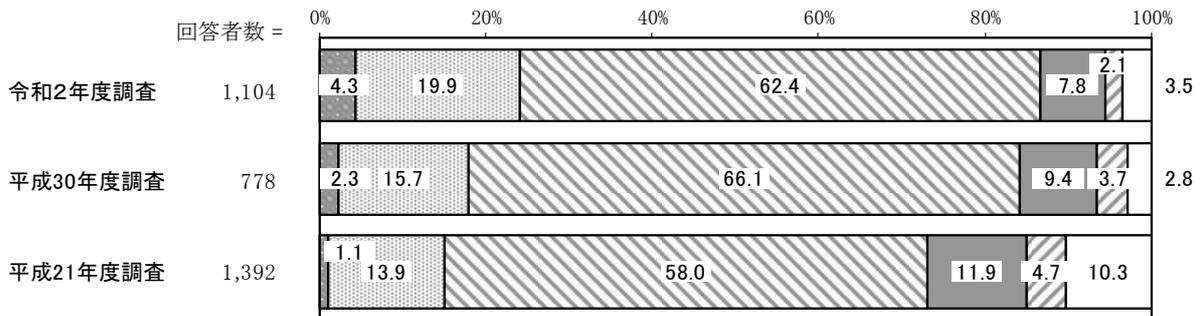
(15) 地域医療体制



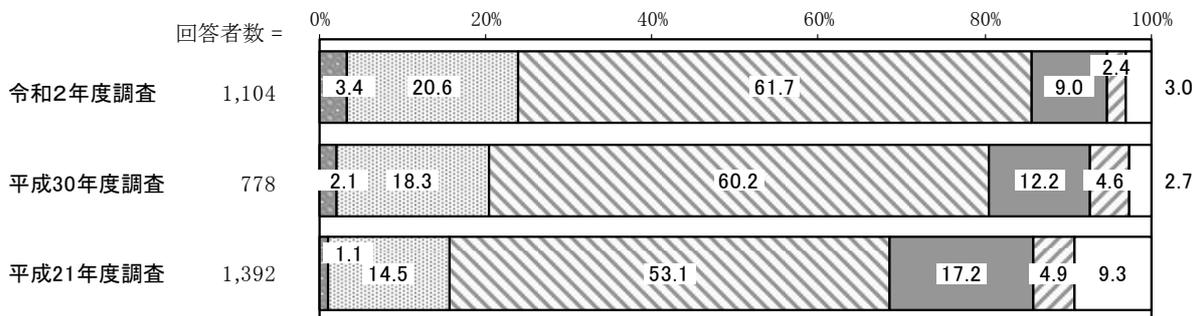
(16) 地域での支え合い・福祉活動



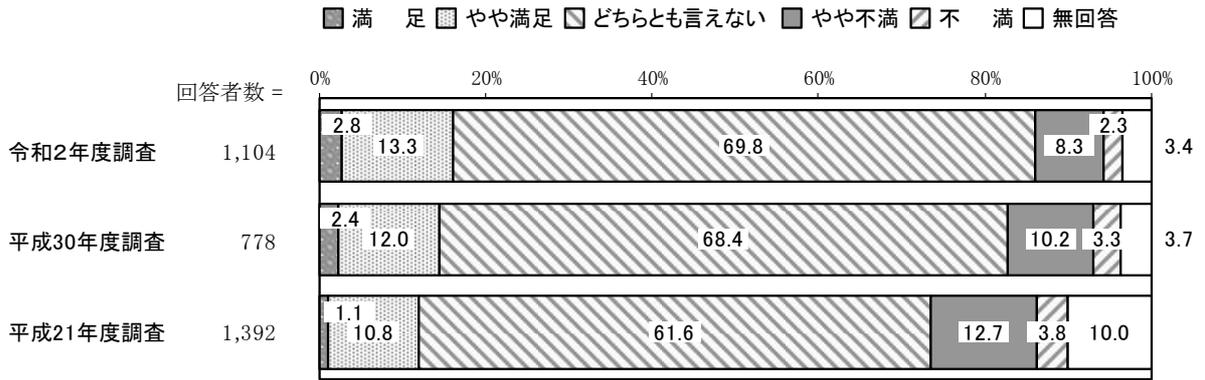
(17) 子育てに対する支援



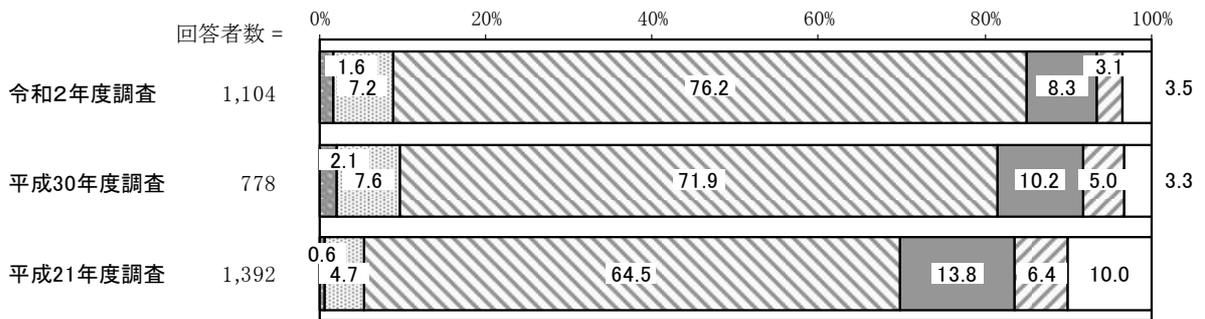
(18) 高齢者への福祉施策



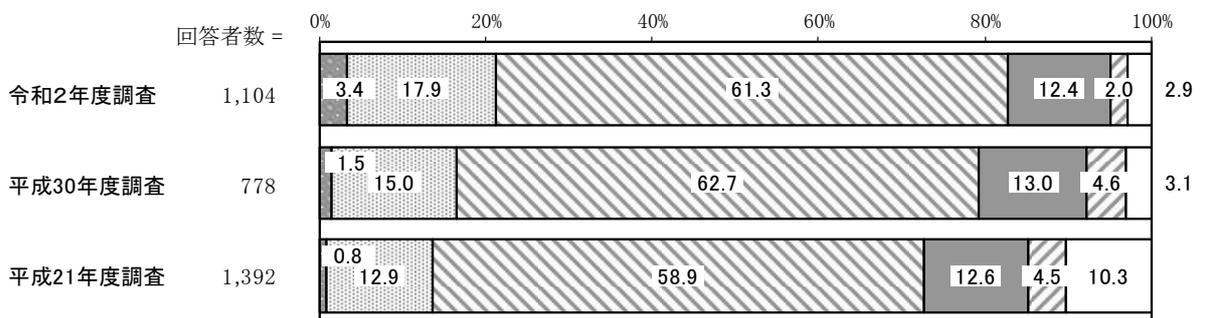
(19) 障がい者への福祉施策



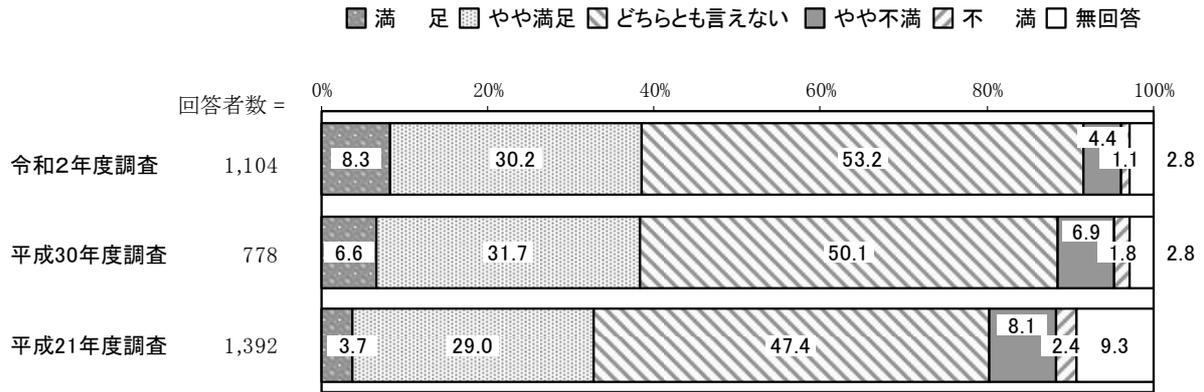
(20) 低所得者の自立支援



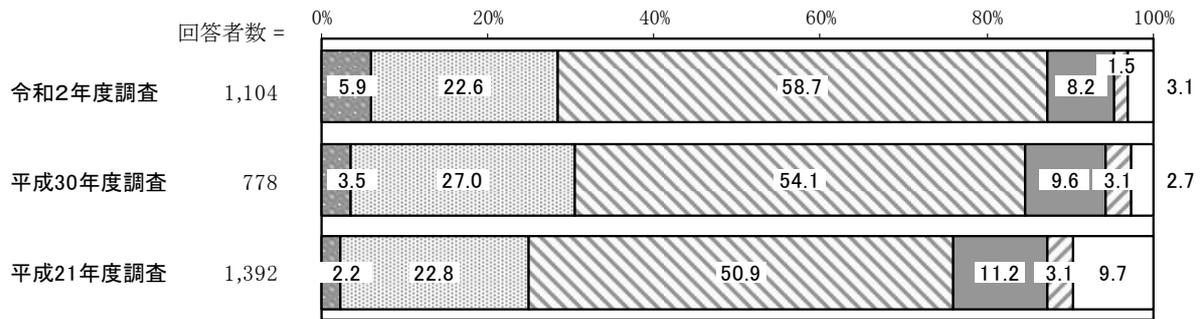
(21) 災害に強いまちづくり



(22) 消防・救急体制

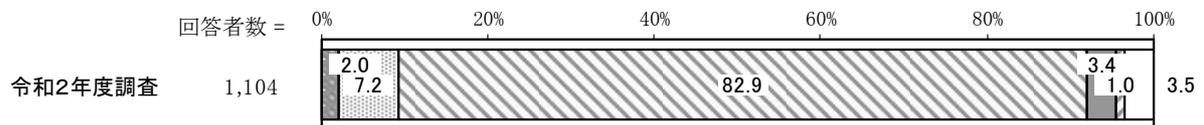


(23) 交通安全・防犯対策

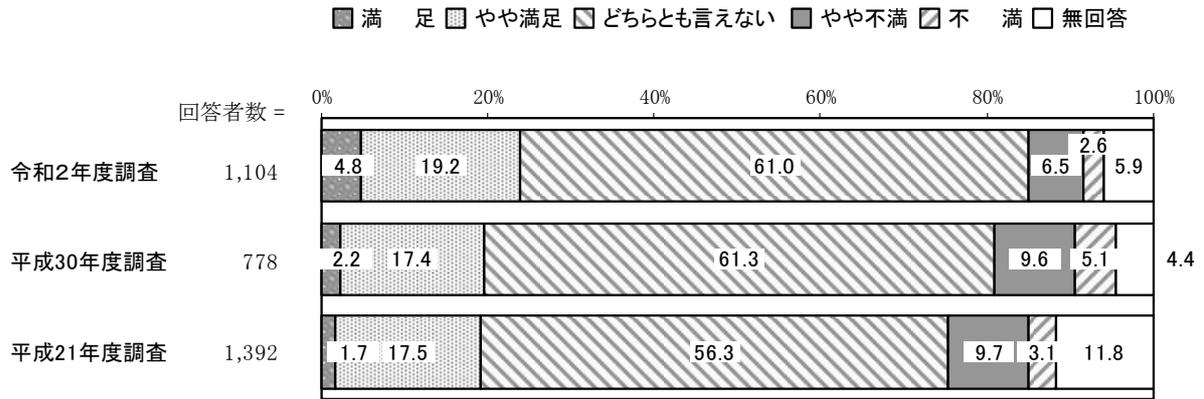


(24) 外国人住民への生活支援

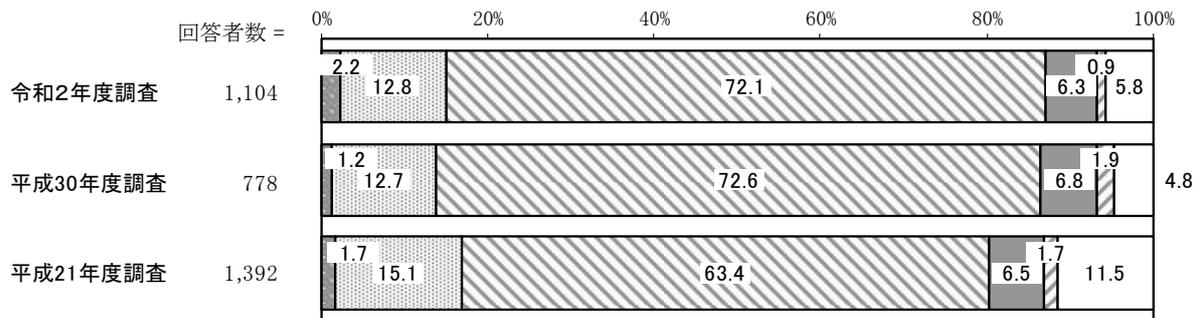
「不満」と「やや満足」を合わせた“不満”の割合が4.4%、「やや満足」と「満足」を合わせた“満足”の割合が9.2%、「どちらとも言えない」の割合が82.9%となっています。



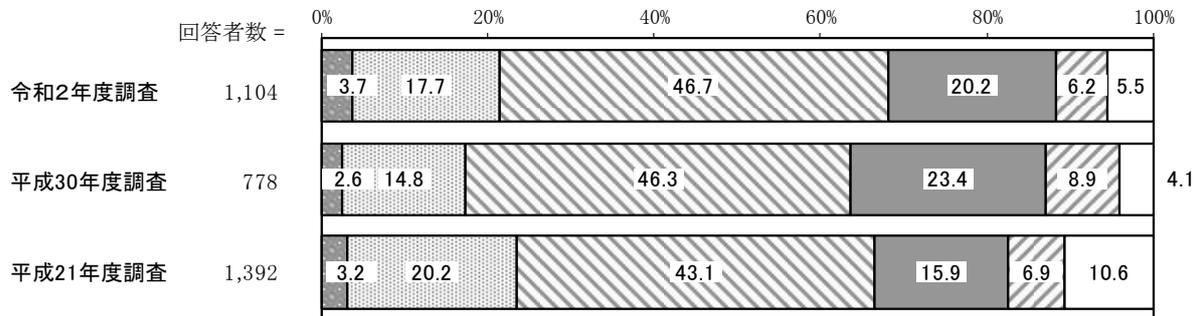
(25) 小中学校の教育内容や環境



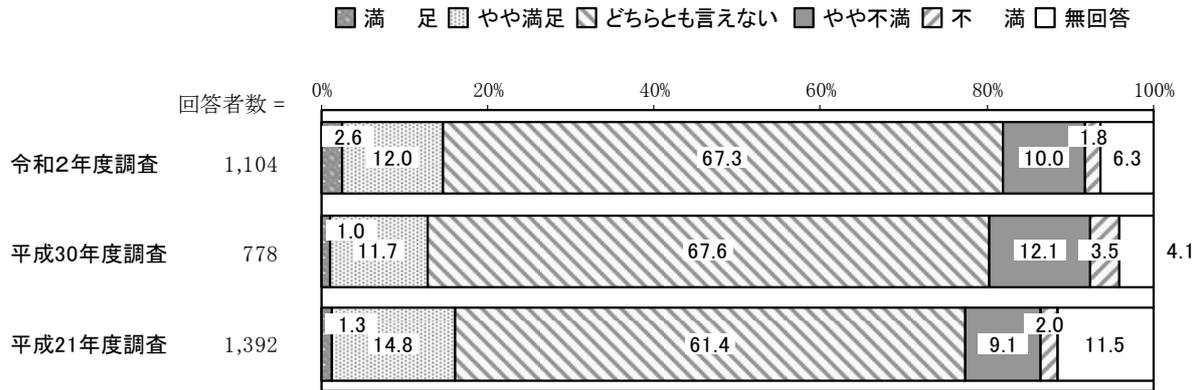
(26) 生涯学習活動



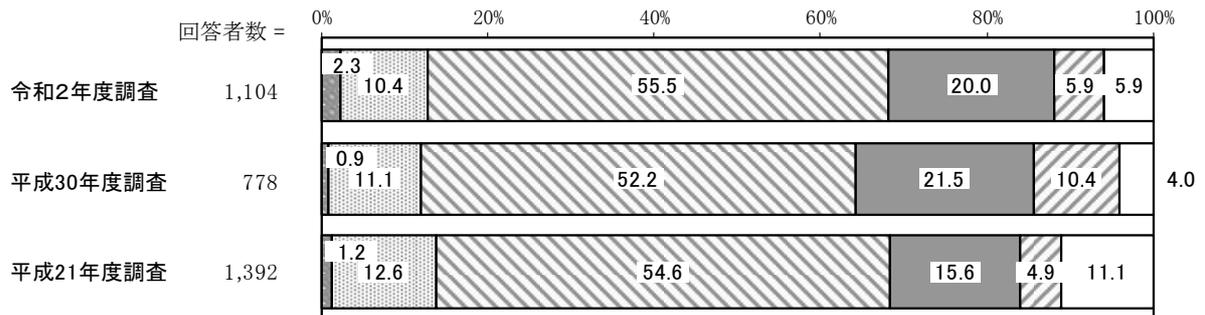
(27) 図書館、ホールなどの施設の整備



(28) 文化活動や文化の継承

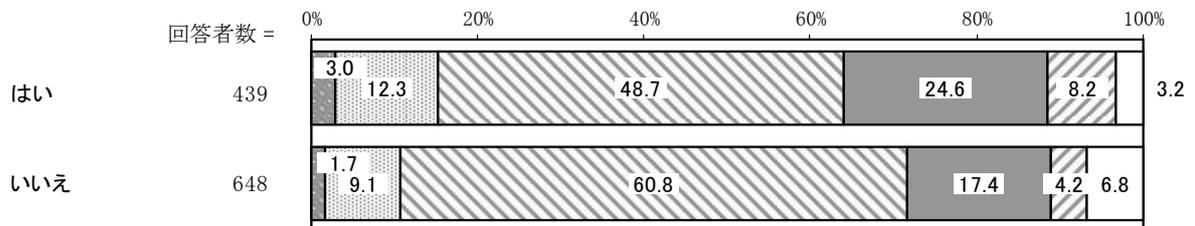


(29) スポーツ施設の整備

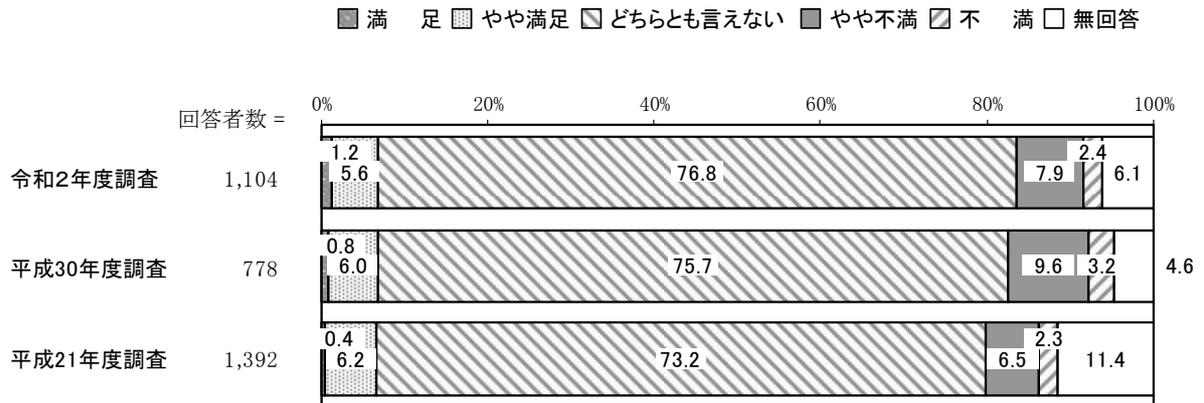


【1年間にスポーツを行った経験別】

1年間にスポーツを行った経験別でみると、いいえに比べ、はいで“不満”の割合が高くなっています。

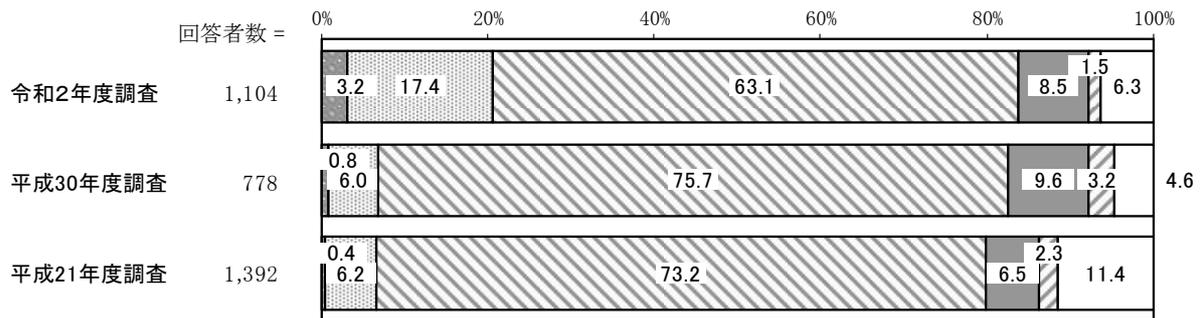


(30) 国際化、外国人との交流・共生

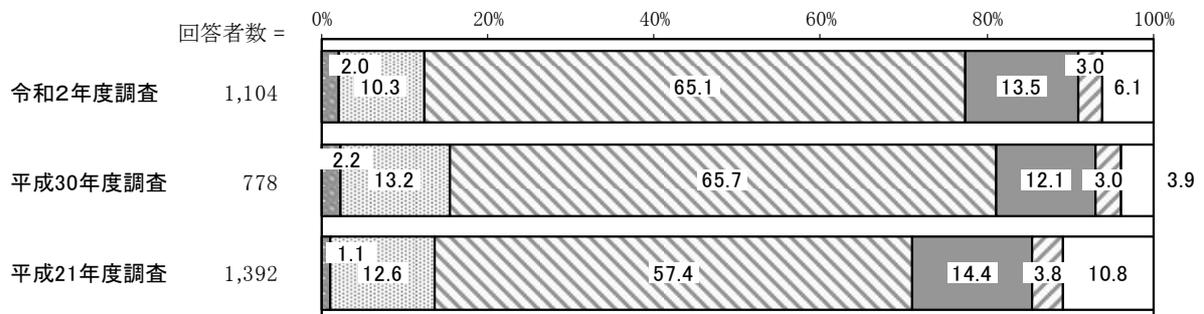


(31) 農業や水産業の振興

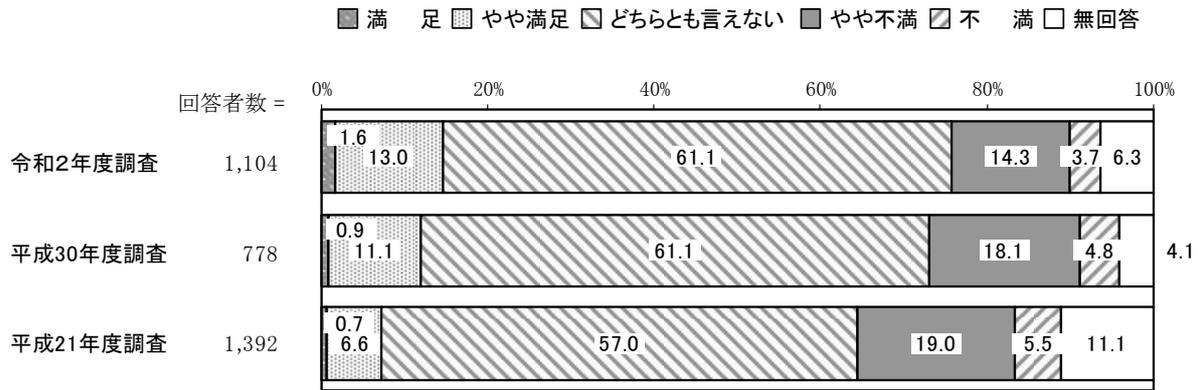
平成30年度調査と比較すると、「やや満足」の割合が増加しています。一方、「どちらとも言えない」の割合が減少しています。



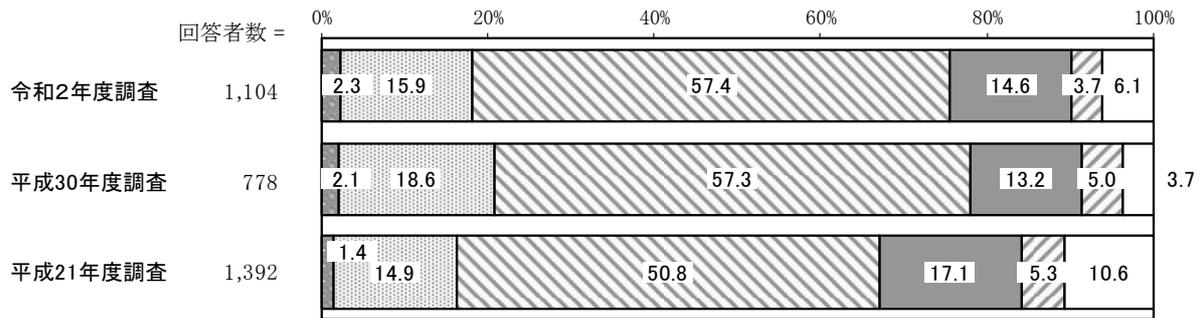
(32) 工業の振興や企業誘致



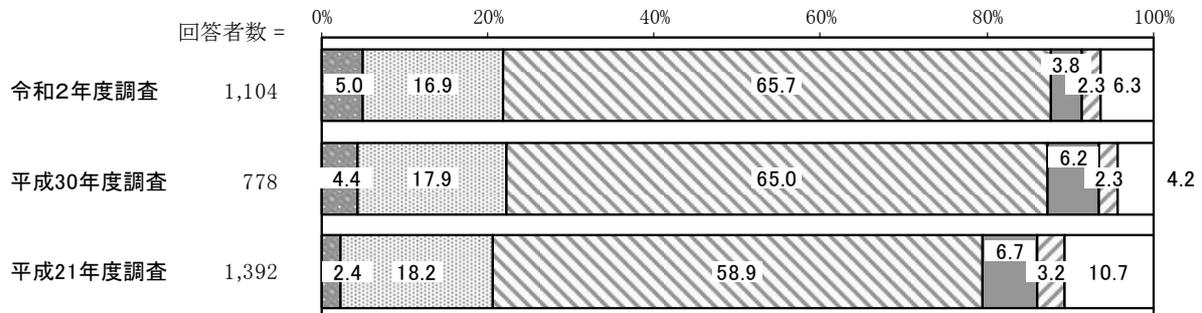
(33) 商業やサービス業の振興



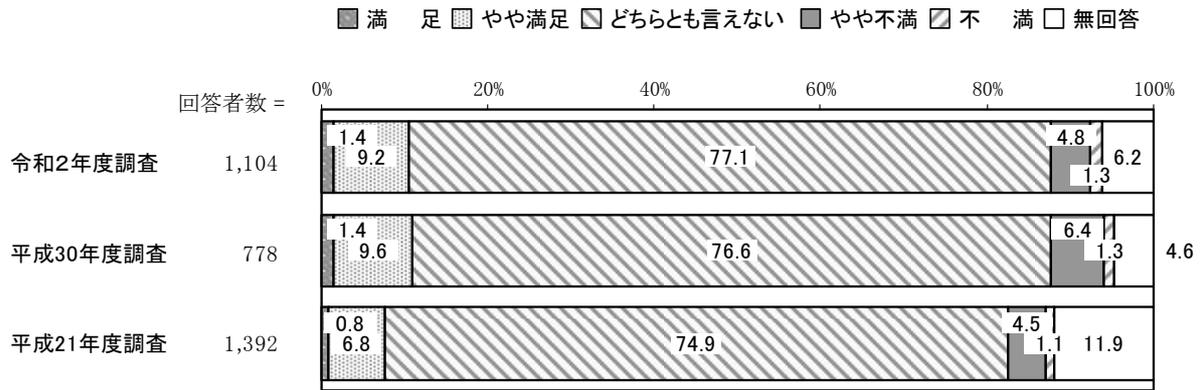
(34) 観光の振興



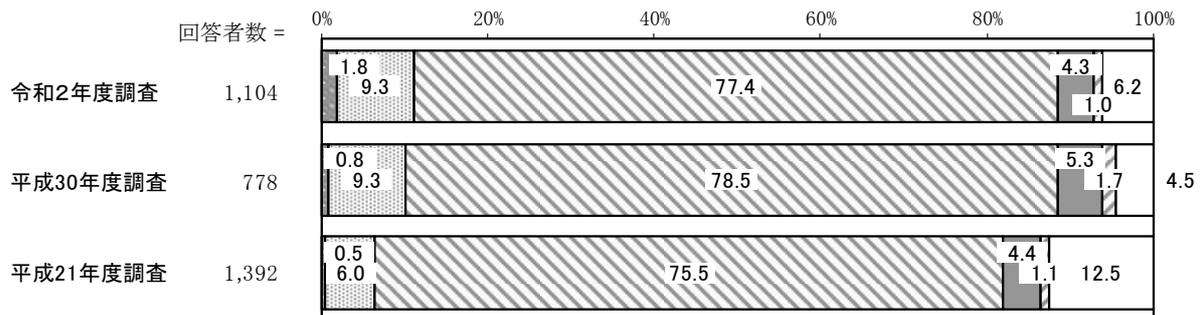
(35) ボートレースの円滑な運営や活性化



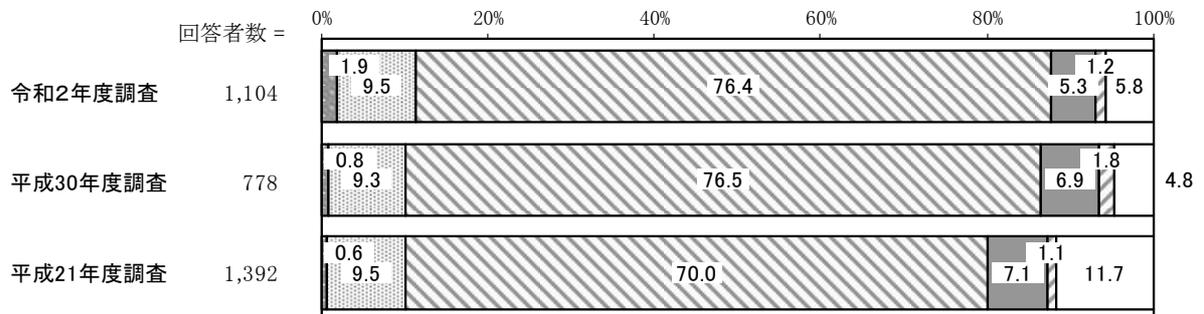
(36) 男女共同参画の推進



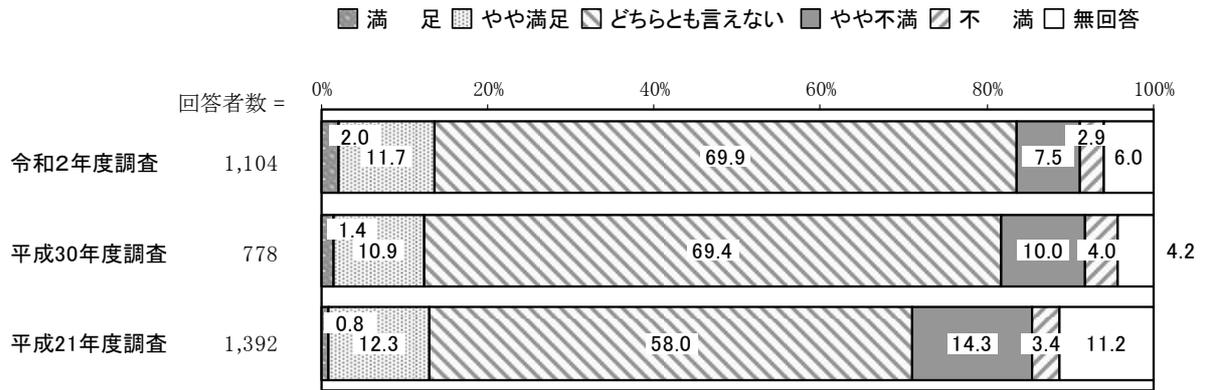
(37) コミュニティ活動の支援



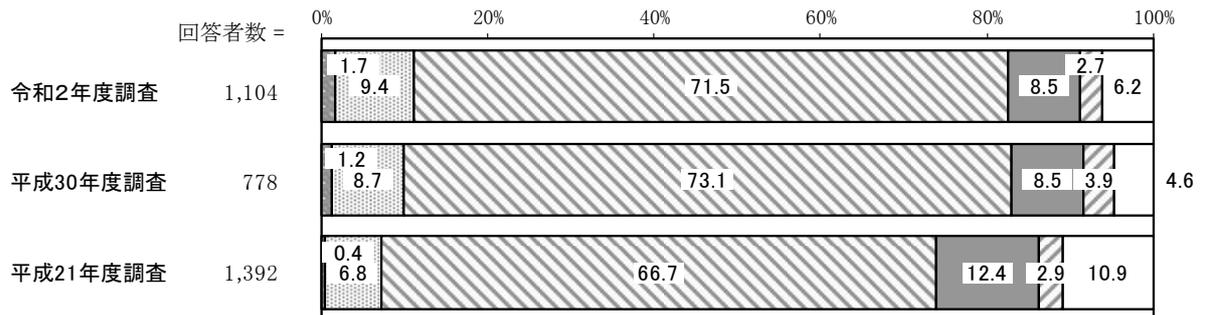
(38) ボランティア育成や市民活動支援



(39) 市政の情報提供や市民の声の広聴

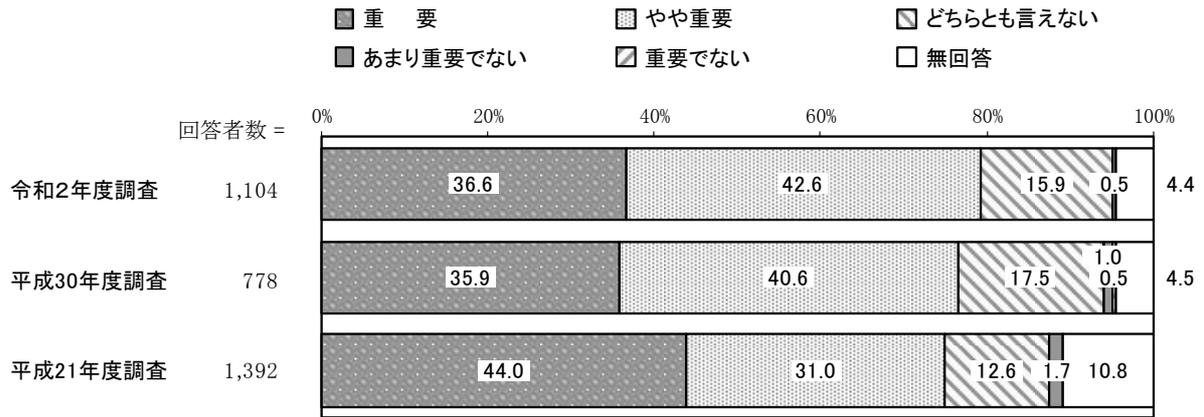


(40) 周辺市町村との連携

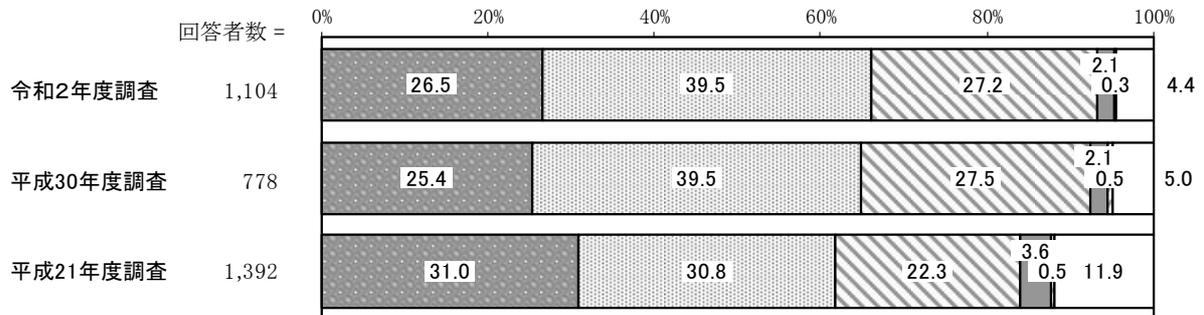


<重要度>

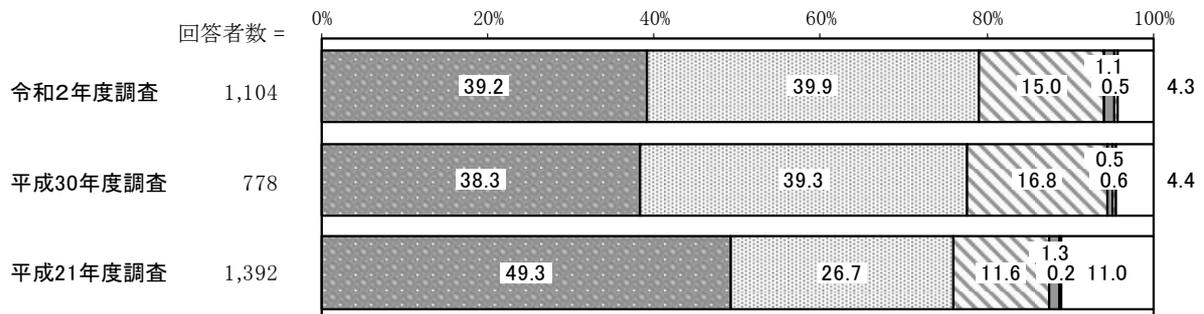
(1) 海や山などの自然環境の保護



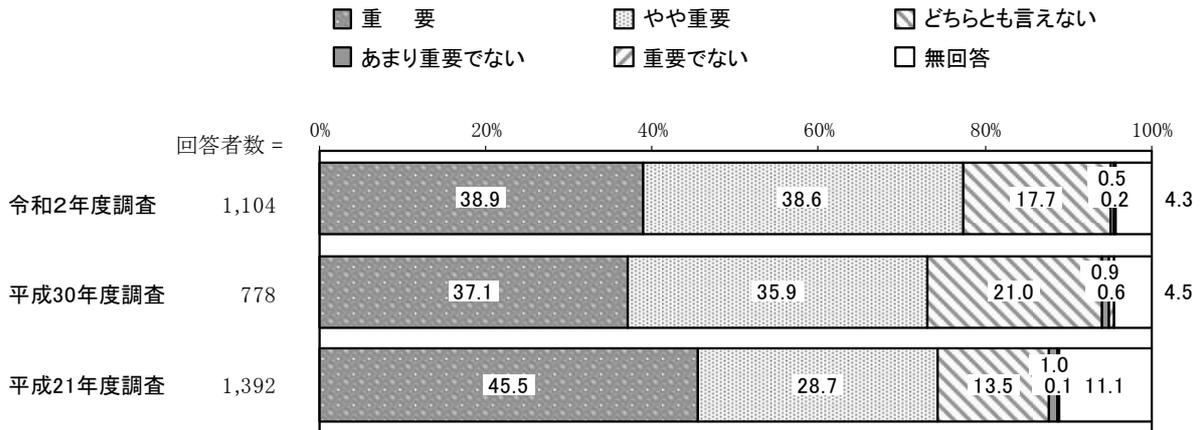
(2) 海とふれあうまちづくり



(3) ごみの減量化、リサイクル活動



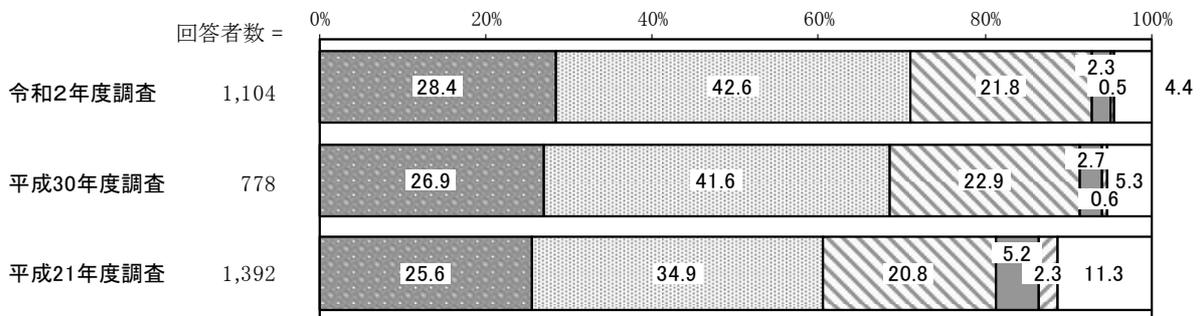
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策



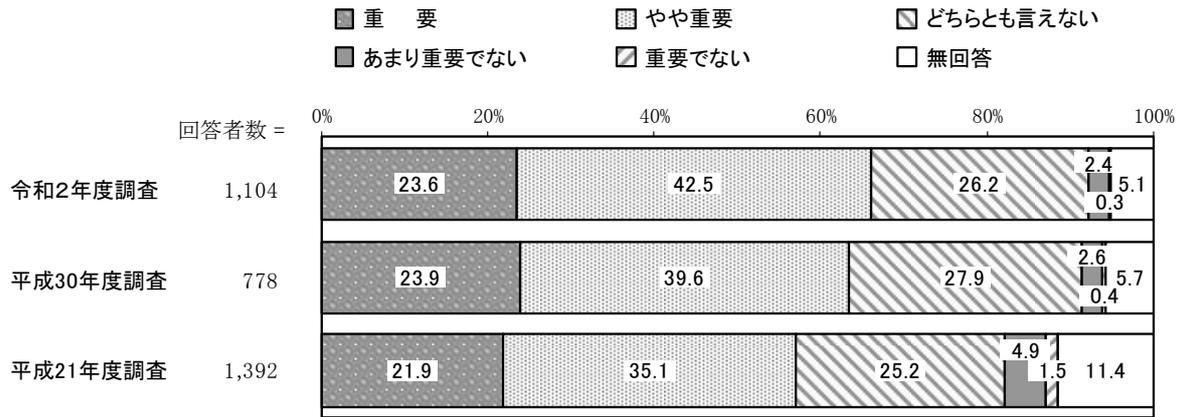
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動



(6) 駅前などの市街地の整備



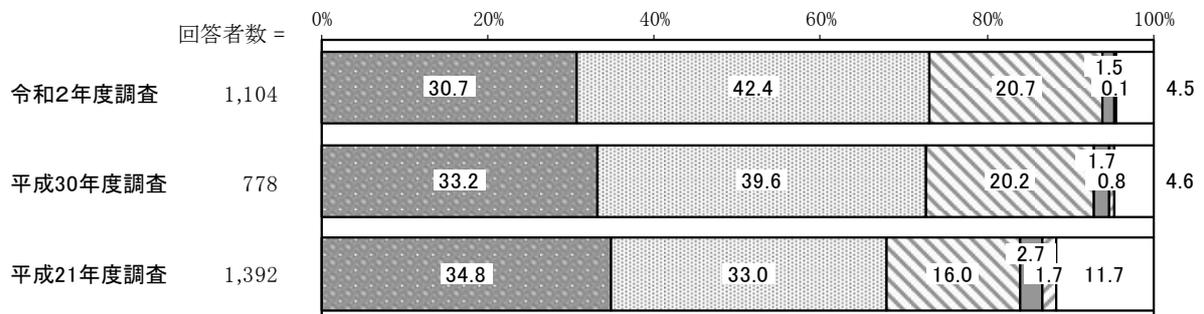
(7) 景観・まちなみへの配慮



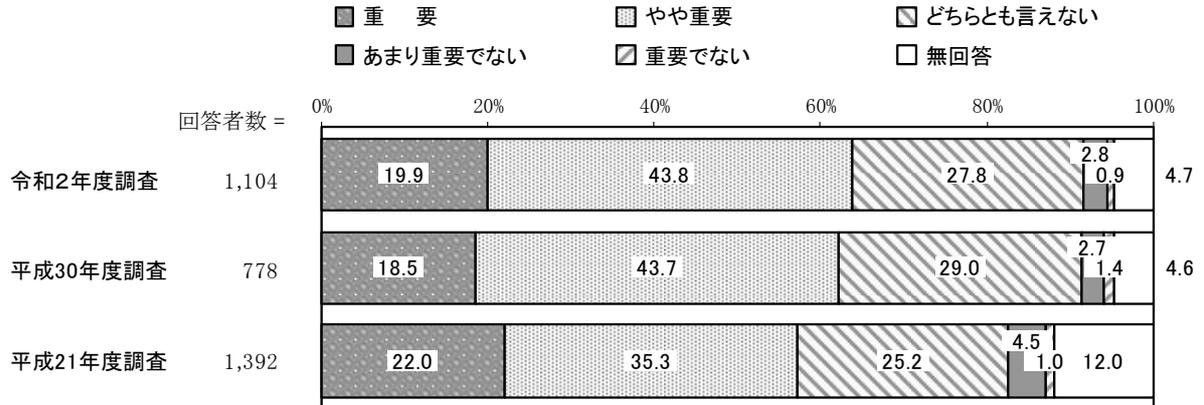
(8) 幹線道路の整備



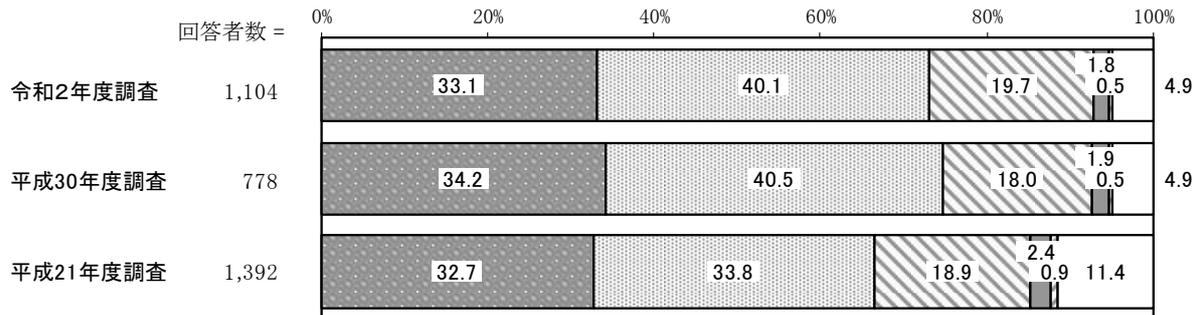
(9) 生活道路の整備



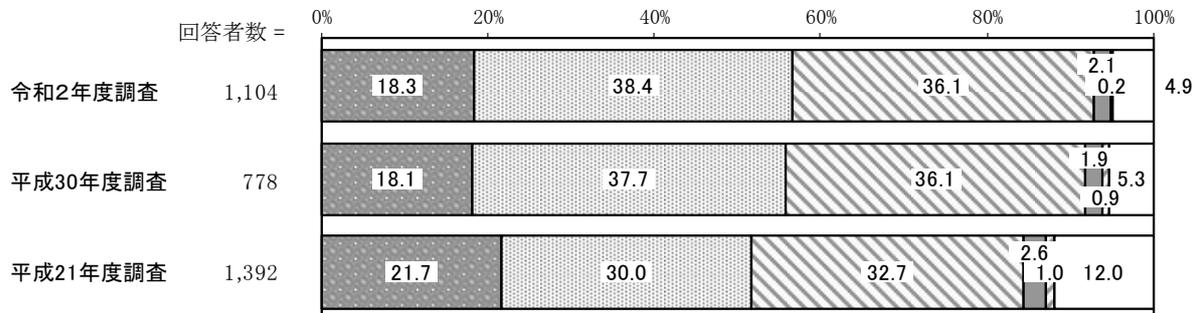
(10) 公園・緑地の整備



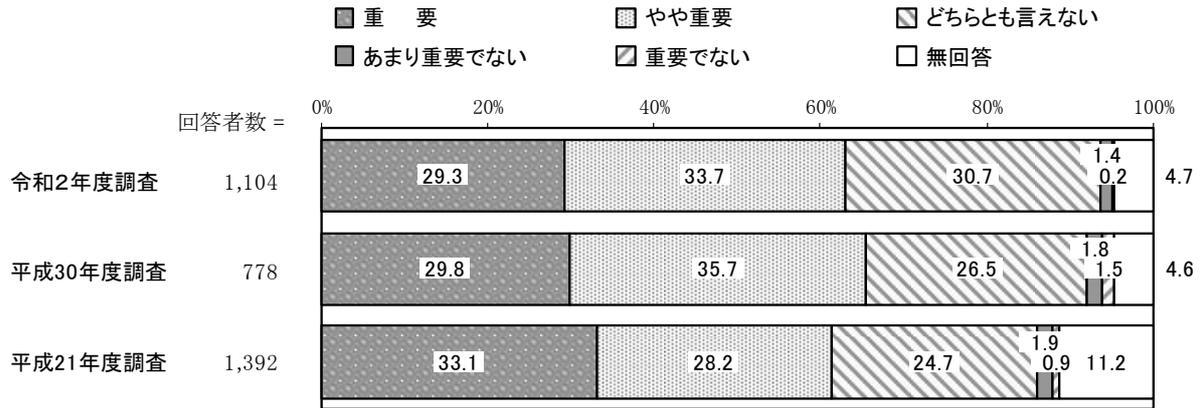
(11) 公共交通の利便性



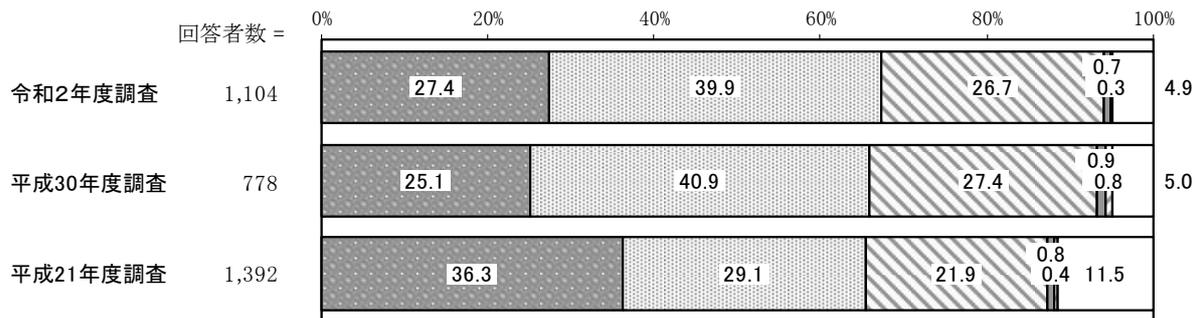
(12) 住宅・宅地の環境



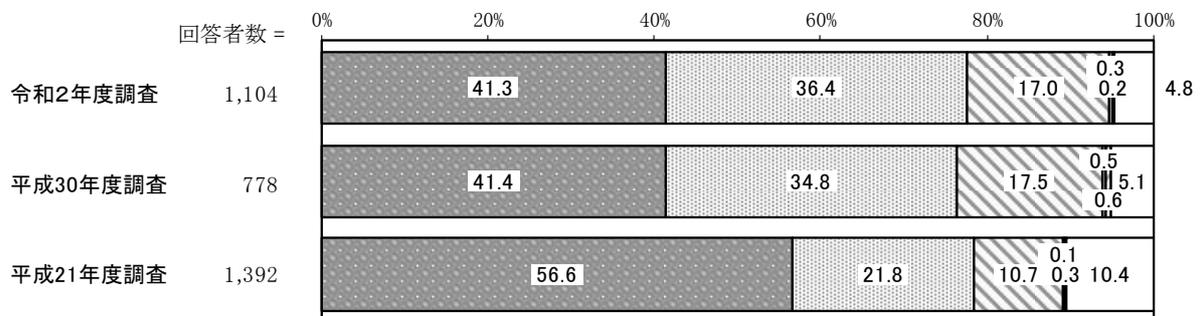
(13) 下水処理対策



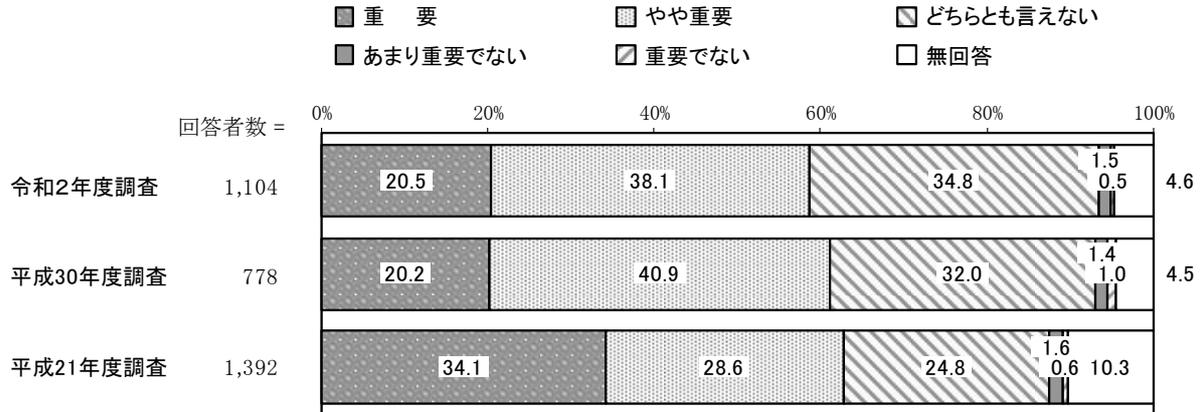
(14) 健康づくり・疾病対策



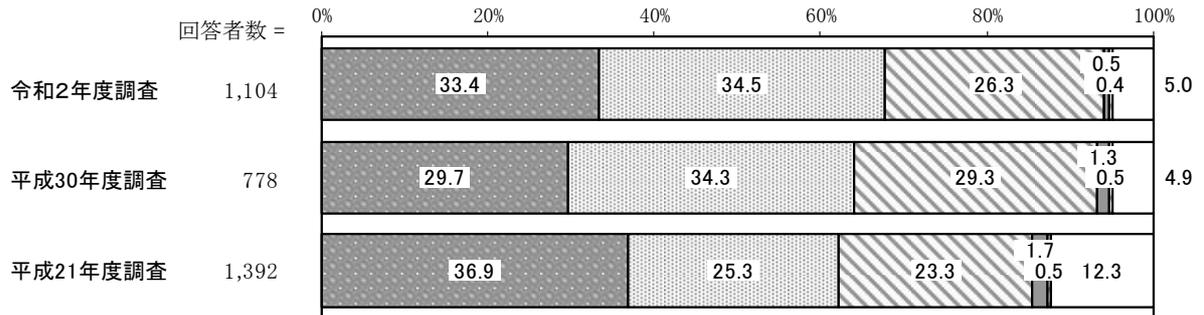
(15) 地域医療体制



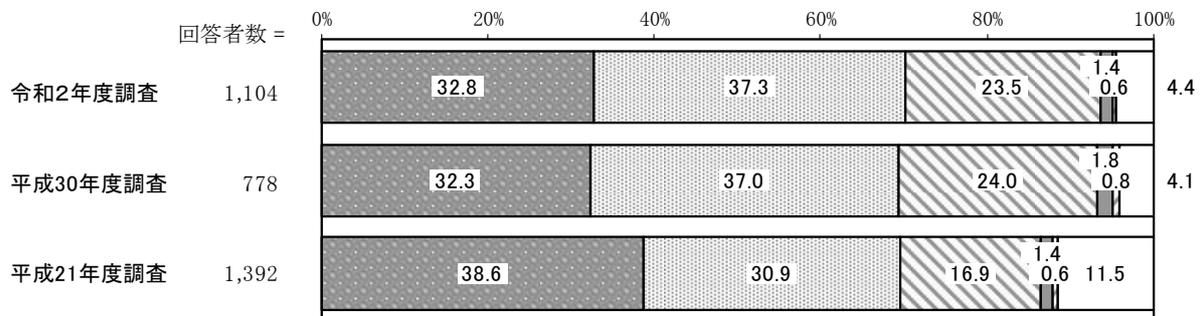
(16) 地域での支え合い・福祉活動



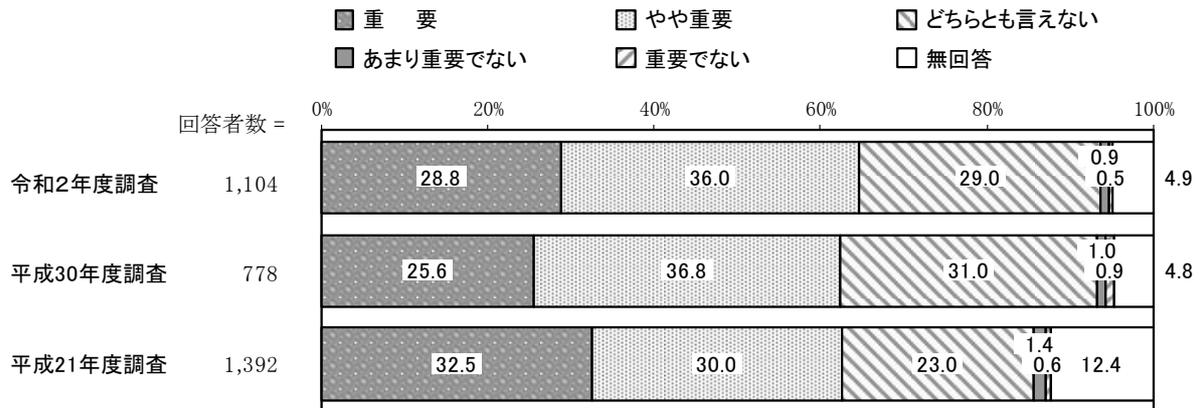
(17) 子育てに対する支援



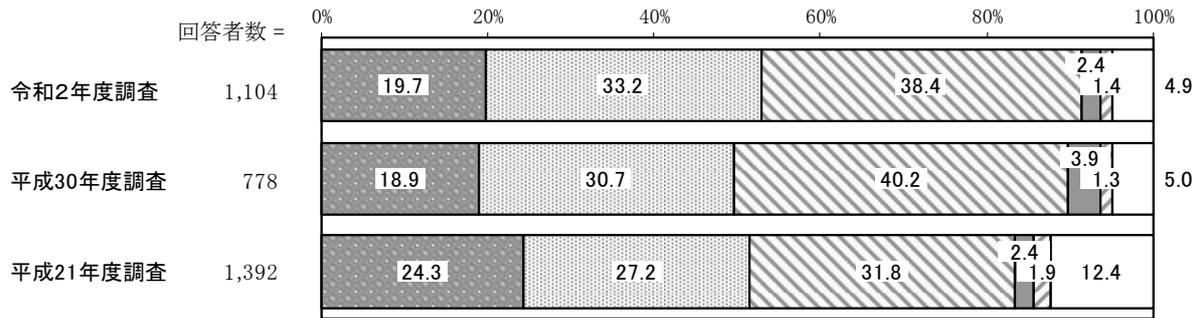
(18) 高齢者への福祉施策



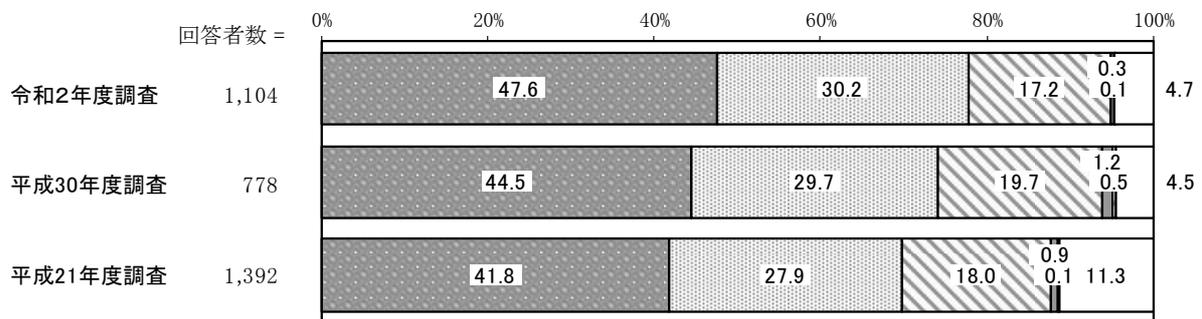
(19) 障がい者への福祉施策



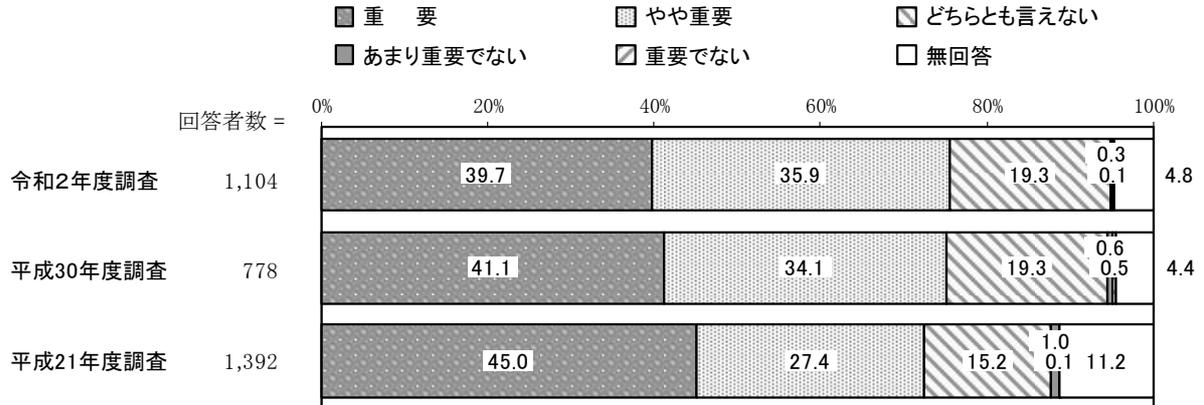
(20) 低所得者の自立支援



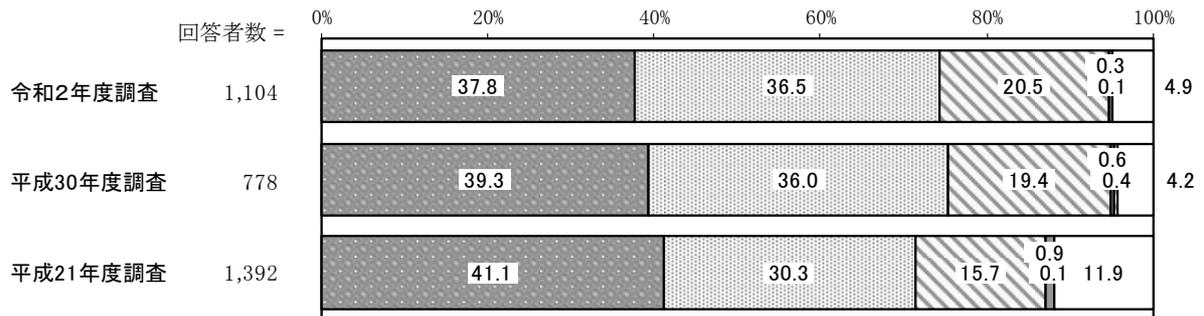
(21) 災害に強いまちづくり



(22) 消防・救急体制

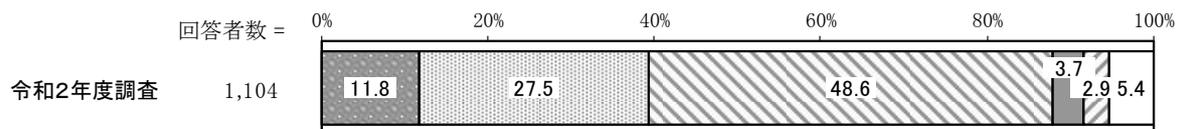


(23) 交通安全・防犯対策

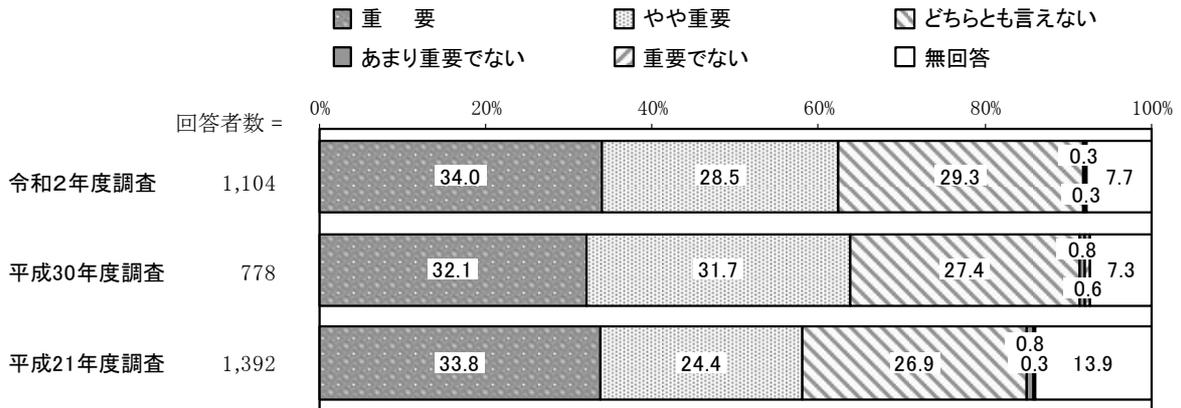


(24) 外国人住民への生活支援

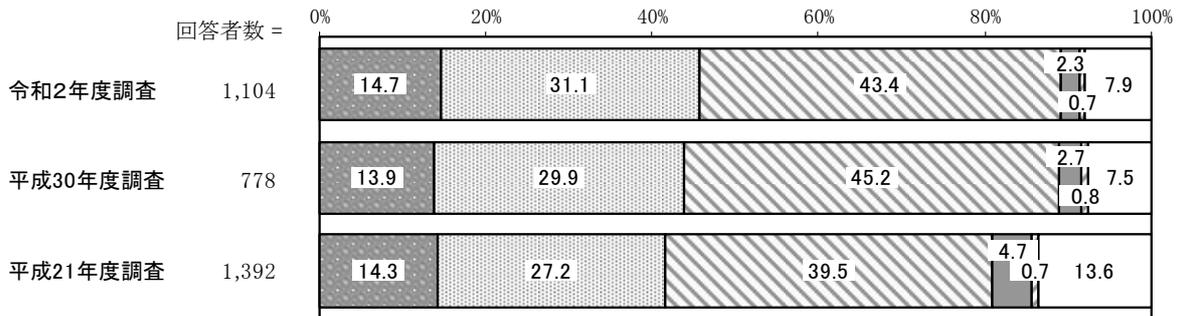
「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた「重要でない」の割合が6.6%、「やや重要」と「重要」を合わせた「重要」の割合が39.3%、「どちらとも言えない」の割合が48.6%となっています。



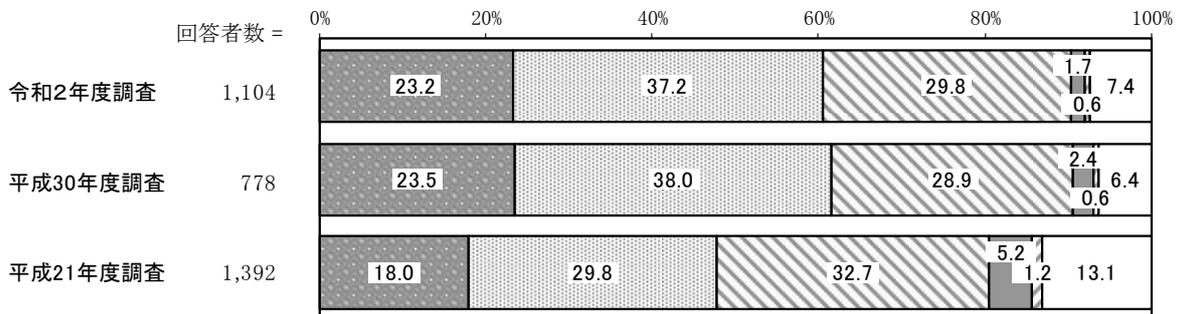
(25) 小中学校の教育内容や環境



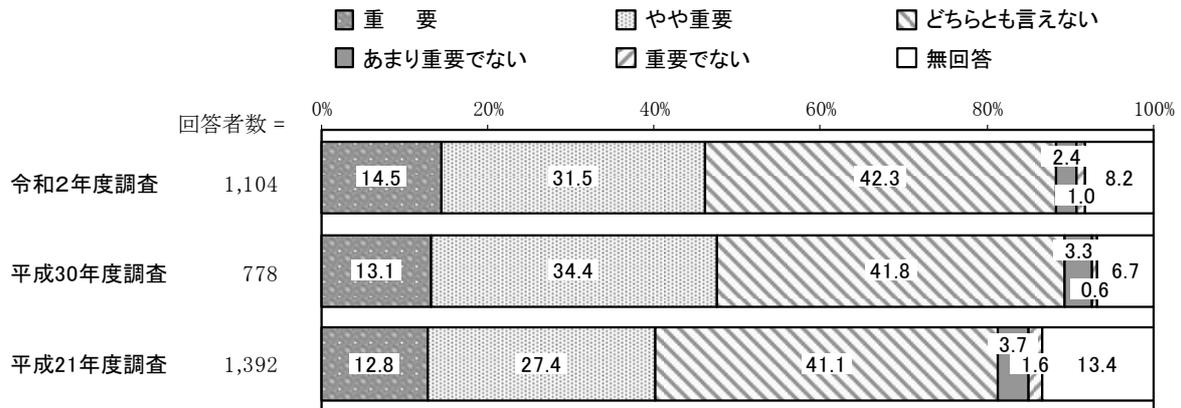
(26) 生涯学習活動



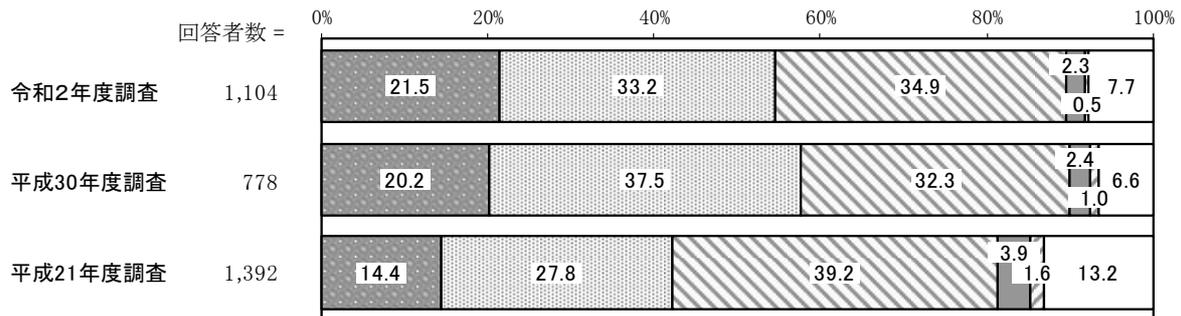
(27) 図書館、ホールなどの施設の整備



(28) 文化活動や文化の継承

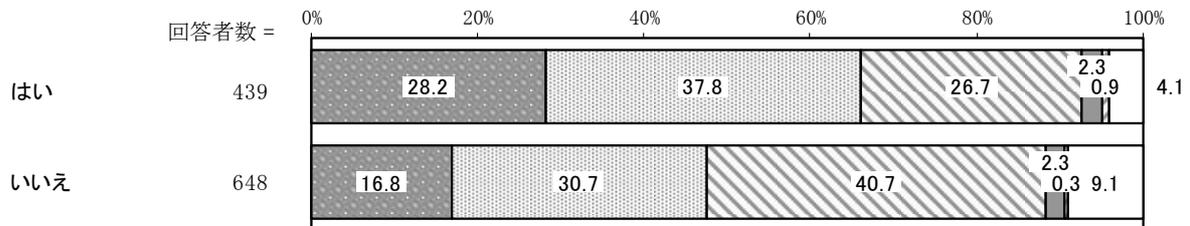


(29) スポーツ施設の整備

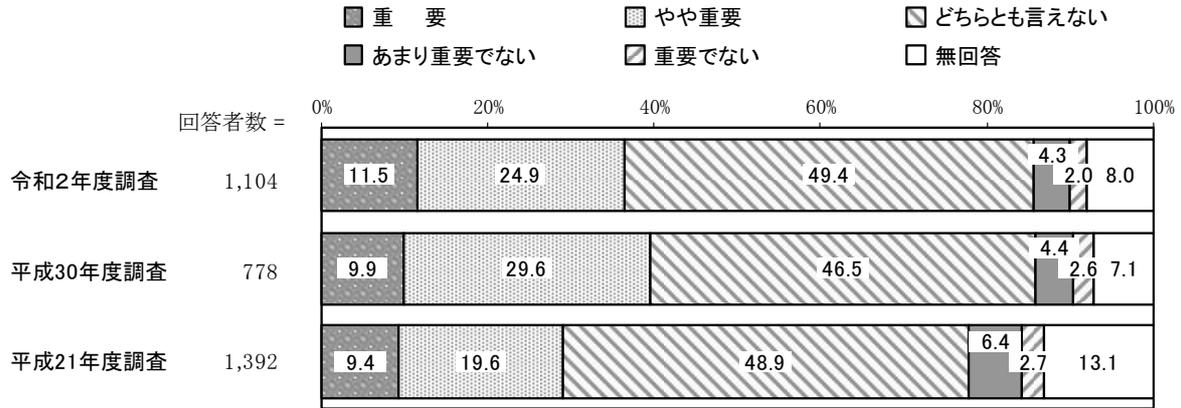


【1年間にスポーツを行った経験別】

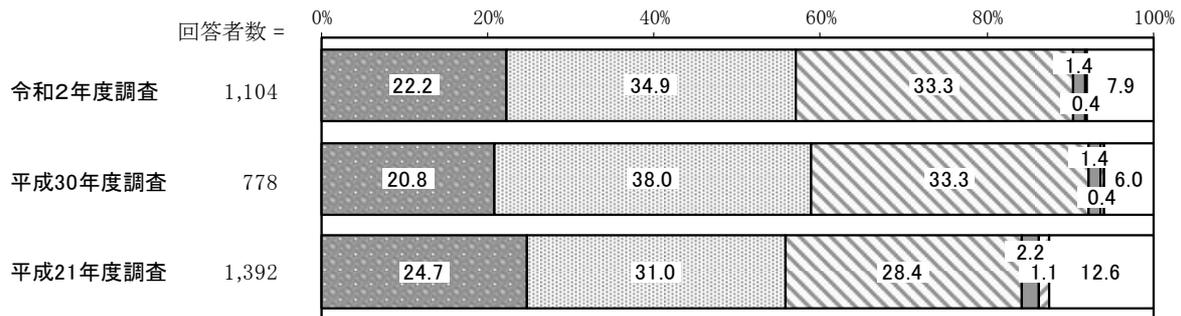
1年間にスポーツを行った経験別でみると、いいえに比べ、はいで“重要”の割合が高くなっています。



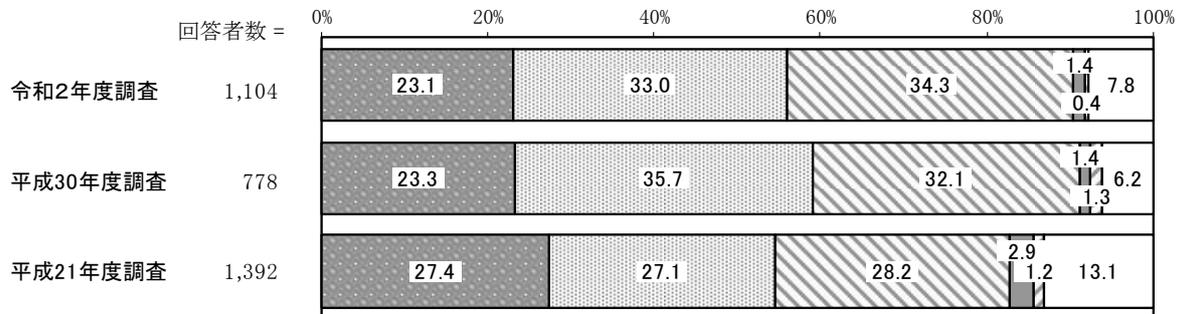
(30) 国際化、外国人との交流・共生



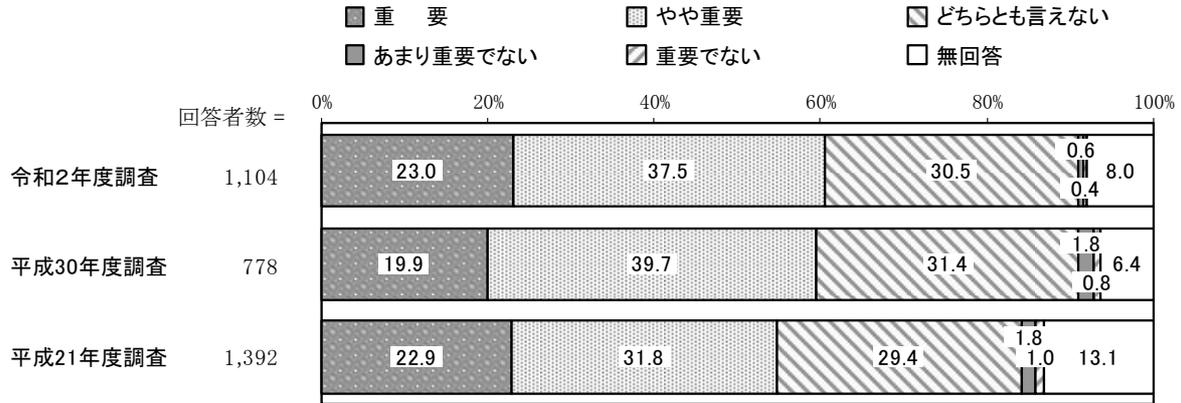
(31) 農業や水産業の振興



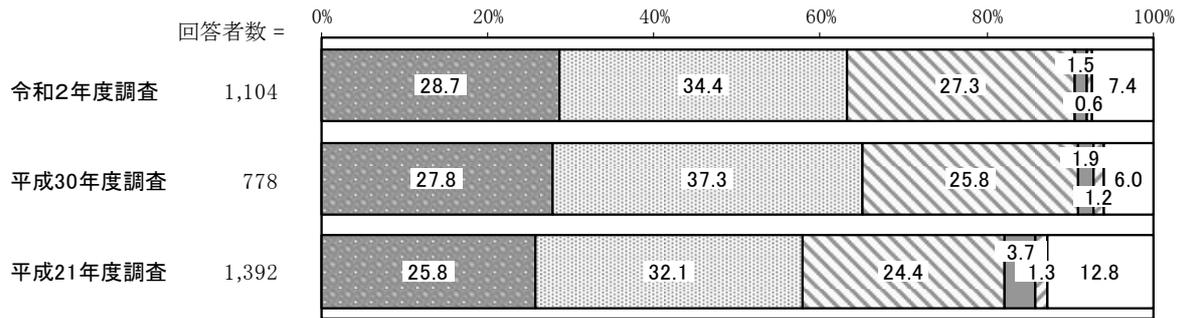
(32) 工業の振興や企業誘致



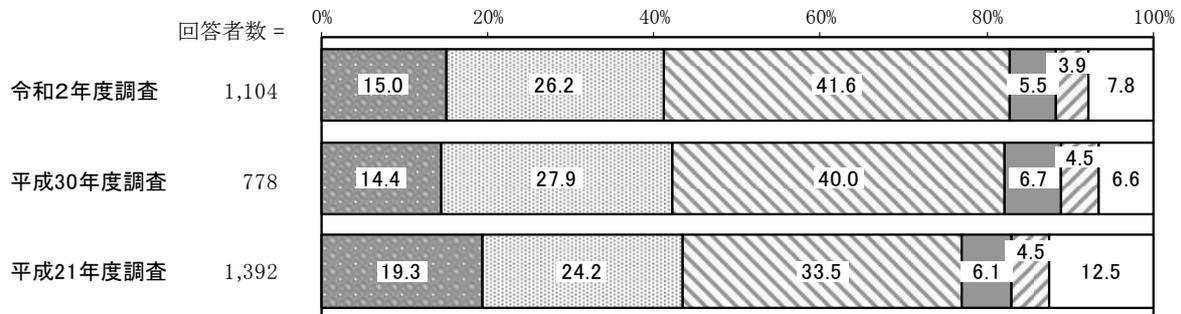
(33) 商業やサービス業の振興



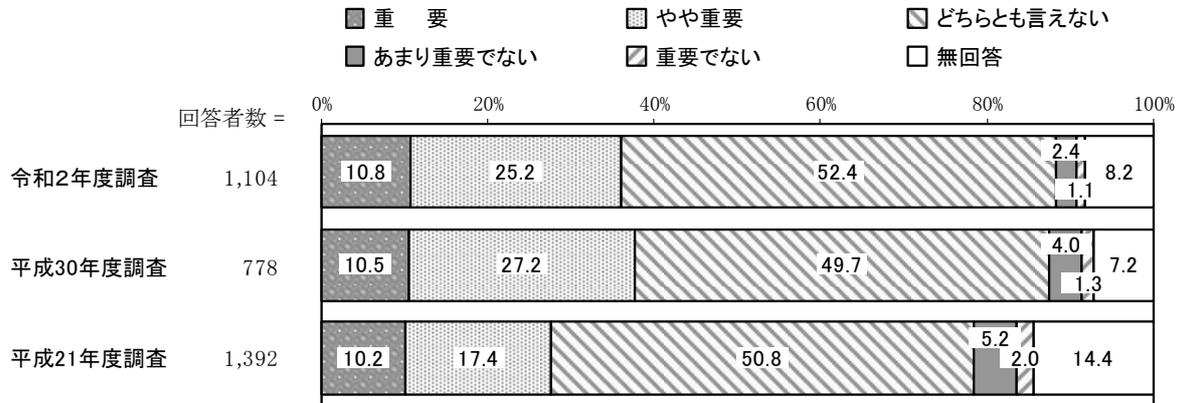
(34) 観光の振興



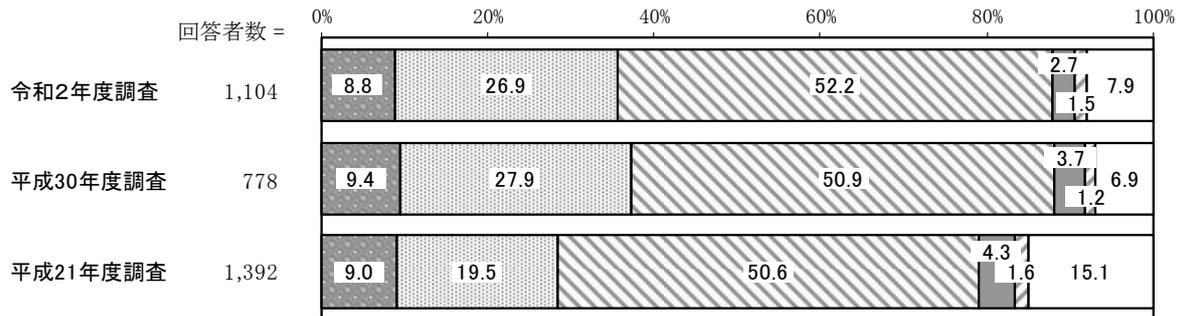
(35) ボートレースの円滑な運営や活性化



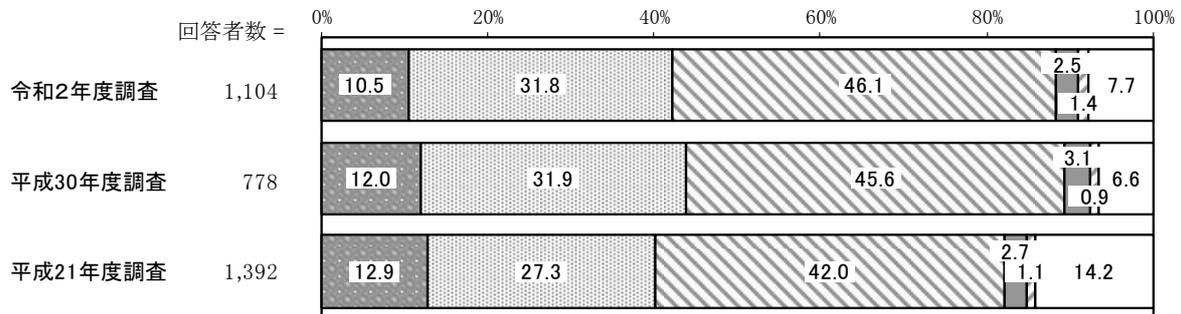
(36) 男女共同参画の推進



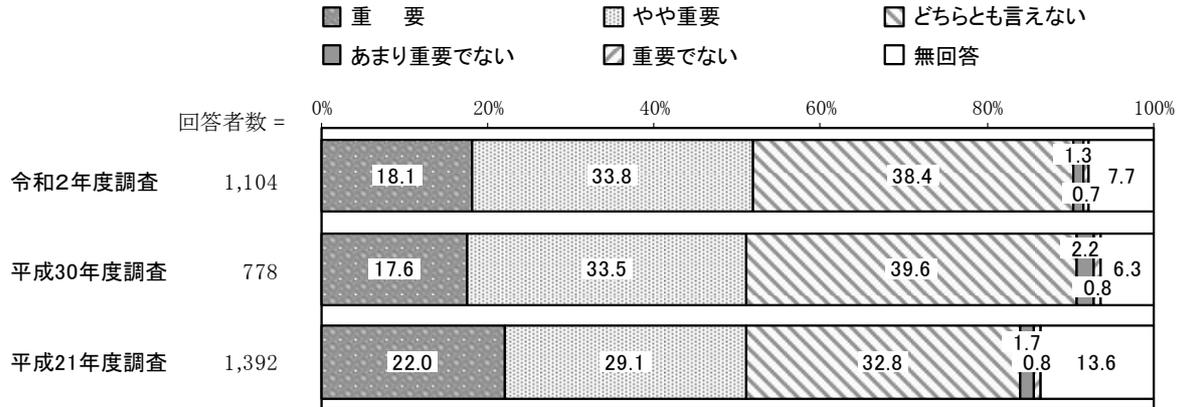
(37) コミュニティ活動の支援



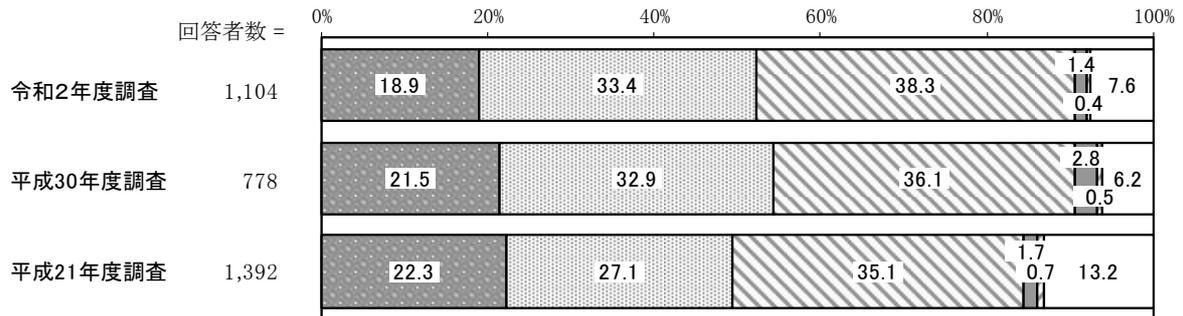
(38) ボランティア育成や市民活動支援



(39) 市政の情報提供や市民の声の広聴



(40) 周辺市町村との連携



<ポートフォリオによる分析>

蒲郡市の施策に関する各項目の満足度及び重要度について、下記の方法により5段階の得点をつけ、平均得点を算出しました。この評点を指標として、満足度と重要度の分析を行いました。なお、平均得点は、+2に近いほど満足度または重要度が高いことを示し、逆に-2に近いほど満足度が低い（不満度が高い）、または重要度が低いことを示しています。

【満足度・重要度の平均得点の算出方法】

満足度	重要度	得点（評点）
満足	重要	+2点
やや満足	やや重要	+1点
どちらとも言えない	どちらとも言えない	0点
やや不満	あまり重要でない	-1点
不満	重要でない	-2点

■満足度の平均得点

$$\begin{aligned} &= \{ \text{「満足」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「やや満足」の回答数} \times (+1 \text{点}) \\ &\quad + \text{「どちらとも言えない」の回答数} \times (0 \text{点}) \\ &\quad + \text{「やや不満」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「不満」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \\ &\div \text{総回答数} \end{aligned}$$

■重要度の平均得点

$$\begin{aligned} &= \{ \text{「重要」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「やや重要」の回答数} \times (+1 \text{点}) \\ &\quad + \text{「どちらとも言えない」の回答数} \times (0 \text{点}) \\ &\quad + \text{「あまり重要でない」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要でない」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \\ &\div \text{総回答数} \end{aligned}$$

①施策に対する満足度

- ・満足度が高いのは、「海や山などの自然環境の保護」「海とふれあうまちづくり」「ごみの減量化、リサイクル活動」等の環境にかかわる項目と「消防・救急体制」「健康づくり・疾病対策」等の安心・安全な暮らしにかかわる項目です。
- ・満足度が低いのは、「スポーツ施設の整備」「公共交通の利便性」「図書館、ホールなどの施設の整備」等のハード面にかかわる項目と、「商業やサービス業の振興」「工業の振興や企業誘致」等の産業にかかわる項目です。
- ・平成30年度調査と比較すると、「海や山などの自然環境の保護」「海とふれあうまちづくり」「健康づくり・疾病対策」「住宅・宅地の環境」「公園・緑地の整備」の項目で満足度の順位が上がっています。一方、「商業やサービス業の振興」「観光の振興」の項目で満足度の順位が下がっています。

満足度 トップ10

令和2年度調査			平成30年度調査		
順位	施策項目	満足度	順位	施策項目	満足度
1	海や山などの自然環境の保護	0.41	1	消防・救急体制	0.35
	消防・救急体制		2	ごみの減量化、リサイクル活動	0.33
3	海とふれあうまちづくり	0.33	3	海や山などの自然環境の保護	0.28
4	健康づくり・疾病対策	0.31	4	下水処理対策	0.27
5	ごみの減量化、リサイクル活動	0.30	5	海とふれあうまちづくり	0.25
6	住宅・宅地の環境	0.25	6	健康づくり・疾病対策	0.21
7	下水処理対策	0.24	7	住宅・宅地の環境	0.19
	交通安全・防犯対策			交通安全・防犯対策	
9	公園・緑地の整備	0.22	9	ボートレースの円滑な運営や活性化	0.17
10	ボートレースの円滑な運営や活性化	0.20	10	公園・緑地の整備	0.15

満足度 ワースト10

令和2年度調査			平成30年度調査		
順位	施策項目	満足度	順位	施策項目	満足度
1	スポーツ施設の整備	-0.18	1	スポーツ施設の整備	-0.31
2	公共交通の利便性	-0.17	2	公共交通の利便性	-0.25
3	図書館、ホールなどの施設の整備	-0.08	3	図書館、ホールなどの施設の整備	-0.22
4	商業やサービス業の振興	-0.06	4	工業の振興や企業誘致	-0.17
5	工業の振興や企業誘致	-0.05	5	商業やサービス業の振興	-0.15
	国際化、外国人との交流・共生			国際化、外国人との交流・共生	
7	低所得者の自立支援	-0.04	6	低所得者の自立支援	-0.09
8	観光の振興	-0.02	8	生活道路の整備	-0.07
9	周辺市町村との連携	-0.01	9	周辺市町村との連携	-0.05
	生活道路の整備			文化活動や文化の継承	

②施策に対する重要度の評価

- ・重要度が高い項目は、「災害に強いまちづくり」「地域医療体制」等の安心・安全にかかわる項目と「ごみの減量化、リサイクル活動」「海や山などの自然環境の保護」「騒音、悪臭、大気・水質汚染対策」等の環境にかかわる項目です。
- ・重要度が低い項目は、「コミュニティ活動の支援」「国際化、外国人との交流・共生」「ボランティア育成や市民活動支援」等の地域活動にかかわる項目、「文化活動、文化の継承」など生涯学習にかかわる項目です。
- ・平成30年度調査と比較すると、「ごみの減量化、リサイクル活動」「海や山などの自然環境の保護」「騒音、悪臭、大気・水質汚染対策」等の項目で重要度の順位が上がっています。一方、「コミュニティ活動の支援」「外国人住民への生活支援」の項目で重要度の順位が下がっています。

重要度 トップ10

令和2年度調査			平成30年度調査		
順位	施策項目	重要度	順位	施策項目	重要度
1	災害に強いまちづくり	1.31	1	地域医療体制	1.22
2	地域医療体制	1.24		災害に強いまちづくり	
3	ごみの減量化、リサイクル活動	1.22	3	消防・救急体制	1.20
4	海や山などの自然環境の保護	1.21	4	ごみの減量化、リサイクル活動	1.19
	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策		5	交通安全・防犯対策	1.18
	消防・救急体制		6	海や山などの自然環境の保護	1.15
7	交通安全・防犯対策	1.17	7	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.13
8	公共交通の利便性	1.09	8	公共交通の利便性	1.11
9	生活道路の整備	1.07	9	生活道路の整備	1.08
10	子育てに対する支援	1.05	10	幹線道路の整備	1.06
	高齢者への福祉施策				

重要度 ワースト10

令和2年度調査			平成30年度調査		
順位	施策項目	重要度	順位	施策項目	重要度
1	コミュニティ活動の支援	0.42	1	国際化、外国人との交流・共生	0.43
2	国際化、外国人との交流・共生	0.43	2	ポर्टレースの円滑な運営や活性化	0.44
3	外国人住民への生活支援	0.44		コミュニティ活動の支援	
4	男女共同参画の推進	0.46	4	男女共同参画の推進	0.45
5	ポर्टレースの円滑な運営や活性化	0.47	5	ボランティア育成や市民活動支援	0.54
6	ボランティア育成や市民活動支援	0.52	6	生涯学習活動	0.58
7	文化活動や文化の継承	0.61	7	文化活動や文化の継承	0.60
8	生涯学習活動	0.62	8	低所得者の自立支援	0.65
9	低所得者の自立支援	0.71	9	市政の情報提供や市民の声の広聴	0.69
10	市政の情報提供や市民の声の広聴	0.73	10	住宅・宅地の環境	0.74

■施策に対する満足度と重要度の評価

- ・蒲郡市の施策に対する市民の満足度の平均得点を縦軸、重要度の平均得点を横軸として散布図を作成しました。
- ・40項目全体の満足度の平均得点は0.10となっています。図に示してある平均得点の線よりも下側にある項目は、平均得点よりも満足度が低い項目（相対的に満足度が低い施策項目）であり、逆に上側にある項目は平均得点よりも満足度が高い項目（相対的に満足度が高い施策項目）です。
- ・一方、40項目全体の重要度の平均得点は0.89となっています。図に示した平均得点の線よりも左側にある項目は、平均得点よりも重要度が低い項目（相対的に重要度が低い施策項目）であり、逆に右側にある項目は平均得点よりも重要度が高い（相対的に重要度が高い施策項目）です。
- ・着目すべきは、満足度が低く重要度が高い項目、すなわち、当該項目について重要と考えているにもかかわらず、現状において満足していない人が多い施策項目であり、図の右下の領域に該当する項目です。
- ・下表は、「重要度と満足度の差が大きい項目」を整理した表です。
- ・平成30年度調査と比較すると、「騒音、悪臭、大気・水質汚染対策」「駅前などの市街地の整備」「省エネ対策や自然エネルギー活動」等の項目で優先度の順位が上がっています。

満足度と重要度の評価（施策の優先度） トップ15

令和2年度調査

平成30年度調査

順位	施策項目	優先度※	満足度	重要度	順位	施策項目	優先度※
1	公共交通の利便性	1.26	-0.17	1.09	1	公共交通の利便性	1.36
2	災害に強いまちづくり	1.22	0.09	1.31	2	災害に強いまちづくり	1.26
3	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.14	0.07	1.21	3	地域医療体制	1.25
4	生活道路の整備	1.08	-0.01	1.07	4	生活道路の整備	1.15
5	地域医療体制	1.07	0.17	1.24	5	スポーツ施設の整備	1.10
6	駅前などの市街地の整備	1.01	0.00	1.01	6	図書館、ホールなどの施設の整備	1.09
7	省エネ対策や自然エネルギー活動	0.99	0.05	1.04	7	幹線道路の整備	1.07
8	観光の振興	0.98	-0.02	0.96	8	高齢者への福祉施策	1.01
9	スポーツ施設の整備	0.97	-0.18	0.79	9	省エネ対策や自然エネルギー活動	1.00
10	幹線道路の整備	0.96	0.05	1.01		工業の振興や企業誘致	1.00
11	図書館、ホールなどの施設の整備	0.95	-0.08	0.87	11	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.00
	商業やサービス業の振興	0.95	-0.06	0.89	12	交通安全・防犯対策	0.99
13	交通安全・防犯対策	0.93	0.24	1.17		小中学校の教育内容や環境	0.99
14	ごみの減量化、リサイクル活動	0.92	0.30	1.22	14	商業やサービス業の振興	0.96
15	高齢者への福祉施策	0.91	0.14	1.05	15	駅前などの市街地の整備	0.95
					観光の振興	0.95	

※優先度＝重要度の得点から満足度の得点を引いたもの

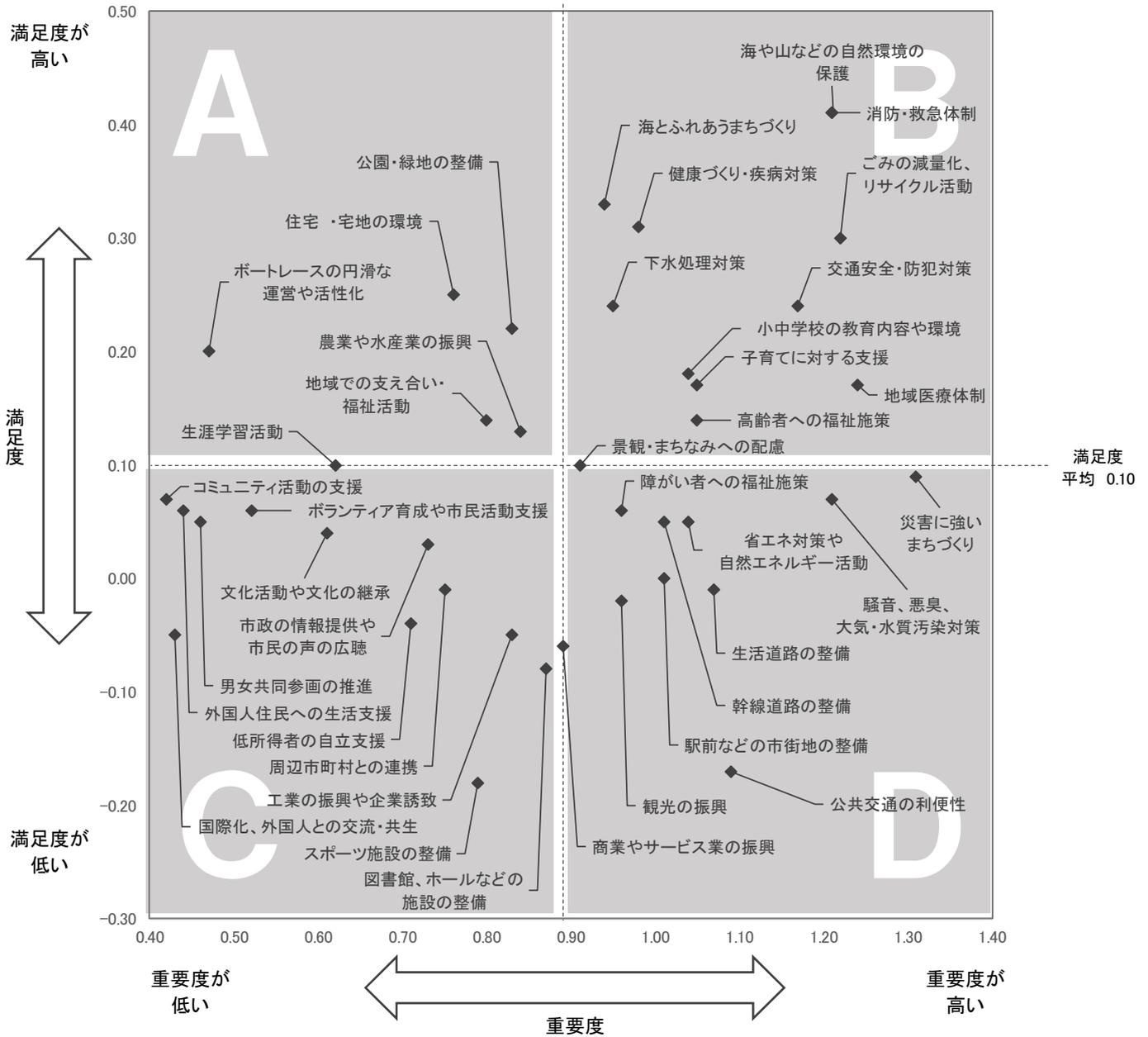
【優先度の高い施策項目】

- ・全体では、「公共交通の利便性」「生活道路の整備」「幹線道路の整備」などの交通環境にかかわる項目、「災害に強いまちづくり」「地域医療体制」などの安心・安全な暮らしにかかわる項目、「高齢者への福祉施策」「障がい者への福祉施策」などの福祉にかかわる項目などが、優先度が高くなっています。
- ・一方で「コミュニティ活動の支援」「ボランティア育成や市民活動支援」「国際化、外国人との交流・共生」といった市民参加によるまちづくりにかかわる項目、「男女共同参画の推進」「生涯学習活動」などについては優先度が低くなっています。

【校區別】

- ・いずれの校区でも「災害に強いまちづくり」「騒音、悪臭、大気・水質汚染対策」は優先施策として挙げられている。
- ・大塚中学校区では「公園・緑地の整備」が7位、塩津中学校区では「幹線道路の整備」が7位、西浦中学校区では「下水処理対策」が7位となっており、生活環境の課題が挙げられている。

重要度
平均 0.89



A : 維持施策項目 満足度が高く、重要度は低い

このままの状態を保つことが求められている。

B : 重点維持施策項目 満足度が高く、重要度も高い

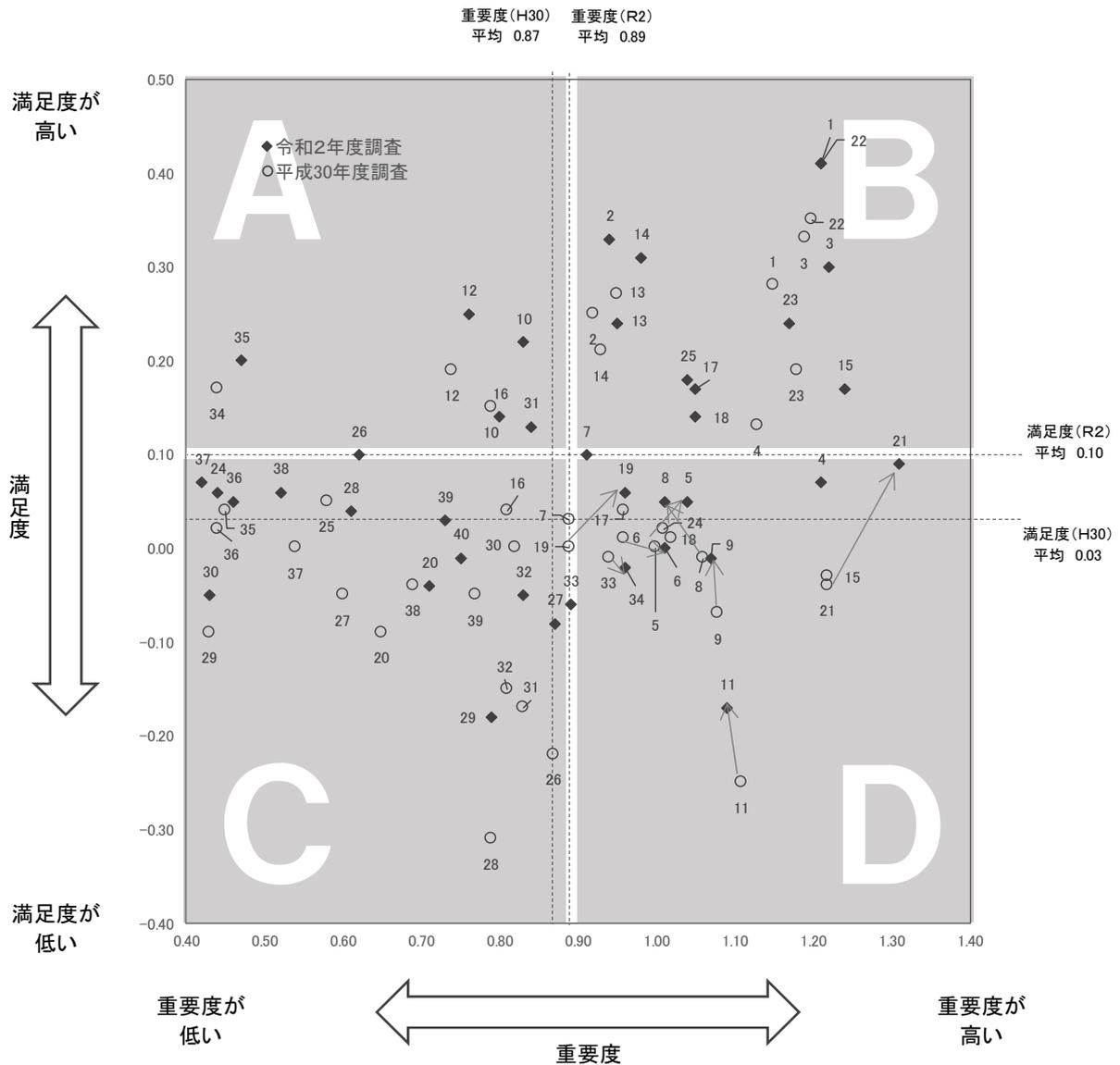
おおむね満足が得られているが、引き続き維持していくことが求められている。

C : ウォッチング施策項目 満足度が低く、重要度も低い

推移を注目していくことが求められている。喫緊性は高くないものの、生活の質を高めるなどのために、満足度を上げていくことが求められている。

D : 重点改善施策項目 満足度が低く重要度が高い

最優先で改善が求められている。



- ・「5 省エネ対策や自然エネルギー活動」「6 駅前などの市街地の整備」「8 幹線道路の整備」「9 生活道路の整備」「11 公共交通の利便性」「19 障がい者への福祉施策」「21 災害に強いまちづくり」「34 観光の振興」の8つの施策項目が、平成30年度調査、令和2年度調査ともに、D：重点改善施策項目となっています。

		令和2年度調査				計
		A：維持施策項目	B：重点維持施策項目	C：ウォッチング施策項目	D：重点改善施策項目	
平成30年度調査	A：維持施策項目	5	—	1	—	6
	B：重点維持施策項目	—	8	—	1	9
	C：ウォッチング施策項目	1	—	10	1	12
	D：重点改善施策項目	—	4	—	8	12
	令和2年度追加項目	—	—	1	—	1
	計	6	12	12	10	40

施策項目		令和2年度 調査	平成30年度 調査
1	海や山などの自然環境の保護	B	B
2	海とふれあうまちづくり	B	B
3	ごみの減量化、リサイクル活動	B	B
4	騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	D	B
5	省エネ対策や自然エネルギー活動	D	D
6	駅前などの市街地の整備	D	D
7	景観・まちなみへの配慮	B	D
8	幹線道路の整備	D	D
9	生活道路の整備	D	D
10	公園・緑地の整備	A	A
11	公共交通の利便性	D	D
12	住宅・宅地の環境	A	A
13	下水処理対策	B	B
14	健康づくり・疾病対策	B	B
15	地域医療体制	B	D
16	地域での支え合い・福祉活動	A	A
17	子育てに対する支援	B	B
18	高齢者への福祉施策	B	D
19	障がい者への福祉施策	D	D
20	低所得者の自立支援	C	C
21	災害に強いまちづくり	D	D
22	消防・救急体制	B	B
23	交通安全・防犯対策	B	B
24	外国人住民への生活支援	C	—
25	小中学校の教育内容や環境	B	D
26	生涯学習活動	A	A
27	図書館、ホールなどの施設の整備	C	C
28	文化活動や文化の継承	C	C
29	スポーツ施設の整備	C	C
30	国際化、外国人との交流・共生	C	C
31	農業や水産業の振興	A	C
32	工業の振興や企業誘致	C	C
33	商業やサービス業の振興	D	C
34	観光の振興	D	D
35	ボートレースの円滑な運営や活性化	A	A
36	男女共同参画の推進	C	A
37	コミュニティ活動の支援	C	C
38	ボランティア育成や市民活動支援	C	C
39	市政の情報提供や市民の声の広聴	C	C
40	周辺市町村との連携	C	C

小学校区別 施策の優先度の順位

施策項目	全体及び校区別の点数・順位															
	全体	順位	大塚中学校区	順位	三谷中学校区	順位	蒲郡中学校区	順位	中部中学校区	順位	塩津中学校区	順位	形原中学校区	順位	西浦中学校区	順位
公共交通の利便性	1.26	1	1.26	2	1.22	1	0.90	14	1.23	1	1.23	3	1.52	1	1.87	1
災害に強いまちづくり	1.22	2	1.14	3	1.15	2	1.18	1	1.20	2	1.25	1	1.31	2	1.25	3
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	1.14	3	1.39	1	1.11	4	1.03	5	1.09	6	1.24	2	1.16	4	1.08	6
生活道路の整備	1.08	4	1.02	8	0.86	17	1.02	7	1.17	5	1.06	5	1.29	3	1.28	2
地域医療体制	1.07	5	0.78	19	1.13	3	1.07	4	1.18	4	1.15	4	1.01	7	1.04	8
駅前などの市街地の整備	1.01	6	0.76	22	0.99	7	1.08	3	1.20	2	0.93	8	0.98	10	1.04	8
省エネ対策や自然エネルギー活動	0.99	7	0.93	13	0.92	12	0.91	10	1.08	8	1.00	6	1.00	8	1.21	4
観光の振興	0.98	8	0.80	18	1.01	6	1.10	2	1.08	8	0.86	16	0.94	13	0.85	21
スポーツ施設の整備	0.97	9	0.87	16	0.97	8	1.03	5	0.98	14	0.89	12	1.05	6	0.93	13
幹線道路の整備	0.96	10	0.99	9	0.86	17	0.89	15	1.09	6	0.94	7	1.08	5	0.93	13
図書館、ホールなどの施設の整備	0.95	11	1.09	4	0.93	11	0.99	8	0.92	18	0.89	12	0.98	10	0.88	19
商業やサービス業の振興	0.95	11	0.91	15	0.96	9	0.95	9	1.07	10	0.87	15	0.88	17	0.90	16
交通安全・防犯対策	0.93	13	0.96	10	1.02	5	0.91	10	0.89	19	0.93	8	0.95	12	0.85	21
ごみの減量化、リサイクル活動	0.92	14	0.93	13	0.85	19	0.85	18	0.98	14	0.92	11	0.99	9	0.97	11
高齢者への福祉施策	0.91	15	0.95	12	0.89	16	0.79	21	1.01	11	0.88	14	0.89	15	0.89	17
障がい者への福祉施策	0.90	16	1.06	5	0.92	12	0.91	10	0.98	14	0.80	21	0.85	19	0.75	26
子育てに対する支援	0.88	17	0.96	10	0.92	12	0.79	21	0.93	17	0.78	22	0.83	20	1.20	5
工業の振興や企業誘致	0.88	17	0.83	17	0.94	10	0.91	10	0.99	13	0.77	24	0.89	15	0.75	26
小中学校の教育内容や環境	0.86	19	1.06	5	0.91	15	0.86	16	0.88	20	0.75	25	0.76	23	0.97	11
景観・まちなみへの配慮	0.81	20	0.65	29	0.78	20	0.85	18	1.00	12	0.78	22	0.81	21	0.76	25
海や山などの自然環境の保護	0.80	21	0.78	19	0.76	22	0.80	20	0.77	23	0.93	8	0.77	22	0.89	17
消防・救急体制	0.80	21	0.69	27	0.77	21	0.68	25	0.86	21	0.83	19	0.87	18	0.72	30
周辺市町村との連携	0.76	23	0.76	22	0.7	27	0.86	16	0.75	25	0.73	26	0.71	25	0.92	15
低所得者の自立支援	0.75	24	0.75	24	0.71	26	0.68	25	0.69	29	0.82	20	0.73	24	0.81	23
下水処理対策	0.71	25	0.51	36	0.53	30	0.47	34	0.70	28	0.86	16	0.91	14	1.05	7
農業や水産業の振興	0.71	25	0.65	29	0.73	23	0.70	24	0.79	22	0.70	28	0.65	27	0.70	31
市政の情報提供や市民の声の広聴	0.70	27	0.70	26	0.72	25	0.78	23	0.76	24	0.59	30	0.61	29	0.74	28
健康づくり・疾病対策	0.67	28	0.78	19	0.66	28	0.59	30	0.75	25	0.59	30	0.64	28	0.81	23
地域での支え合い・福祉活動	0.66	29	0.57	34	0.73	23	0.62	27	0.71	27	0.61	29	0.67	26	0.65	34
海とふれあいまちづくり	0.61	30	0.68	28	0.56	29	0.57	31	0.60	30	0.71	27	0.59	30	0.69	32
公園・緑地の整備	0.61	30	1.04	7	0.44	36	0.50	33	0.41	35	0.85	18	0.57	31	1.03	10
文化活動や文化の継承	0.57	32	0.75	24	0.50	32	0.62	27	0.54	31	0.48	33	0.55	32	0.73	29
生涯学習活動	0.52	33	0.60	31	0.46	35	0.51	32	0.50	33	0.40	36	0.52	33	0.87	20
住宅・宅地の環境	0.51	34	0.54	35	0.49	33	0.46	35	0.54	31	0.55	32	0.46	34	0.67	33
国際化、外国人との交流・共生	0.48	35	0.49	37	0.42	37	0.60	29	0.48	34	0.45	35	0.40	35	0.63	35
ボランティア育成や市民活動支援	0.46	36	0.60	31	0.51	31	0.46	35	0.40	36	0.46	34	0.36	36	0.46	37
男女共同参画の推進	0.41	37	0.41	39	0.49	33	0.40	38	0.40	36	0.36	37	0.35	37	0.54	36
外国人住民への生活支援	0.38	38	0.60	31	0.31	39	0.41	37	0.34	39	0.34	38	0.35	37	0.30	40
コミュニティ活動の支援	0.35	39	0.44	38	0.39	38	0.34	39	0.32	40	0.27	39	0.30	39	0.46	37
ポर्टレースの円滑な運営や活性化	0.27	40	0.19	40	0.25	40	0.26	40	0.40	36	0.18	40	0.19	40	0.33	39

※優先度 = 重要度 - 満足度

※ 濃い網掛けは、優先順位が1～10位の施策、薄い網掛けは優先順位が11～15位の施策

(参考) 満足度の集計結果

	満足		やや満足		どちらとも言えない		やや不満		不満		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 自然・環境について												
海や山などの自然環境の保護	75	6.8	423	38.3	473	42.8	87	7.9	23	2.1	23	2.1
海とふれあうまちづくり	72	6.5	349	31.6	545	49.4	85	7.7	25	2.3	28	2.5
ごみの減量化、リサイクル活動	50	4.5	346	31.3	570	51.6	86	7.8	19	1.7	33	3.0
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	40	3.6	257	23.3	555	50.3	183	16.6	40	3.6	29	2.6
省エネ対策や自然エネルギー活動	27	2.4	147	13.3	761	68.9	111	10.1	17	1.5	41	3.7
2. 基盤整備・交通について												
駅前などの市街地の整備	48	4.3	297	26.9	416	37.7	226	20.5	86	7.8	31	2.8
景観・まちなみへの配慮	40	3.6	291	26.4	532	48.2	164	14.9	50	4.5	27	2.4
幹線道路の整備	40	3.6	313	28.4	451	40.9	207	18.8	65	5.9	28	2.5
生活道路の整備	32	2.9	298	27.0	450	40.8	222	20.1	76	6.9	26	2.4
公園・緑地の整備	56	5.1	344	31.2	498	45.1	135	12.2	44	4.0	27	2.4
公共交通の利便性	41	3.7	230	20.8	428	38.8	254	23.0	123	11.1	28	2.5
住宅・宅地の環境	61	5.5	287	26.0	613	55.5	96	8.7	22	2.0	25	2.3
下水処理対策	101	9.1	285	25.8	522	47.3	109	9.9	58	5.3	29	2.6
3. 安全・安心について												
健康づくり・疾病対策	53	4.8	295	26.7	654	59.2	65	5.9	3	0.3	34	3.1
地域医療体制	55	5.0	269	24.4	570	51.6	152	13.8	24	2.2	34	3.1
地域での支え合い・福祉活動	26	2.4	203	18.4	746	67.6	81	7.3	14	1.3	34	3.1
子育てに対する支援	47	4.3	220	19.9	689	62.4	86	7.8	23	2.1	39	3.5
高齢者への福祉施策	37	3.4	227	20.6	681	61.7	99	9.0	27	2.4	33	3.0
障がい者への福祉施策	31	2.8	147	13.3	771	69.8	92	8.3	25	2.3	38	3.4
低所得者の自立支援	18	1.6	80	7.2	841	76.2	92	8.3	34	3.1	39	3.5
災害に強いまちづくり	38	3.4	198	17.9	677	61.3	137	12.4	22	2.0	32	2.9
消防・救急体制	92	8.3	333	30.2	587	53.2	49	4.4	12	1.1	31	2.8
交通安全・防犯対策	65	5.9	250	22.6	648	58.7	90	8.2	17	1.5	34	3.1
外国人住民への生活支援	22	2.0	80	7.2	915	82.9	37	3.4	11	1.0	39	3.5
4. 教育・文化について												
小中学校の教育内容や環境	53	4.8	212	19.2	673	61.0	72	6.5	29	2.6	65	5.9
生涯学習活動	24	2.2	141	12.8	796	72.1	69	6.3	10	0.9	64	5.8
図書館、ホールなどの施設の整備	41	3.7	195	17.7	516	46.7	223	20.2	68	6.2	61	5.5
文化活動や文化の継承	29	2.6	132	12.0	743	67.3	110	10.0	20	1.8	70	6.3
スポーツ施設の整備	25	2.3	115	10.4	613	55.5	221	20.0	65	5.9	65	5.9
国際化、外国人との交流・共生	13	1.2	62	5.6	848	76.8	87	7.9	27	2.4	67	6.1
5. 産業について												
農業や水産業の振興	35	3.2	192	17.4	697	63.1	94	8.5	17	1.5	69	6.3
工業の振興や企業誘致	22	2.0	114	10.3	719	65.1	149	13.5	33	3.0	67	6.1
商業やサービス業の振興	18	1.6	144	13.0	674	61.1	158	14.3	41	3.7	69	6.3
観光の振興	25	2.3	176	15.9	634	57.4	161	14.6	41	3.7	67	6.1
ボートレースの円滑な運営や活性化	55	5.0	187	16.9	725	65.7	42	3.8	25	2.3	70	6.3
6. その他												
男女共同参画の推進	16	1.4	102	9.2	851	77.1	53	4.8	14	1.3	68	6.2
コミュニティ活動の支援	20	1.8	103	9.3	854	77.4	48	4.3	11	1.0	68	6.2
ボランティア育成や市民活動支援	21	1.9	105	9.5	843	76.4	58	5.3	13	1.2	64	5.8
市政の情報提供や市民の声の広聴	22	2.0	129	11.7	772	69.9	83	7.5	32	2.9	66	6.0
周辺市町村との連携	19	1.7	104	9.4	789	71.5	94	8.5	30	2.7	68	6.2

(参考) 重要度の集計結果

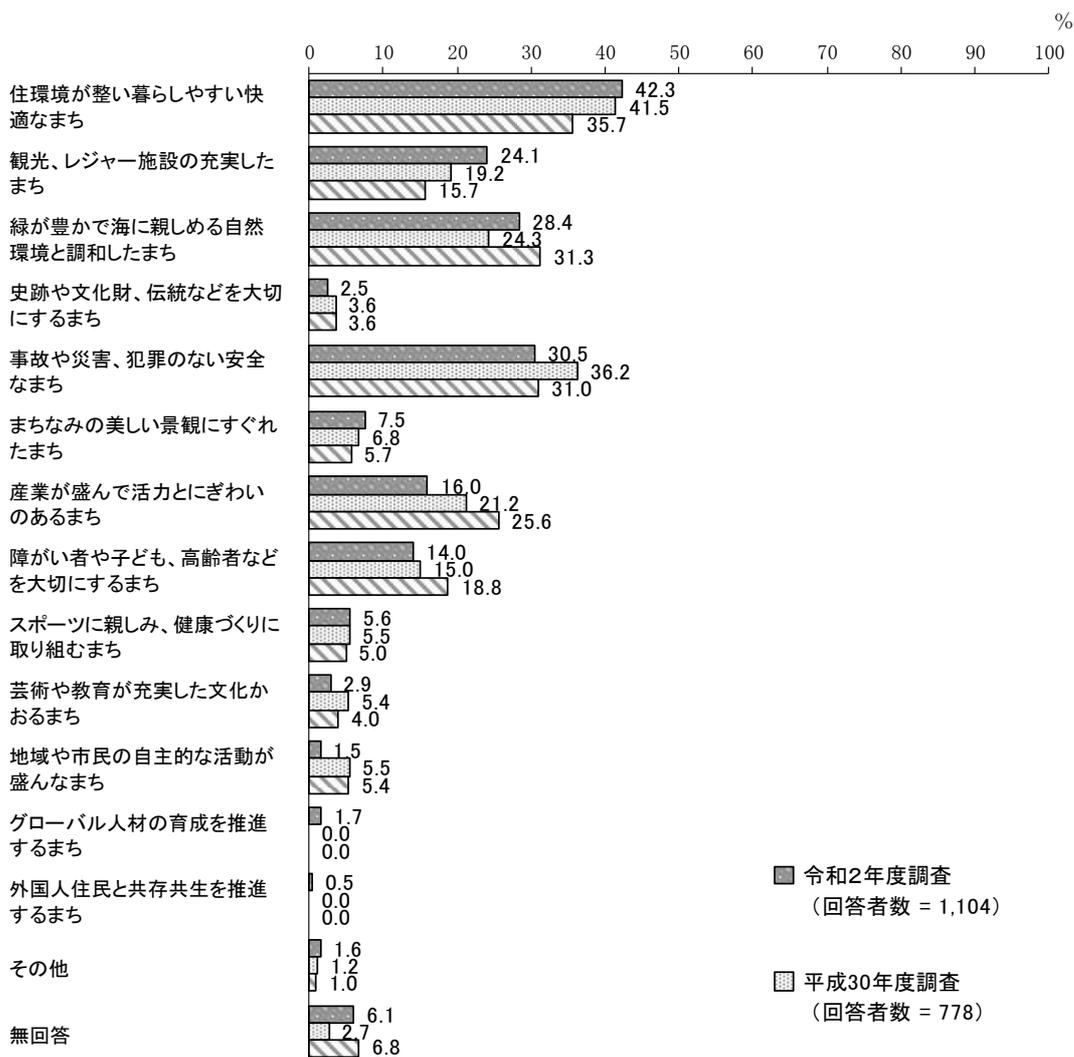
	重要		やや重要		どちらとも言えない		あまり重要でない		重要でない		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1. 自然・環境について												
海や山などの自然環境の保護	404	36.6	470	42.6	176	15.9	5	0.5	-	-	49	4.4
海とふれあうまちづくり	293	26.5	436	39.5	300	27.2	23	2.1	3	0.3	49	4.4
ごみの減量化、リサイクル活動	433	39.2	440	39.9	166	15.0	12	1.1	5	0.5	48	4.3
騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	429	38.9	426	38.6	195	17.7	5	0.5	2	0.2	47	4.3
省エネ対策や自然エネルギー活動	339	30.7	429	38.9	264	23.9	11	1.0	4	0.4	57	5.2
2. 基盤整備・交通について												
駅前などの市街地の整備	314	28.4	470	42.6	241	21.8	25	2.3	5	0.5	49	4.4
景観・まちなみへの配慮	260	23.6	469	42.5	289	26.2	27	2.4	3	0.3	56	5.1
幹線道路の整備	332	30.1	434	39.3	246	22.3	29	2.6	6	0.5	57	5.2
生活道路の整備	339	30.7	468	42.4	229	20.7	17	1.5	1	0.1	50	4.5
公園・緑地の整備	220	19.9	484	43.8	307	27.8	31	2.8	10	0.9	52	4.7
公共交通の利便性	365	33.1	443	40.1	217	19.7	20	1.8	5	0.5	54	4.9
住宅・宅地の環境	202	18.3	424	38.4	399	36.1	23	2.1	2	0.2	54	4.9
下水処理対策	323	29.3	372	33.7	339	30.7	16	1.4	2	0.2	52	4.7
3. 安全・安心について												
健康づくり・疾病対策	303	27.4	441	39.9	295	26.7	8	0.7	3	0.3	54	4.9
地域医療体制	456	41.3	402	36.4	188	17.0	3	0.3	2	0.2	53	4.8
地域での支え合い・福祉活動	226	20.5	421	38.1	384	34.8	17	1.5	5	0.5	51	4.6
子育てに対する支援	369	33.4	381	34.5	290	26.3	5	0.5	4	0.4	55	5.0
高齢者への福祉施策	362	32.8	412	37.3	259	23.5	15	1.4	7	0.6	49	4.4
障がい者への福祉施策	318	28.8	397	36.0	320	29.0	10	0.9	5	0.5	54	4.9
低所得者の自立支援	218	19.7	366	33.2	424	38.4	26	2.4	16	1.4	54	4.9
災害に強いまちづくり	525	47.6	333	30.2	190	17.2	3	0.3	1	0.1	52	4.7
消防・救急体制	438	39.7	396	35.9	213	19.3	3	0.3	1	0.1	53	4.8
交通安全・防犯対策	417	37.8	403	36.5	226	20.5	3	0.3	1	0.1	54	4.9
外国人住民への生活支援	130	11.8	304	27.5	537	48.6	41	3.7	32	2.9	60	5.4
4. 教育・文化について												
小中学校の教育内容や環境	375	34.0	315	28.5	323	29.3	3	0.3	3	0.3	85	7.7
生涯学習活動	162	14.7	343	31.1	479	43.4	25	2.3	8	0.7	87	7.9
図書館、ホールなどの施設の整備	256	23.2	411	37.2	329	29.8	19	1.7	7	0.6	82	7.4
文化活動や文化の継承	160	14.5	348	31.5	467	42.3	27	2.4	11	1.0	91	8.2
スポーツ施設の整備	237	21.5	366	33.2	385	34.9	25	2.3	6	0.5	85	7.7
国際化、外国人との交流・共生	127	11.5	275	24.9	545	49.4	47	4.3	22	2.0	88	8.0
5. 産業について												
農業や水産業の振興	245	22.2	385	34.9	368	33.3	15	1.4	4	0.4	87	7.9
工業の振興や企業誘致	255	23.1	364	33.0	379	34.3	16	1.4	4	0.4	86	7.8
商業やサービス業の振興	254	23.0	414	37.5	337	30.5	7	0.6	4	0.4	88	8.0
観光の振興	317	28.7	380	34.4	301	27.3	17	1.5	7	0.6	82	7.4
ポर्टレースの円滑な運営や活性化	166	15.0	289	26.2	459	41.6	61	5.5	43	3.9	86	7.8
6. その他												
男女共同参画の推進	119	10.8	278	25.2	579	52.4	26	2.4	12	1.1	90	8.2
コミュニティ活動の支援	97	8.8	297	26.9	576	52.2	30	2.7	17	1.5	87	7.9
ボランティア育成や市民活動支援	116	10.5	351	31.8	509	46.1	28	2.5	15	1.4	85	7.7
市政の情報提供や市民の声の広聴	200	18.1	373	33.8	424	38.4	14	1.3	8	0.7	85	7.7
周辺市町村との連携	209	18.9	369	33.4	423	38.3	15	1.4	4	0.4	84	7.6

(5) これからのまちづくりについて

問 17 あなたは、蒲郡市の魅力を高めるために、どのような将来像を目指すべきだと思いますか。(〇は2つまで)

「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が42.3%と最も高く、次いで「事故や災害、犯罪のない安全なまち」の割合が30.5%、「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が28.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「事故や災害、犯罪のない安全なまち」「産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が高く、約5割となっています。また、20歳未満、20歳代で「観光、レジャー施設の充実したまち」の割合が、60歳代以上で「事故や災害、犯罪のない安全なまち」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	住環境が整い暮らしやすい快適なまち	観光、レジャー施設の充実したまち	緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち	史跡や文化財、伝統などを大切にするまち	事故や災害、犯罪のない安全なまち	まちなみの美しい景観にすぐれたまち	産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち	障がい者や子ども、高齢者などを大切にするまち	健康づくりに取り組むまち	文化やおるまち	芸術や教育が充実した文化がおるまち	地域や市民の自主的な活動が盛んなまち	グローバル人材の育成を推進するまち	外国人住民と共存共生を推進するまち	その他	無回答
20歳未満	121	43.0	38.8	32.2	2.5	18.2	9.1	9.1	9.9	10.7	4.1	1.7	1.7	0.8	1.7	2.5	
20歳代	134	41.0	37.3	33.6	3.0	17.2	10.4	13.4	9.0	9.0	3.0	1.5	1.5	—	1.5	5.2	
30歳代	146	44.5	32.9	33.6	2.7	26.7	7.5	8.2	14.4	2.1	3.4	—	—	—	4.8	6.2	
40歳代	139	48.2	23.0	29.5	1.4	29.5	10.1	11.5	15.8	3.6	2.2	1.4	4.3	1.4	2.2	4.3	
50歳代	167	43.1	26.9	26.9	4.8	34.1	7.8	14.4	15.0	9.0	1.8	0.6	2.4	—	1.2	2.4	
60歳代	197	43.7	9.6	24.4	2.0	39.6	5.1	22.3	16.8	3.6	3.0	1.5	0.5	0.5	—	9.1	
70歳以上	193	34.2	13.0	23.3	1.0	39.4	5.2	25.9	15.5	3.6	3.1	3.6	2.1	1.0	0.5	9.8	

【中学校区別】

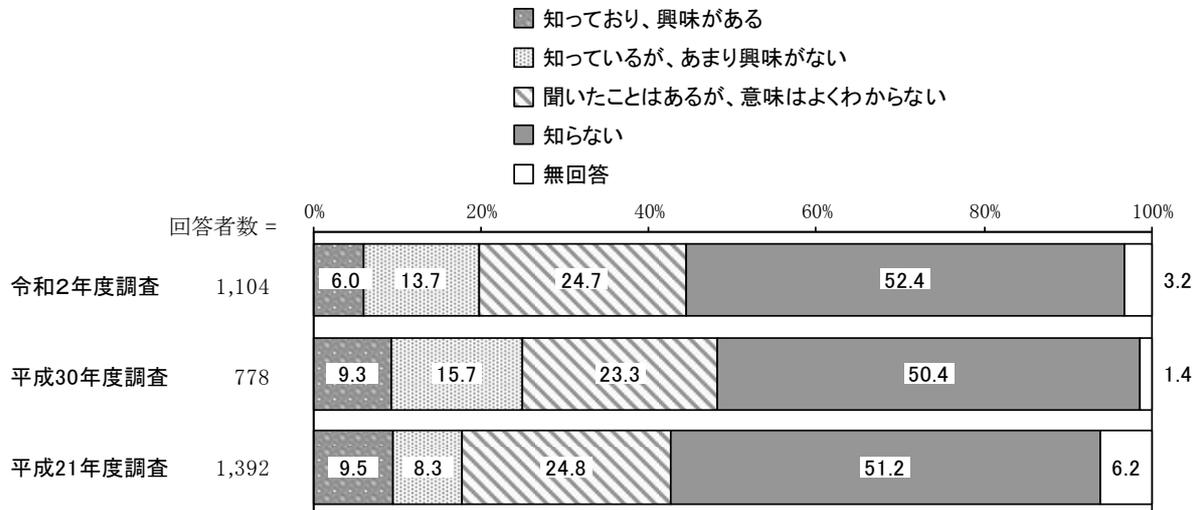
中学校区別でみると、他の地区に比べ、蒲郡中学校区、中部中学校区で「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が高く、4割半ばとなっています。また、西浦中学校区で「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	住環境が整い暮らしやすい快適なまち	観光、レジャー施設の充実したまち	緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち	史跡や文化財、伝統などを大切にするまち	事故や災害、犯罪のない安全なまち	まちなみの美しい景観にすぐれたまち	産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち	障がい者や子ども、高齢者などを大切にするまち	健康づくりに取り組むまち	文化やおるまち	芸術や教育が充実した文化がおるまち	地域や市民の自主的な活動が盛んなまち	グローバル人材の育成を推進するまち	外国人住民と共存共生を推進するまち	その他	無回答
大塚中学校区	77	41.6	23.4	32.5	2.6	20.8	10.4	5.2	19.5	9.1	3.9	1.3	5.2	1.3	2.6	6.5	
三谷中学校区	175	41.7	26.3	26.3	6.9	30.3	8.0	14.3	16.0	5.1	3.4	2.3	0.6	0.6	2.3	3.4	
蒲郡中学校区	188	46.3	20.7	28.7	2.1	31.9	8.5	16.0	11.7	5.3	2.7	1.6	3.2	1.1	1.6	4.8	
中部中学校区	185	46.5	27.0	25.9	3.2	29.7	5.4	20.0	13.5	2.7	2.7	1.6	0.5	0.5	0.5	5.9	
塩津中学校区	148	39.9	30.4	31.8	1.4	33.1	6.8	9.5	9.5	7.4	2.0	0.7	1.4	0.7	0.7	7.4	
形原中学校区	204	41.7	21.6	26.5	1.0	34.3	8.8	19.1	15.2	7.4	2.5	1.0	1.0	—	2.9	5.4	
西浦中学校区	66	39.4	21.2	37.9	—	30.3	4.5	18.2	10.6	6.1	1.5	3.0	3.0	—	—	9.1	
わからない	18	38.9	22.2	22.2	—	27.8	11.1	16.7	22.2	—	11.1	5.6	—	—	—	5.6	

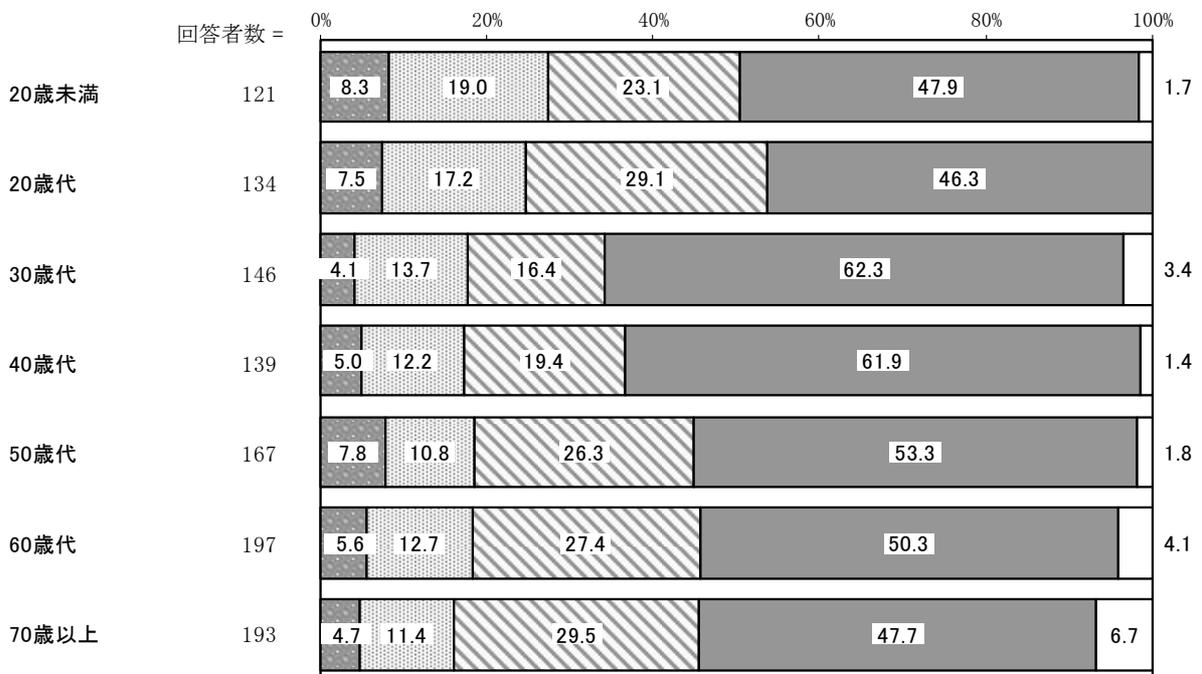
問 18 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」の割合が52.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」の割合が24.7%、「知っているが、あまり興味がない」の割合が13.7%となっています。
 平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



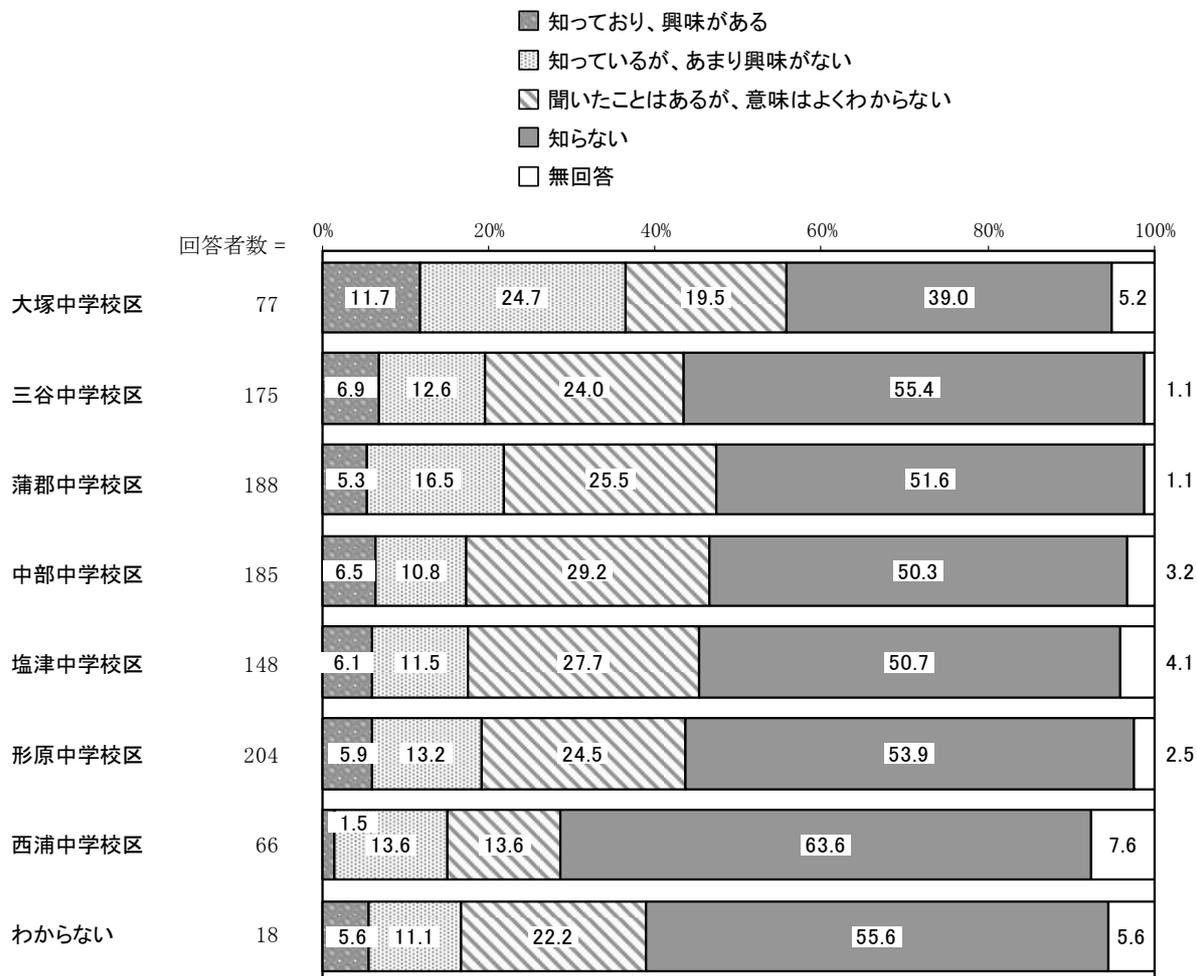
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「知らない」の割合が高く、約6割となっています。



【中学校区別】

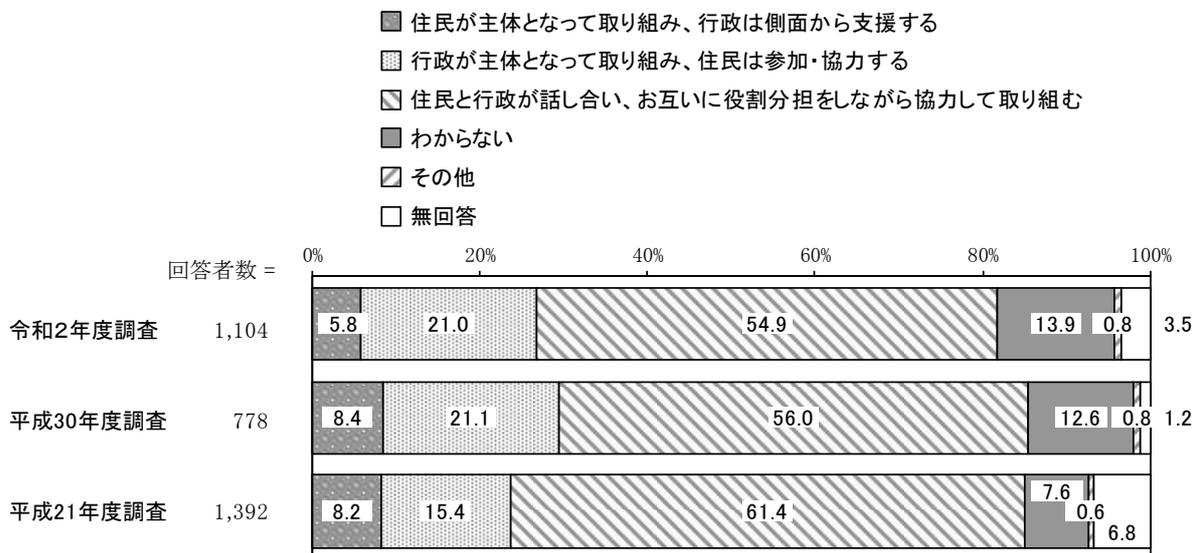
中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区で「知っているが、あまり興味がない」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、西浦中学校区で「知らない」の割合が高く、約6割となっています。



問19 あなたは、地域をより良くするために、住民と行政がどのように役割を果たしたらよいと思いますか。(○は1つだけ)

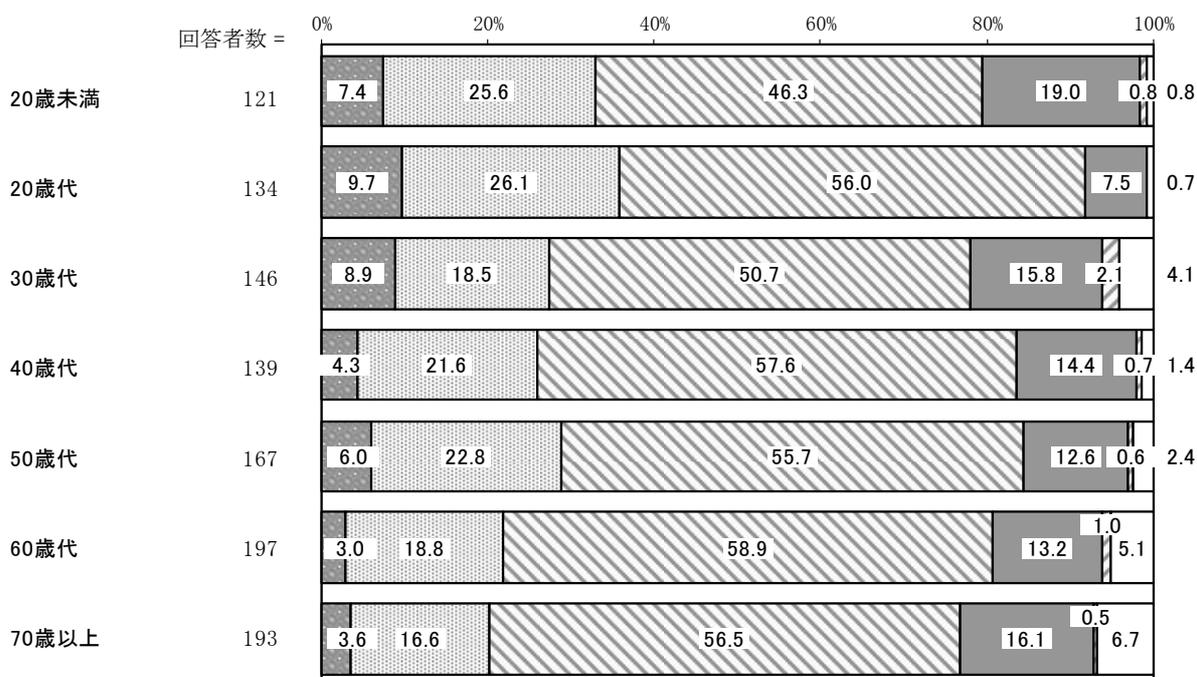
「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」の割合が54.9%と最も高く、次いで「行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する」の割合が21.0%、「わからない」の割合が13.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



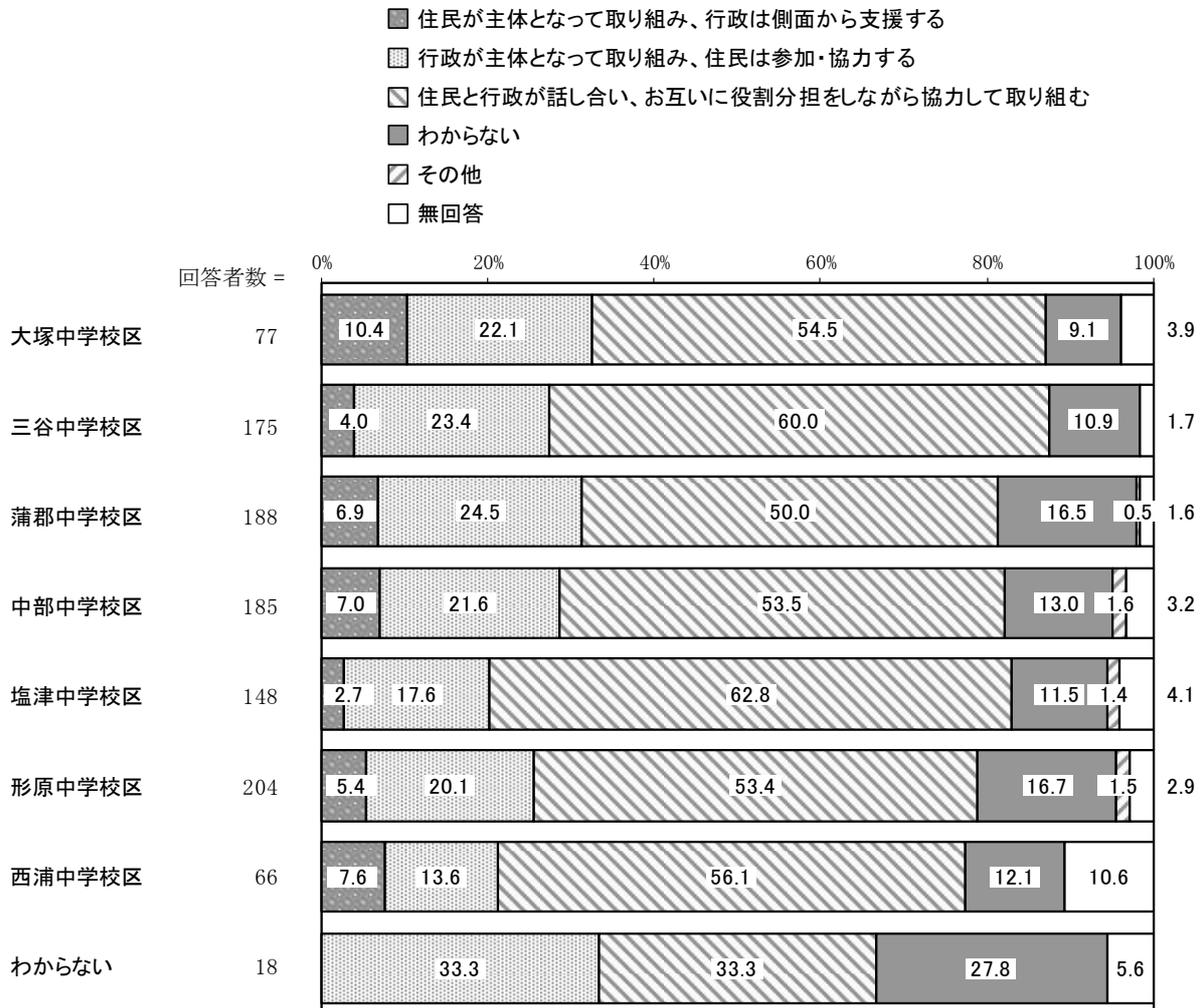
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳未満、20歳代で「行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する」の割合が高く、2割半ばとなっています。



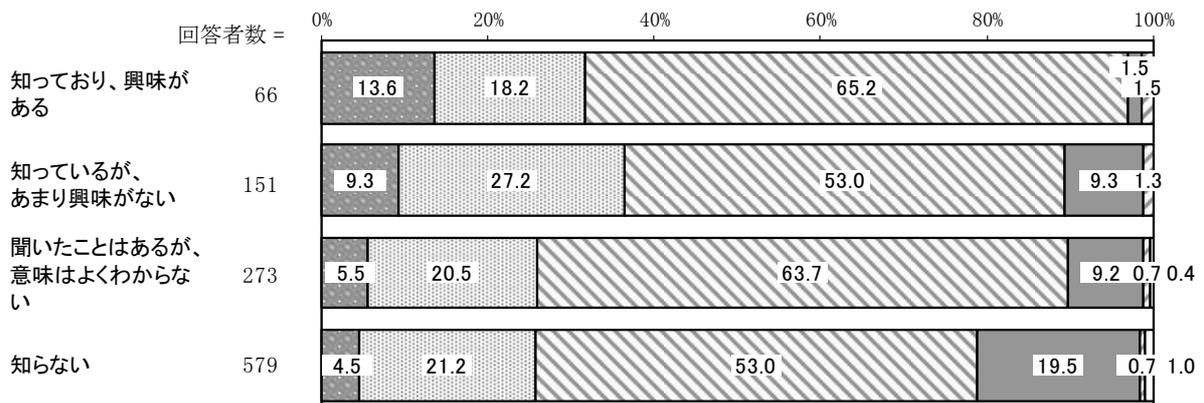
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、三谷中学校区、塩津中学校区で「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」の割合が高く、約6割となっています。



【協働の認知度別】

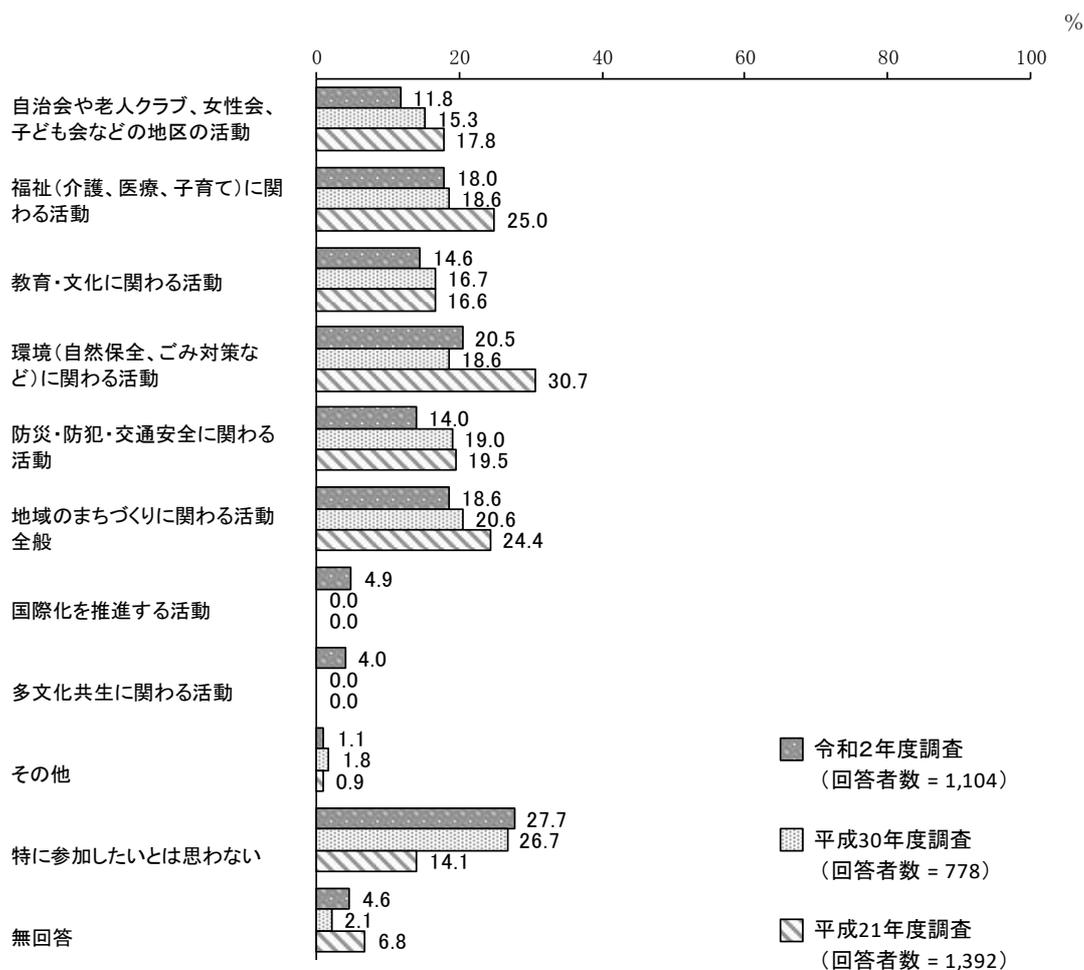
協働の認知度別でみると、他に比べ、知っており、興味があるで「住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む」の割合が高く、6割半ばとなっています。また、知っているが、あまり興味がないで「行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する」の割合が高く、約3割となっています。



問 20 あなたは、地域をより良くするために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。(〇は2つまで)

「特に参加したいとは思わない」の割合が27.7%と最も高く、次いで「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」の割合が20.5%、「地域のまちづくりに関わる活動全般」の割合が18.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「防災・防犯・交通安全に関わる活動」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」の割合が高く、約3割となっています。また、20歳未満で「教育・文化に関わる活動」「国際化を推進する活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動	福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動	教育・文化に関わる活動	環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動	防災・防犯 交通安全に関わる活動	活動全般	地域のまちづくりに関わる活動全般	国際化を推進する活動	多文化共生に関わる活動	その他	特に参加したいとは思わない	無回答
20歳未満	121	9.1	19.8	24.0	23.1	9.1	10.7	13.2	6.6	0.8	24.0	0.8	
20歳代	134	7.5	20.1	18.7	29.1	14.9	20.1	8.2	3.7	—	27.6	0.7	
30歳代	146	11.0	23.3	13.0	16.4	13.7	11.0	4.8	5.5	2.1	30.1	5.5	
40歳代	139	12.9	18.7	15.8	13.7	12.9	19.4	5.8	2.9	1.4	32.4	1.4	
50歳代	167	7.8	20.4	14.4	22.8	15.6	19.2	2.4	4.2	1.2	26.9	3.0	
60歳代	197	11.2	13.7	12.7	17.8	15.2	22.8	2.0	4.1	0.5	29.9	5.6	
70歳以上	193	20.7	13.0	8.8	22.3	14.5	23.3	1.6	2.1	1.6	23.8	10.9	

【協働の認知度別】

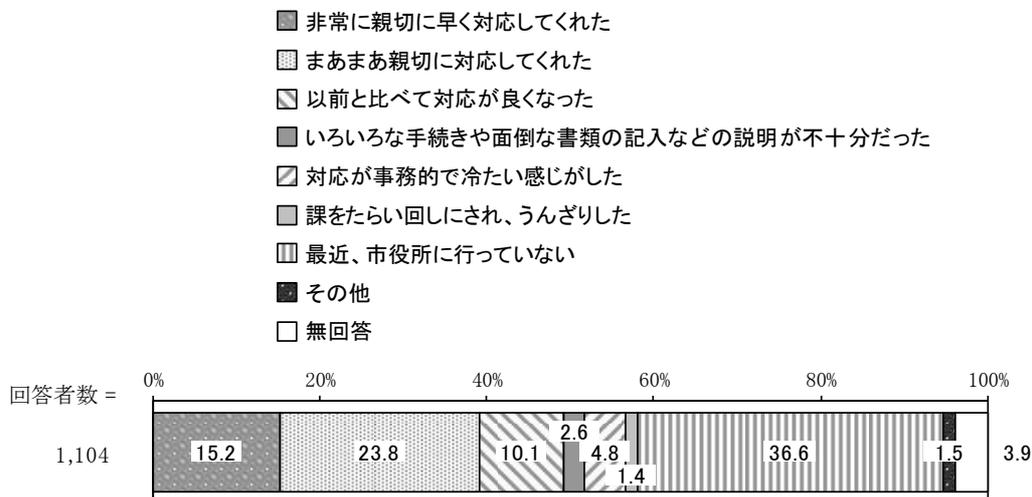
協働の認知度別でみると、他に比べ、知っており、興味があるで「教育・文化に関わる活動」「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」「地域のまちづくりに関わる活動全般」の割合が高くなっています。また、知っており、興味がある、聞いたことはあるが、意味はよくわからないで「福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動	福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動	教育・文化に関わる活動	環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動	防災・防犯 交通安全に関わる活動	活動全般	地域のまちづくりに関わる活動全般	国際化を推進する活動	多文化共生に関わる活動	その他	特に参加したいとは思わない	無回答
知っており、興味がある	66	13.6	28.8	36.4	30.3	19.7	31.8	1.5	9.1	1.5	4.5	—	
知っているが、あまり興味がない	151	11.9	17.9	23.8	18.5	12.6	21.2	7.9	7.3	2.0	23.2	—	
聞いたことはあるが、意味はよくわからない	273	15.8	27.1	13.2	21.2	21.2	20.1	4.8	3.7	—	20.1	2.2	
知らない	579	10.4	13.5	11.2	20.4	11.2	16.8	4.8	2.8	1.4	36.8	2.2	

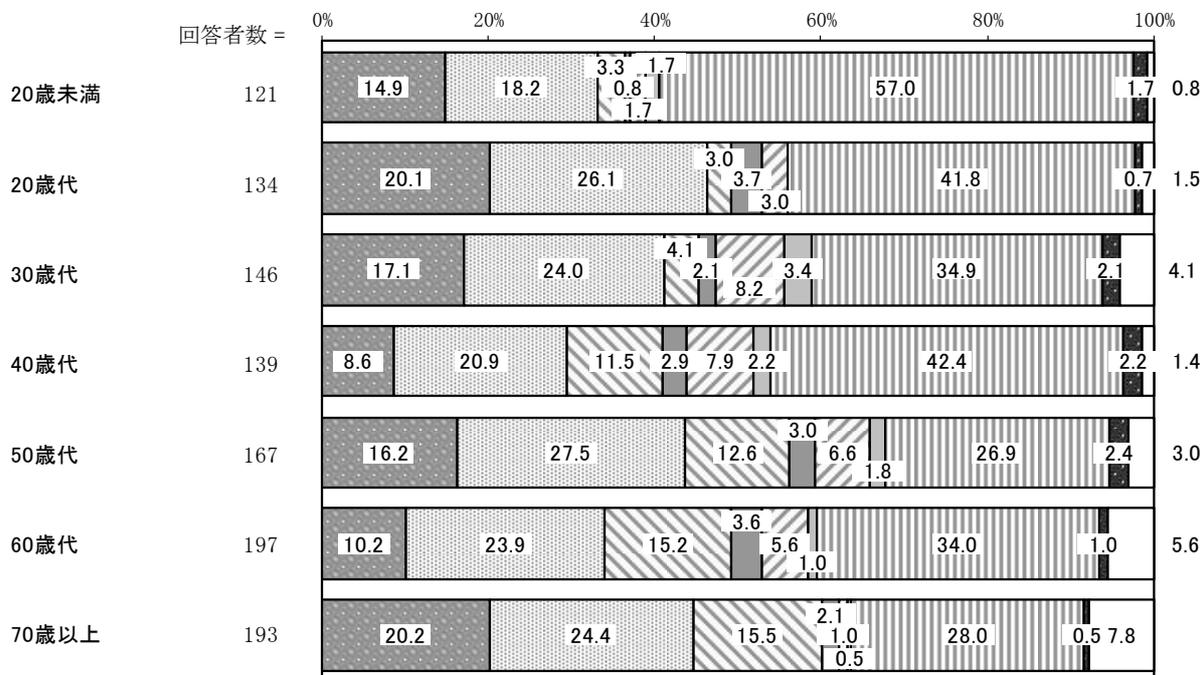
問 21 あなたは、最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。
(○は1つだけ)

「最近、市役所に行っていない」の割合が36.6%と最も高く、次いで「まあまあ親切に対応してくれた」の割合が23.8%、「非常に親切に早く対応してくれた」の割合が15.2%となっています。



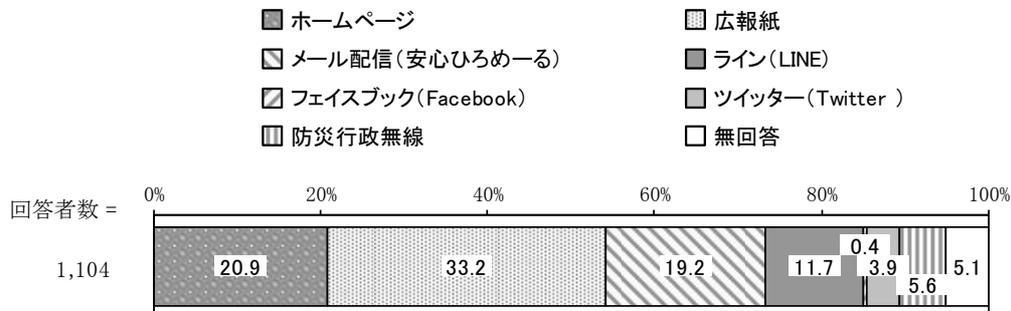
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「以前と比べて対応が良くなった」の割合が高くなる傾向がみられます。



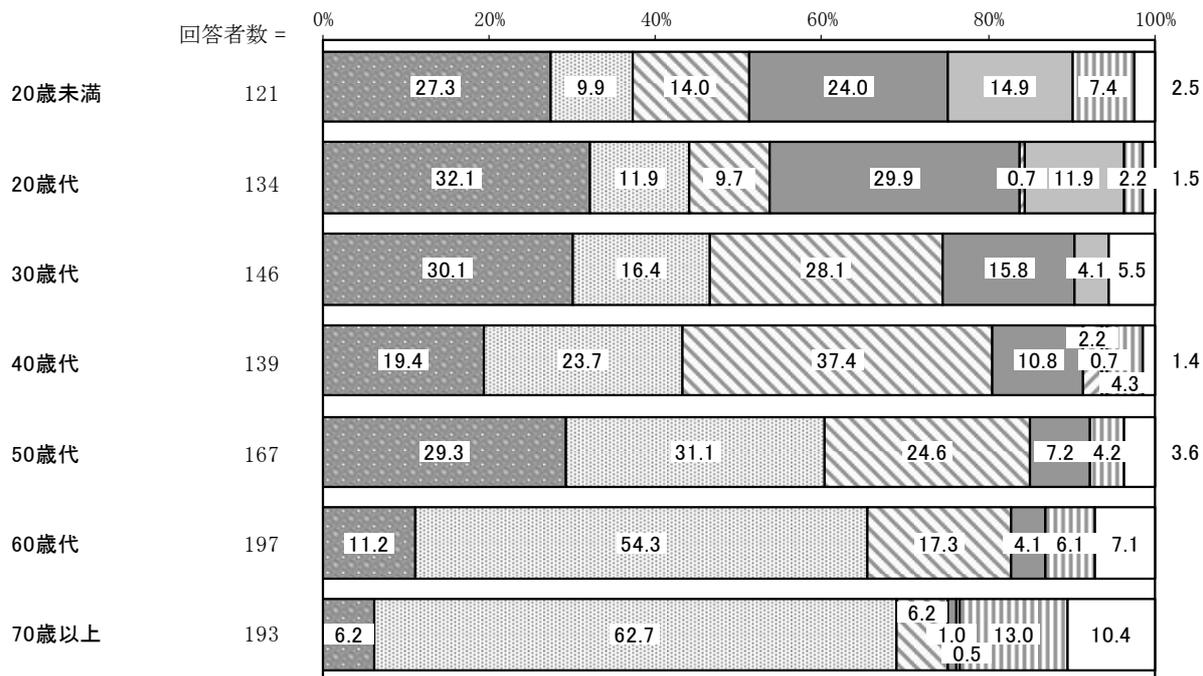
問 22 行政情報は、ホームページや広報紙を始め、メール配信等複数のツールを使って発信していますが、最も情報を得やすい手段は何ですか。(〇は1つだけ)

「広報紙」の割合が33.2%と最も高く、次いで「ホームページ」の割合が20.9%、「メール配信（安心ひろめーる）」の割合が19.2%となっています。



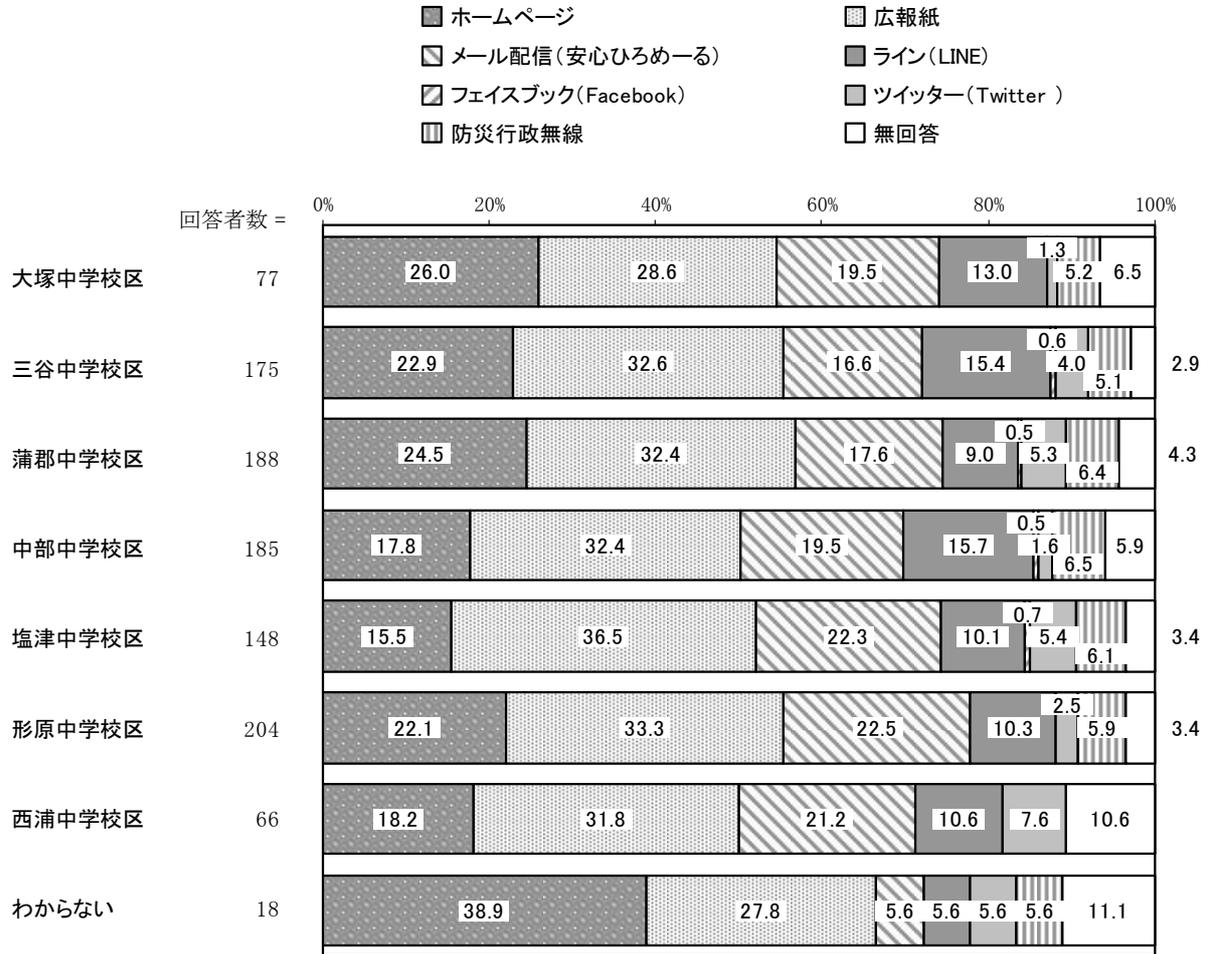
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「広報紙」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約6割となっています。また、他の年代に比べ、30歳代以下、50歳代で「ホームページ」の割合が、20歳代で「ライン (LINE)」の割合が高く、約3割となっています。



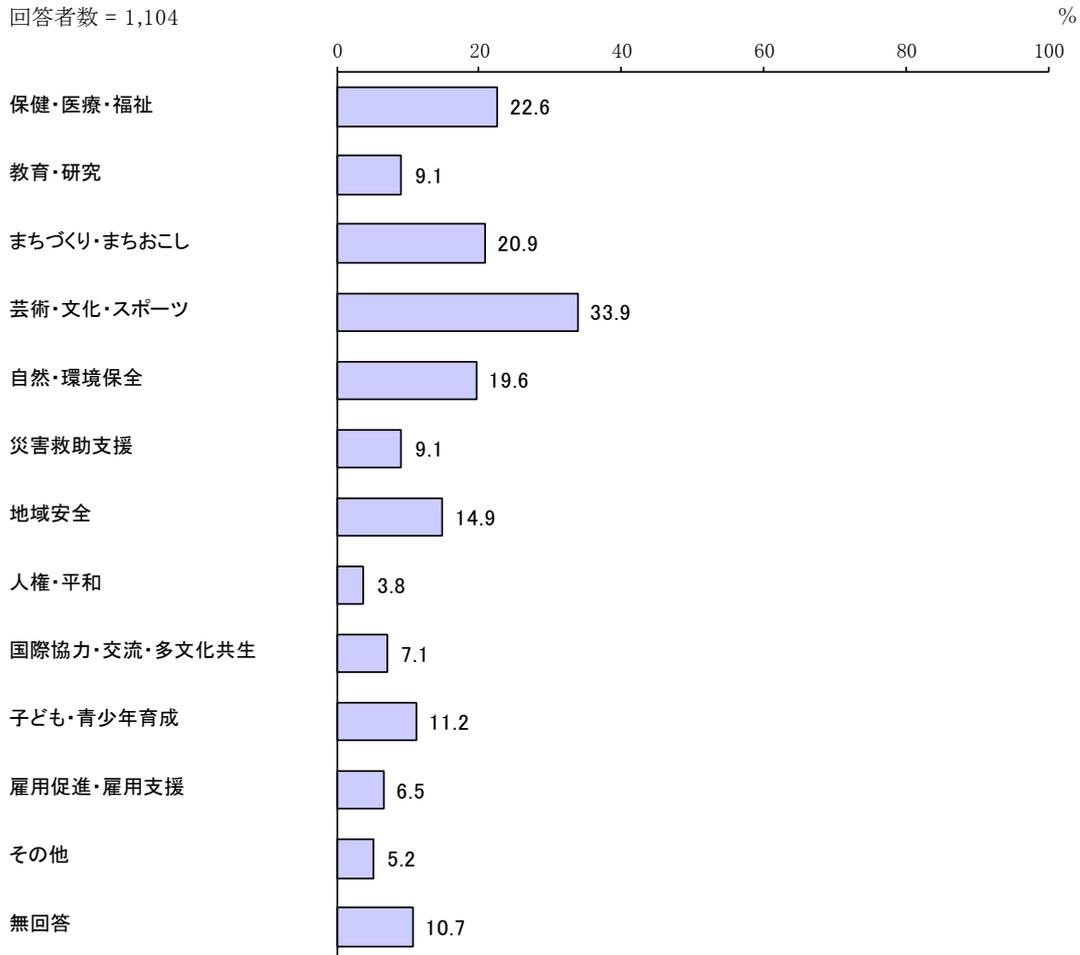
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区、蒲郡中学校区で「ホームページ」の割合が高く、2割半ばとなっています。



問 23 次のうち、興味のある（参加してみたいまたは現在活動している）市民活動の分野は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「芸術・文化・スポーツ」の割合が33.9%と最も高く、次いで「保健・医療・福祉」の割合が22.6%、「まちづくり・まちおこし」の割合が20.9%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「芸術・文化・スポーツ」の割合が、年代が高くなるにつれ「地域安全」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、30歳代で「子ども・青少年育成」の割合が高く、2割半ばとなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	保健・医療・福祉	教育・研究	まちおこし まちづくり・	芸術・文化・スポーツ	自然・環境保全	災害救助支援	地域安全	人権・平和	国際協力・交流・ 多文化共生	子ども・青少年育成	雇用促進・雇用支援	その他	無回答
20歳未満	121	14.9	11.6	19.8	49.6	20.7	6.6	5.8	5.8	12.4	3.3	6.6	3.3	5.8
20歳代	134	24.6	16.4	23.9	45.5	17.9	11.2	8.2	4.5	7.5	13.4	6.7	1.5	6.7
30歳代	146	23.3	11.0	24.7	30.1	22.6	10.3	11.0	3.4	9.6	26.0	8.9	5.5	6.2
40歳代	139	22.3	13.7	22.3	32.4	10.1	6.5	12.9	1.4	7.9	17.3	6.5	7.9	7.9
50歳代	167	26.3	6.0	25.7	32.9	19.2	9.0	15.0	1.8	6.6	6.0	4.8	6.0	9.6
60歳代	197	19.3	4.6	16.8	29.9	19.8	10.7	17.8	5.1	5.6	8.1	8.6	6.1	15.7
70歳以上	193	26.4	5.7	16.1	25.4	24.4	8.8	26.4	4.1	2.1	6.7	4.1	5.2	17.1

【中学校区別】

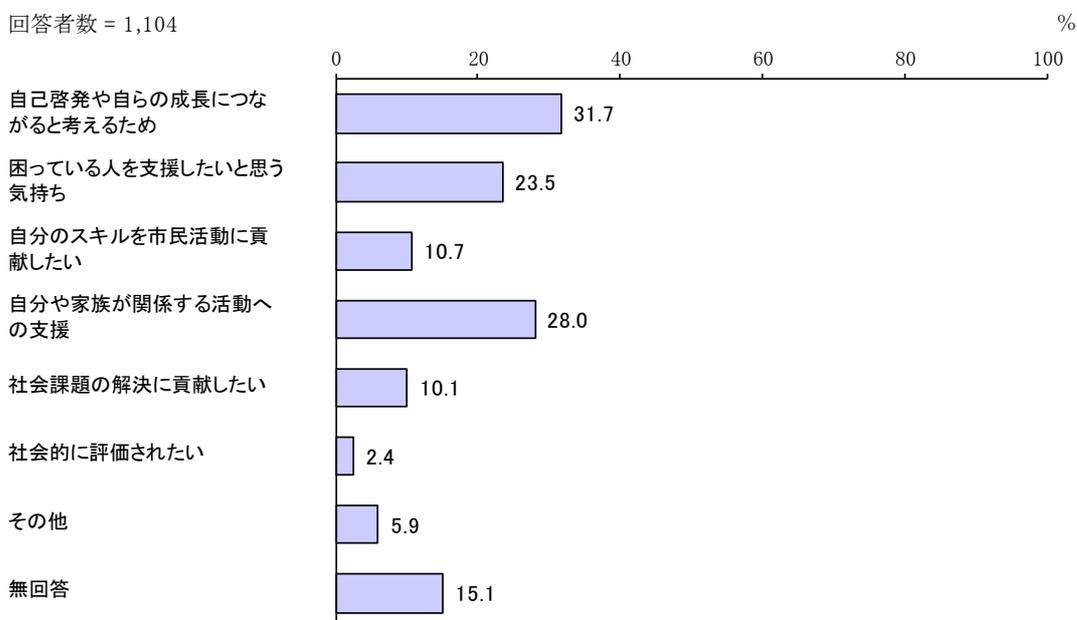
中学校区別でみると、他の地区に比べ、西浦中学校区で「保健・医療・福祉」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	保健・医療・福祉	教育・研究	まちおこし まちづくり・	芸術・文化・スポーツ	自然・環境保全	災害救助支援	地域安全	人権・平和	国際協力・交流・ 多文化共生	子ども・青少年育成	雇用促進・雇用支援	その他	無回答
大塚中学校区	77	24.7	7.8	26.0	37.7	20.8	14.3	11.7	6.5	3.9	13.0	2.6	6.5	9.1
三谷中学校区	175	20.0	12.6	20.6	38.9	20.6	9.7	16.0	4.6	6.9	14.9	8.0	4.0	6.9
蒲郡中学校区	188	23.4	7.4	22.9	31.9	14.4	6.4	16.5	3.2	5.3	8.0	9.6	6.9	9.0
中部中学校区	185	23.2	11.4	16.8	31.9	21.6	8.1	16.2	3.8	8.6	12.4	5.4	3.8	10.3
塩津中学校区	148	21.6	6.1	25.0	35.8	17.6	9.5	16.2	0.7	8.1	12.8	4.1	3.4	9.5
形原中学校区	204	20.1	8.3	21.1	37.7	23.5	10.8	12.7	3.4	6.9	6.9	6.4	6.4	10.8
西浦中学校区	66	31.8	10.6	13.6	25.8	18.2	7.6	10.6	9.1	7.6	13.6	9.1	7.6	15.2
わからない	18	33.3	5.6	22.2	27.8	11.1	16.7	5.6	5.6	5.6	22.2	5.6	—	11.1

問 24 市民活動に興味のある（参加してみたいまたは参加している）理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「自分や家族が関係する活動への支援」の割合が 28.0%、「困っている人を支援したいと思う気持ち」の割合が 23.5%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」の割合が高く、約4割となっています。また、20歳未満で「自分のスキルを市民活動に貢献したい」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自己啓発や自らの成長につながると考えるため	困っている人を支援したいと思う気持ち	自分のスキルを市民活動に貢献したい	自分や家族が関係する活動への支援	社会課題の解決に貢献したい	社会的に評価されたい	その他	無回答
20歳未満	121	36.4	26.4	18.2	15.7	13.2	5.0	7.4	7.4
20歳代	134	38.8	32.1	14.9	23.1	10.4	5.2	1.5	9.0
30歳代	146	32.2	25.3	10.3	32.9	13.7	4.1	5.5	11.0
40歳代	139	28.1	20.9	7.9	30.9	9.4	2.9	8.6	10.8
50歳代	167	31.1	19.2	9.0	28.7	12.6	1.8	7.2	15.6
60歳代	197	33.0	20.8	12.2	29.4	7.6	—	5.1	19.8
70歳以上	193	26.4	21.8	5.2	32.1	6.7	—	5.7	24.4

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、三谷中学校区で「自己啓発や自らの成長につながる」と考えるため、「困っている人を支援したいと思う気持ち」の割合が高くなっています。

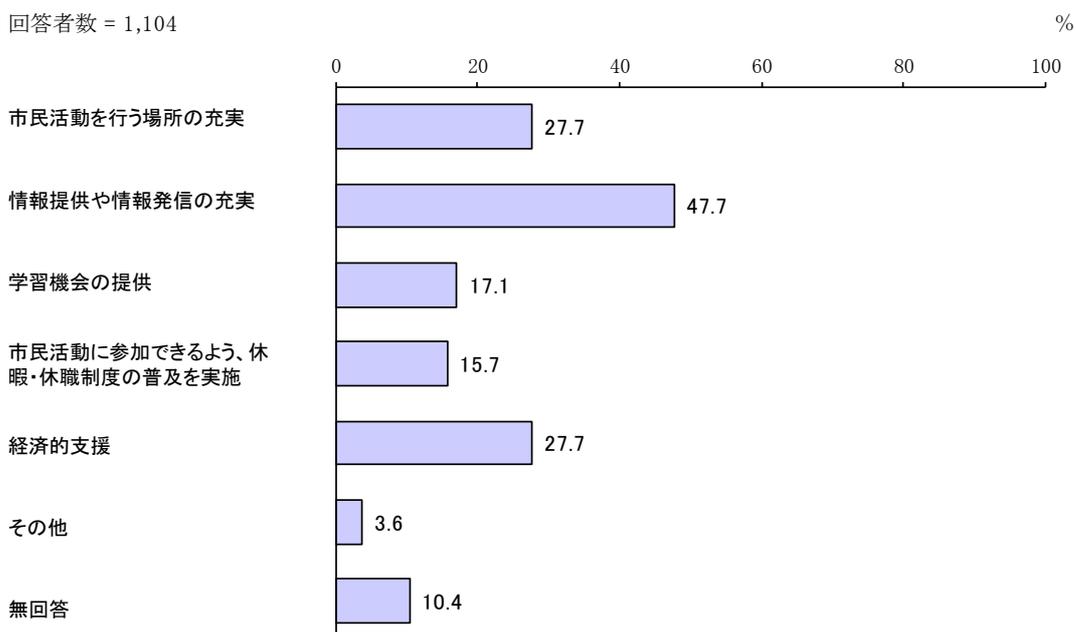
単位：％

区分	回答者数 (件)	自己啓発や自らの成長につながる と考えるため	困っている人を支援 したいと思う気持ち	自分のスキルを市民活動 に貢献したい	自分や家族が関係する 活動への支援	社会課題の解決に 貢献したい	社会的に評価されたい	その他	無回答
大塚中学校区	77	32.5	19.5	10.4	33.8	9.1	1.3	7.8	14.3
三谷中学校区	175	37.7	26.3	10.9	24.6	10.9	4.0	5.1	9.7
蒲郡中学校区	188	30.9	23.9	11.7	27.1	7.4	3.2	6.4	15.4
中部中学校区	185	31.9	22.7	12.4	28.1	13.5	1.6	3.8	14.1
塩津中学校区	148	33.1	23.6	10.1	29.1	11.5	4.1	10.1	10.8
形原中学校区	204	30.9	22.5	8.3	29.9	9.3	1.0	6.4	16.2
西浦中学校区	66	25.8	18.2	12.1	27.3	6.1	1.5	3.0	21.2
わからない	18	44.4	50.0	22.2	27.8	16.7	—	—	11.1

問 25 市民活動について、行政にどのようなことを期待しますか。 (あてはまるものすべてに○)

「情報提供や情報発信の充実」の割合が47.7%と最も高く、次いで「市民活動を行う場所の充実」、「経済的支援」の割合が27.7%となっています。

回答者数 = 1,104



【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で年代が低くなるにつれ「市民活動に参加できるよう、休暇・休職制度の普及を実施」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代で約3割となっています。また、20歳未満で「経済的支援」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市民活動を行う場所の充実	情報提供や情報発信の充実	学習機会の提供	市民活動に参加できるよう、 休暇・休職制度の普及を実施	経済的支援	その他	無回答
20歳未満	121	29.8	34.7	17.4	21.5	38.0	1.7	6.6
20歳代	134	33.6	41.0	18.7	28.4	31.3	0.7	3.7
30歳代	146	21.9	50.0	21.9	21.2	28.8	4.1	5.5
40歳代	139	25.9	49.6	15.8	20.1	32.4	5.8	5.0
50歳代	167	29.9	51.5	13.8	10.8	28.7	4.8	9.6
60歳代	197	25.9	50.3	15.7	8.6	24.4	3.0	15.2
70歳以上	193	28.0	51.3	18.1	7.3	17.1	4.7	20.2

【中学校区別】

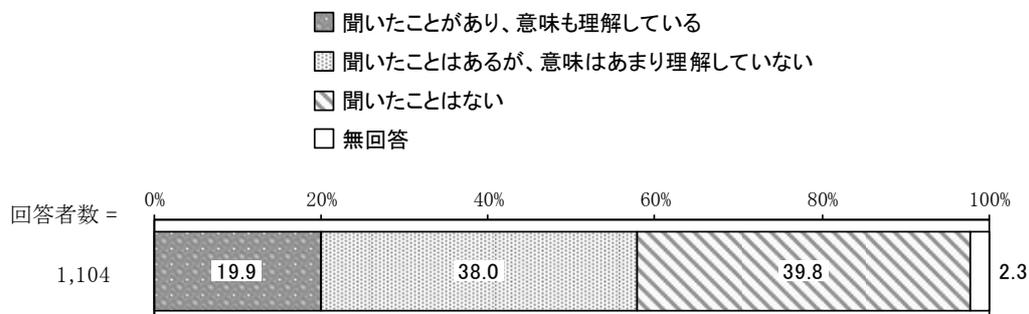
中学校区別でみると、他の地区に比べ、西浦中学校区で「経済的支援」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市民活動を行う場所の充実	情報提供や情報発信の充実	学習機会の提供	市民活動に参加できるよう、 休暇・休職制度の普及を実施	経済的支援	その他	無回答
大塚中学校区	77	26.0	42.9	23.4	14.3	26.0	2.6	15.6
三谷中学校区	175	28.0	48.6	21.7	17.7	28.6	3.4	7.4
蒲郡中学校区	188	32.4	50.5	11.7	15.4	27.7	3.7	9.0
中部中学校区	185	29.7	43.2	16.8	17.3	31.9	2.2	11.4
塩津中学校区	148	29.1	51.4	17.6	14.9	21.6	5.4	8.1
形原中学校区	204	26.0	46.1	17.2	14.7	27.0	4.9	8.3
西浦中学校区	66	19.7	48.5	16.7	16.7	37.9	3.0	10.6
わからない	18	22.2	61.1	5.6	27.8	27.8	—	11.1

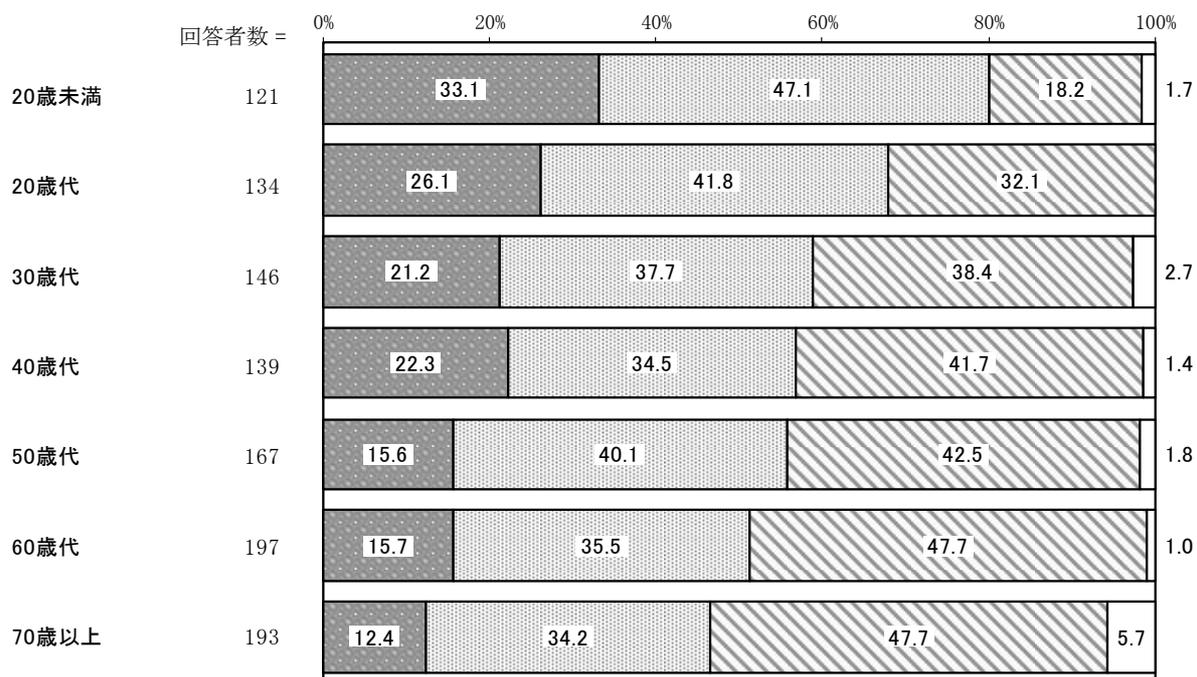
問 26 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つだけ)

「聞いたことはない」の割合が39.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない」の割合が38.0%、「聞いたことがあります、意味も理解している」の割合が19.9%となっています。



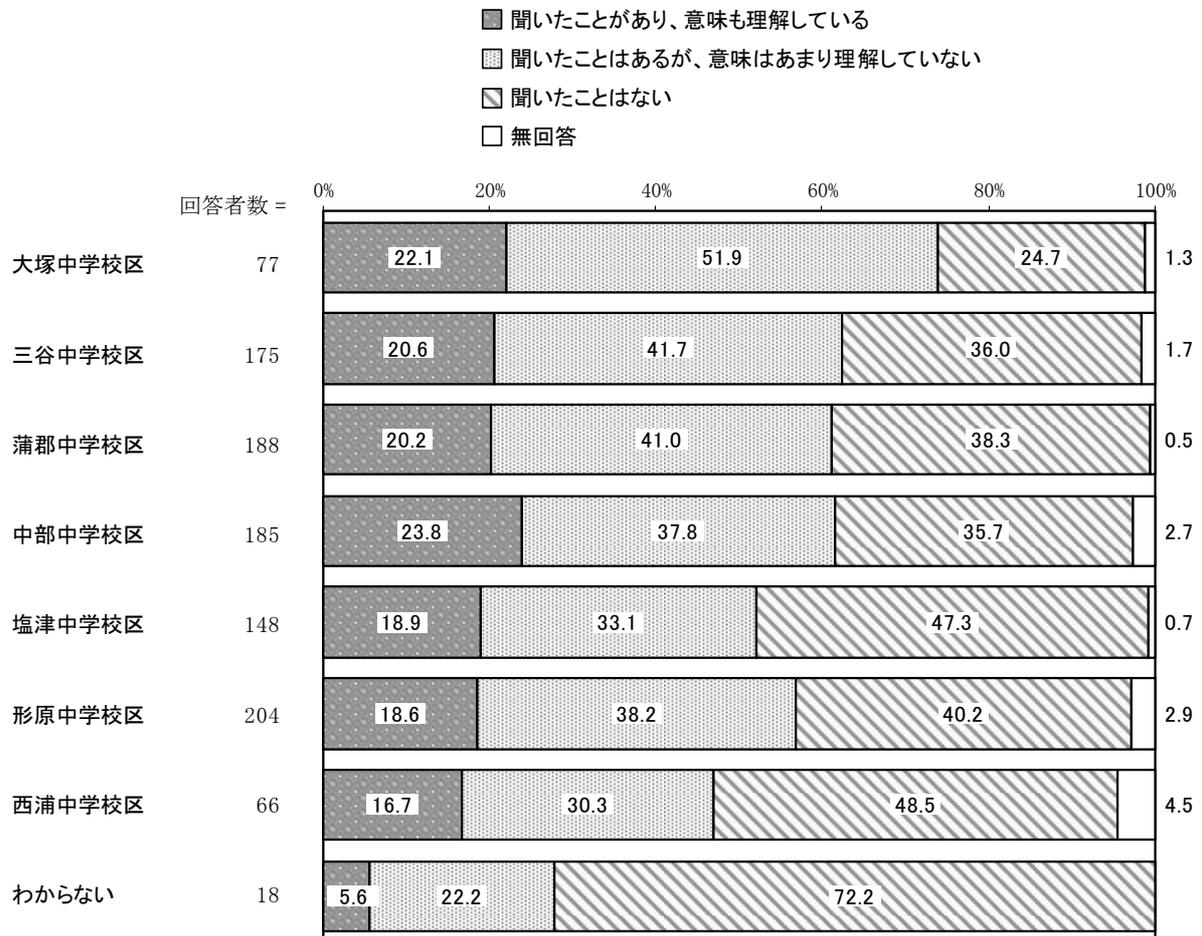
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「聞いたことがあります、意味も理解している」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で約3割となっています。また、年代が高くなるにつれ「聞いたことはない」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代以上で約5割となっています。



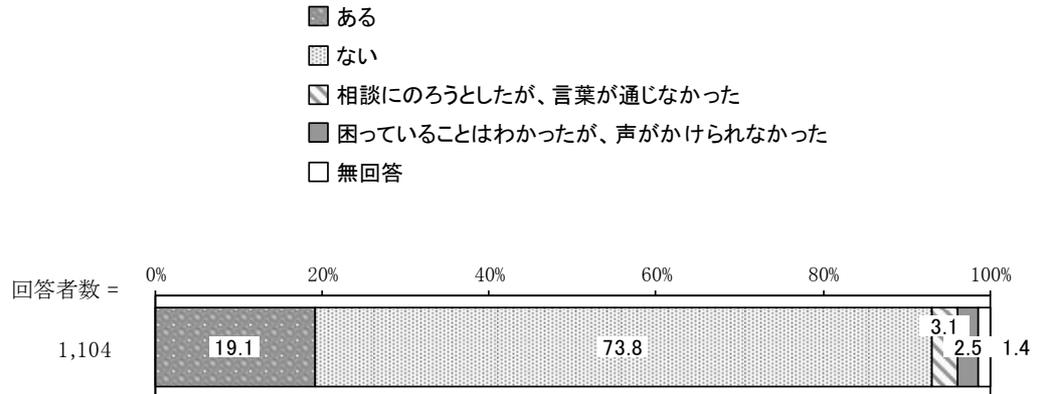
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、大塚中学校区で「聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない」の割合が高く、約5割となっています。また、塩津中学校区、西浦中学校区で「聞いたことはない」の割合が高く、約5割となっています。



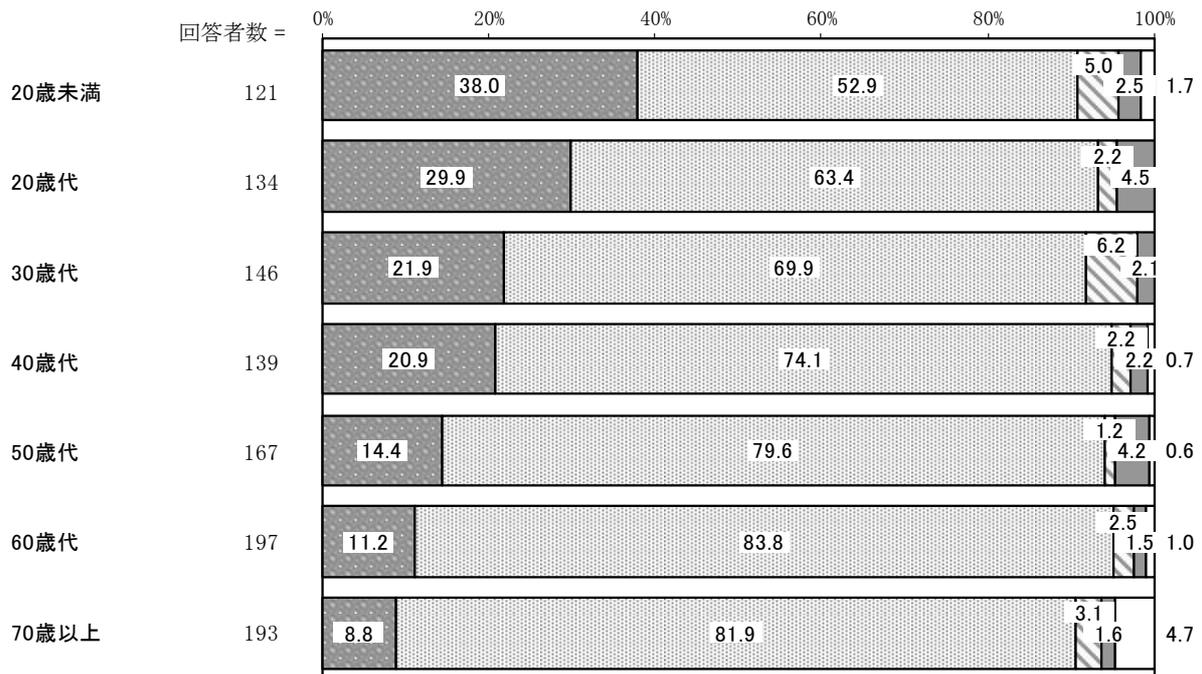
問 27 外国人の相談にのったり、助けたりしたことがありますか。(○は1つだけ)

「ない」の割合が73.8%と最も高く、次いで「ある」の割合が19.1%となっています。



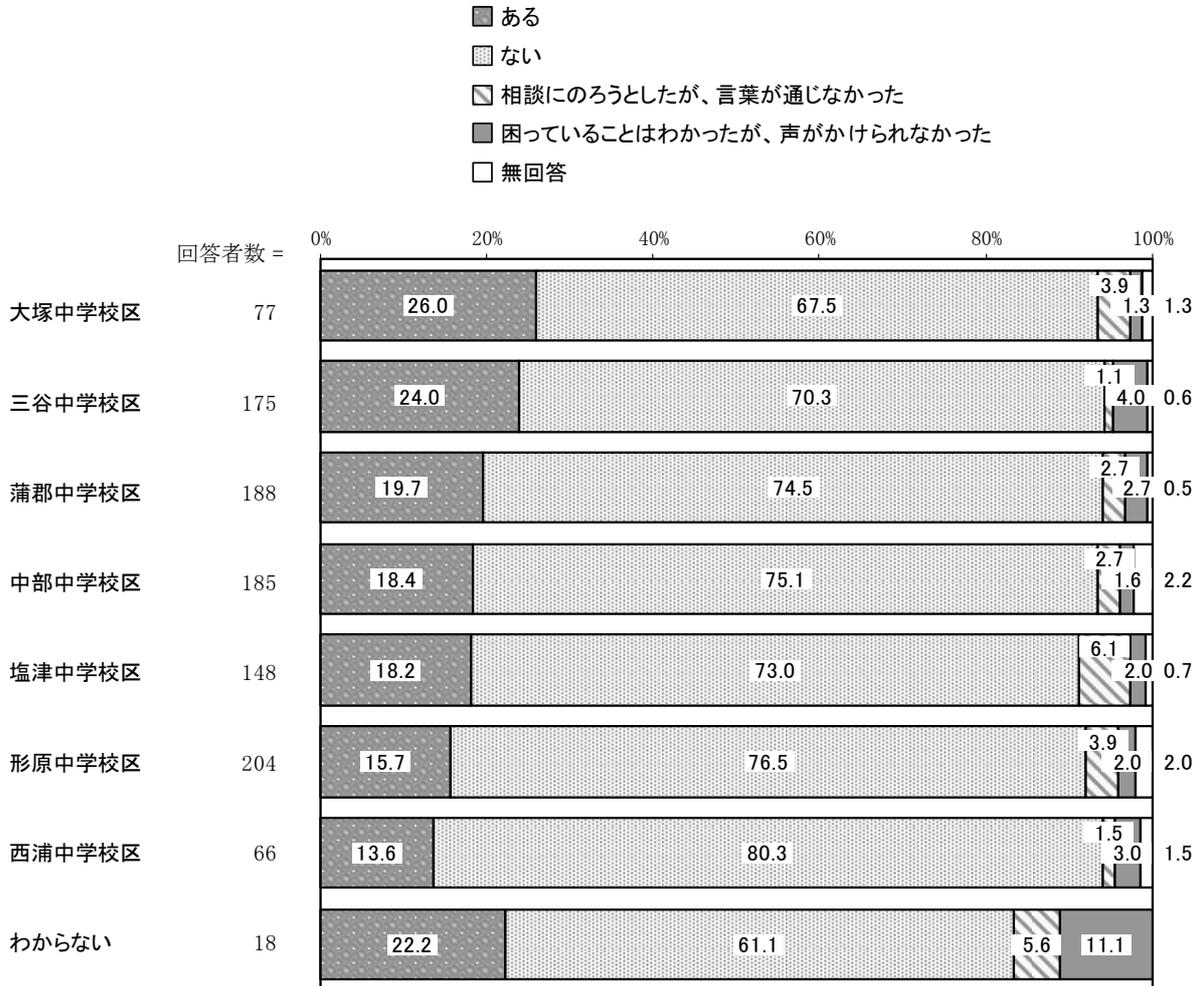
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「ある」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で約4割となっています。また、年代が高くなるにつれ「ない」の割合が高くなる傾向がみられ、50歳代以上で約8割となっています。



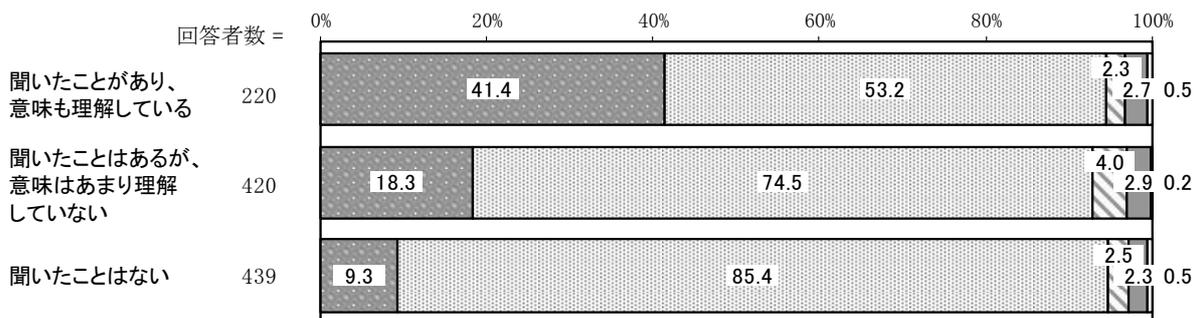
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区、三谷中学校区で「ある」の割合が高く、2割半ばとなっています。また、西浦中学校区で「ない」の割合が高く、約8割となっています。



【多文化共生の認知度別】

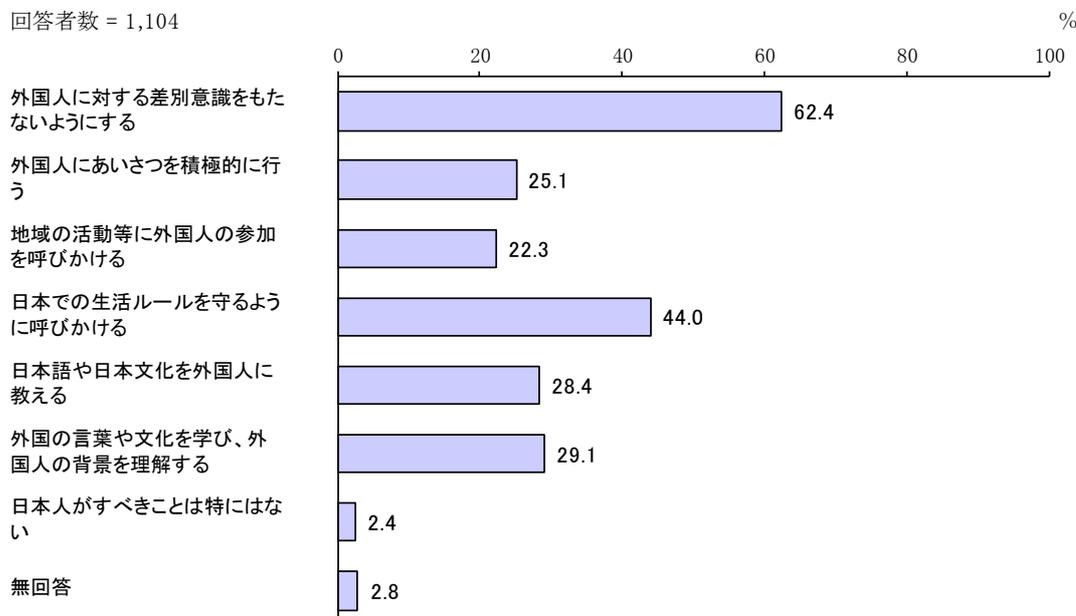
多文化共生の認知度別でみると、他に比べ、聞いたことがあり、意味も理解している人で「ある」の割合が高く、約4割となっています。また、聞いたことはない人で「ない」の割合が高く、8割半ばとなっています。



問 28 外国人市民の人口は増え続けています。ともに暮らしやすい地域をつくっていくために、私たち日本人は何をすべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「外国人に対する差別意識をもたないようにする」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「日本での生活ルールを守るように呼びかける」の割合が 44.0%、「外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する」の割合が 29.1%となっています。

回答者数 = 1,104



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する」の割合が高くなる傾向がみられ、30歳代以下で約4割となっています。また、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で「日本語や日本文化を外国人に教える」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外国人に対する差別意識をもたないようにする	外国人にあいさつを積極的に行う	地域の活動等に外国人の参加を呼びかける	日本での生活ルールを守るように呼びかける	日本語や日本文化を外国人に教える	外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する	日本人がすべきことは特にはない	無回答
20歳未満	121	64.5	22.3	13.2	34.7	28.9	41.3	2.5	3.3
20歳代	134	57.5	24.6	23.1	36.6	41.0	43.3	3.7	0.7
30歳代	146	59.6	22.6	25.3	40.4	39.0	40.4	3.4	2.7
40歳代	139	56.1	25.9	22.3	46.8	23.0	30.9	0.7	1.4
50歳代	167	65.9	21.0	22.8	45.5	26.9	19.8	0.6	1.8
60歳代	197	66.5	24.4	21.3	47.7	24.4	21.8	2.0	3.6
70歳以上	193	64.2	32.6	25.4	49.7	19.7	16.6	3.6	5.2

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、形原中学校区、西浦中学校区で「日本での生活ルールを守るように呼びかける」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	外国人に対する差別意識 をもたないようにする	外国人にあいさつを 積極的に行う	地域の活動等に外国人の 参加を呼びかける	日本での生活ルールを 守るよう呼びかける	日本語や日本文化を 外国人に教える	外国の言葉や文化を学び、 外国人の背景を理解する	日本人がすべきことは 特にはない	無回答
大塚中学校区	77	70.1	26.0	19.5	36.4	24.7	26.0	3.9	2.6
三谷中学校区	175	65.7	24.0	22.3	46.3	33.7	33.7	2.9	1.7
蒲郡中学校区	188	61.7	19.7	23.4	38.8	23.4	28.7	2.1	1.1
中部中学校区	185	59.5	25.4	26.5	41.1	30.8	31.9	2.7	3.2
塩津中学校区	148	62.8	26.4	19.6	45.9	23.6	23.6	1.4	1.4
形原中学校区	204	58.3	27.5	22.5	49.0	29.9	30.4	2.5	3.9
西浦中学校区	66	66.7	30.3	22.7	50.0	36.4	24.2	—	3.0
わからない	18	66.7	22.2	16.7	50.0	33.3	55.6	5.6	—

【多文化共生の認知度別】

多文化共生の認知度別でみると、他に比べ、聞いたことがあり、意味も理解している人で「地域の活動等に外国人の参加を呼びかける」「日本語や日本文化を外国人に教える」「外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	外国人に対する差別意識 をもたないようにする	外国人にあいさつを 積極的に行う	地域の活動等に外国人の 参加を呼びかける	日本での生活ルールを 守るよう呼びかける	日本語や日本文化を 外国人に教える	外国の言葉や文化を学び、 外国人の背景を理解する	日本人がすべきことは 特にはない	無回答
聞いたことがあり、意味も 理解している	220	68.2	30.9	31.4	36.4	39.1	46.4	1.4	0.9
聞いたことはあるが、意味は あまり理解していない	420	67.9	28.3	25.7	47.1	30.0	33.6	0.5	0.2
聞いたことはない	439	56.9	20.5	15.3	46.5	22.3	17.5	4.6	2.5

【市への愛着度別】

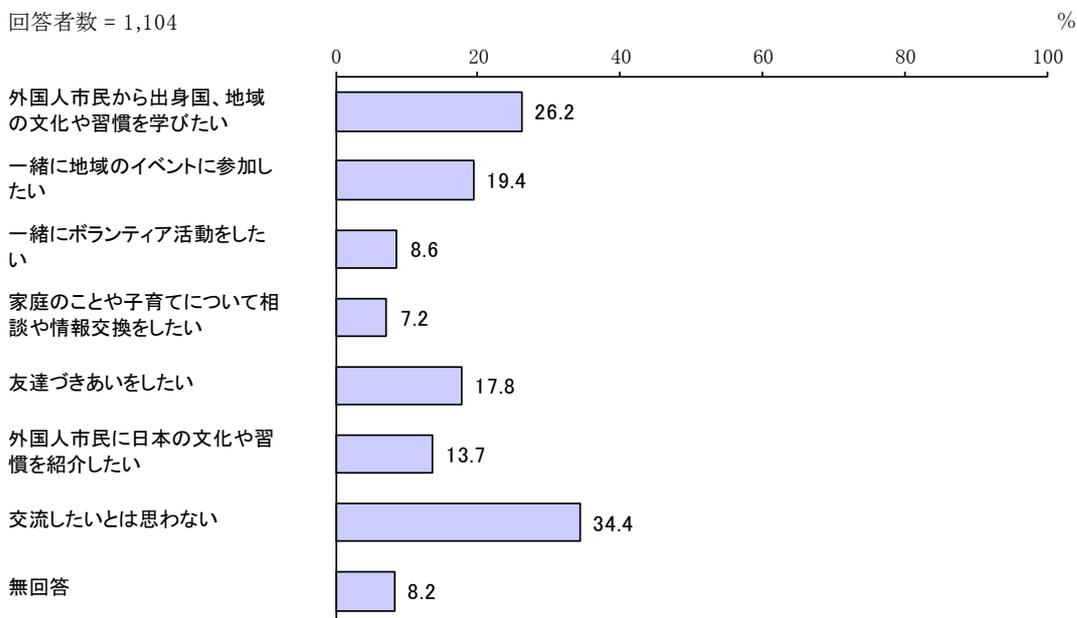
愛着度別でみると、愛着がある人ほど「外国人に対する差別意識をもたないようにする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	外国人に対する差別意識をもたないようにする	外国人にあいさつを積極的に行う	地域の活動等に外国人の参加を呼びかける	日本での生活ルールを守るように呼びかける	日本語や日本文化を外国人に教える	外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する	日本人がすべきこととは特にはない	無回答
とても愛着がある	416	65.6	29.6	28.4	46.2	31.0	28.8	1.0	3.1
やや愛着がある	460	64.8	24.8	20.4	43.0	27.6	32.2	2.4	2.2
どちらでもない	160	52.5	18.8	14.4	39.4	23.8	22.5	4.4	3.1
あまり愛着がない	36	50.0	19.4	19.4	58.3	27.8	27.8	—	2.8
愛着がない	28	46.4	7.1	10.7	39.3	32.1	21.4	14.3	7.1

問 29 外国人市民と今後どのような交流をしたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

「交流したいとは思わない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい」の割合が 26.2%、「一緒に地域のイベントに参加したい」の割合が 19.4%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい」「友達つきあいをしたい」の割合が高く、20歳未満で約4割となっています。また、40歳代以下に比べ、50歳代以上で「交流したいとは思わない」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい	一緒に地域のイベントに参加したい	一緒にボランティア活動をしたい	家庭のことや子育てについて相談や情報交換をしたい	友達つきあいをしたい	外国人市民に日本の文化や習慣を紹介したい	交流したいとは思わない	無回答
20歳未満	121	41.3	17.4	14.0	3.3	38.0	19.0	22.3	3.3
20歳代	134	31.3	24.6	8.2	8.2	33.6	14.9	34.3	—
30歳代	146	35.6	21.2	6.2	10.3	22.6	14.4	30.1	2.7
40歳代	139	28.8	20.1	5.8	13.7	12.9	10.1	30.9	5.0
50歳代	167	21.0	18.6	9.6	7.2	12.6	12.0	39.5	7.2
60歳代	197	20.8	16.8	7.6	2.0	9.1	11.7	40.6	13.2
70歳以上	193	13.5	18.1	9.3	6.7	7.8	14.5	37.3	18.1

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、中部中学校区、塩津中学校区で「外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	外国人市民から出身国、 地域の文化や習慣を学びたい	一緒に地域のイベントに 参加したい	一緒にボランティア活動を したい	家庭のことや子育てについて 相談や情報交換をしたい	友達つきあいをしたい	外国人市民に日本の文化や 習慣を紹介したい	交流したいとは思わない	無回答
大塚中学校区	77	22.1	23.4	13.0	9.1	20.8	15.6	26.0	11.7
三谷中学校区	175	25.7	19.4	9.1	5.7	20.6	16.6	32.0	5.7
蒲郡中学校区	188	24.5	19.7	9.6	9.0	18.1	11.2	37.8	6.9
中部中学校区	185	30.3	18.9	9.2	9.7	19.5	11.9	33.5	9.2
塩津中学校区	148	27.7	25.7	6.8	6.1	13.5	16.2	36.5	3.4
形原中学校区	204	27.0	16.2	8.3	3.9	13.2	11.3	38.2	9.3
西浦中学校区	66	19.7	21.2	4.5	10.6	21.2	18.2	33.3	6.1
わからない	18	33.3	5.6	5.6	5.6	38.9	16.7	22.2	5.6

【多文化共生の認知度別】

多文化共生の認知度別でみると、他に比べ、聞いたことがあり、意味も理解している人で「外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい」「友達つきあいをしたい」「外国人市民に日本の文化や習慣を紹介したい」の割合が高くなっています。また、聞いたことはない人で「交流したいとは思わない」の割合が高く、約5割となっています。

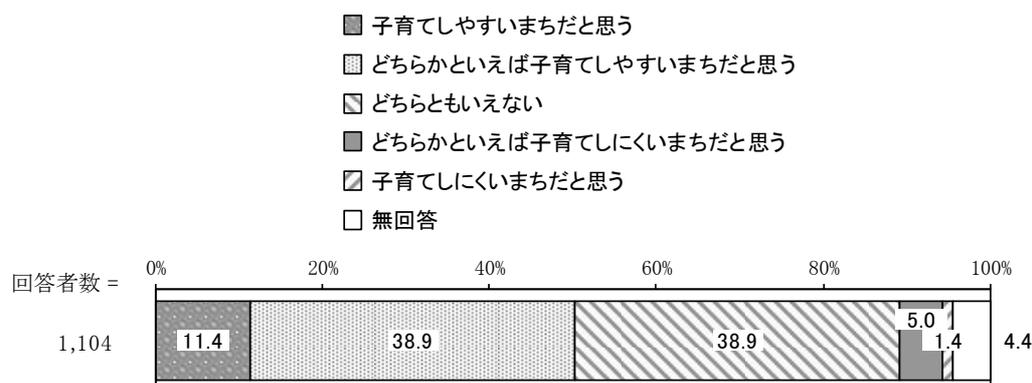
単位：％

区分	回答者数 (件)	外国人市民から出身国、 地域の文化や習慣を学びたい	一緒に地域のイベントに 参加したい	一緒にボランティア活動を したい	家庭のことや子育てについて 相談や情報交換をしたい	友達つきあいをしたい	外国人市民に日本の文化や 習慣を紹介したい	交流したいとは思わない	無回答
聞いたことがあり、 意味も理解している	220	41.4	22.3	10.5	8.6	30.9	20.5	20.0	4.1
聞いたことはあるが、意味は あまり理解していない	420	30.0	23.6	10.0	7.4	16.9	15.7	29.3	5.0
聞いたことはない	439	16.4	14.6	6.6	6.6	13.2	9.1	47.8	9.1

(6) 子育て支援について

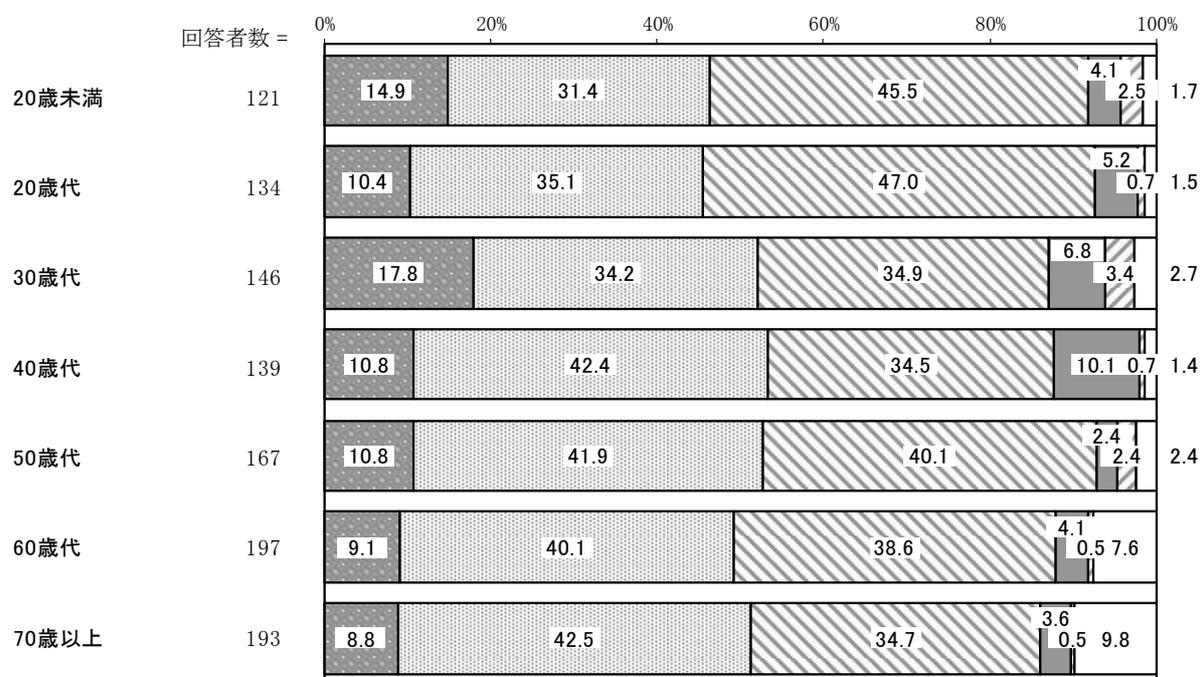
問 30 蒲郡市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つだけ)

「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う」を合わせた「子育てしやすいまちだと思う」の割合が 50.3%、「どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う」と「子育てしにくいまちだと思う」を合わせた「子育てしにくいまちだと思う」の割合が 6.4%、「どちらともいえない」の割合が 38.9%となっています。



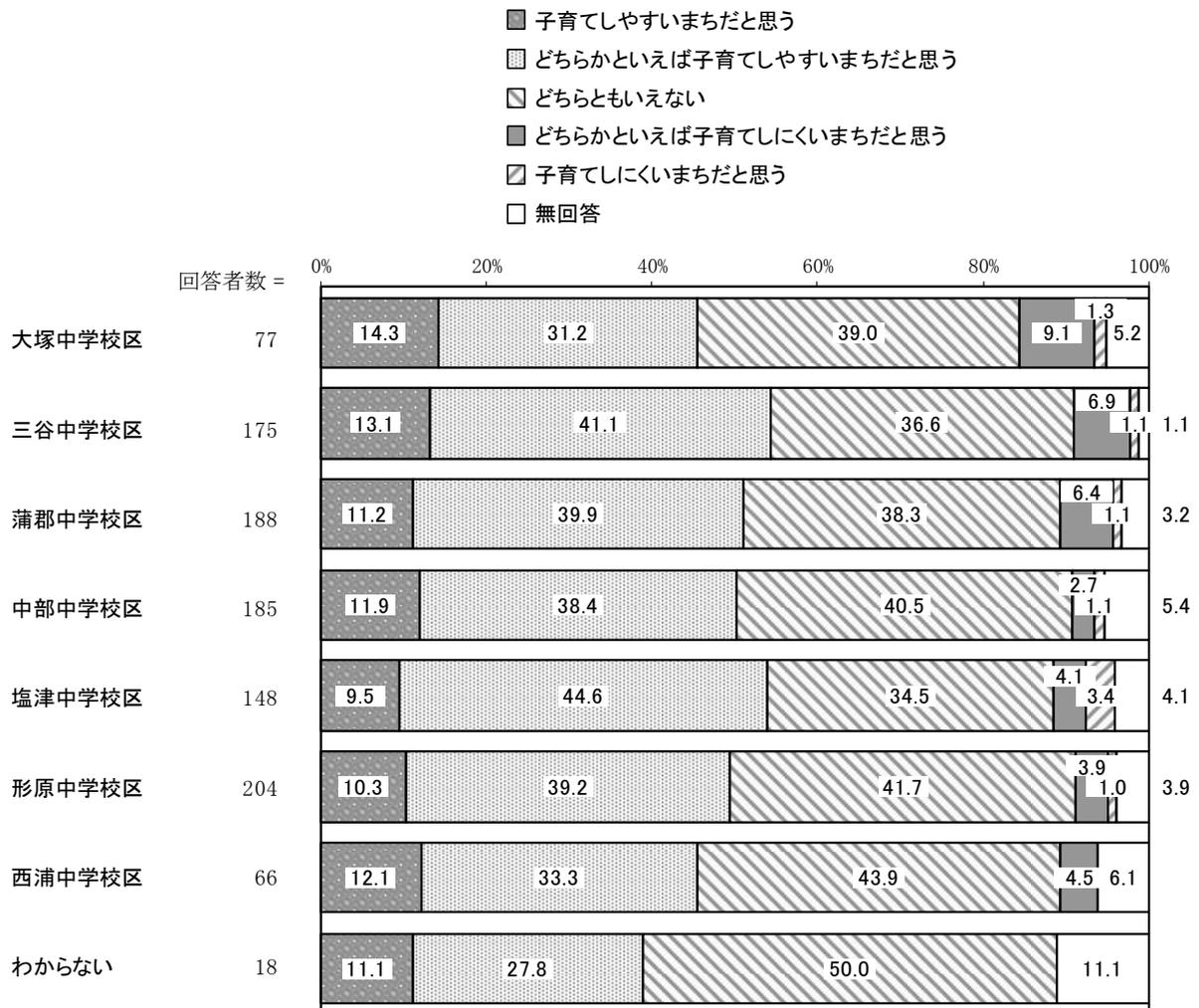
【年代別】

年代別でみると、20歳代以下に比べ、30歳代以上で「子育てしやすいまちだと思う」の割合が高く、約5割となっています。また、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「子育てしにくいまちだと思う」の割合が高く、約1割となっています。



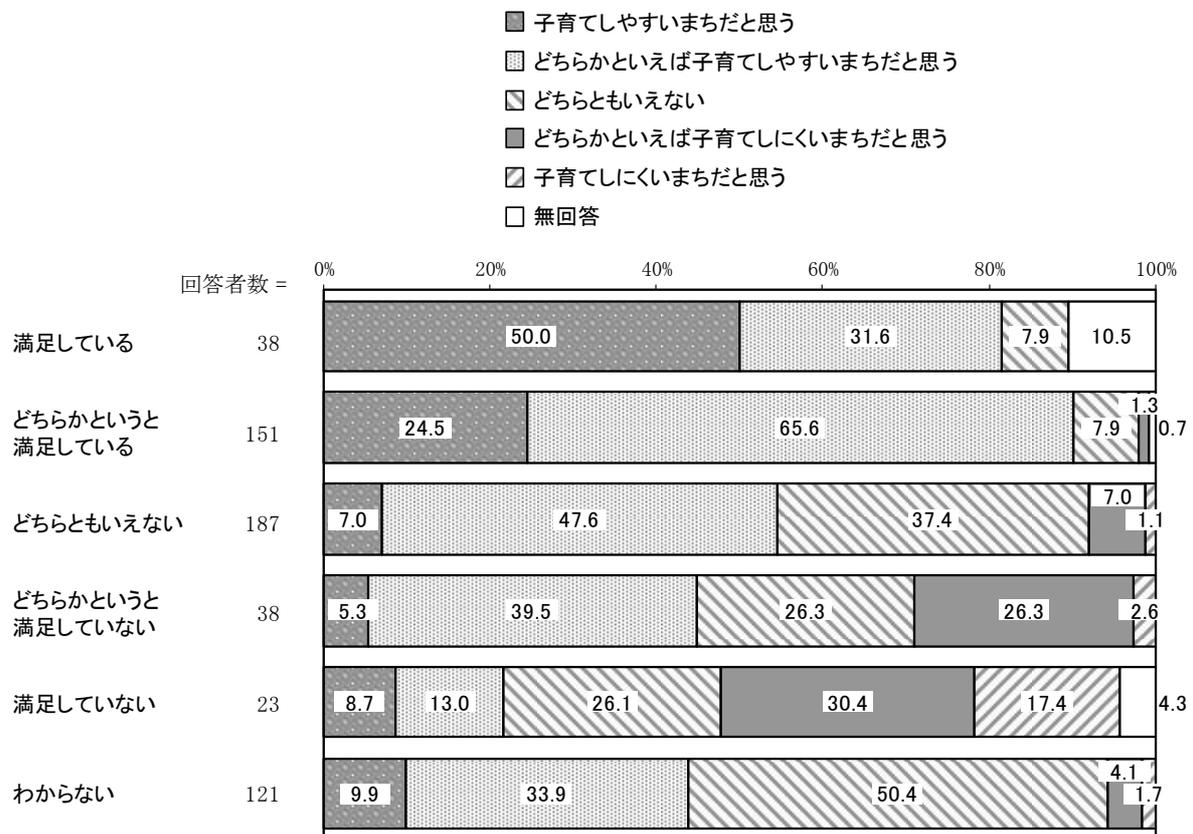
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、三谷中学校区、塩津中学校区で“子育てしやすいまちだと思ふ”の割合が高く、5割半ばとなっています。



【子育て情報の満足度別】

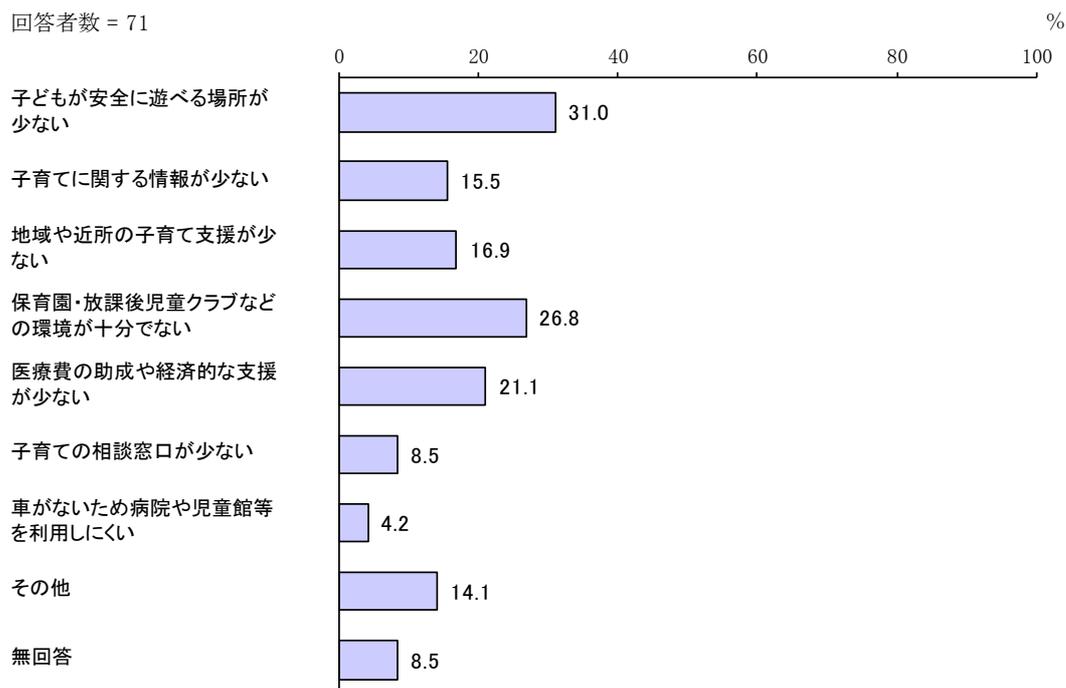
子育て情報の満足度別でみると、子育て情報の満足度が高くなるにつれ“子育てしやすいまちだと思”の割合が高くなる傾向がみられ、“満足している”人で8割を超えています。また、子育て情報に満足していない人で“子育てしにくいまちだと思”の割合が高く、約5割となっています。



問 30 で「どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う」、「子育てしにくいまちだと思う」と答えた方にお聞きします。

問 30-1 子育てしにくいところはどんなところですか。(〇は2つまで)

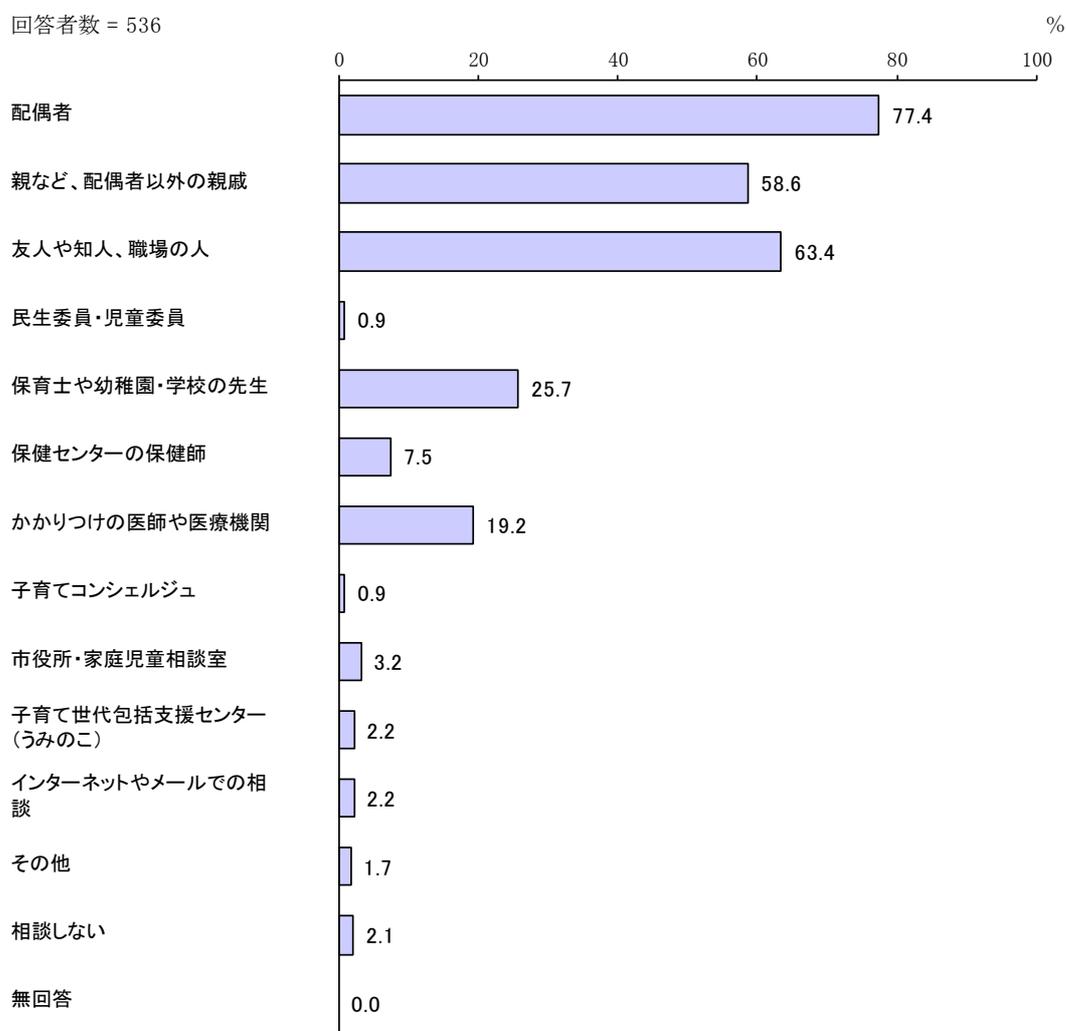
「子どもが安全に遊べる場所が少ない」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「保育園・放課後児童クラブなどの環境が十分でない」の割合が 26.8%、「医療費の助成や経済的な支援が少ない」の割合が 21.1%となっています。



問 31～問 34 については子育てをしている方もしくは、子育てしていた方のみご回答ください。

問 31 あなたが子育てや子どものことに関して悩みや不安を抱えたとき、相談できる人は誰ですか。またそれはどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「友人や知人、職場の人」の割合が 63.4%、「親など、配偶者以外の親戚」の割合が 58.6%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「親など、配偶者以外の親戚」「友人や知人、職場の人」「保育士や幼稚園・学校の先生」の割合が高くなっています。また、20歳未満で「保健センターの保健師」の割合が、50歳代で「かかりつけの医師や医療機関」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	親など、 配偶者以外の 親戚	友人や知人、 職場の人	民生委員・ 児童委員	保育士や幼稚園・ 学校の先生	保健センターの 保健師	医療機関	かかりつけの 医師や	子育て コンシェルジュ	市役所・ 家庭児童相談室	子育て世代 包括支援 センター うみのこ	インターネット やメール での相談	その他	相談 しない	無 回答
20歳未満	10	50.0	40.0	40.0	10.0	30.0	30.0	20.0	10.0	—	—	—	—	20.0	—	
20歳代	14	78.6	64.3	64.3	—	—	21.4	14.3	7.1	—	21.4	7.1	—	—	—	
30歳代	87	80.5	71.3	74.7	—	34.5	11.5	13.8	2.3	1.1	4.6	3.4	3.4	2.3	—	
40歳代	102	72.5	69.6	75.5	1.0	34.3	8.8	13.7	—	1.0	2.0	2.0	2.9	2.0	—	
50歳代	117	84.6	55.6	66.7	—	30.8	7.7	29.1	—	4.3	0.9	3.4	0.9	1.7	—	
60歳代	117	80.3	55.6	59.8	0.9	16.2	2.6	17.1	—	5.1	0.9	0.9	0.9	—	—	
70歳以上	85	69.4	41.2	41.2	2.4	15.3	2.4	22.4	—	4.7	1.2	1.2	1.2	3.5	—	

【中学校区別】

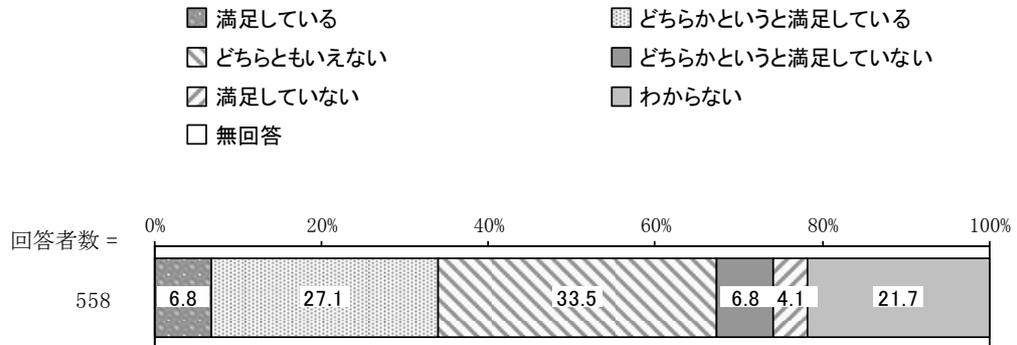
中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区で「友人や知人、職場の人」の割合が高く、約8割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	親など、 配偶者以外の 親戚	友人や知人、 職場の人	民生委員・ 児童委員	保育士や幼稚園・ 学校の先生	保健センターの 保健師	医療機関	かかりつけの 医師や	子育て コンシェルジュ	市役所・ 家庭児童相談室	子育て世代 包括支援 センター うみのこ	インターネット やメール での相談	その他	相談 しない	無 回答
大塚中学校区	34	73.5	52.9	79.4	—	26.5	5.9	14.7	—	8.8	2.9	—	—	—	—	
三谷中学校区	90	80.0	64.4	64.4	1.1	27.8	7.8	17.8	1.1	1.1	3.3	5.6	—	—	—	
蒲郡中学校区	101	74.3	56.4	54.5	1.0	20.8	8.9	19.8	2.0	1.0	3.0	2.0	3.0	4.0	—	
中部中学校区	86	76.7	61.6	64.0	—	32.6	5.8	18.6	—	5.8	1.2	2.3	4.7	2.3	—	
塩津中学校区	69	82.6	58.0	63.8	1.4	27.5	10.1	24.6	1.4	1.4	2.9	—	1.4	1.4	—	
形原中学校区	100	75.0	59.0	72.0	1.0	27.0	8.0	18.0	—	4.0	—	2.0	—	2.0	—	
西浦中学校区	36	80.6	58.3	50.0	2.8	8.3	2.8	16.7	—	5.6	—	2.8	2.8	—	—	
わからない	4	100.0	50.0	25.0	—	25.0	25.0	—	25.0	—	50.0	—	—	—	—	

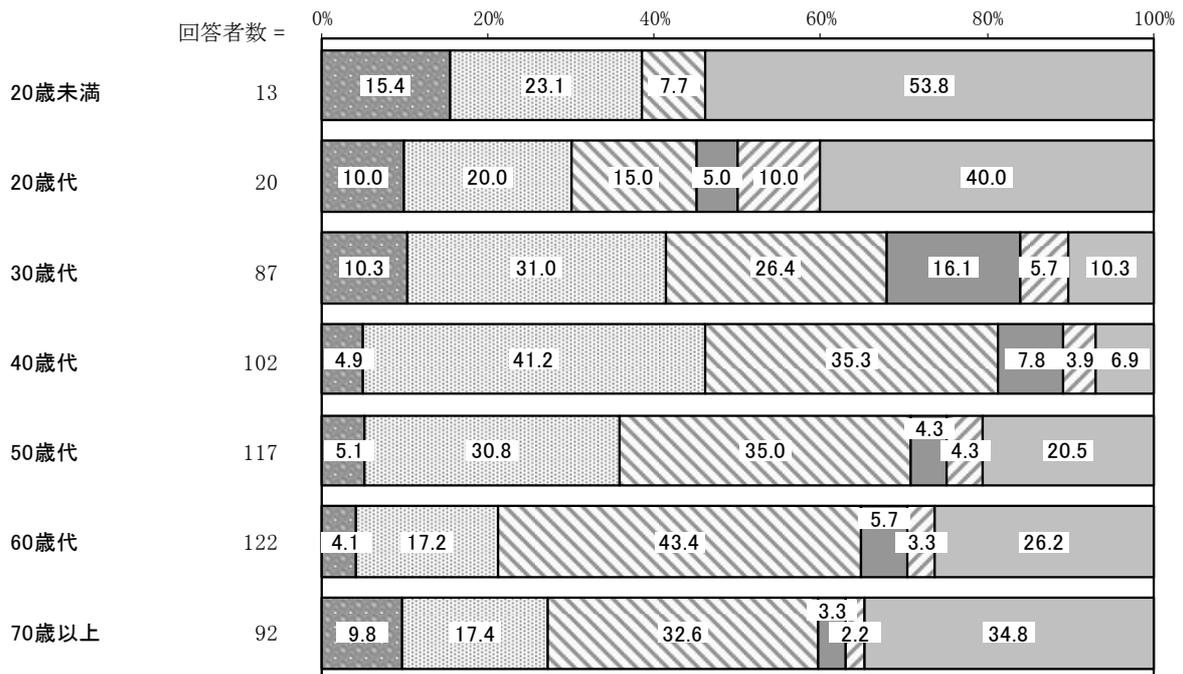
問 32 子育てに関する情報に満足していますか。(〇は1つだけ)

「満足している」と「どちらかという満足している」を合わせた“満足している”の割合が33.9%、「どちらかという満足していない」と「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が10.9%、「どちらともいえない」の割合が33.5%となっています。



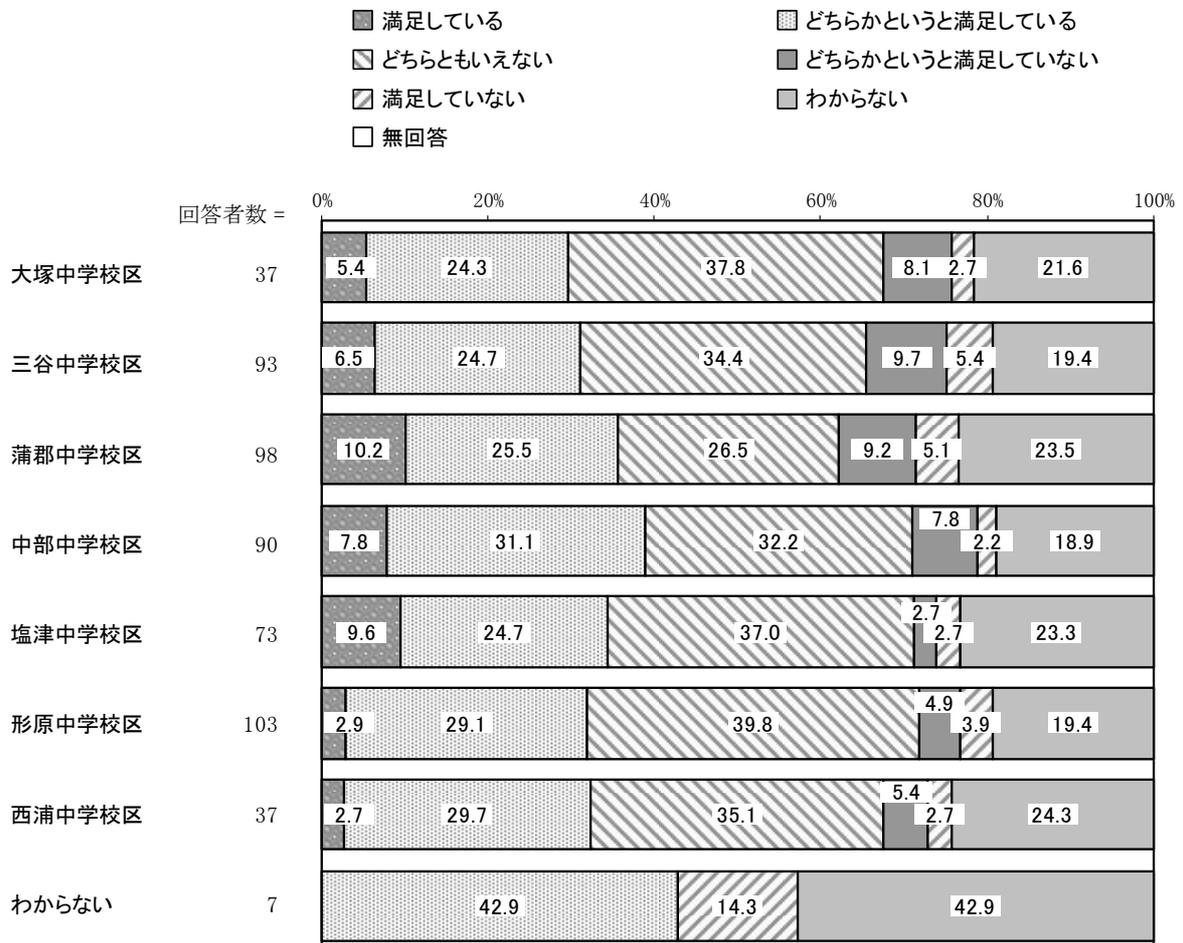
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“満足している”の割合が高く、4割半ばとなっています。また、30歳代で“満足していない”の割合が高く、約2割となっています。



【中学校区別】

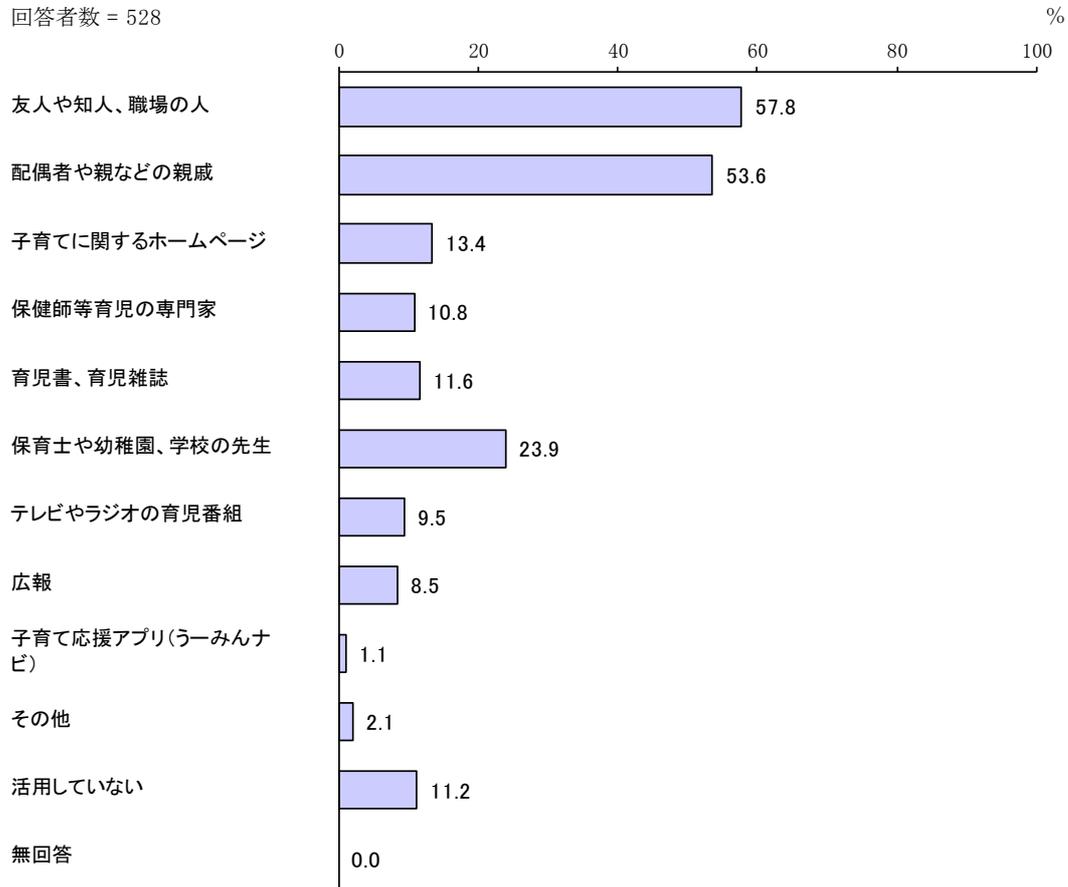
中学校区別で見ると、他の地区に比べ、中部中学校区で“満足している”の割合が高く、約4割となっています。また、三谷中学校区、蒲郡中学校区で“満足していない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



問 33 子育てに関する情報として、信頼して活用しているものを、どこから入手していますか。(〇は3つまで)

「友人や知人、職場の人」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「配偶者や親などの親戚」の割合が 53.6%、「保育士や幼稚園、学校の先生」の割合が 23.9%となっています。

回答者数 = 528



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「友人や知人、職場の人」「保育士や幼稚園、学校の先生」の割合が高くなっています。また、20歳代で「子育て応援アプリ（うーみんなび）」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	友人や知人、 職場の人	配偶者や親などの親戚	子育てに関するホーム ページ	保健師等育児の専門家	育児書、育児雑誌	学校の先生 保育士や幼稚園、	育児番組	テレビやラジオの	広報	子育て応援アプリ (うーみんなび)	その他	活用していない	無回答
20歳未満	12	33.3	33.3	—	16.7	—	8.3	—	—	—	—	—	50.0	—
20歳代	19	42.1	52.6	21.1	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	21.1	5.3	26.3	—
30歳代	84	67.9	50.0	28.6	13.1	7.1	32.1	3.6	4.8	—	—	3.6	9.5	—
40歳代	97	66.0	53.6	20.6	8.2	12.4	28.9	4.1	7.2	1.0	1.0	1.0	8.2	—
50歳代	114	62.3	55.3	15.8	8.8	14.9	22.8	7.9	9.6	0.9	0.9	2.6	6.1	—
60歳代	114	57.9	55.3	4.4	11.4	13.2	21.9	16.7	10.5	—	—	1.8	10.5	—
70歳以上	83	39.8	56.6	—	12.0	12.0	18.1	15.7	12.0	—	—	1.2	13.3	—

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、中部中学校区で「友人や知人、職場の人」の割合が高く、6割半ばとなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	友人や知人、 職場の人	配偶者や親などの親戚	子育てに関するホーム ページ	保健師等育児の専門家	育児書、育児雑誌	学校の先生 保育士や幼稚園、	育児番組	テレビやラジオの	広報	子育て応援アプリ (うーみんなび)	その他	活用していない	無回答
大塚中学校区	34	58.8	38.2	14.7	14.7	8.8	20.6	8.8	11.8	11.8	5.9	2.9	8.8	—
三谷中学校区	90	57.8	57.8	13.3	8.9	8.9	17.8	4.4	6.7	6.7	1.1	2.2	16.7	—
蒲郡中学校区	95	52.6	49.5	18.9	11.6	15.8	23.2	11.6	12.6	12.6	2.1	2.1	7.4	—
中部中学校区	86	66.3	52.3	15.1	9.3	9.3	26.7	10.5	8.1	8.1	1.2	2.3	11.6	—
塩津中学校区	68	57.4	58.8	16.2	8.8	10.3	29.4	5.9	10.3	10.3	—	1.5	7.4	—
形原中学校区	99	59.6	57.6	9.1	11.1	13.1	25.3	12.1	5.1	5.1	—	3.0	12.1	—
西浦中学校区	34	61.8	55.9	5.9	14.7	8.8	20.6	8.8	5.9	5.9	—	—	2.9	—
わからない	7	14.3	42.9	14.3	—	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	—	—	28.6	—

【子育て情報の満足度別】

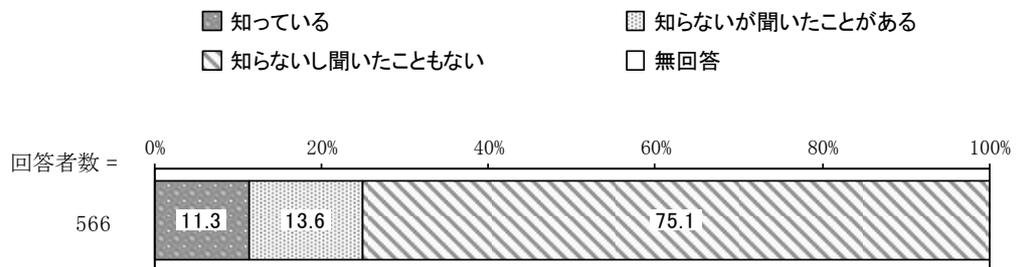
子育て情報の満足度別でみると、他に比べ、どちらかという満足している人で「友人や知人、職場の人」「配偶者や親などの親戚」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	友人や知人、 職場の人	配偶者や親などの親戚	子育てに関するホーム ページ	保健師等育児の専門家	育児書、育児雑誌	学校の先生	保育士や幼稚園、 保育園	テレビやラジオの 育児番組	広報	子育て応援アプリ (うーみんナビ)	その他	活用していない	無回答
満足している	34	67.6	44.1	17.6	11.8	5.9	29.4	8.8	8.8	5.9	—	8.8	—	
どちらかという満足している	144	75.7	66.7	16.7	13.9	13.9	31.3	7.6	9.7	1.4	0.7	1.4	—	
どちらともいえない	178	60.7	54.5	9.6	12.4	12.9	26.4	11.2	9.0	0.6	2.2	5.1	—	
どちらかという満足していない	37	56.8	56.8	32.4	18.9	2.7	24.3	13.5	10.8	—	5.4	2.7	—	
満足していない	22	40.9	36.4	27.3	4.5	22.7	13.6	13.6	—	4.5	4.5	18.2	—	
わからない	105	30.5	37.1	5.7	1.9	8.6	9.5	7.6	7.6	—	2.9	37.1	—	

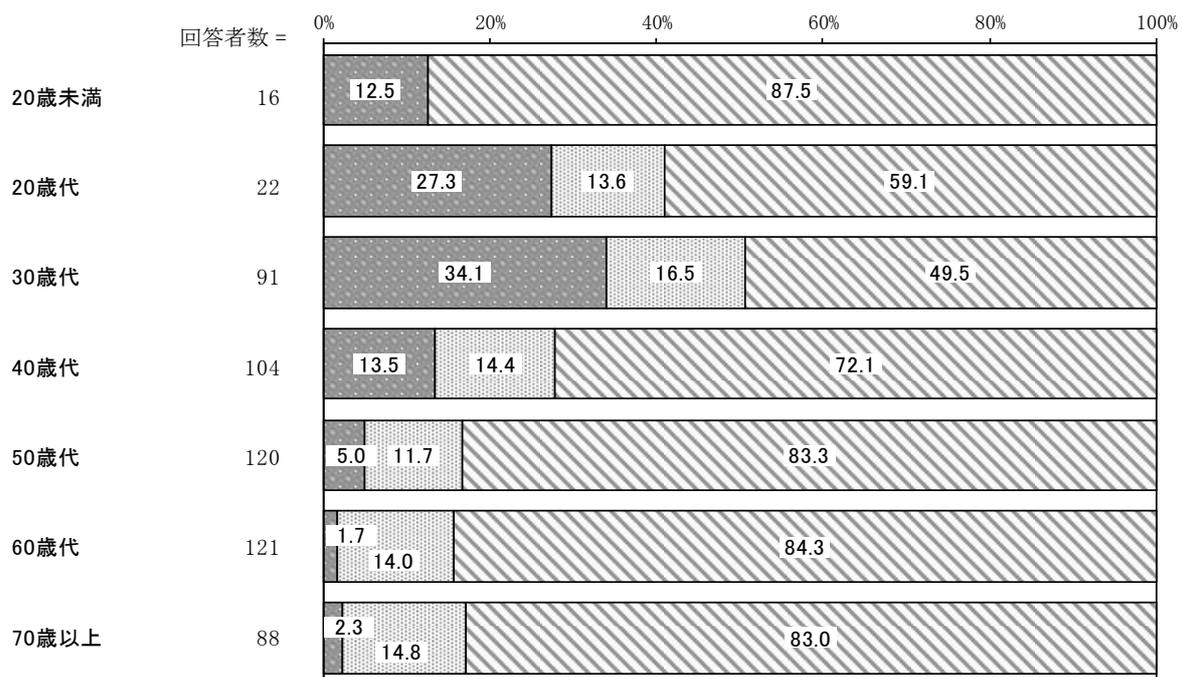
問 34 市の子育て情報の掲載や予防接種・健診・育児日記等が記録及び管理できる子育て応援アプリ（うーみんなび）を知っていますか。（○は1つだけ）

「知らないし聞いたこともない」の割合が75.1%と最も高く、次いで「知らないが聞いたことがある」の割合が13.6%、「知っている」の割合が11.3%となっています。



【年代別】

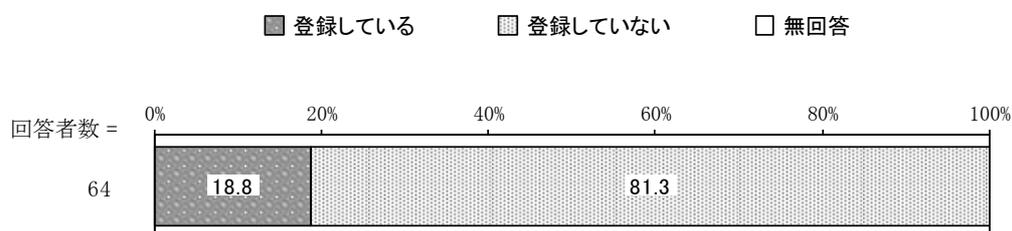
年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「知っている」の割合が高く、3割半ばとなっています。また、50歳代以上で「知らないし聞いたこともない」の割合が高く、8割を超えています。



問 34 で「知っている」と答えた方にお聞きします。

問 34-1 子育て応援アプリ（うーみんなび）を登録していますか。（○は1つだけ）

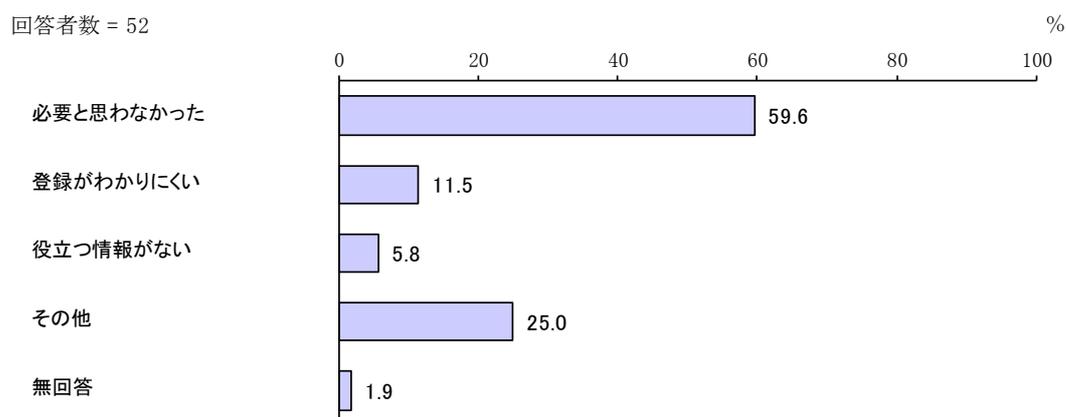
「登録している」の割合が 18.8%、「登録していない」の割合が 81.3%となっています。



問 34-1 で「登録していない」と答えた方にお聞きします。

問 34-2 登録していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

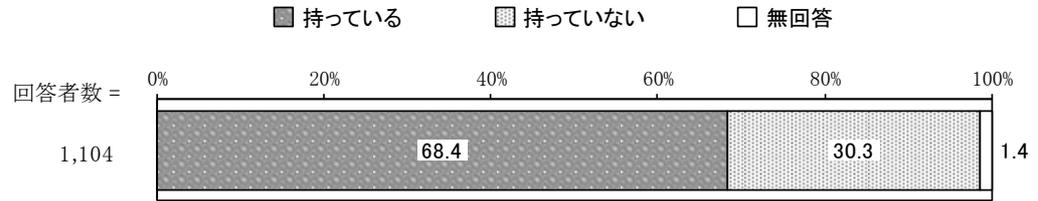
「必要と思わなかった」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「登録がわかりにくい」の割合が 11.5%となっています。



(7) 健康づくり・スポーツ習慣について

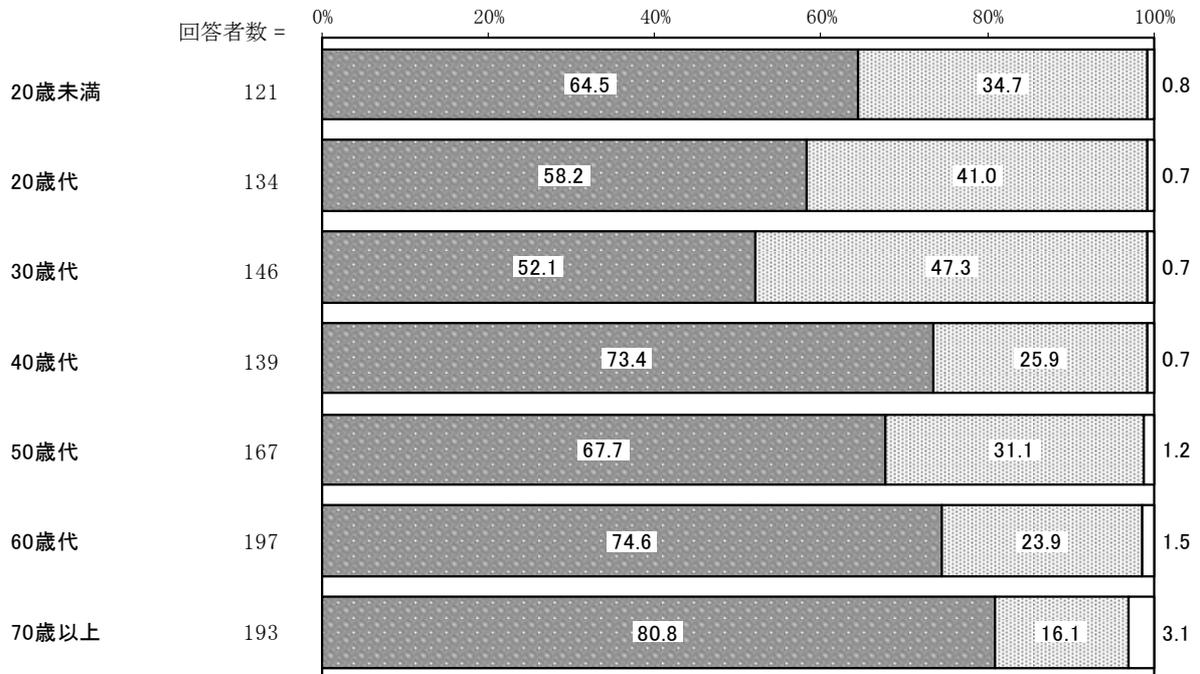
問 35 あなたは、かかりつけ医をもちますか。(〇は1つだけ)

「持っている」の割合が 68.4%、「持っていない」の割合が 30.3%となっています。



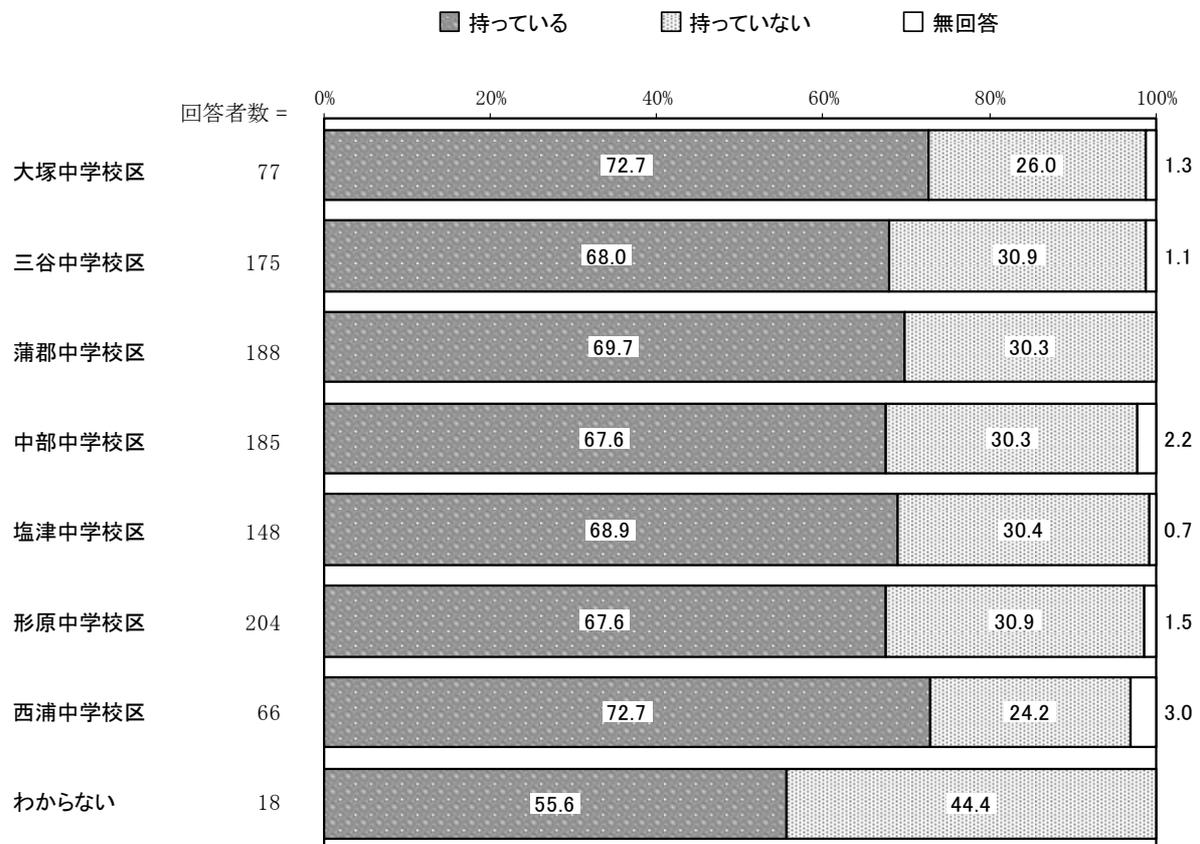
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「持っている」の割合が高く、約8割となっています。また、30歳代で「持っていない」の割合が高く、約5割となっています。



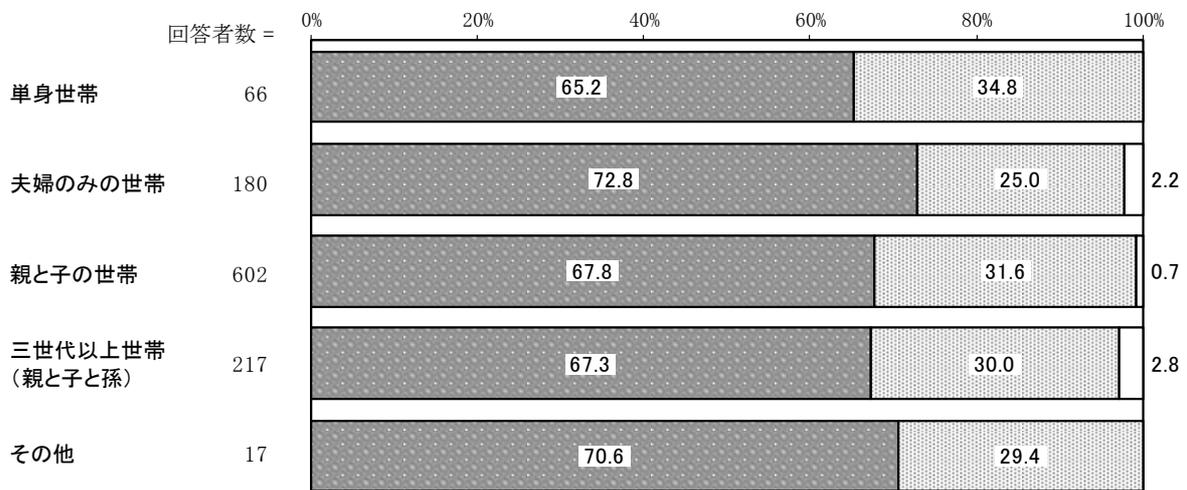
【中学校区別】

中学校区別でみると、大きな差異はみられません。



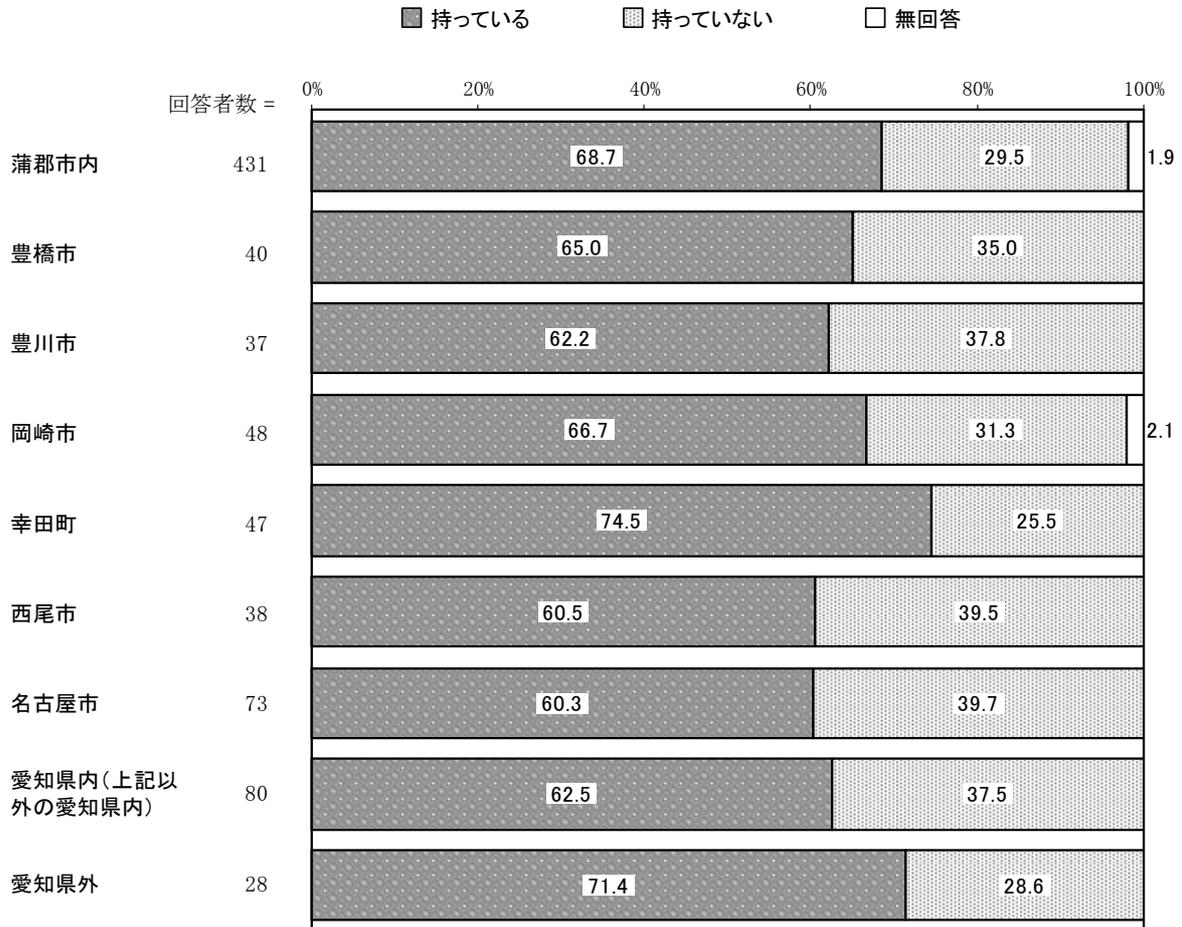
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、単身世帯で「持っていない」の割合が高くなっています。また、夫婦のみの世帯で「持っている」の割合が高くなっています。



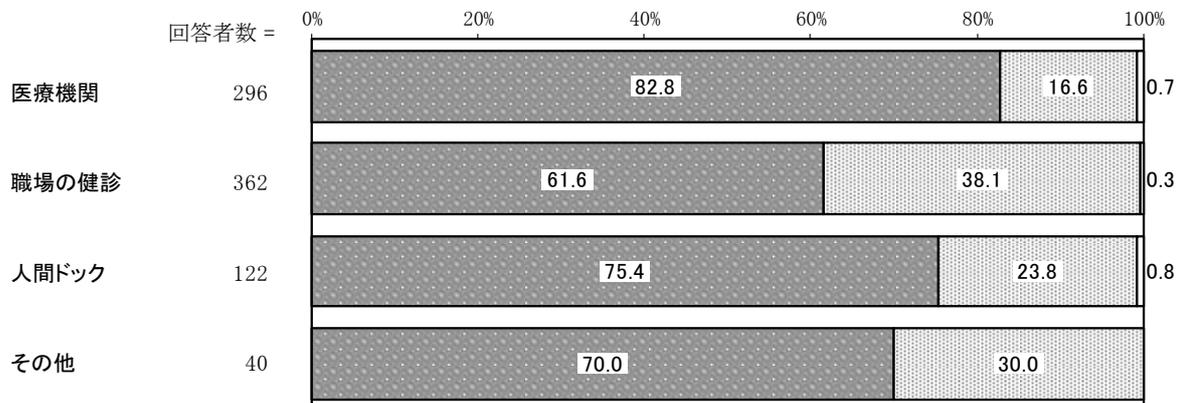
【通勤（就業）・通学先別】

通勤（就業）・通学先別でみると、他に比べ、西尾市、名古屋市で「持っていない」の割合が高くなっています。また、幸田町で「持っている」の割合が高くなっています。



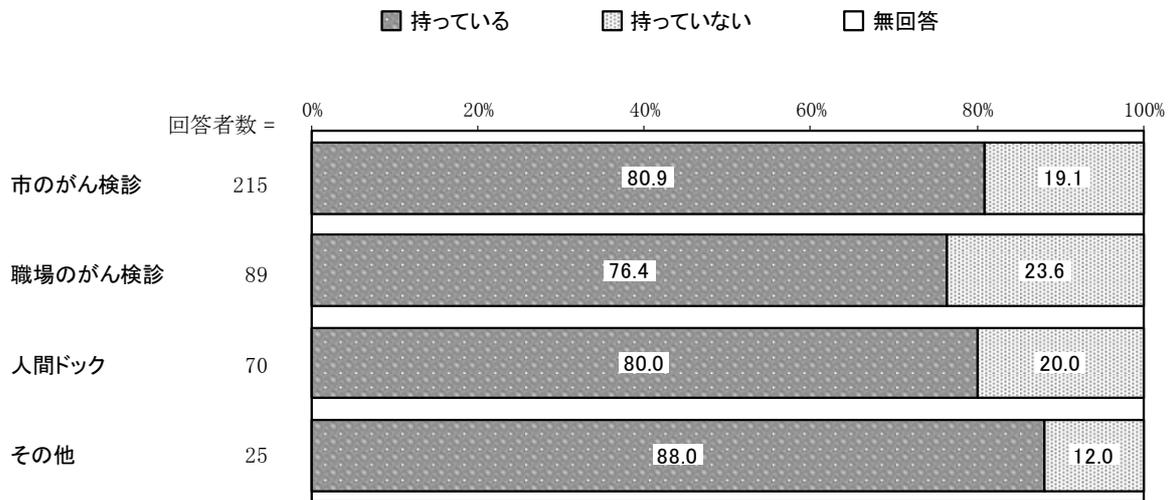
【健康診査の受診場所別】

健康診査の受診場所別でみると、他に比べ、職場の健診で「持っていない」の割合が高くなっています。



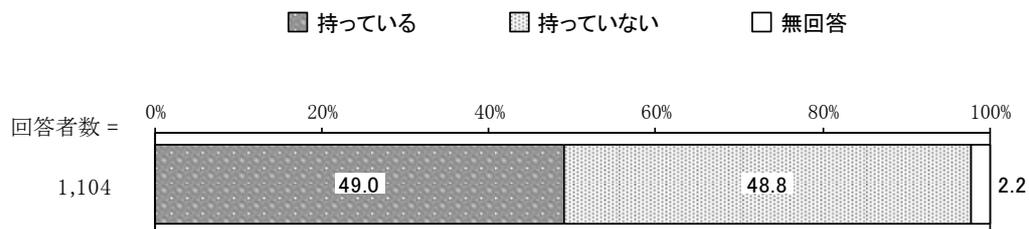
【がん検診の受診場所別】

がん検診の受診場所別でみると、他に比べ、職場のがん検診で「持っていない」の割合が高くなっています。



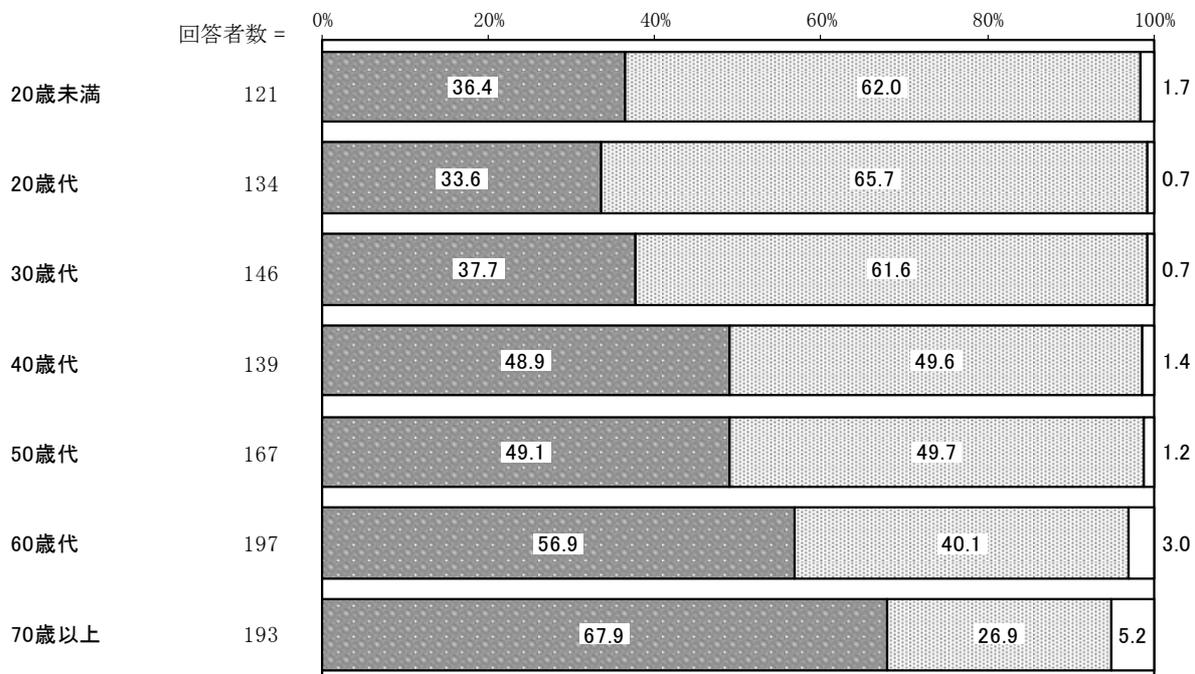
問 36 あなたは、かかりつけ薬局をっていますか。(○は1つだけ)

「持っている」の割合が49.0%、「持っていない」の割合が48.8%となっています。



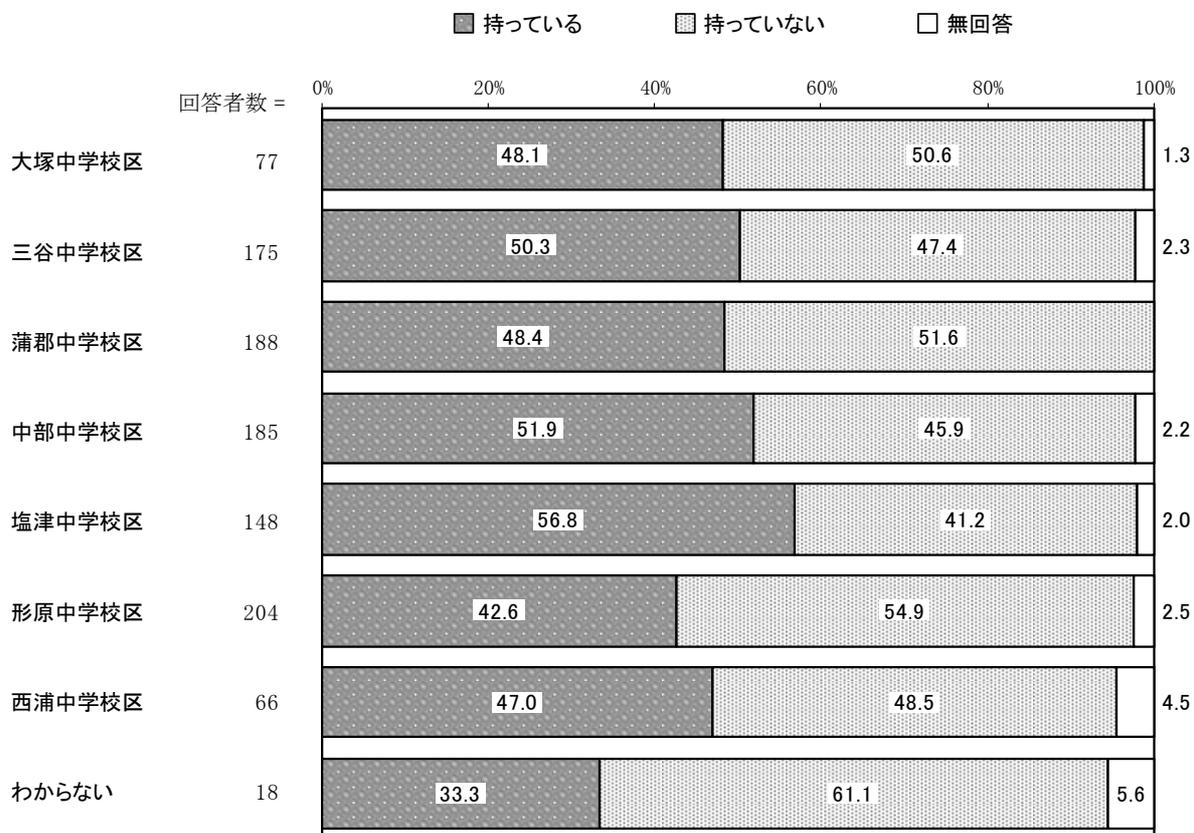
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「持っている」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約7割となっています。



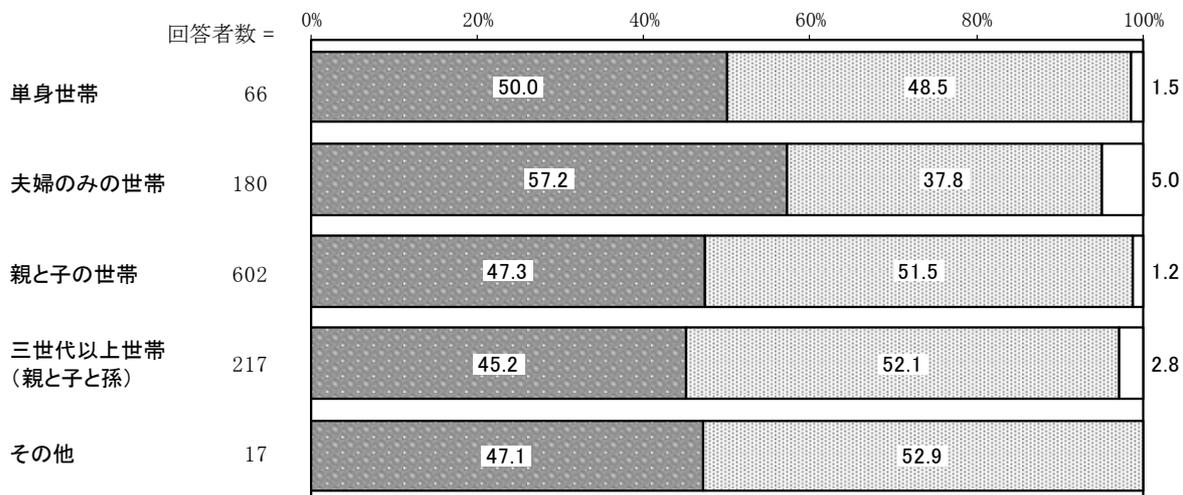
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、塩津中学校区で「持っている」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、形原中学校区で「持っていない」の割合が高く、5割半ばとなっています。



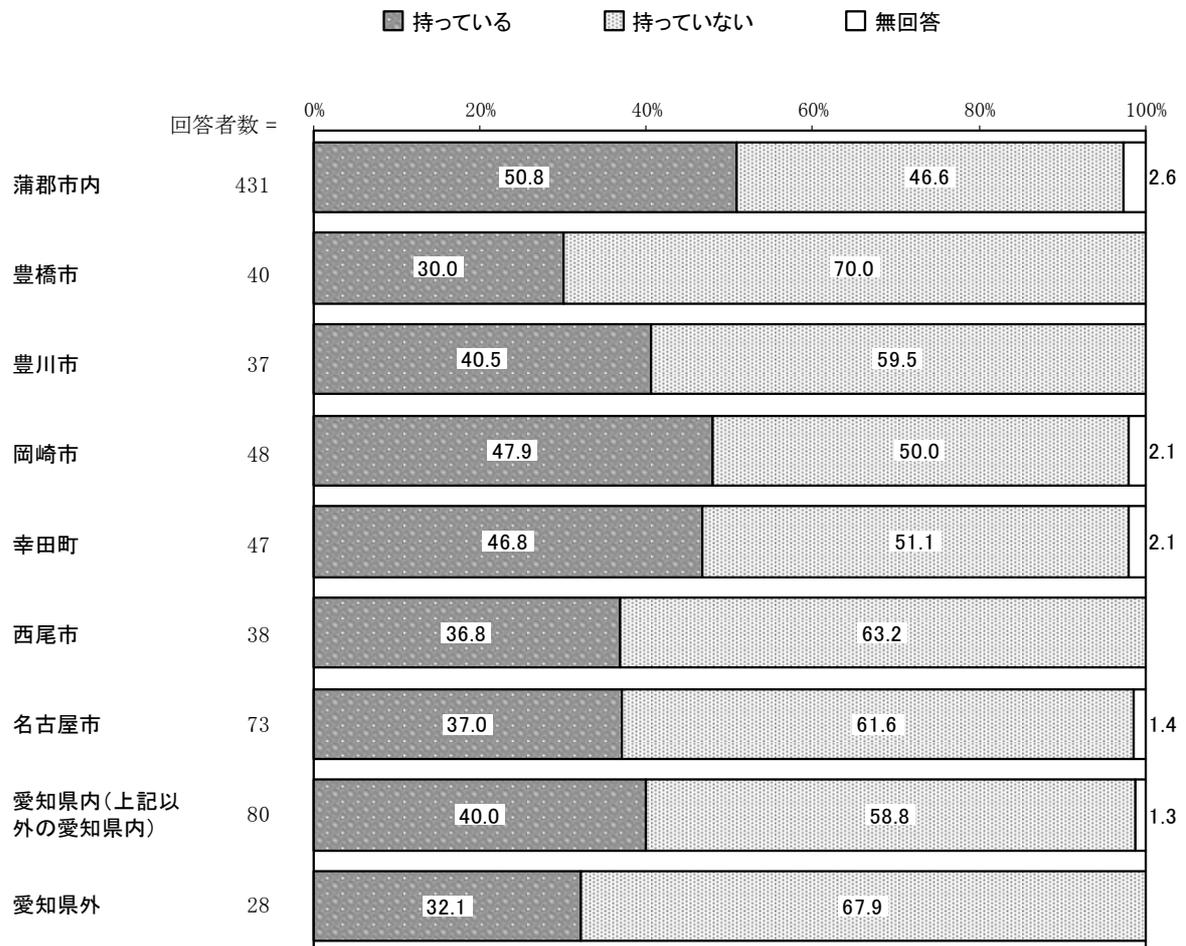
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、親と子の世帯、三世代以上世帯（親と子と孫）で「持っていない」の割合が高くなっています。また、夫婦のみの世帯で「持っている」の割合が高くなっています。



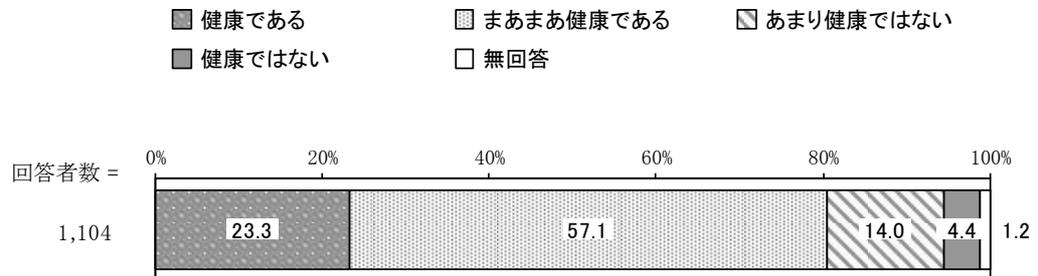
【通勤（就業）・通学先別】

通勤（就業）・通学先別で見ると、他に比べ、豊橋市で「持っていない」の割合が高くなっています。また、蒲郡市内で「持っている」の割合が高くなっています。



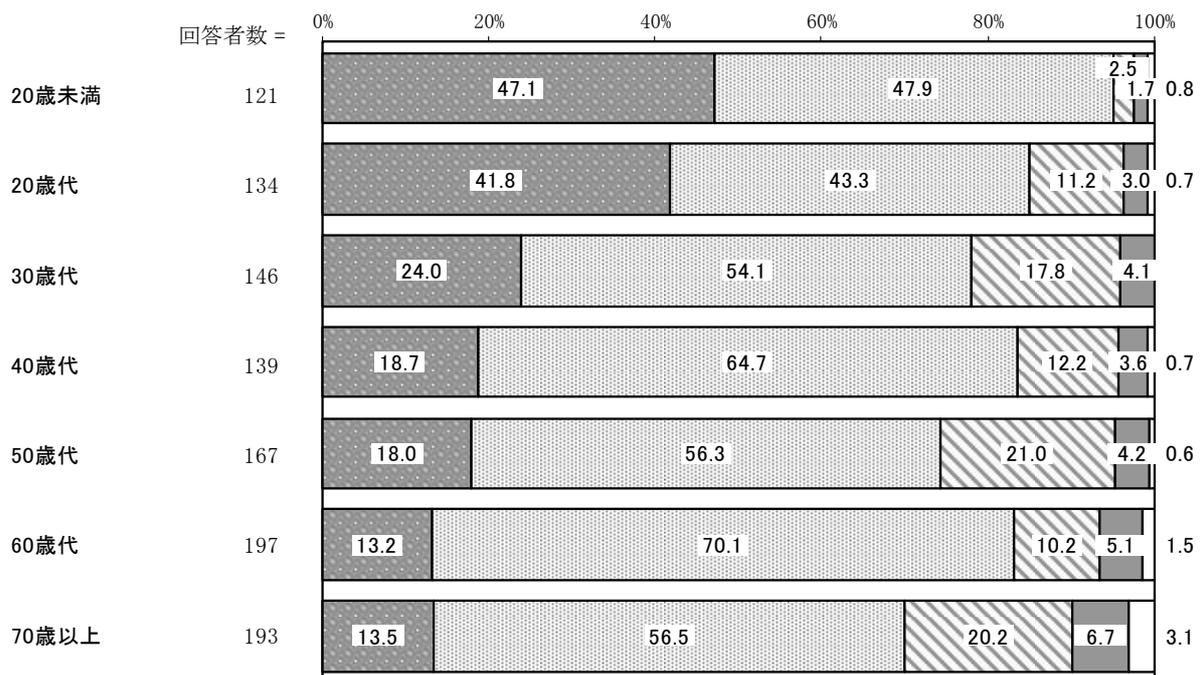
問 37 あなたは普段、健康だと感じますか。(○は1つだけ)

「健康である」と「まあまあ健康である」を合わせた“健康である”の割合が 80.4%、「あまり健康ではない」と「健康ではない」を合わせた“健康ではない”の割合が 18.4%となっています。



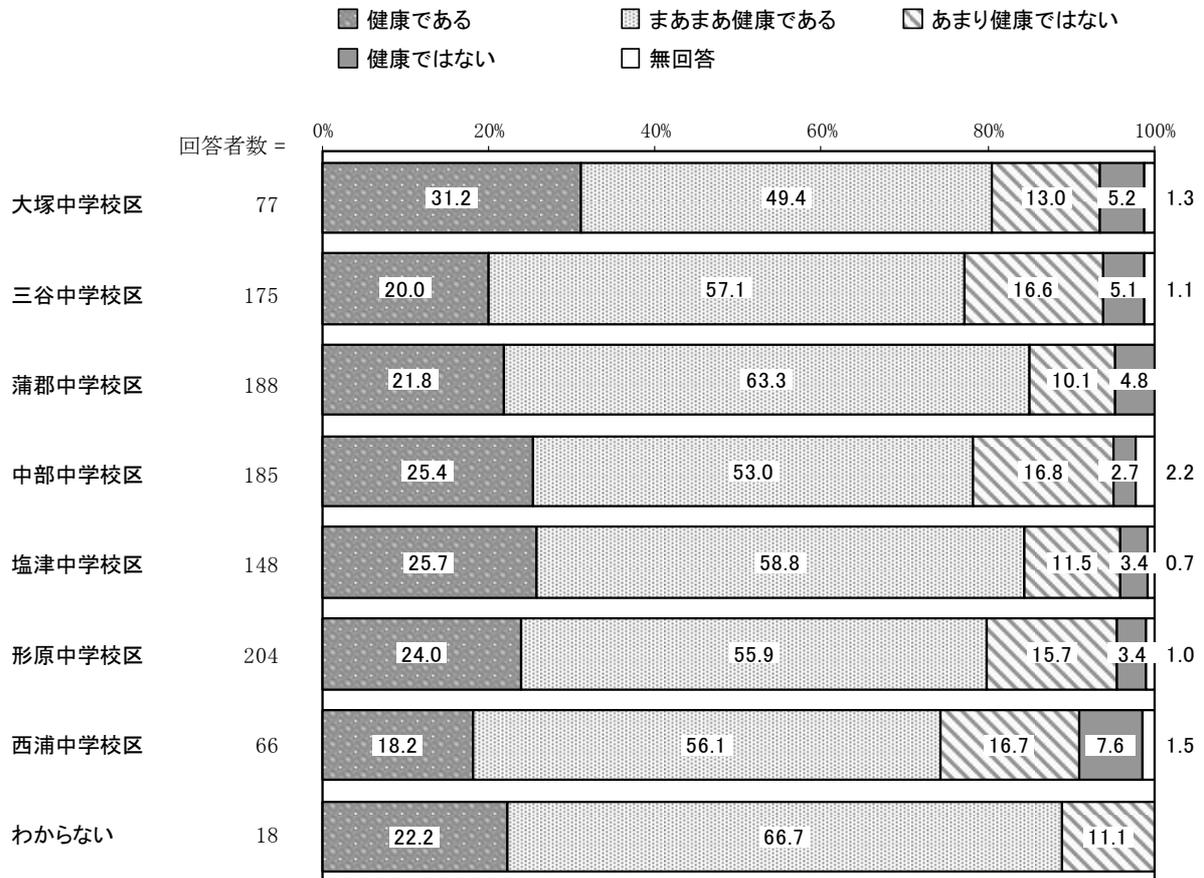
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳未満で“健康である”の割合が高く、9割半ばとなっています。また、50歳代、70歳以上で“健康ではない”の割合が高く、2割半ばとなっています。



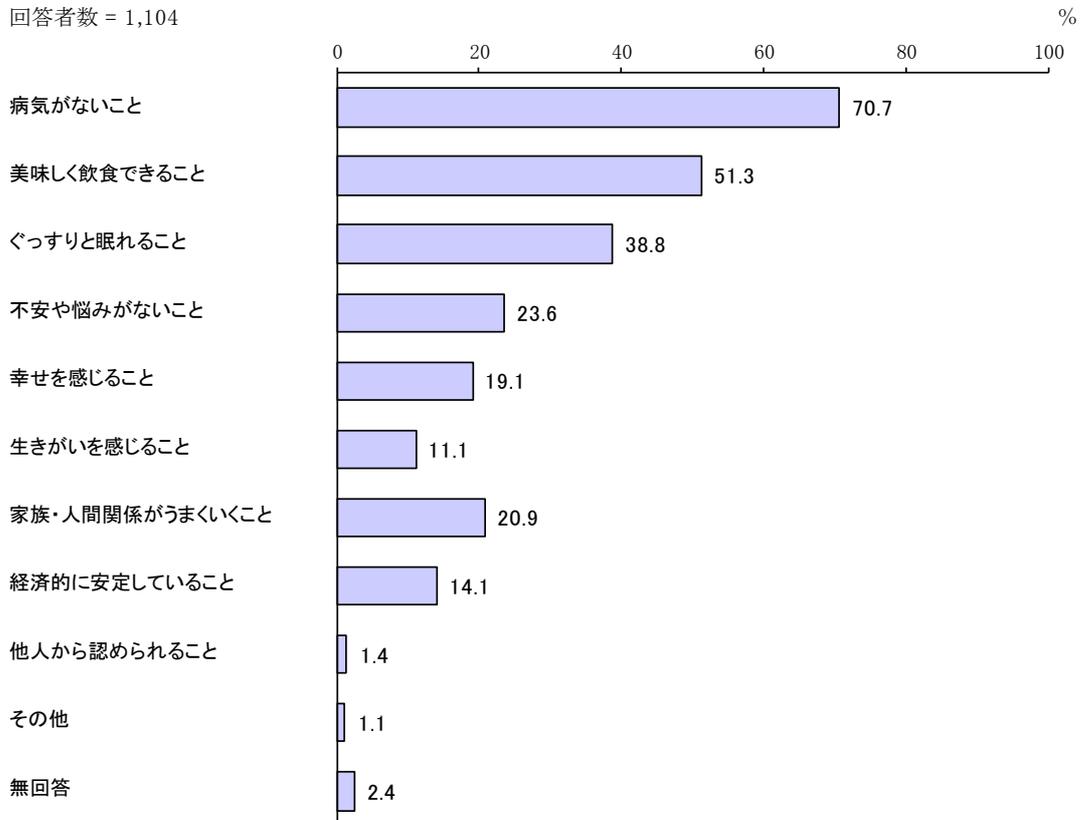
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、蒲郡中学校区、塩津中学校区で“健康である”の割合が高く、8割半ばとなっています。また、西浦中学校区で“健康ではない”の割合が高く、2割半ばとなっています。



問 38 あなたが健康感を判断する際に、重視する事項は何ですか。(〇は3つまで)

「病気がないこと」の割合が70.7%と最も高く、次いで「美味しく飲食できること」の割合が51.3%、「ぐっすりと眠れること」の割合が38.8%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「美味しく飲食できること」の割合が高く、5割半ばとなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	病気がないこと	美味しく飲食できること	ぐっすりと眠れること	不安や悩みがないこと	幸せを感じることに	生きがいを感じることに	家族・人間関係がうまくいくこと	経済的に安定していること	他人から認められること	その他	無回答
男性	495	71.1	46.3	38.2	23.0	19.0	12.7	19.2	14.7	1.2	1.2	1.6
女性	600	70.0	55.3	39.5	24.0	19.3	9.5	22.7	13.7	1.3	0.8	3.0
その他	2	100.0	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳未満で「病気がないこと」の割合が高く、約8割となっています。また、50歳代、70歳以上で「美味しく飲食できること」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	病気がないこと	美味しく飲食できること	ぐっすりと眠れること	不安や悩みがないこと	幸せを感じることに	生きがいを感じることに	家族・人間関係がうまくいくこと	経済的に安定していること	他人から認められること	その他	無回答
20歳未満	121	81.8	32.2	31.4	19.0	21.5	9.9	13.2	5.8	0.8	1.7	5.0
20歳代	134	75.4	47.0	39.6	21.6	21.6	14.9	11.9	10.4	3.0	3.0	1.5
30歳代	146	72.6	45.2	39.0	27.4	19.9	11.6	20.5	11.6	1.4	0.7	1.4
40歳代	139	70.5	54.0	42.4	26.6	17.3	6.5	19.4	18.7	1.4	0.7	1.4
50歳代	167	76.6	57.5	37.7	26.3	17.4	9.6	21.0	12.6	1.2	1.2	0.6
60歳代	197	66.5	55.3	40.1	18.8	16.8	14.7	26.9	17.3	1.0	0.5	2.5
70歳以上	193	57.5	59.1	40.4	24.9	20.2	9.8	28.0	18.7	1.0	0.5	4.1

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、蒲郡中学校区で「病気がないこと」「美味しく飲食できること」「経済的に安定していること」の割合が高くなっています。また、形原中学校区で「ぐっすりと眠れること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気がないこと	美味しく飲食できること	ぐっすりと眠れること	不安や悩みがないこと	幸せを感じることに	生きがいを感じることに	家族・人間関係がうまくいくこと	経済的に安定していること	他人から認められること	その他	無回答
大塚中学校区	77	68.8	44.2	41.6	23.4	18.2	14.3	23.4	10.4	1.3	2.6	3.9
三谷中学校区	175	66.9	50.3	36.0	26.9	21.1	12.0	18.9	11.4	0.6	1.1	4.0
蒲郡中学校区	188	76.1	58.0	39.9	20.7	15.4	8.5	19.7	19.7	1.1	0.5	1.1
中部中学校区	185	73.0	47.0	32.4	20.0	18.4	11.4	16.8	17.3	2.2	1.1	2.2
塩津中学校区	148	73.0	56.1	39.2	23.6	20.3	11.5	25.0	14.2	0.7	—	—
形原中学校区	204	71.6	51.5	45.1	27.0	19.1	9.8	22.1	10.3	2.0	1.5	1.0
西浦中学校区	66	71.2	47.0	31.8	19.7	21.2	10.6	21.2	15.2	1.5	3.0	4.5
わからない	18	61.1	44.4	38.9	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	5.6	—	5.6

【健康感別】

健康感別でみると、健康であるにつれ「病気がないこと」「美味しく飲食できること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、健康でないにつれ「ぐっすりと眠れること」「不安や悩みがないこと」「経済的に安定していること」の割合が高くなる傾向がみられます。

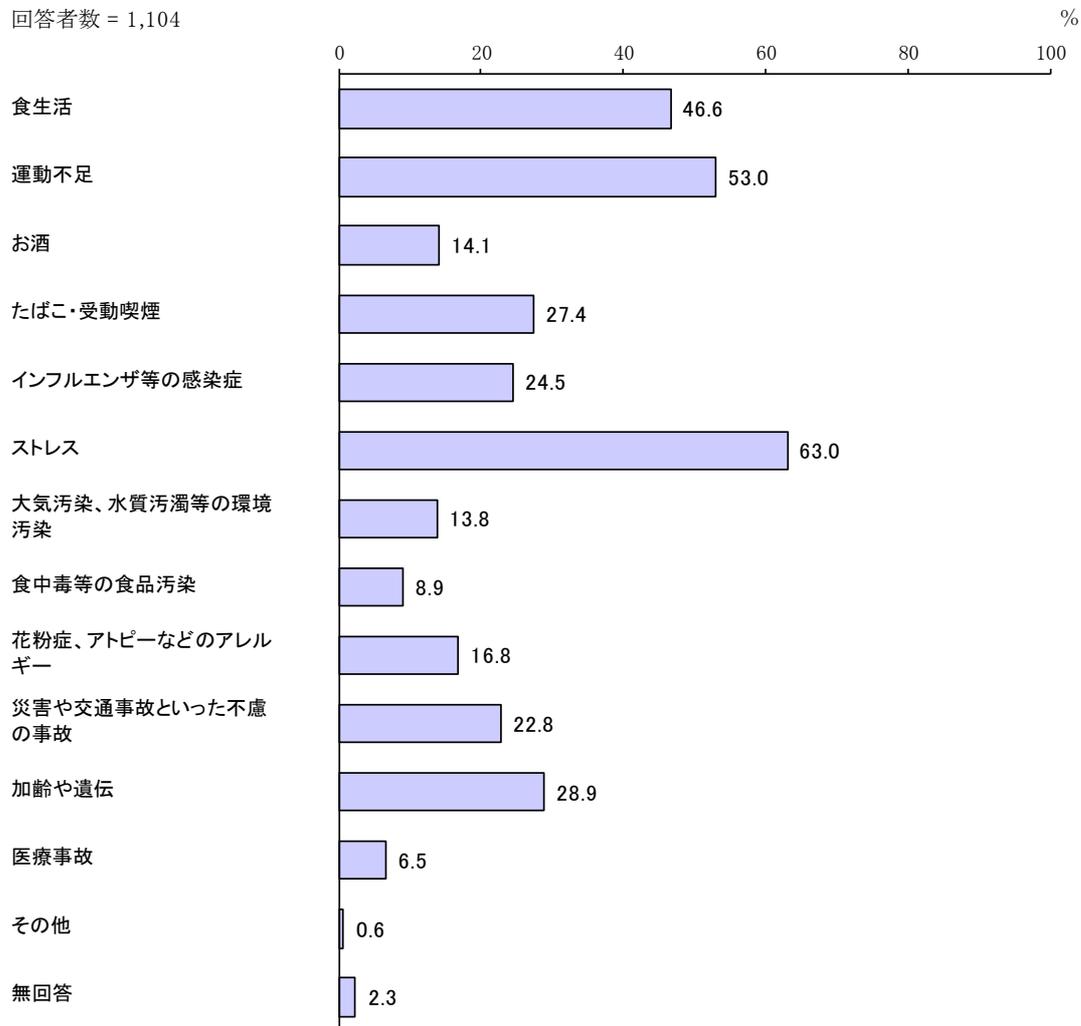
単位：％

区分	回答者数 (件)	病気がないこと	美味しく飲食できること	ぐっすりと眠れること	不安や悩みがないこと	幸せを感じることに	生きがいを感じることに	家族・人間関係がうまくいくこと	経済的に安定していること	他人から認められること	その他	無回答
健康である	257	78.2	54.9	34.2	15.2	23.3	13.2	24.1	10.5	1.9	1.2	1.9
まあまあ健康である	630	71.6	54.8	39.7	23.8	18.6	10.5	19.5	12.9	0.6	0.6	1.4
あまり健康ではない	155	63.9	42.6	43.2	34.2	15.5	11.6	22.6	20.0	3.9	1.3	0.6
健康ではない	49	59.2	26.5	42.9	36.7	18.4	10.2	22.4	34.7	—	6.1	—

問 39 あなたの健康にとって、最もリスクとなることはどれだとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

「ストレス」の割合が63.0%と最も高く、次いで「運動不足」の割合が53.0%、「食生活」の割合が46.6%となっています。

回答者数 = 1,104



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「お酒」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「食生活」「ストレス」「加齢や遺伝」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	食生活	運動不足	お酒	たばこ・受動喫煙	インフルエンザ等の 感染症	ストレス	大気汚染、 環境汚染、 水質汚濁等の
男性	495	41.4	50.9	17.6	28.9	22.6	58.8	13.7
女性	600	51.0	54.8	11.3	26.0	26.3	66.3	13.7
その他	2	100.0	100.0	—	—	—	50.0	—

区分	食中毒等の食品汚染	花粉症、アトピーなどの アレルギー	災害や交通事故といった 不慮の事故	加齢や遺伝	医療事故	その他	無回答
男性	7.9	14.5	23.2	25.3	6.1	0.6	1.2
女性	9.7	19.0	22.7	32.2	6.8	0.7	3.2
その他	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「たばこ・受動喫煙」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で4割半ばとなっています。また、60歳代以下で年代が高くなるにつれ「加齢や遺伝」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代で約5割となっています。また、他の年代に比べ、40歳代で「ストレス」の割合が高く、約8割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	食生活	運動不足	お酒	たばこ・受動喫煙	インフルエンザ等の感染 症	ストレス	大気汚染、 水質汚濁等の 環境汚染
20歳未満	121	40.5	43.0	19.0	44.6	31.4	62.0	20.7
20歳代	134	49.3	48.5	14.2	33.6	29.1	64.2	20.1
30歳代	146	47.9	52.1	17.1	37.0	22.6	76.0	19.2
40歳代	139	39.6	51.8	15.1	30.2	21.6	82.7	10.1
50歳代	167	50.9	56.3	14.4	27.5	24.0	61.7	11.4
60歳代	197	51.3	60.4	13.2	19.8	25.9	57.4	11.2
70歳以上	193	44.0	54.4	8.8	10.9	20.7	45.1	8.3

区分	食中毒等の食品汚染	花粉症、アトピーなどの アレルギー	災害や交通事故といった 不慮の事故	加齢や遺伝	医療事故	その他	無回答
20歳未満	19.8	22.3	23.1	6.6	6.6	0.8	0.8
20歳代	10.4	22.4	24.6	14.9	6.0	0.7	—
30歳代	9.6	16.4	26.7	19.2	5.5	0.7	0.7
40歳代	7.9	19.4	20.1	23.0	6.5	1.4	0.7
50歳代	5.4	12.6	19.2	35.3	5.4	0.6	1.8
60歳代	9.6	17.8	25.9	48.2	9.6	0.5	3.0
70歳以上	3.1	11.4	20.7	38.9	5.2	—	6.7

【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、形原中学校区で「ストレス」の割合が高く、7割半ばとなっています。また、形原中学校区、西浦中学校区で「運動不足」「加齢や遺伝」の割合が高くなっています。

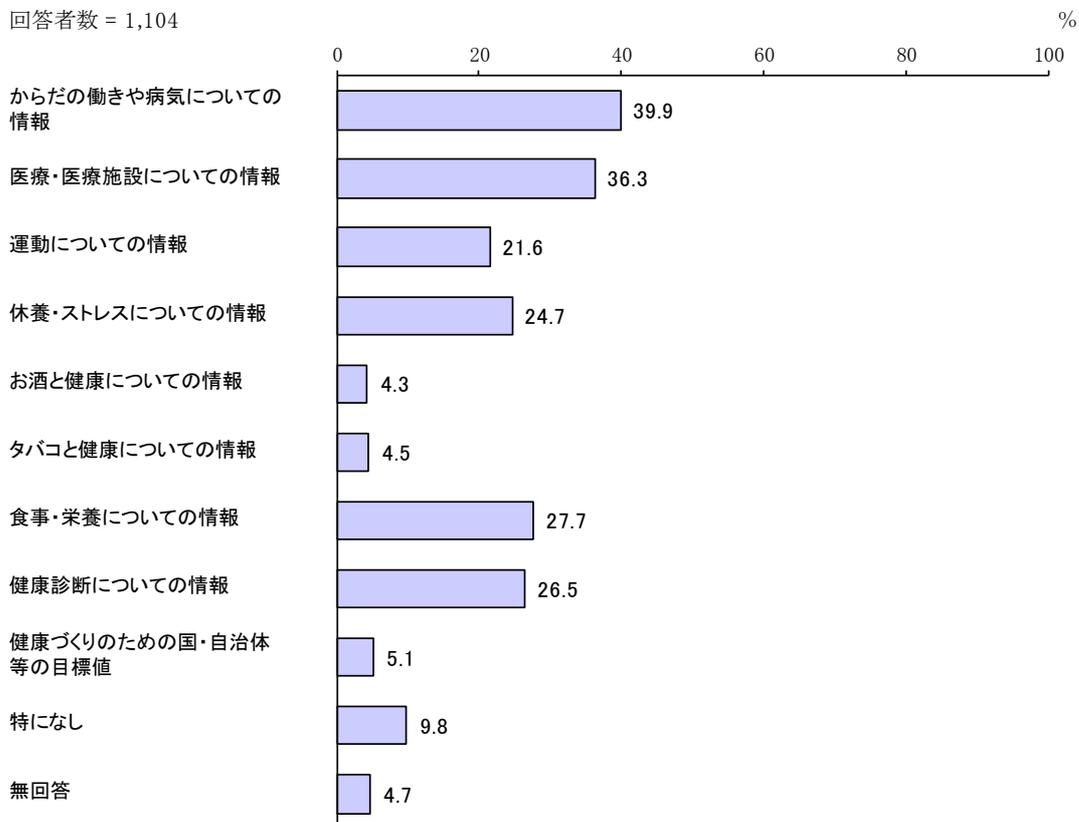
単位：％

区分	回答者数 (件)	食生活	運動不足	お酒	たばこ・受動喫煙	感染症 インフルエンザ等の	ストレス	大気汚染、 環境汚染、 水質汚濁等の
大塚中学校区	77	48.1	53.2	18.2	29.9	22.1	59.7	19.5
三谷中学校区	175	44.6	53.7	19.4	31.4	24.6	65.1	16.6
蒲郡中学校区	188	41.5	50.0	12.2	23.9	24.5	64.4	11.7
中部中学校区	185	45.9	47.0	11.9	27.6	26.5	56.2	13.5
塩津中学校区	148	52.7	55.4	18.9	28.4	21.6	56.1	10.8
形原中学校区	204	46.6	58.3	12.7	27.5	28.9	74.0	16.7
西浦中学校区	66	42.4	62.1	10.6	25.8	19.7	59.1	6.1
わからない	18	55.6	61.1	5.6	33.3	27.8	66.7	11.1

区分	食中毒等の食品汚染	花粉症、アトピーなどのアレルギー	災害や交通事故といった不慮の事故	加齢や遺伝	医療事故	その他	無回答
大塚中学校区	7.8	15.6	16.9	24.7	6.5	1.3	5.2
三谷中学校区	10.3	15.4	26.3	28.0	7.4	0.6	2.9
蒲郡中学校区	9.6	13.3	25.5	32.4	7.4	—	—
中部中学校区	11.4	16.8	20.5	26.5	4.9	1.1	2.7
塩津中学校区	7.4	17.6	20.3	20.3	6.1	0.7	1.4
形原中学校区	7.8	23.0	27.0	34.8	6.4	0.5	1.0
西浦中学校区	6.1	13.6	16.7	36.4	6.1	1.5	3.0
わからない	5.6	16.7	27.8	27.8	5.6	—	5.6

問 40 健康に関してどのような情報が必要だとお考えですか。(〇は3つまで)

「からだの働きや病気についての情報」の割合が39.9%と最も高く、次いで「医療・医療施設についての情報」の割合が36.3%、「食事・栄養についての情報」の割合が27.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「休養・ストレスについての情報」「特になし」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「医療・医療施設についての情報」「食事・栄養についての情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	からだの働きや病気についての情報	医療・医療施設についての情報	運動についての情報	休養・ストレスについての情報	お酒と健康についての情報	タバコと健康についての情報	食事・栄養についての情報	健康診断についての情報	健康づくりのための国・自治体等の目標値	特になし	無回答
男性	495	38.8	33.3	19.2	27.5	6.7	4.8	22.8	25.1	6.5	12.7	4.0
女性	600	40.5	38.7	23.7	22.3	2.5	4.3	31.8	28.0	4.0	7.2	5.3
その他	2	50.0	50.0	—	50.0	—	—	100.0	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で「医療・医療施設についての情報」の割合が高く、約5割となっています。また、20歳代で「休養・ストレスについての情報」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	からだの働きや病気についての情報	医療・医療施設についての情報	運動についての情報	休養・ストレスについての情報	お酒と健康についての情報	タバコと健康についての情報	食事・栄養についての情報	健康診断についての情報	健康づくりのための国・自治体等の目標値	特になし	無回答
20歳未満	121	35.5	27.3	21.5	30.6	7.4	11.6	27.3	23.1	5.8	11.6	2.5
20歳代	134	41.8	30.6	27.6	38.1	6.0	5.2	26.9	22.4	6.7	9.0	3.7
30歳代	146	31.5	30.1	21.2	27.4	4.8	6.2	27.4	25.3	4.1	13.0	4.1
40歳代	139	34.5	51.1	21.6	28.8	5.8	2.9	25.9	30.2	1.4	4.3	0.7
50歳代	167	46.1	41.3	19.2	22.2	4.2	3.0	25.1	25.7	6.6	7.2	3.6
60歳代	197	42.6	37.6	23.4	15.7	2.0	2.5	35.0	28.9	3.6	11.2	6.1
70歳以上	193	42.0	34.7	17.6	18.1	2.6	3.1	25.4	28.5	7.3	11.4	9.8

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、塩津中学校区で「食事・栄養についての情報」の割合が高く、3割半ばとなっています。また、大塚中学校区で「運動についての情報」の割合が、三谷中学校区、形原中学校区で「休養・ストレスについての情報」の割合が高く、約3割となっています。

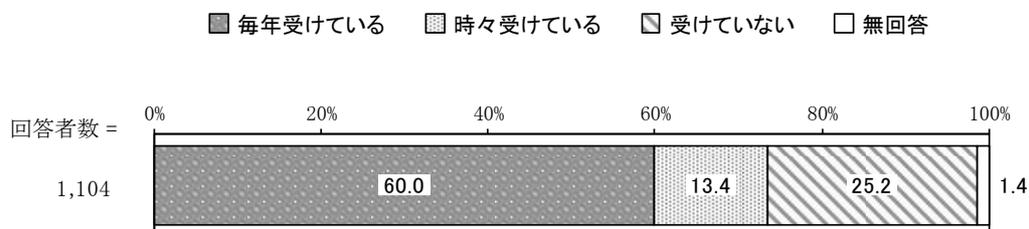
単位：％

区分	回答者数 (件)	からだの働きや病気 についての情報	医療・医療施設 についての情報	運動 についての情報	休養・ ストレス についての 情報	お酒と健康 についての 情報	タバコと健康 についての 情報	食事・ 栄養 についての 情報	健康診断 についての 情報	健康づくり のための 自治体等 の目標値	特になし	無回答
大塚中学校区	77	40.3	32.5	31.2	22.1	5.2	1.3	31.2	15.6	6.5	10.4	7.8
三谷中学校区	175	44.6	38.9	20.6	30.9	4.0	5.1	24.6	24.6	5.1	6.9	3.4
蒲郡中学校区	188	37.2	40.4	19.1	25.5	5.9	5.9	28.2	29.3	4.3	14.9	1.1
中部中学校区	185	34.6	38.9	17.8	20.0	2.2	4.9	22.7	26.5	4.9	10.3	7.0
塩津中学校区	148	42.6	29.1	20.3	20.9	6.8	2.0	35.8	25.7	6.8	9.5	2.7
形原中学校区	204	40.7	37.3	25.5	28.9	4.9	5.9	29.4	27.0	6.9	6.4	3.9
西浦中学校区	66	36.4	31.8	21.2	25.8	3.0	6.1	25.8	27.3	—	12.1	7.6
わからない	18	44.4	38.9	16.7	22.2	—	5.6	33.3	50.0	—	—	5.6

問 41 健康診査（特定健診・後期高齢者健診・その他の健康診断等）・がん検診を受けていますか。（○は1つだけ）

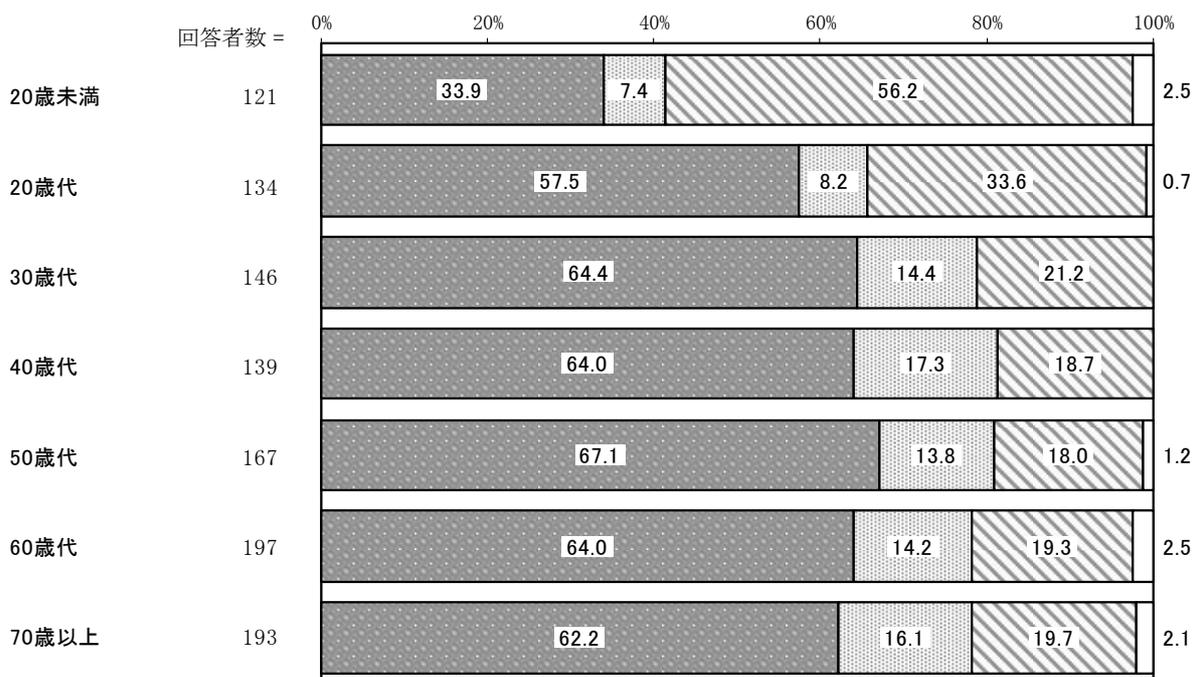
①【健康診査】（特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等）

「毎年受けている」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「受けていない」の割合が 25.2%、「時々受けている」の割合が 13.4%となっています。



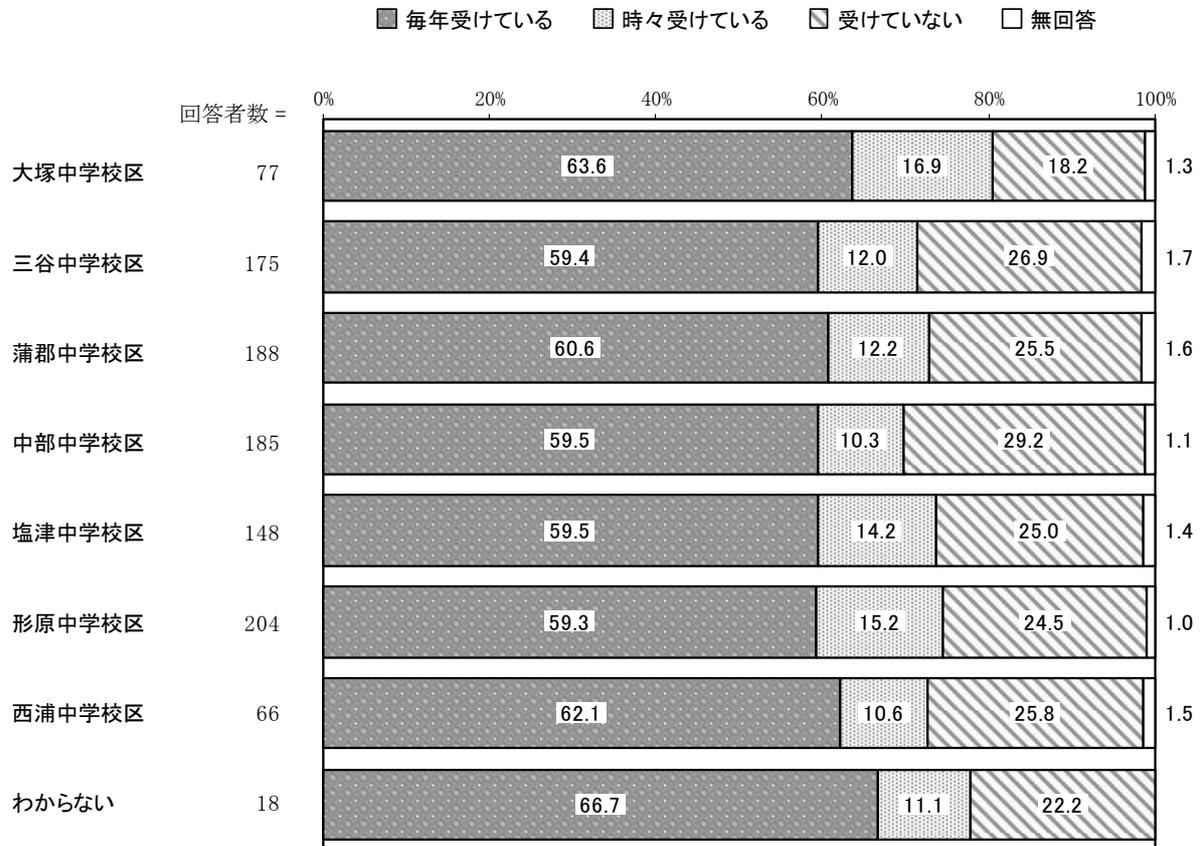
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で「毎年受けている」の割合が高く、約7割となっています。また、20歳未満で「受けていない」の割合が高く、5割半ばとなっています。



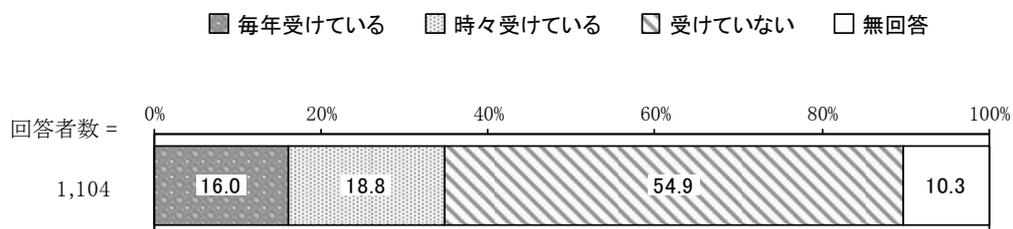
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区で「受けていない」の割合が低く、約2割となっています。



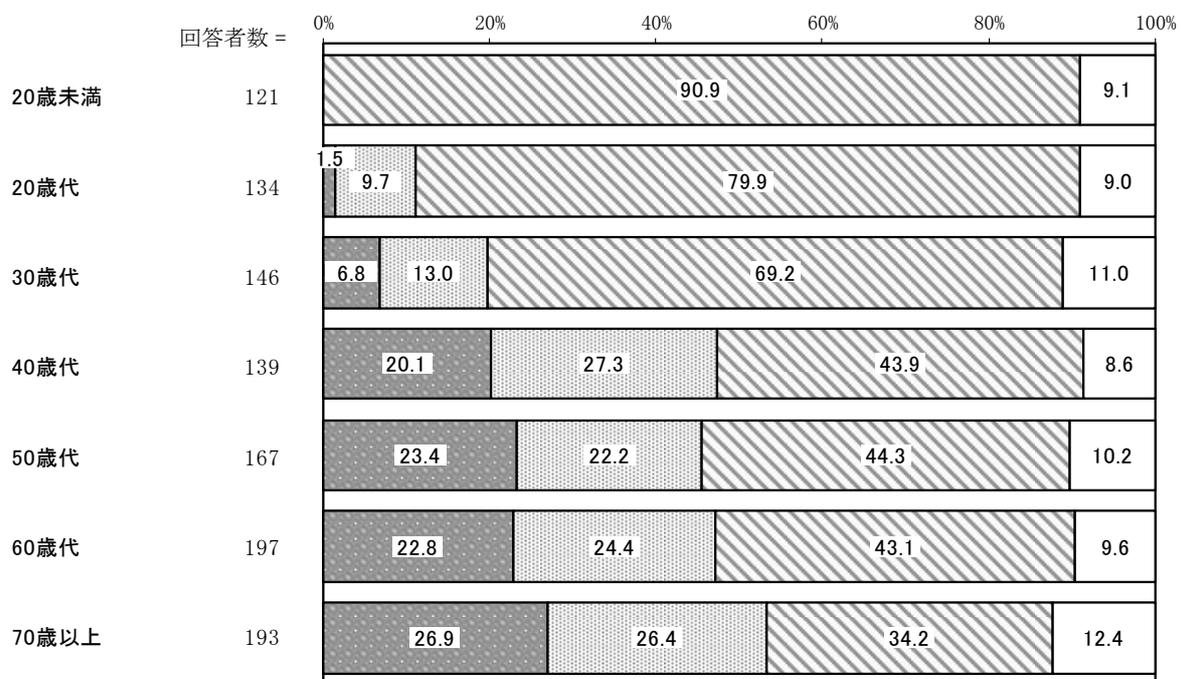
②【がん検診】

「受けていない」の割合が54.9%と最も高く、次いで「時々受けている」の割合が18.8%、「毎年受けている」の割合が16.0%となっています。



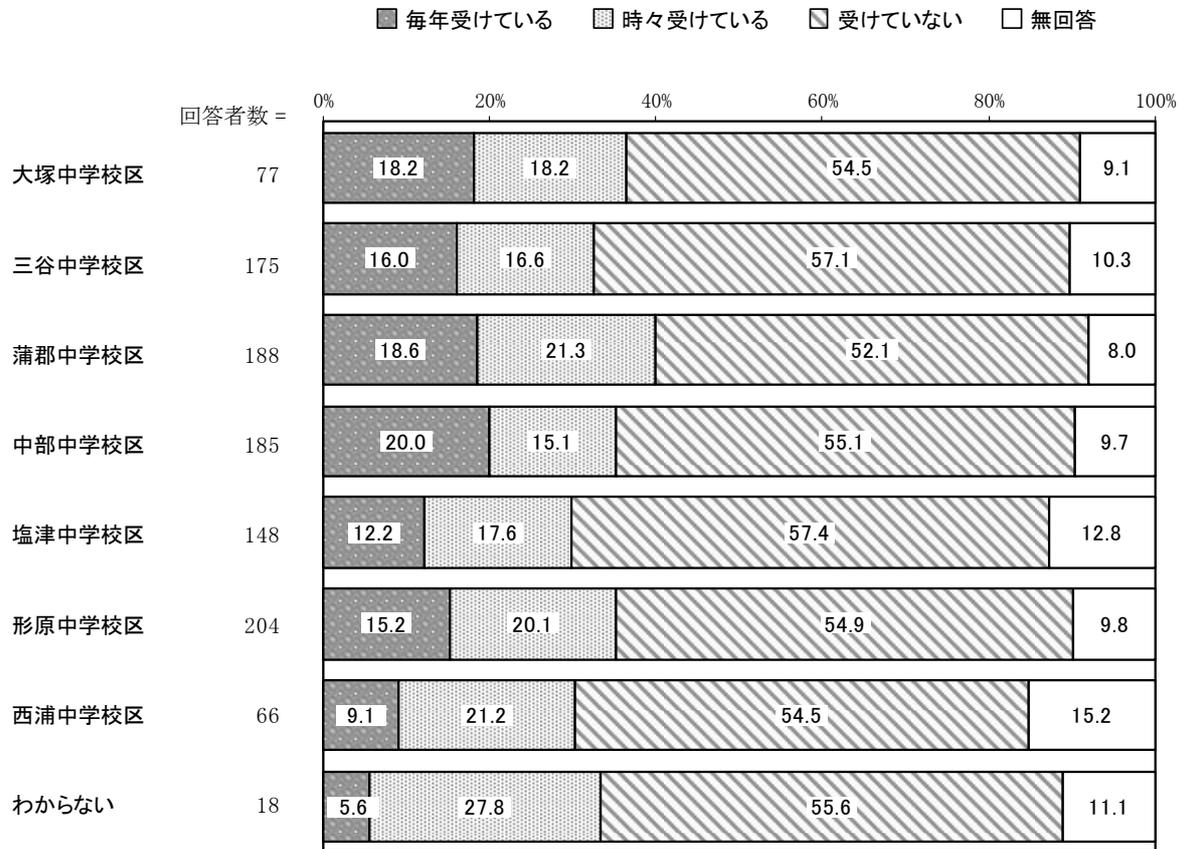
【年代別】

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ「毎年受けている」「時々受けている」の割合が高くなる傾向がみられます。



【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、三谷中学校区、塩津中学校区で「受けていない」の割合が高く、約6割となっています。

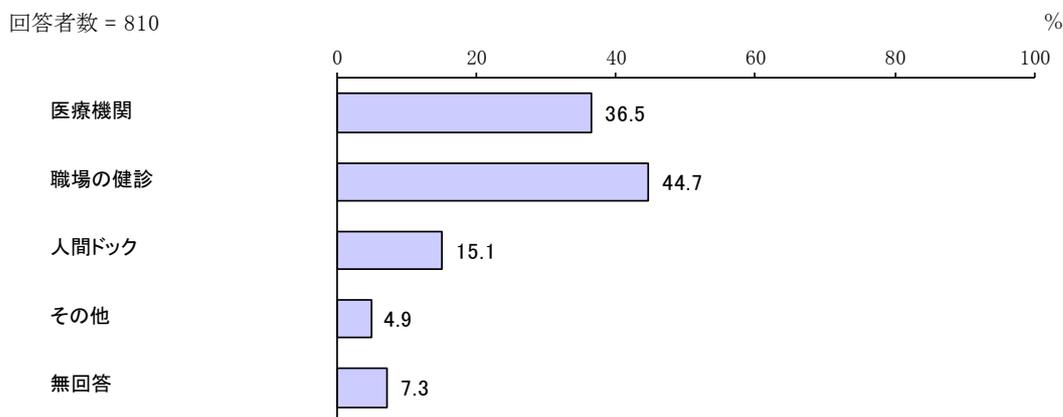


問 41 の①【健康診査】で「毎年受けている」、「時々受けている」と答えた方にお聞きします。

問 41-1 どこで受診していますか。(あてはまるものすべてに○)

①【健康診査】(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)

「職場の健診」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「医療機関」の割合が 36.5%、「人間ドック」の割合が 15.1%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「医療機関」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約8割となっています。また、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で「職場の健診」の割合が高く、6割を超えています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	医療機関	職場の健診	人間ドック	その他	無回答
20歳未満	50	2.0	40.0	—	36.0	22.0
20歳代	88	17.0	63.6	2.3	6.8	18.2
30歳代	115	20.9	65.2	8.7	4.3	7.8
40歳代	113	26.5	56.6	20.4	2.7	4.4
50歳代	135	23.7	51.9	25.9	3.0	5.2
60歳代	154	48.1	37.0	16.9	2.6	3.2
70歳以上	151	78.1	11.9	15.9	—	4.0

【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、西浦中学校区で「職場の健診」の割合が高く、5割半ばとなっています。また、蒲郡中学校区で「医療機関」の割合が高く、4割半ばとなっています。

単位：%

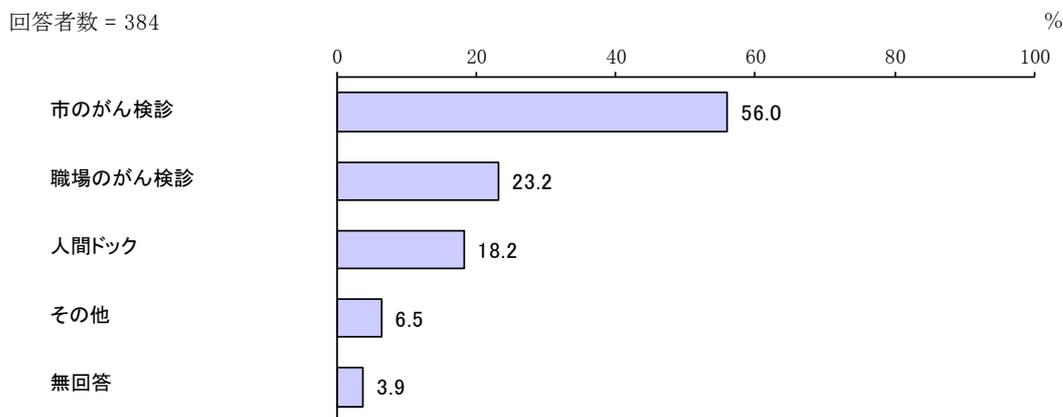
区分	回答者数 (件)	医療機関	職場の健診	人間ドック	その他	無回答
大塚中学校区	62	27.4	45.2	14.5	11.3	9.7
三谷中学校区	125	30.4	51.2	14.4	5.6	5.6
蒲郡中学校区	137	46.7	39.4	13.9	5.1	5.8
中部中学校区	129	36.4	45.0	18.6	5.4	5.4
塩津中学校区	109	43.1	38.5	15.6	2.8	7.3
形原中学校区	152	30.3	50.7	14.5	4.6	7.2
西浦中学校区	48	31.3	56.3	12.5	4.2	4.2
わからない	14	14.3	42.9	14.3	—	28.6

問 41 の②【がん検診】で「毎年受けている」、「時々受けている」と答えた方にお聞きします。

問 41-2 どこで受診していますか。(あてはまるものすべてに○)

②【がん検診】

「市のがん検診」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「職場のがん検診」の割合が 23.2%、「人間ドック」の割合が 18.2%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「市のがん検診」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳代で「職場のがん検診」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市のがん検診	職場のがん検診	人間ドック	その他	無回答
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20歳代	15	60.0	33.3	—	6.7	—
30歳代	29	44.8	41.4	10.3	3.4	3.4
40歳代	66	56.1	28.8	16.7	7.6	1.5
50歳代	76	43.4	35.5	22.4	9.2	2.6
60歳代	93	52.7	21.5	25.8	4.3	4.3
70歳以上	103	69.9	5.8	14.6	5.8	6.8

【中学校区別】

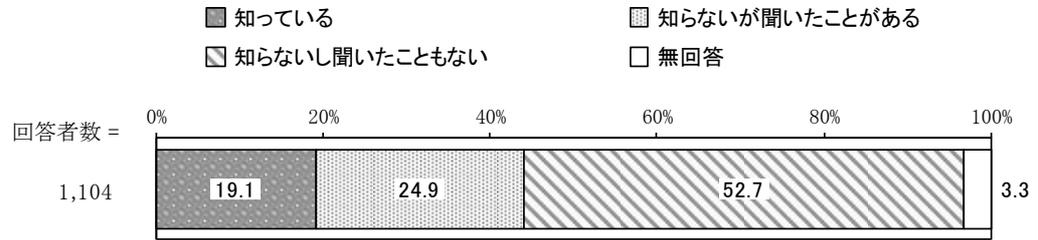
中学校区別で見ると、他の地区に比べ、塩津中学校区で「市のがん検診」の割合が高く、約6割となっています。また、三谷中学校区、西浦中学校区で「職場のがん検診」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市のがん検診	職場のがん検診	人間ドック	その他	無回答
大塚中学校区	28	53.6	21.4	17.9	10.7	—
三谷中学校区	57	52.6	28.1	14.0	10.5	1.8
蒲郡中学校区	75	56.0	22.7	17.3	5.3	2.7
中部中学校区	65	52.3	26.2	26.2	4.6	7.7
塩津中学校区	44	63.6	15.9	11.4	6.8	4.5
形原中学校区	72	52.8	26.4	22.2	5.6	4.2
西浦中学校区	20	55.0	30.0	20.0	—	—
わからない	6	100.0	—	—	—	—

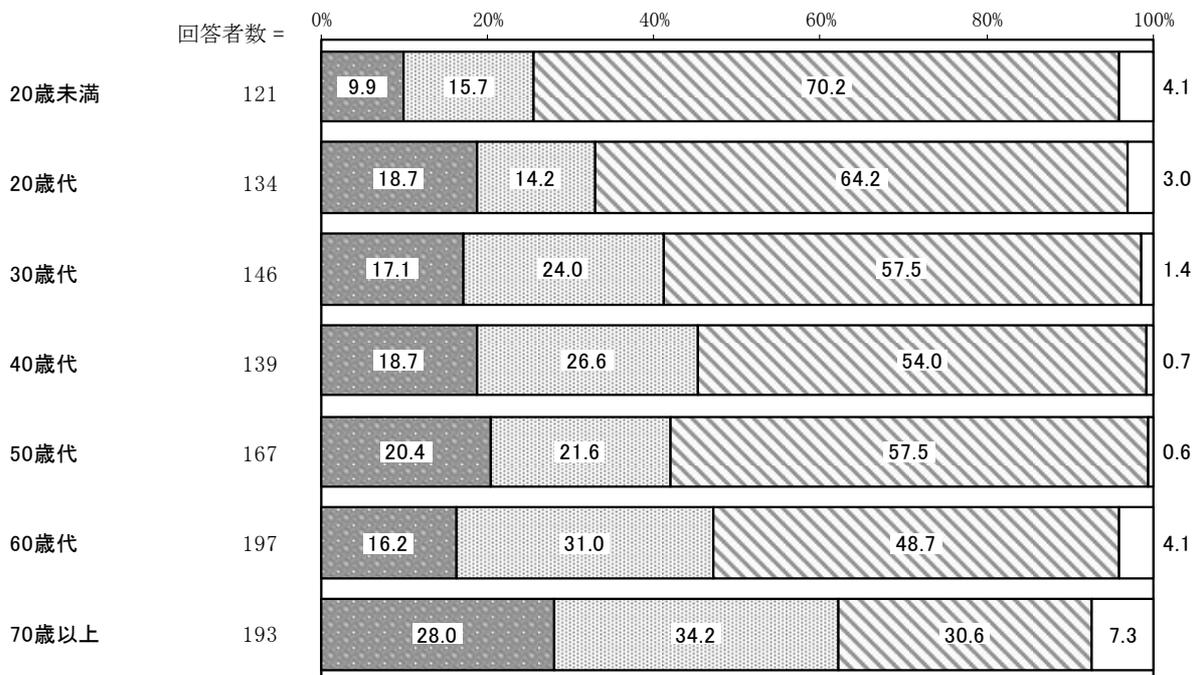
問 42 あなたはCKD（慢性腎臓病）という病気を知っていますか。（○は1つだけ）

「知らないし聞いたこともない」の割合が52.7%と最も高く、次いで「知らないが聞いたことがある」の割合が24.9%、「知っている」の割合が19.1%となっています。



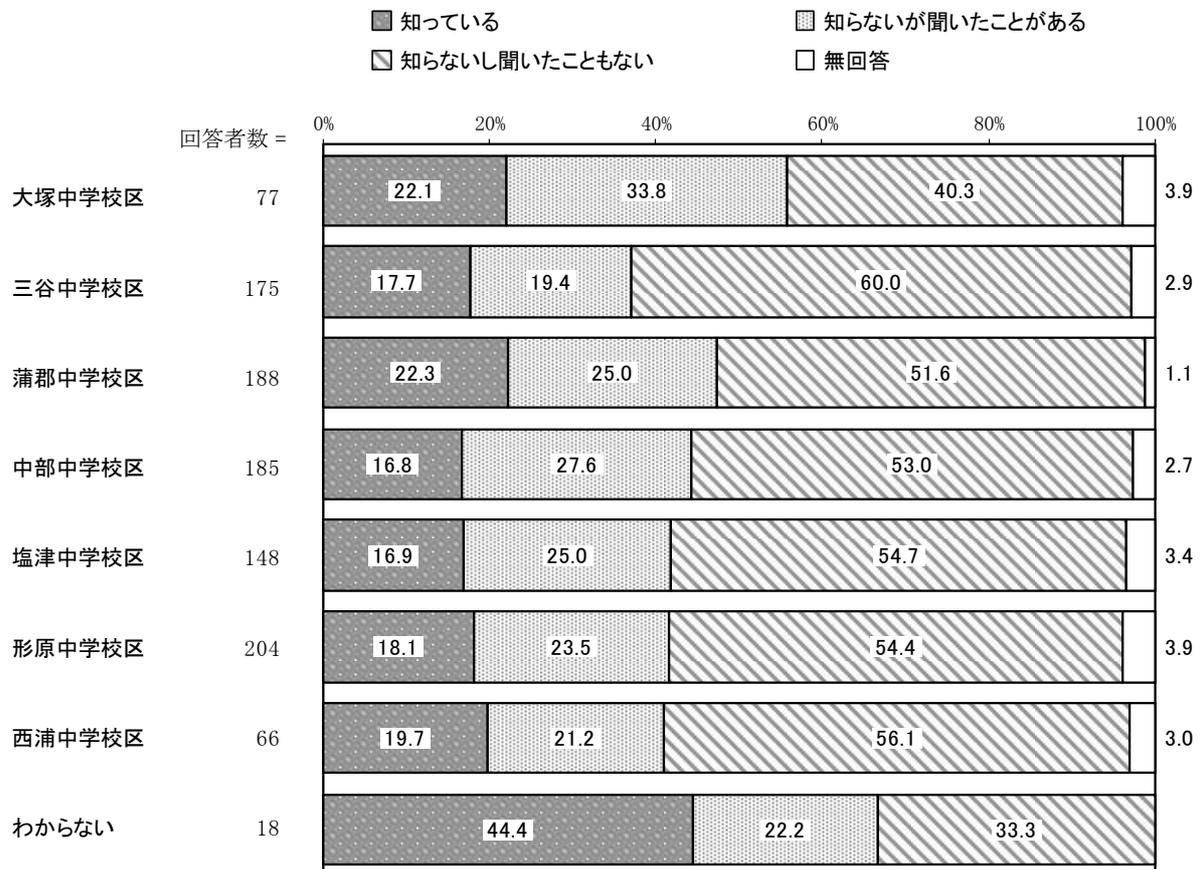
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「知らないし聞いたこともない」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で約7割となっています。



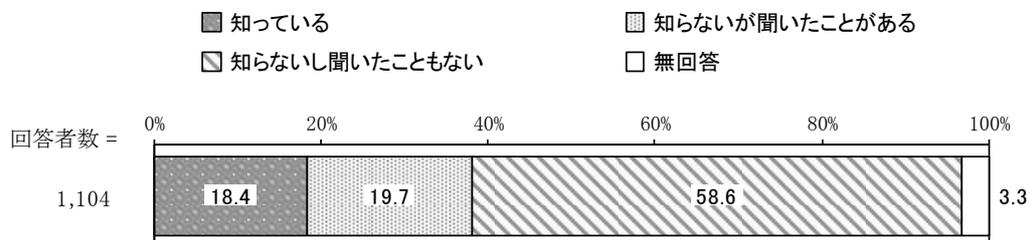
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、大塚中学校区、中部中学校区で「知らないが聞いたことがある」の割合が高く、約3割となっています。また、三谷中学校区で「知らないし聞いたこともない」の割合が高く、6割となっています。



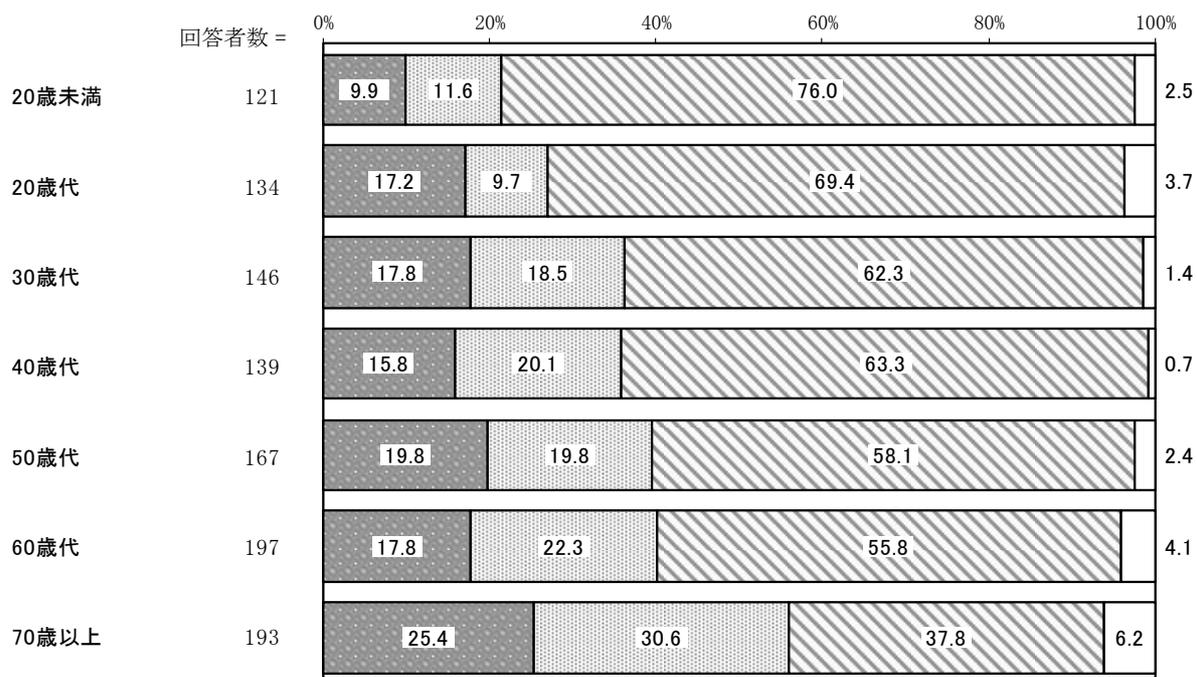
問 43 生活習慣病はCKD（慢性腎臓病）となるリスクを高める要因であることを知っていますか。（○は1つだけ）

「知らないし聞いたこともない」の割合が58.6%と最も高く、次いで「知らないが聞いたことがある」の割合が19.7%、「知っている」の割合が18.4%となっています。



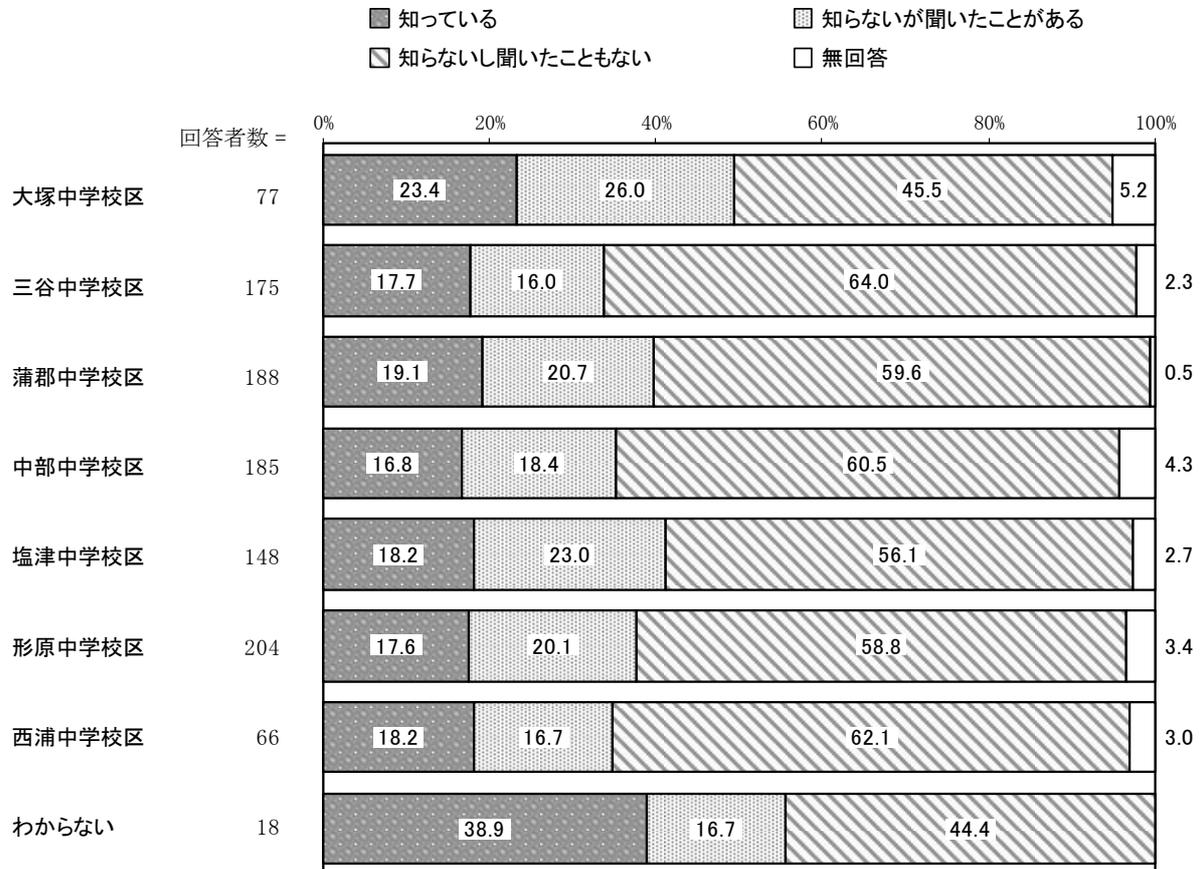
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「知らないし聞いたこともない」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で7割半ばとなっています。



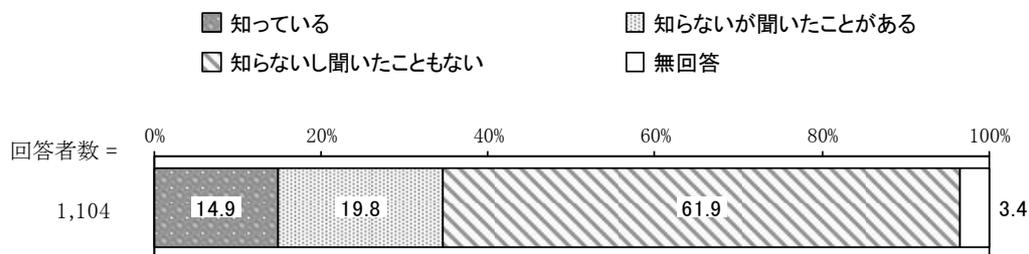
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、三谷中学校区で「知らないし聞いたこともない」の割合が高く、6割半ばとなっています。



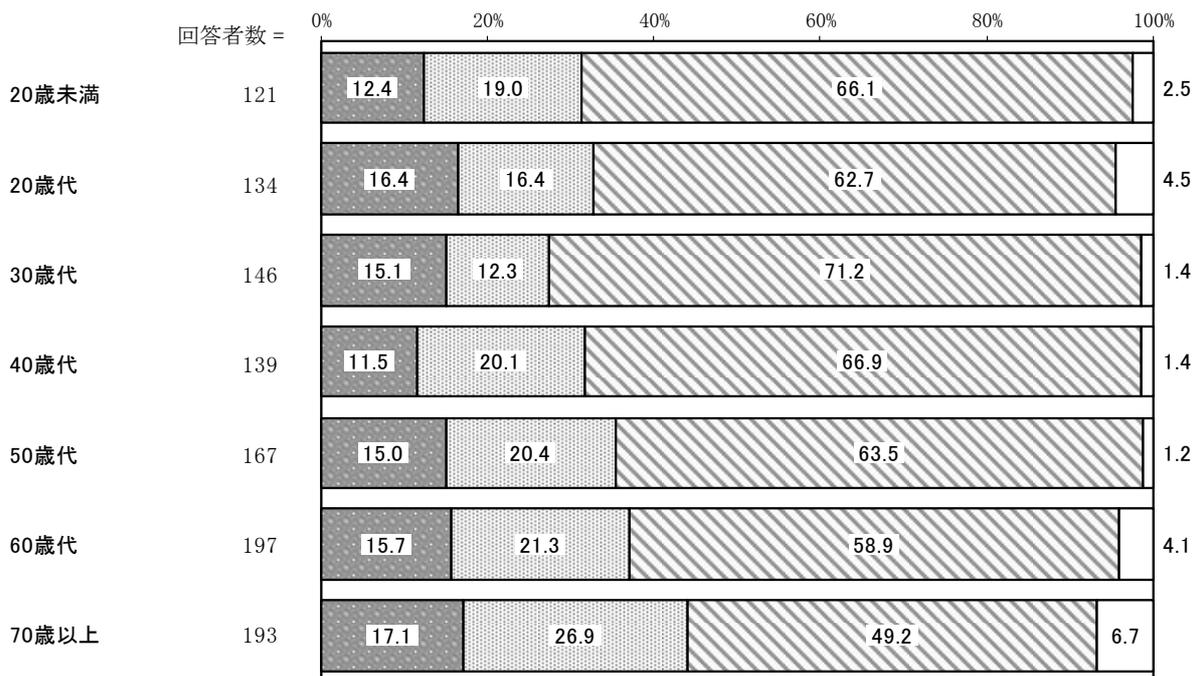
**問 44 あなたは、フレイル（虚弱）という言葉の意味を知っていますか。
（○は1つだけ）**

「知らないし聞いたこともない」の割合が61.9%と最も高く、次いで「知らないが聞いたことがある」の割合が19.8%、「知っている」の割合が14.9%となっています。



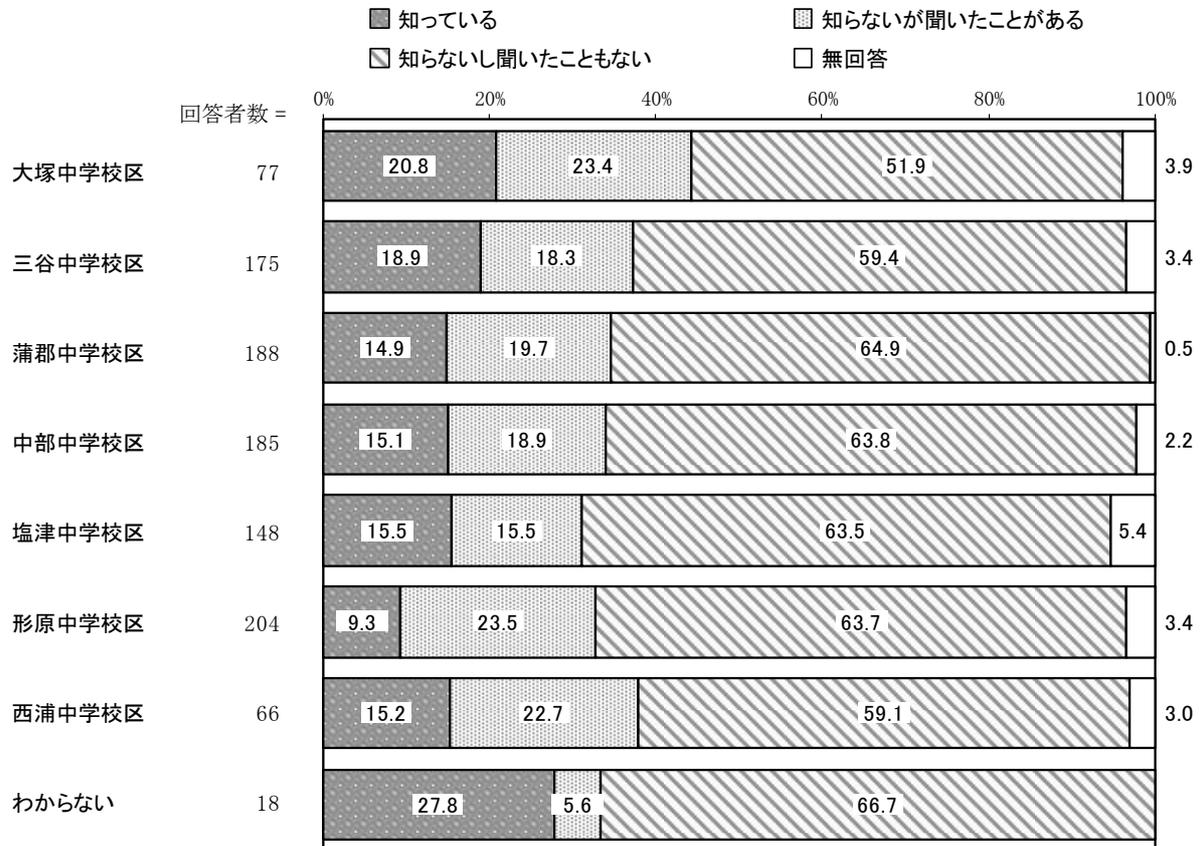
【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、30歳代で「知らないし聞いたこともない」の割合が高く、約7割となっています。また、70歳以上で「知らないが聞いたことがある」の割合が高く、2割半ばとなっています。



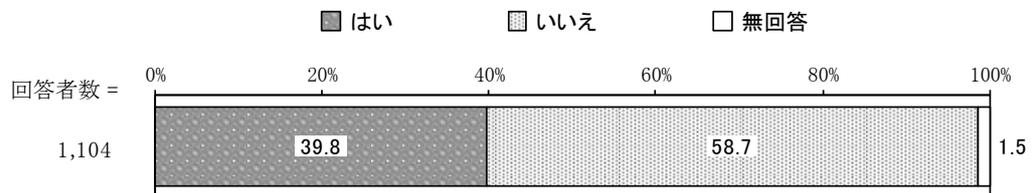
【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、大塚中学校区、三谷中学校区で「知っている」の割合が高く、約2割となっています。



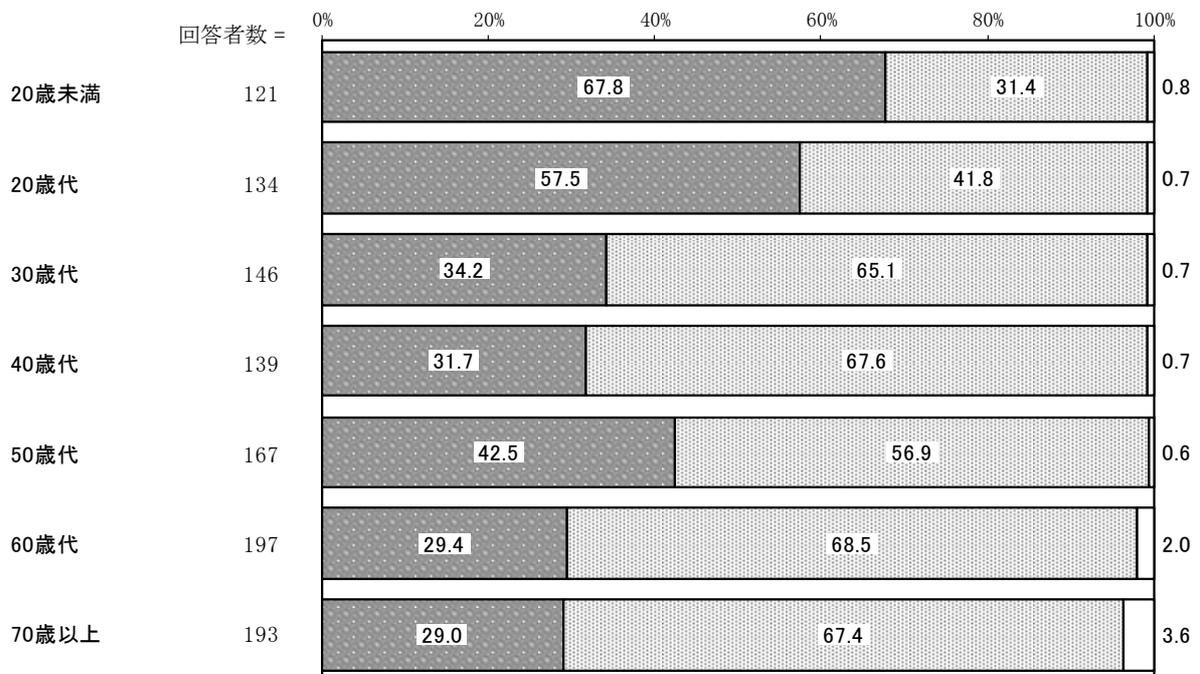
問 45 あなたは、この1年間にスポーツ（楽しみを求めたり勝敗を競ったりする目的で行われる身体運動で、陸上、水泳、球技、格闘技などの競技スポーツのほか体力づくり、レクリエーションとして行われるものを含む）を行いましたか。
 (〇は1つだけ)

「はい」の割合が39.8%、「いいえ」の割合が58.7%となっています。



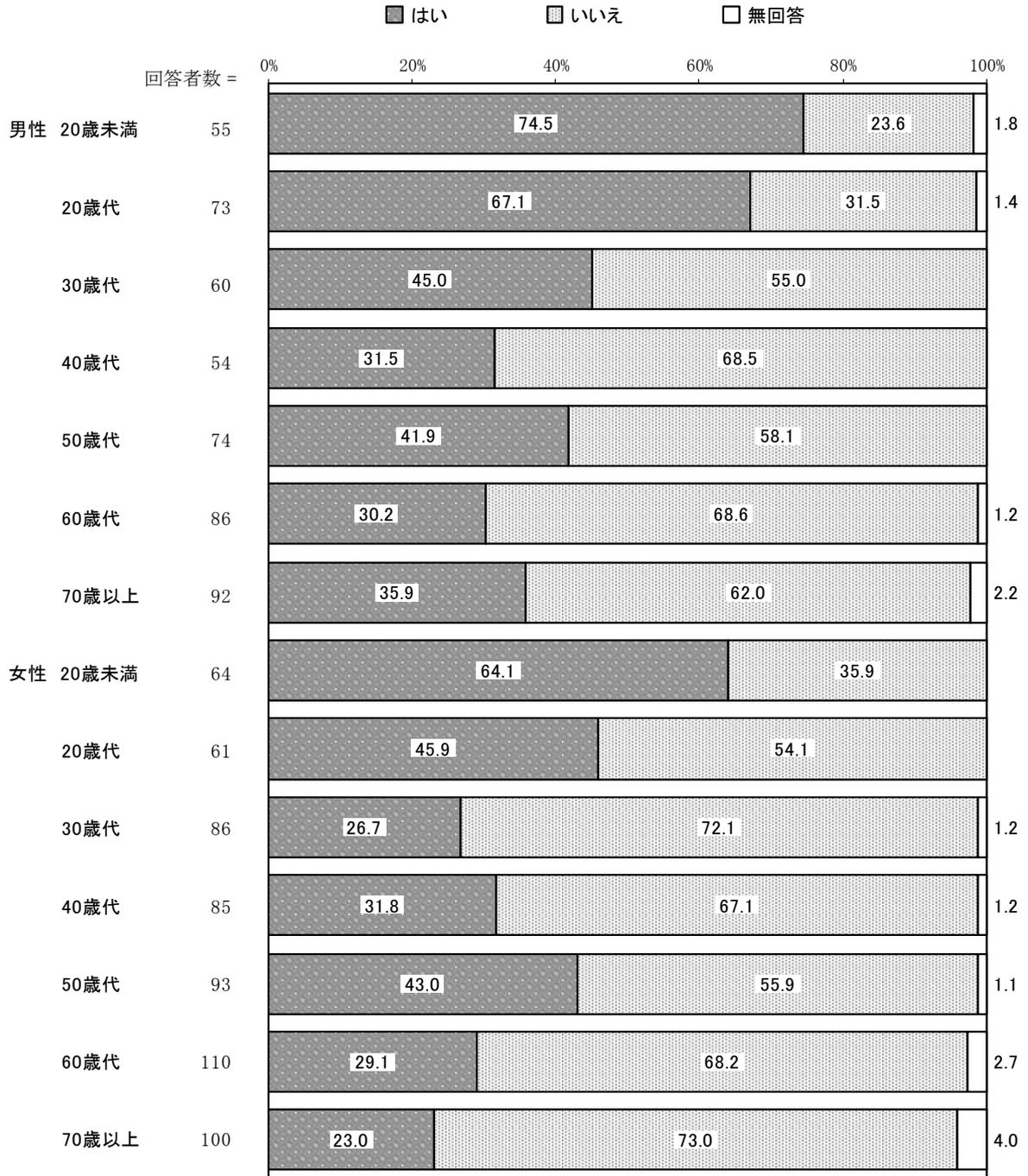
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳未満で約7割となっています。



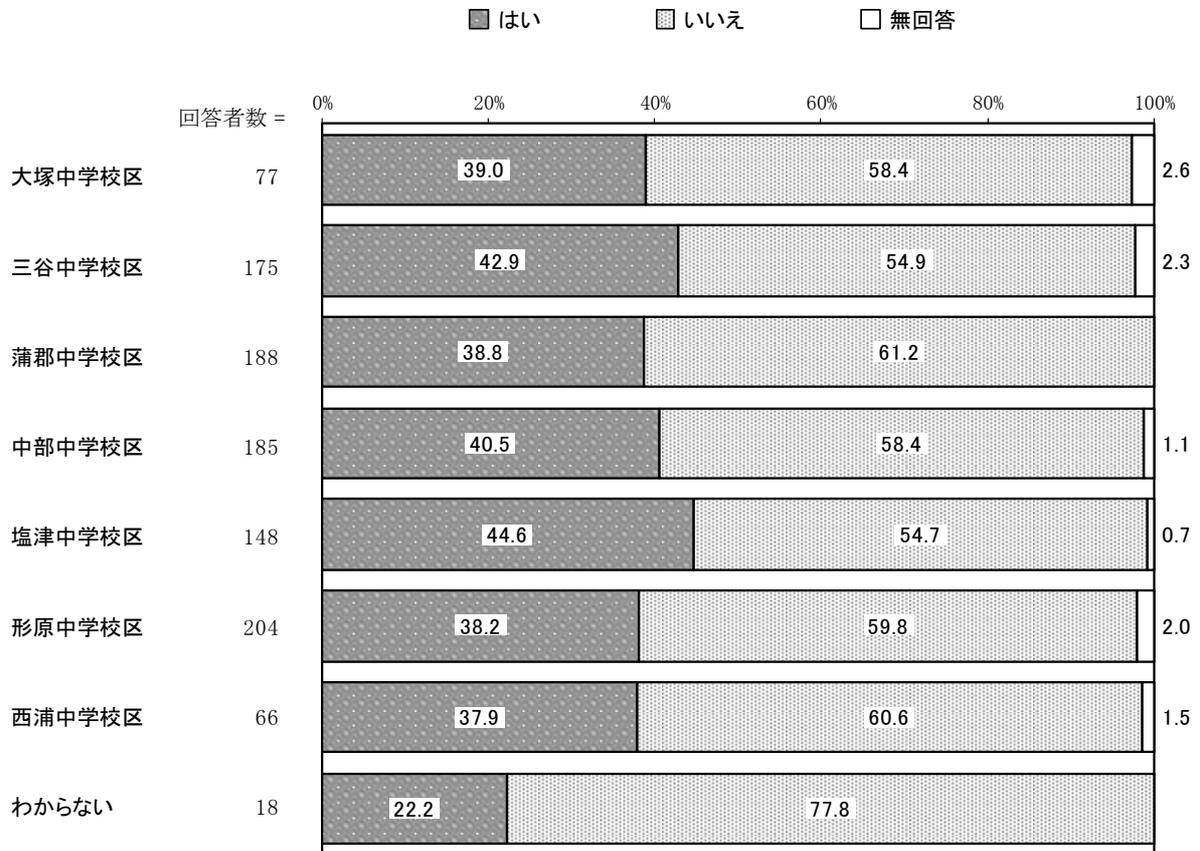
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の40歳代、60歳代、女性の30歳代、60歳代、70歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。また、男女ともに20歳未満で「はい」の割合が高くなっています。



【中学校区別】

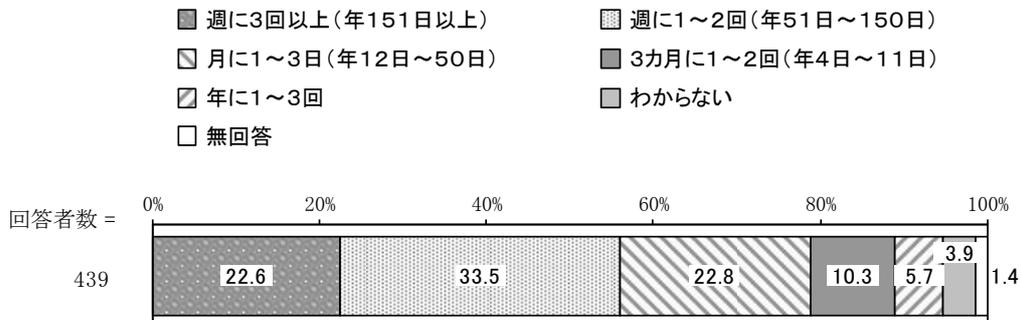
中学校区別で見ると、他の地区に比べ、塩津中学校区で「はい」の割合が高く、4割半ばとなっています。



問 45 で「はい」と答えた方にお聞きします。

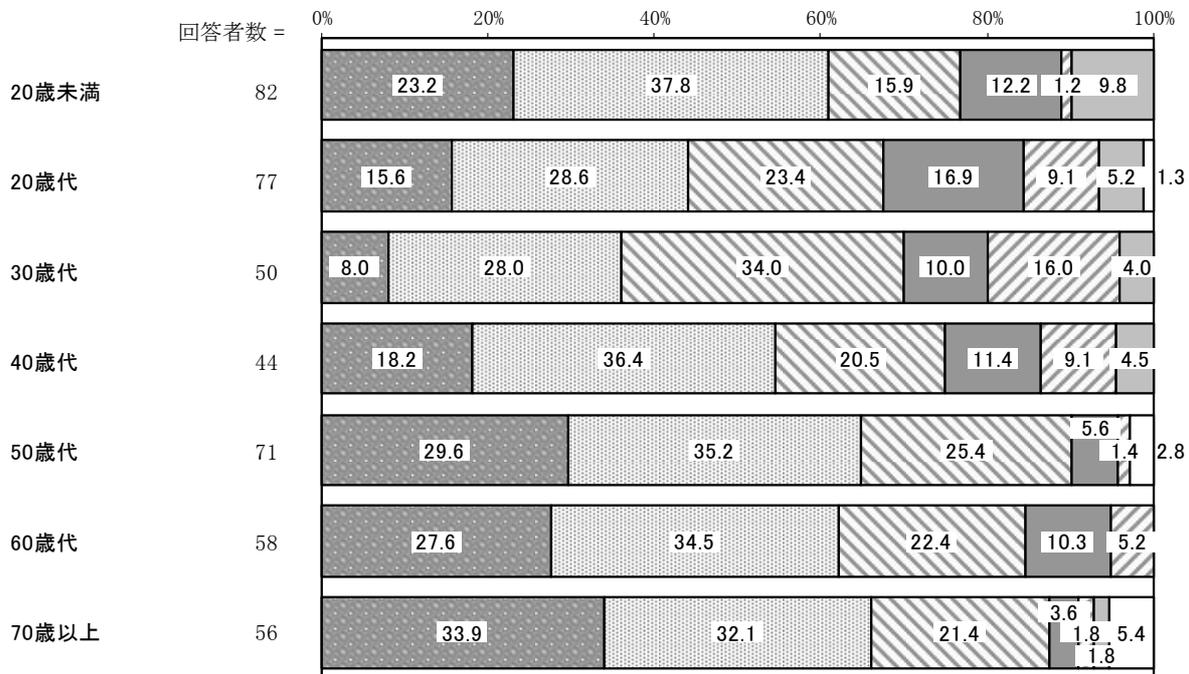
問 45-1-1 スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。(○は1つだけ)

「週に1～2回(年51日～150日)」の割合が33.5%と最も高く、次いで「月に1～3日(年12日～50日)」の割合が22.8%、「週に3回以上(年151日以上)」の割合が22.6%となっています。



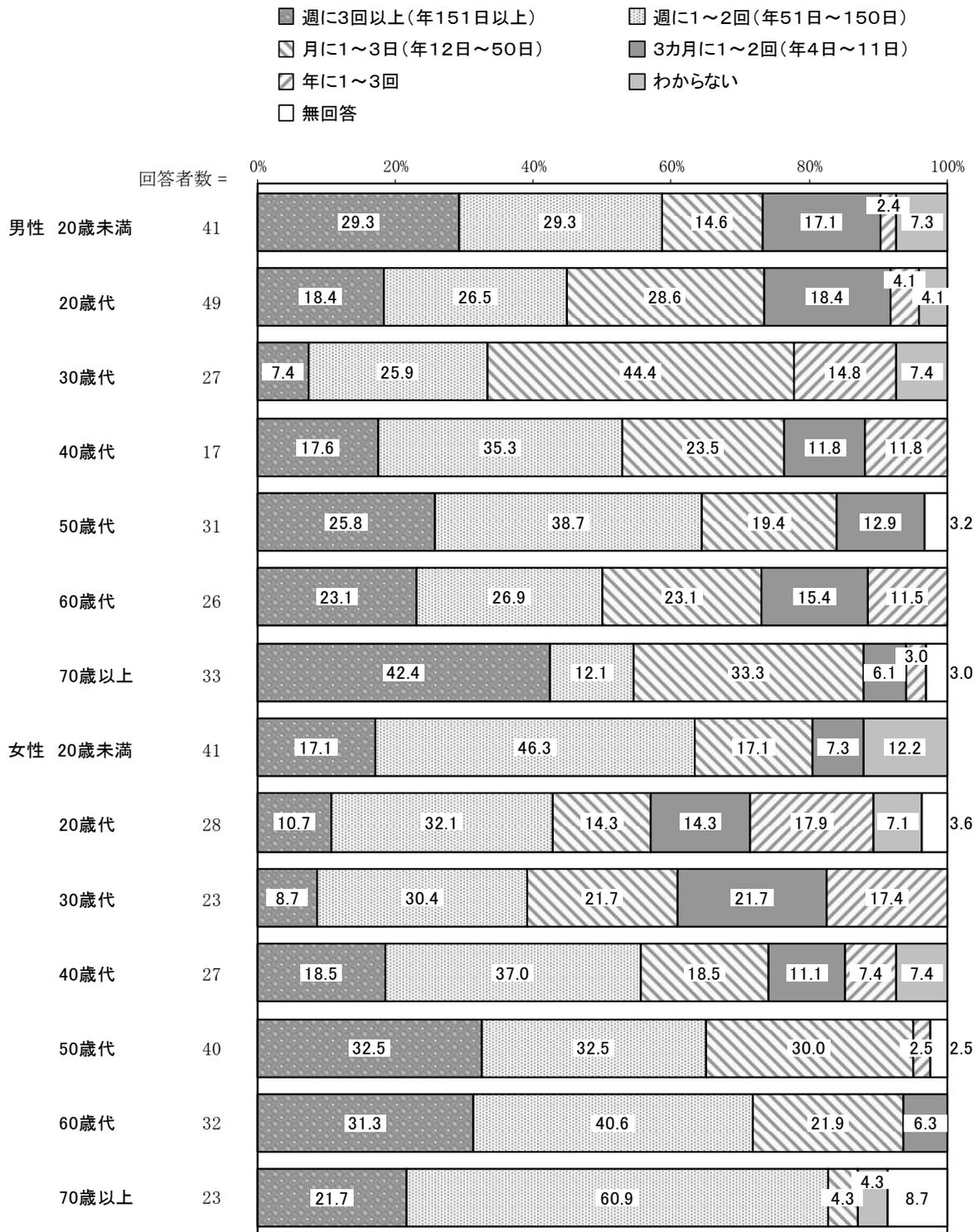
【年代別】

年代別でみると、40歳代以下に比べ、50歳代以上で「週に3回以上(年151日以上)」の割合が高く、約3割となっています。また、30歳代で「年に1～3回」の割合が高く、1割半ばとなっています。



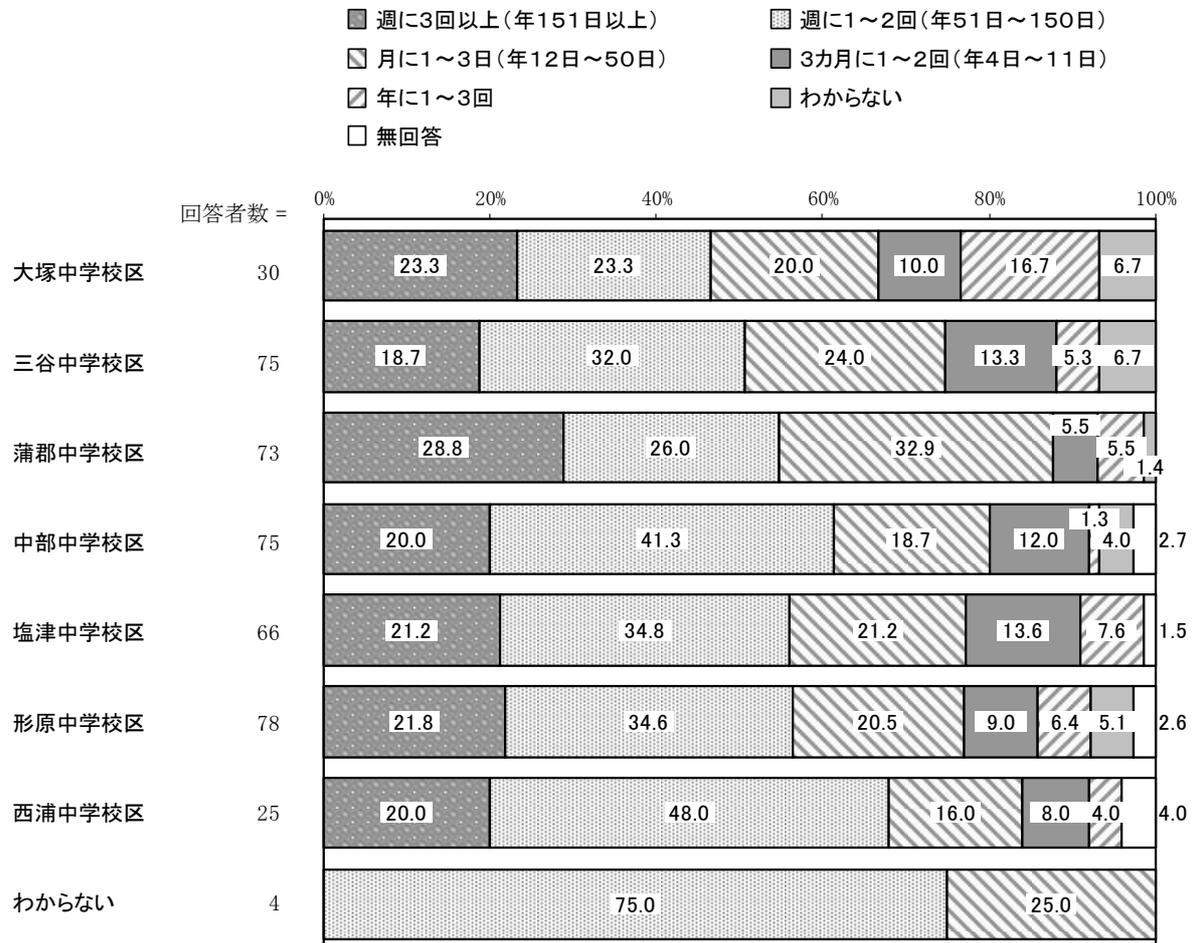
【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳以上、女性の50歳代、60歳代で「週に3回以上（年151日以上）」の割合が高くなっています。



【中学校区別】

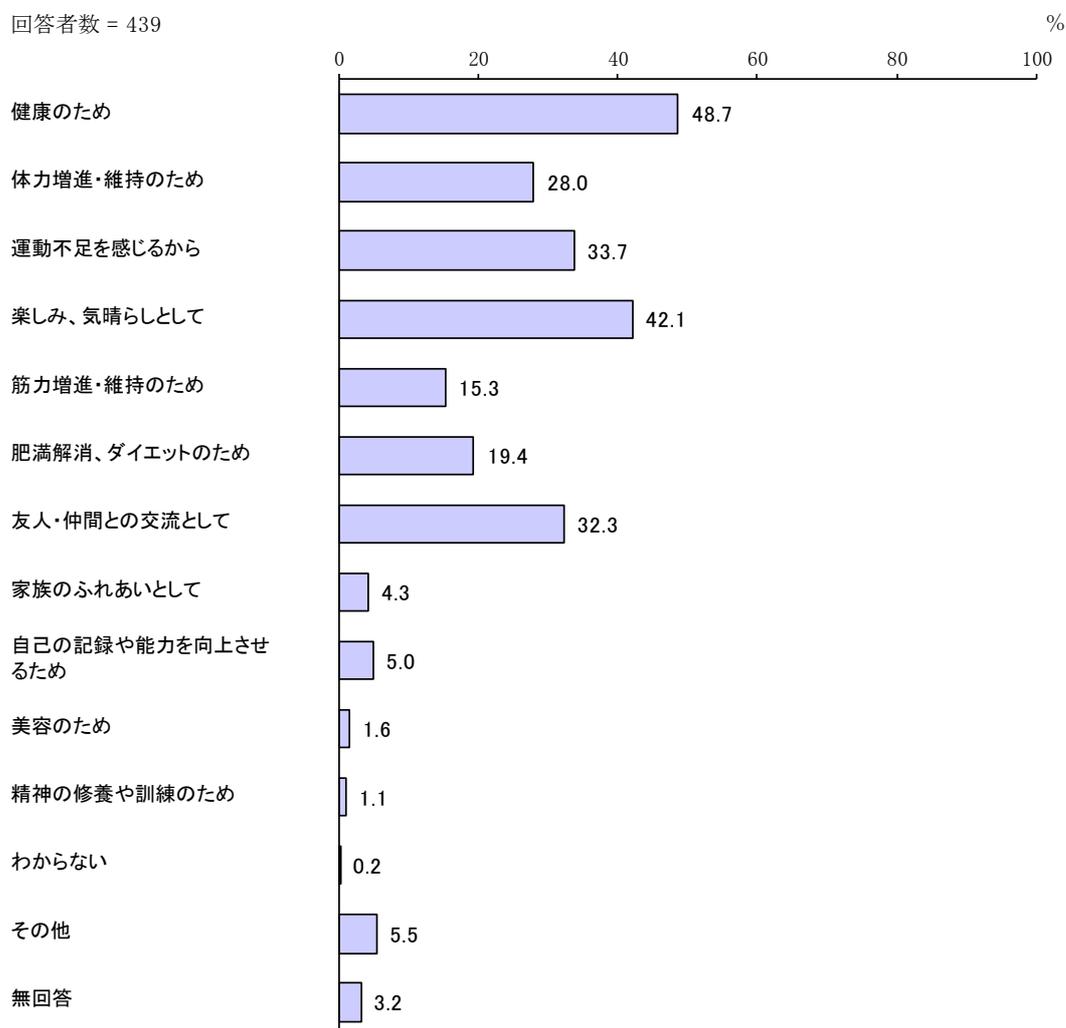
中学校区別でみると、他の地区に比べ、西浦中学校区で「週に1～2回(年51日～150日)」の割合が高く、約5割となっています。また、蒲郡中学校区で「週に3回以上(年151日以上)」の割合が高く、約3割となっています。



問 45-1-2 あなたがスポーツをしたのはどのような理由からですか。
(○は3つまで)

「健康のため」の割合が48.7%と最も高く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」の割合が42.1%、「運動不足を感じるから」の割合が33.7%となっています。

回答者数 = 439



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「健康のため」の割合が高く、60歳代以上で約7割となっています。また、20歳代で「友人・仲間との交流として」の割合が、60歳代で「体力増進・維持のため」の割合が高く、4割半ばとなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康のため	体力増進・維持のため	運動不足を感じるから	楽しみ、気晴らしとして	筋力増進・維持のため	肥満解消、ダイエットのため	友人・仲間との交流として	家族のふれあいとして	自己の記録や能力を向上させるため	美容のため	精神の修養や訓練のため	わからない	その他	無回答
20歳未満	82	26.8	23.2	31.7	40.2	11.0	13.4	39.0	1.2	4.9	1.2	—	—	19.5	3.7
20歳代	77	32.5	10.4	27.3	53.2	14.3	13.0	45.5	3.9	9.1	1.3	—	—	1.3	5.2
30歳代	50	38.0	22.0	38.0	50.0	2.0	24.0	32.0	14.0	6.0	4.0	2.0	—	—	2.0
40歳代	44	59.1	25.0	31.8	27.3	11.4	38.6	27.3	11.4	4.5	4.5	2.3	—	4.5	—
50歳代	71	60.6	35.2	40.8	42.3	16.9	26.8	16.9	2.8	5.6	1.4	1.4	—	1.4	4.2
60歳代	58	67.2	46.6	31.0	43.1	24.1	19.0	27.6	1.7	1.7	—	1.7	—	3.4	1.7
70歳以上	56	71.4	39.3	37.5	33.9	26.8	8.9	33.9	—	1.8	—	1.8	1.8	3.6	1.8

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳以上、女性の60歳以上で「健康のため」の割合が、男性の20歳未満、20歳代で「楽しみ、気晴らしとして」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	健康のため	体力増進・維持のため	運動不足を感じるから	楽しみ、気晴らしとして	筋力増進・維持のため	肥満解消、ダイエットのため	友人・仲間との交流として	家族のふれあいとして	自己の記録や能力を向上させるため	美容のため	精神の修養や訓練のため	わからない	その他	無回答
男性 20歳未満	41	24.4	17.1	29.3	56.1	12.2	2.4	53.7	—	7.3	—	—	—	9.8	2.4
20歳代	49	22.4	6.1	20.4	57.1	16.3	4.1	51.0	4.1	14.3	—	—	—	2.0	6.1
30歳代	27	37.0	25.9	25.9	51.9	3.7	14.8	40.7	7.4	7.4	—	—	—	—	3.7
40歳代	17	52.9	17.6	11.8	47.1	11.8	17.6	35.3	11.8	5.9	—	5.9	—	11.8	—
50歳代	31	54.8	35.5	29.0	38.7	16.1	22.6	16.1	3.2	6.5	—	3.2	—	—	6.5
60歳代	26	57.7	30.8	26.9	50.0	15.4	15.4	38.5	3.8	3.8	—	—	—	—	3.8
70歳以上	33	66.7	45.5	39.4	33.3	27.3	12.1	27.3	—	3.0	—	—	—	6.1	—
女性 20歳未満	41	29.3	29.3	34.1	24.4	9.8	24.4	24.4	2.4	2.4	2.4	—	—	29.3	4.9
20歳代	28	50.0	17.9	39.3	46.4	10.7	28.6	35.7	3.6	—	3.6	—	—	—	3.6
30歳代	23	39.1	17.4	52.2	47.8	—	34.8	21.7	21.7	4.3	8.7	4.3	—	—	—
40歳代	27	63.0	29.6	44.4	14.8	11.1	51.9	22.2	11.1	3.7	7.4	—	—	—	—
50歳代	40	65.0	35.0	50.0	45.0	17.5	30.0	17.5	2.5	5.0	2.5	—	—	2.5	2.5
60歳代	32	75.0	59.4	34.4	37.5	31.3	21.9	18.8	—	—	—	3.1	—	6.3	—
70歳以上	23	78.3	30.4	34.8	34.8	26.1	4.3	43.5	—	—	—	4.3	4.3	—	4.3

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区で「体力増進・維持のため」「運動不足を感じるから」の割合が高くなっています。また、中部中学校区で「楽しみ、気晴らしとして」「友人・仲間との交流として」の割合が高くなっています。

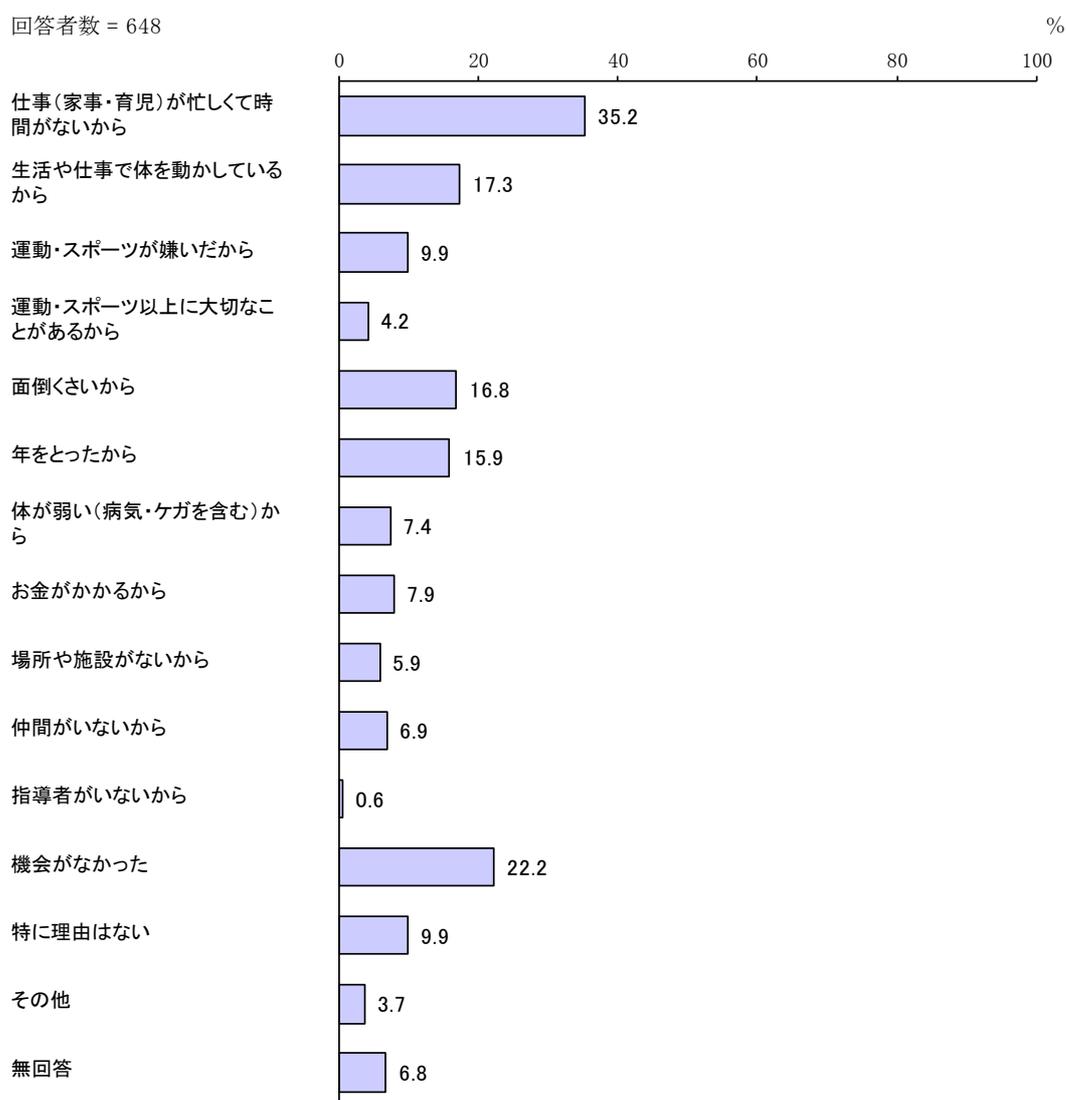
単位：％

区分	回答者数 (件)	健康のため	体力増進・維持のため	運動不足を感じるから	楽しみ、気晴らしとして	筋力増進・維持のため	肥満解消、ダイエットのため	友人・仲間との交流として	家族のふれあいとして	自己の記録や能力を向上させるため	美容のため	精神の修養や訓練のため	わからない	その他	無回答
大塚中学校区	30	46.7	40.0	46.7	40.0	13.3	10.0	30.0	—	6.7	—	3.3	—	6.7	—
三谷中学校区	75	45.3	29.3	32.0	45.3	20.0	22.7	32.0	2.7	1.3	1.3	—	—	6.7	2.7
蒲郡中学校区	73	53.4	23.3	32.9	45.2	15.1	20.5	28.8	5.5	5.5	1.4	1.4	—	6.8	2.7
中部中学校区	75	49.3	21.3	26.7	48.0	10.7	20.0	38.7	2.7	9.3	—	—	—	8.0	4.0
塩津中学校区	66	48.5	30.3	40.9	40.9	12.1	24.2	31.8	4.5	4.5	3.0	1.5	—	—	4.5
形原中学校区	78	47.4	29.5	28.2	37.2	17.9	14.1	33.3	10.3	5.1	—	—	—	7.7	1.3
西浦中学校区	25	52.0	28.0	36.0	40.0	16.0	12.0	32.0	—	—	4.0	4.0	—	—	12.0
わからない	4	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—

問 45 で「いいえ」と答えた方にお聞きします。

問 45-2 この1年間に、スポーツをしなかったのはどのような理由からですか。
(○は3つまで)

「仕事(家事・育児)が忙しくて時間がないから」の割合が35.2%と最も高く、次いで「機会がなかった」の割合が22.2%、「生活や仕事で体を動かしているから」の割合が17.3%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」の割合が高く、5割を超えています。また、20歳代で「面倒くさいから」「機会がなかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから	生活や仕事で体を動かしているから	運動・スポーツが嫌いだから	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	面倒くさいから	年をとったから	体が弱い（病気、ケガを含む）から	お金がかかるから	場所や施設がないから	仲間がないから	指導者がいないから	機会がなかった	特に理由はない	その他	無回答
20歳未満	38	21.1	15.8	5.3	7.9	28.9	—	—	2.6	7.9	7.9	2.6	18.4	21.1	7.9	5.3
20歳代	56	48.2	8.9	14.3	3.6	33.9	—	—	1.8	12.5	8.9	—	37.5	7.1	5.4	3.6
30歳代	95	55.8	13.7	12.6	2.1	17.9	2.1	4.2	12.6	6.3	5.3	1.1	25.3	7.4	3.2	3.2
40歳代	94	52.1	17.0	12.8	4.3	16.0	4.3	8.5	16.0	8.5	10.6	—	24.5	7.4	5.3	2.1
50歳代	95	43.2	10.5	12.6	7.4	14.7	14.7	9.5	8.4	7.4	5.3	2.1	22.1	10.5	2.1	4.2
60歳代	135	24.4	23.7	8.9	3.7	15.6	19.3	6.7	8.1	2.2	6.7	—	17.0	12.6	3.0	7.4
70歳以上	130	11.5	23.1	3.8	3.1	7.7	43.1	13.8	2.3	3.1	6.2	—	17.7	7.7	3.1	16.2

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の40歳代、女性の30歳代で「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」の割合が高くなっています。また、男女ともに70歳以上で「年をとったから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから	生活や仕事で体を動かしているから	運動・スポーツが嫌いだから	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	面倒くさいから	年をとったから	体が弱い・病気がケガを含むから
男性 20歳未満	13	23.1	23.1	—	15.4	30.8	—	—
20歳代	23	39.1	13.0	8.7	8.7	30.4	—	—
30歳代	33	42.4	18.2	6.1	6.1	27.3	3.0	6.1
40歳代	37	45.9	16.2	13.5	5.4	16.2	2.7	13.5
50歳代	43	39.5	9.3	7.0	9.3	18.6	27.9	7.0
60歳代	59	18.6	22.0	3.4	6.8	11.9	22.0	10.2
70歳以上	57	12.3	22.8	3.5	5.3	5.3	50.9	8.8
女性 20歳未満	23	21.7	13.0	8.7	4.3	30.4	—	—
20歳代	33	54.5	6.1	18.2	—	36.4	—	—
30歳代	62	62.9	11.3	16.1	—	12.9	1.6	3.2
40歳代	57	56.1	17.5	12.3	3.5	15.8	5.3	5.3
50歳代	52	46.2	11.5	17.3	5.8	11.5	3.8	11.5
60歳代	75	28.0	25.3	13.3	1.3	18.7	17.3	4.0
70歳以上	73	11.0	23.3	4.1	1.4	9.6	37.0	17.8

区分	お金がかかるから	場所や施設がないから	仲間がないから	指導者がいないから	機会がなかった	特に理由はない	その他	無回答
男性 20歳未満	—	7.7	—	—	15.4	23.1	7.7	—
20歳代	—	8.7	4.3	—	34.8	13.0	8.7	—
30歳代	12.1	15.2	6.1	3.0	36.4	9.1	3.0	—
40歳代	13.5	10.8	5.4	—	16.2	8.1	10.8	2.7
50歳代	2.3	9.3	7.0	4.7	16.3	11.6	2.3	4.7
60歳代	11.9	—	8.5	—	13.6	16.9	5.1	5.1
70歳以上	1.8	5.3	7.0	—	15.8	8.8	5.3	10.5
女性 20歳未満	4.3	8.7	13.0	4.3	17.4	21.7	4.3	8.7
20歳代	3.0	15.2	12.1	—	39.4	3.0	3.0	6.1
30歳代	12.9	1.6	4.8	—	19.4	6.5	3.2	4.8
40歳代	17.5	7.0	14.0	—	29.8	7.0	1.8	1.8
50歳代	13.5	5.8	3.8	—	26.9	9.6	1.9	3.8
60歳代	5.3	4.0	5.3	—	18.7	9.3	1.3	9.3
70歳以上	2.7	1.4	5.5	—	19.2	6.8	1.4	20.5

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区、蒲郡中学校区で「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」の割合が高く、約4割となっています。

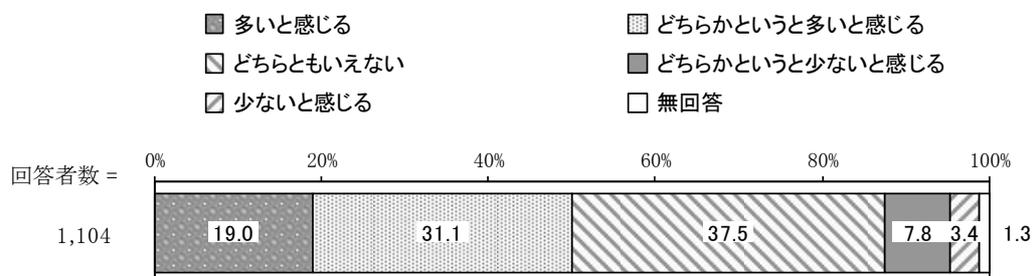
単位：％

区分	回答者数 (件)	仕事・家事・育児が忙しくて時間がないから	生活や仕事で体を動かしているから	運動・スポーツが嫌いだから	運動・スポーツ以上に大切なことがあるから	面倒くさいから	年をとったから	体が弱い病気(ケガを含む)から	お金がかかるから	場所や施設がないから	仲間がないから	指導者がいないから	機会がなかった	特に理由はない	その他	無回答
大塚中学校区	45	42.2	6.7	8.9	4.4	11.1	22.2	4.4	4.4	11.1	4.4	2.2	15.6	6.7	2.2	6.7
三谷中学校区	96	33.3	17.7	11.5	7.3	18.8	9.4	8.3	4.2	5.2	4.2	—	24.0	13.5	5.2	6.3
蒲郡中学校区	115	38.3	20.0	13.0	4.3	14.8	20.0	7.0	9.6	4.3	8.7	—	25.2	9.6	4.3	2.6
中部中学校区	108	34.3	13.9	6.5	5.6	12.0	13.9	8.3	8.3	3.7	4.6	0.9	19.4	12.0	4.6	9.3
塩津中学校区	81	33.3	18.5	9.9	4.9	19.8	14.8	8.6	7.4	4.9	6.2	1.2	21.0	8.6	2.5	8.6
形原中学校区	122	36.9	19.7	7.4	1.6	14.8	14.8	5.7	8.2	6.6	10.7	—	19.7	8.2	3.3	9.0
西浦中学校区	40	20.0	20.0	12.5	2.5	25.0	12.5	7.5	15.0	12.5	7.5	2.5	27.5	10.0	2.5	5.0
わからない	14	71.4	21.4	7.1	—	28.6	14.3	—	7.1	7.1	7.1	—	35.7	7.1	—	—

(8) 環境保全について

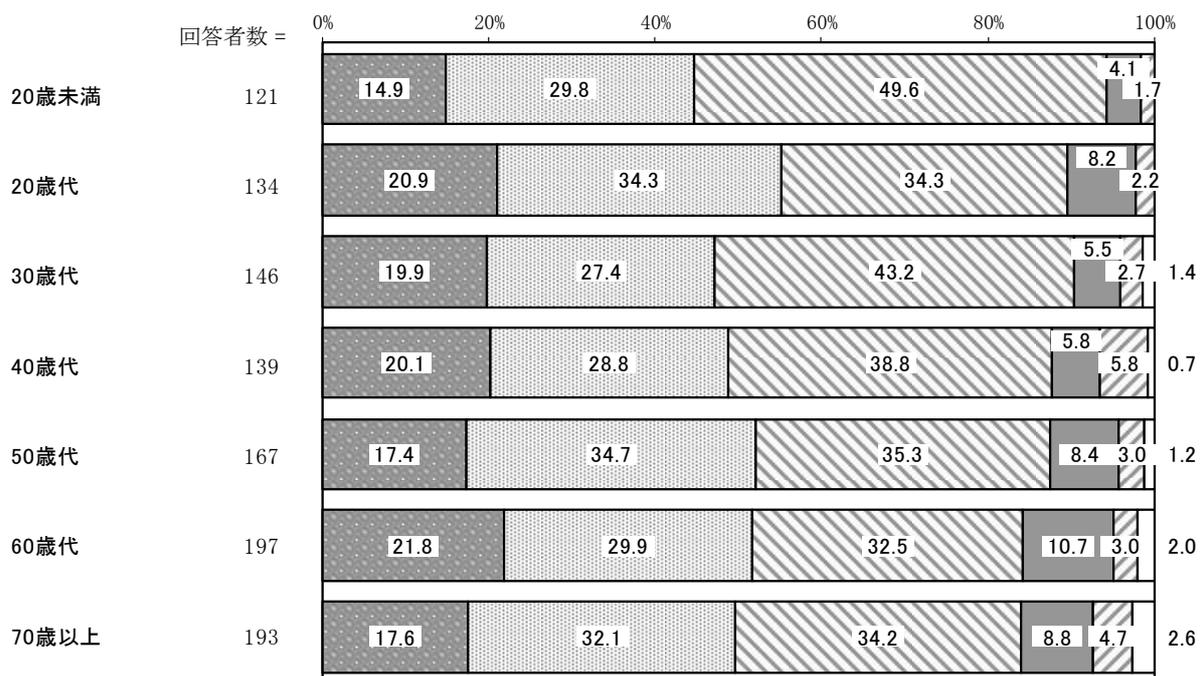
問 46 家庭から出るごみの量は多いと感じますか。(〇は1 つだけ)

「多いと感じる」と「どちらかというとも多いと感じる」を合わせた“多いと感じる”の割合が50.1%、「どちらかというとも少ないと感じる」と「少ないと感じる」を合わせた“少ないと感じる”の割合が11.2%、「どちらともいえない」の割合が37.5%となっています。



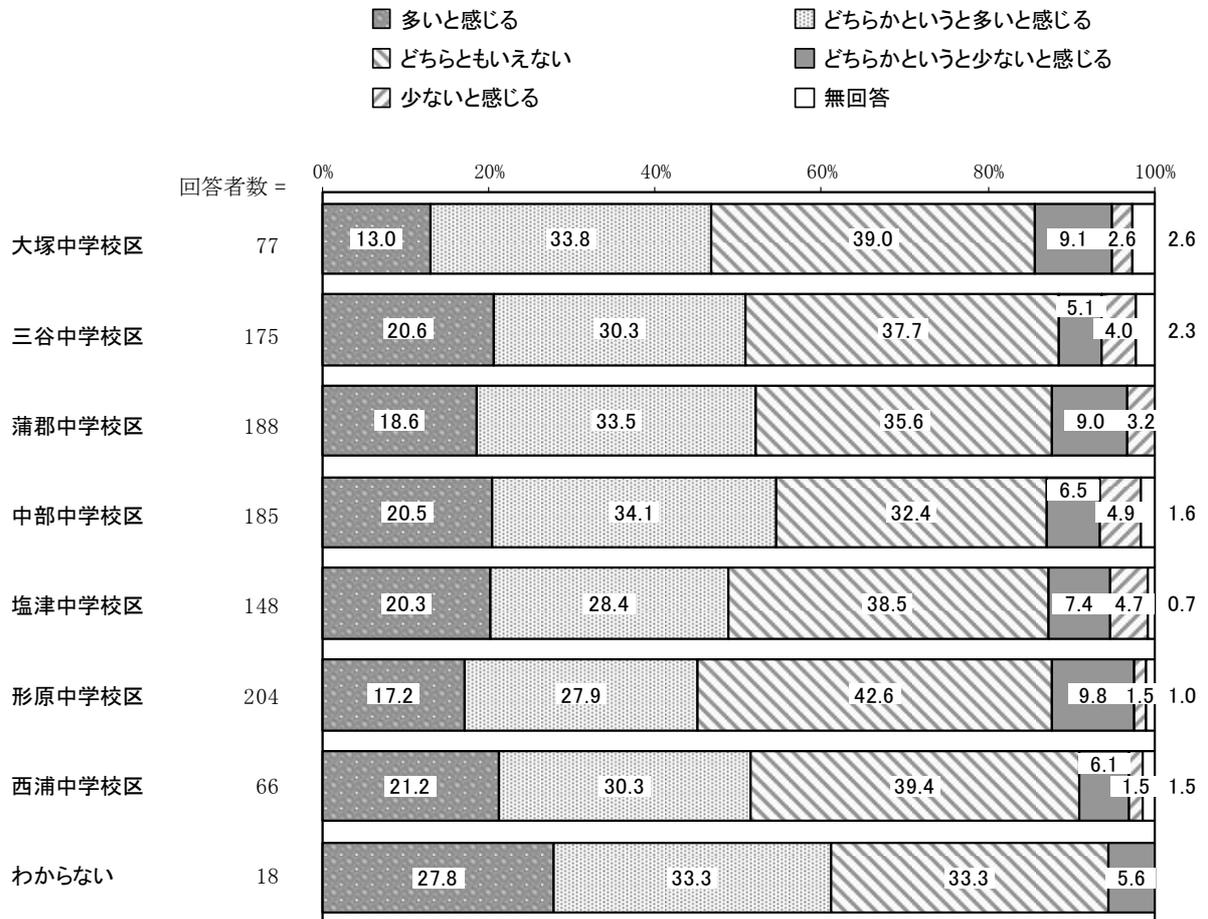
【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、20歳代で“多いと感じる”の割合が高く、5割半ばとなっています。



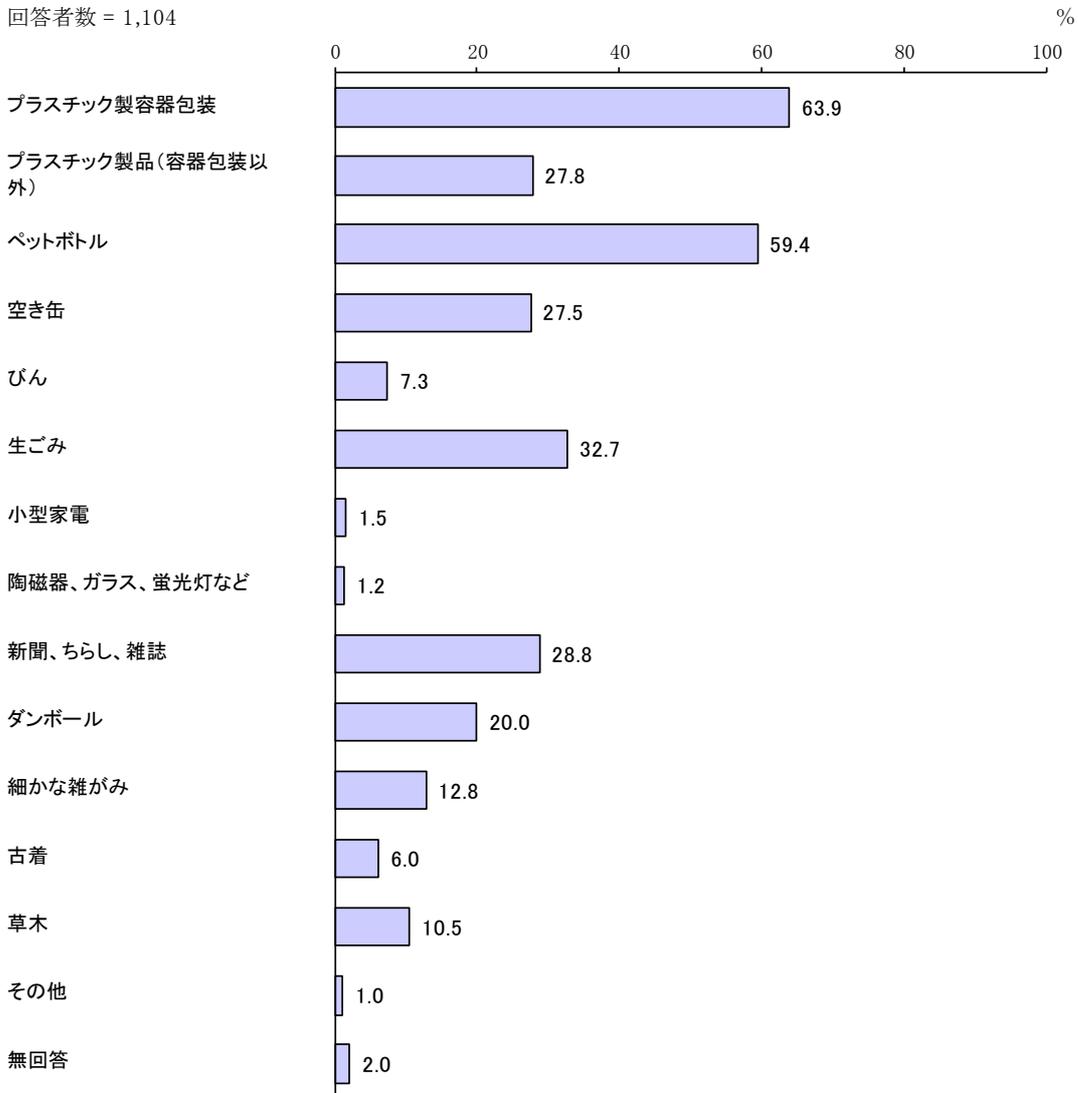
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、中部中学校区で“多いと感じる”の割合が高く、5割半ばとなっています。



問 47 どのようなごみが多いと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

「プラスチック製容器包装」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「ペットボトル」の割合が 59.4%、「生ごみ」の割合が 32.7%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「新聞、ちらし、雑誌」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約5割となっています。また、60歳代で「空き缶」「ダンボール」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	プラスチック製 容器包装	プラスチック製品 容器包装以外)	ペットボトル	空き缶	びん	生ごみ	小型家電
20歳未満	121	62.0	21.5	38.0	15.7	—	32.2	—
20歳代	134	62.7	24.6	44.8	23.1	2.2	30.6	0.7
30歳代	146	70.5	33.6	66.4	26.0	6.8	31.5	1.4
40歳代	139	62.6	25.2	66.2	28.8	3.6	26.6	1.4
50歳代	167	70.7	29.3	66.5	26.9	6.6	28.7	1.2
60歳代	197	62.4	28.4	64.0	36.5	15.2	34.5	3.0
70歳以上	193	59.1	30.6	61.1	29.0	11.4	40.4	2.1

区分	陶磁器、ガラス、 蛍光灯など	新聞、ちらし、 雑誌	ダンボール	細かな雑がみ	古着	草木	その他	無回答
20歳未満	—	15.7	6.6	10.7	0.8	2.5	1.7	1.7
20歳代	—	23.9	18.7	14.9	3.7	5.2	1.5	1.5
30歳代	0.7	11.6	19.2	15.1	5.5	6.8	2.1	1.4
40歳代	—	18.0	23.0	15.1	5.8	8.6	0.7	0.7
50歳代	1.8	32.9	16.2	7.2	6.0	12.6	0.6	1.2
60歳代	3.6	37.1	27.9	14.7	10.7	13.7	1.0	2.5
70歳以上	1.0	48.7	23.8	11.9	6.2	18.7	—	4.1

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、蒲郡中学校区、形原中学校区で「ペットボトル」の割合が高く、6割半ばとなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	プラスチック製 容器包装	プラスチック製品 容器包装(以外)	ペットボトル	空き缶	びん	生ごみ	小型家電
大塚中学校区	77	64.9	18.2	45.5	19.5	2.6	33.8	—
三谷中学校区	175	65.1	29.1	58.9	28.6	5.1	28.6	1.7
蒲郡中学校区	188	61.2	22.9	65.4	26.1	6.4	34.0	1.1
中部中学校区	185	67.6	32.4	60.0	31.4	8.6	31.4	3.8
塩津中学校区	148	63.5	32.4	56.1	29.1	8.8	31.1	—
形原中学校区	204	65.2	27.5	65.2	27.9	7.4	34.8	2.5
西浦中学校区	66	66.7	25.8	56.1	22.7	4.5	30.3	—
わからない	18	61.1	22.2	38.9	27.8	16.7	50.0	—

区分	陶磁器、ガラス、 蛍光灯など	新聞、ちらし、 雑誌	ダンボール	細かな雑がみ	古着	草木	その他	無回答
大塚中学校区	1.3	20.8	14.3	9.1	7.8	10.4	1.3	5.2
三谷中学校区	1.1	24.6	16.6	14.9	6.3	5.1	1.1	1.7
蒲郡中学校区	0.5	34.0	16.5	14.4	4.3	9.6	1.6	0.5
中部中学校区	1.6	29.7	23.2	10.3	4.3	8.1	1.6	3.8
塩津中学校区	1.4	25.0	19.6	12.8	5.4	13.5	0.7	1.4
形原中学校区	1.0	31.4	23.0	12.3	8.3	17.6	—	1.0
西浦中学校区	1.5	28.8	25.8	10.6	1.5	13.6	—	1.5
わからない	—	22.2	22.2	27.8	22.2	—	5.6	—

【ごみの量別】

ごみの量別で見ると、多いと感じている人ほど「プラスチック製容器包装」の割合が高くなっています。

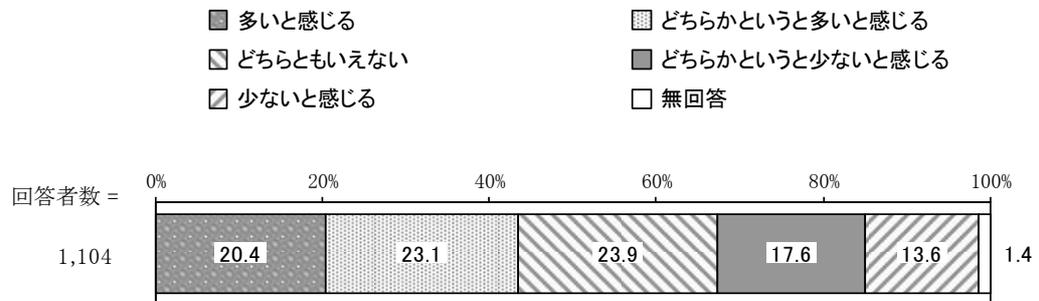
単位：％

区分	有効回答数 (件)	装 プラスチック製容器包	プラスチック製品 器包装以外)	ペットボトル	空き缶	びん	生ごみ	小型家電
多いと感じる	210	72.4	31.9	70.0	33.8	13.8	43.8	2.4
どちらかというと感じる	343	69.1	31.8	62.7	29.2	5.5	33.2	2.0
どちらともいえない	414	59.7	23.4	56.3	25.1	6.0	28.0	1.2
どちらかというと感じる	86	59.3	25.6	43.0	18.6	8.1	34.9	—
少ないと感じる	37	48.6	29.7	56.8	27.0	—	24.3	—

区分	陶磁器、ガラス、蛍光灯 など	新聞、ちらし、雑誌	ダンボール	細かな雑がみ	古着	草木	その他	無回答
多いと感じる	3.3	32.4	25.2	12.9	11.0	11.4	1.0	0.5
どちらかというと感じる	0.6	29.7	23.3	15.5	6.7	10.2	0.9	0.3
どちらともいえない	1.0	26.6	14.3	10.6	3.1	9.7	1.4	1.4
どちらかというと感じる	—	32.6	26.7	16.3	5.8	16.3	—	1.2
少ないと感じる	—	27.0	13.5	8.1	5.4	8.1	—	5.4

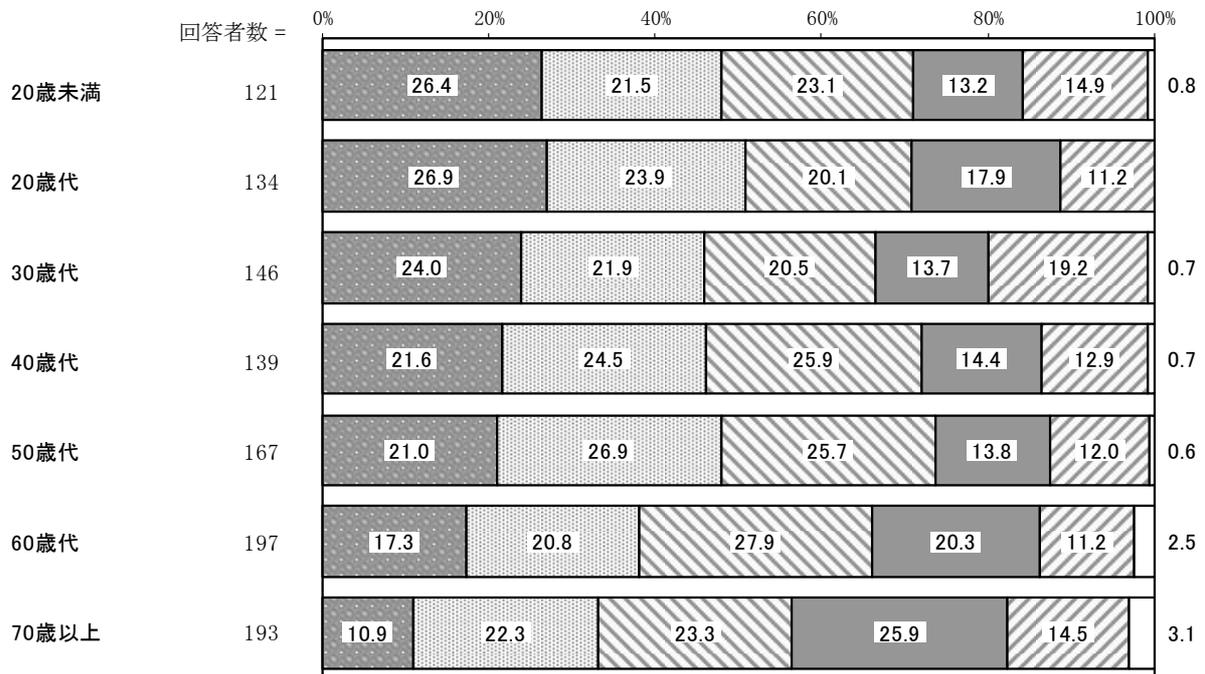
問 48 国民一人当たりお茶碗約1杯分（約140g）の食品ロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）が家庭から毎日捨てられていると言われます。ご家庭の食品ロスの状況をどのように感じますか。（○は1つだけ）

「多いと感じる」と「どちらかというとも多いと感じる」を合わせた“多いと感じる”の割合が43.5%、「どちらかというとも少ないと感じる」と「少ないと感じる」を合わせた“少ないと感じる”の割合が31.2%、「どちらともいえない」の割合が23.9%となっています。



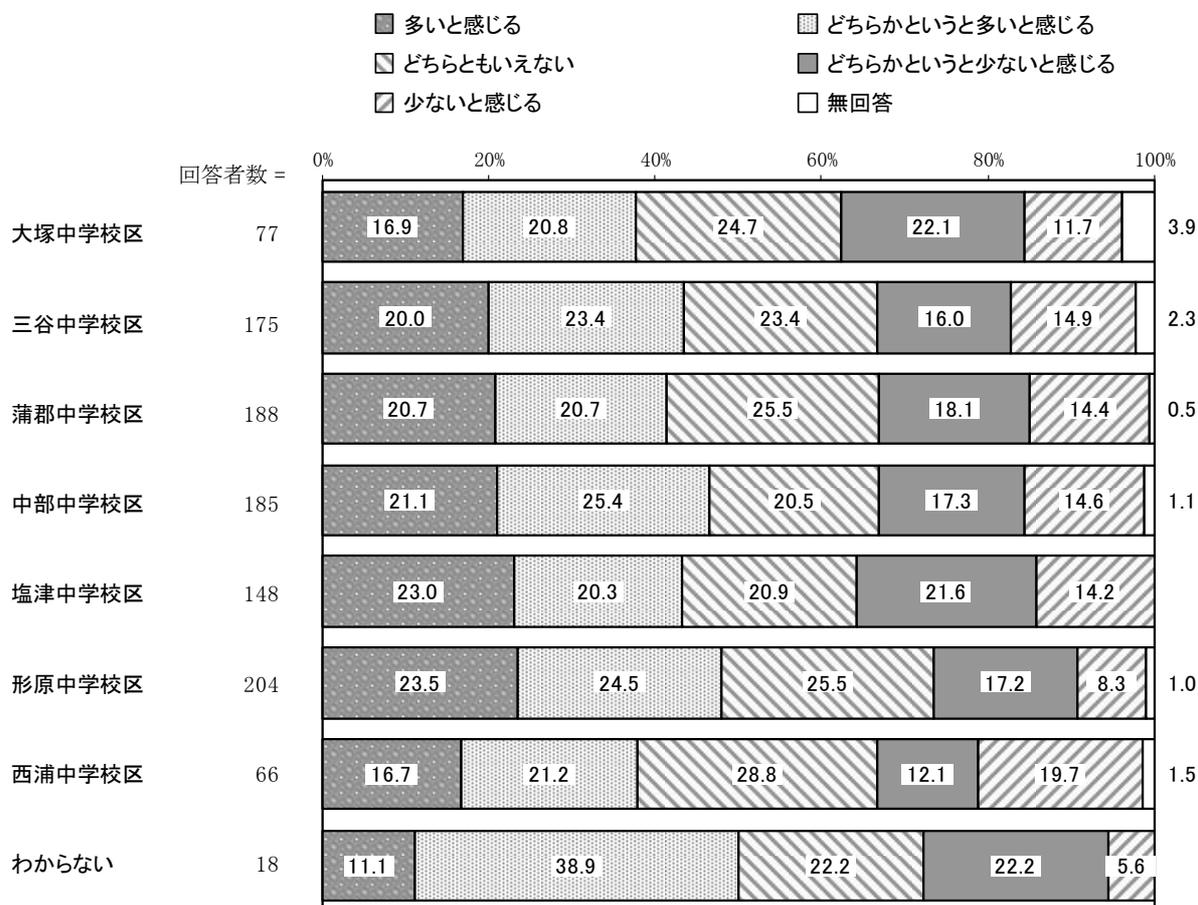
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳未満、20歳代、50歳代で“多いと感じる”の割合が高く、約5割となっています。また、70歳以上で“少ないと感じる”の割合が高く、約4割となっています。



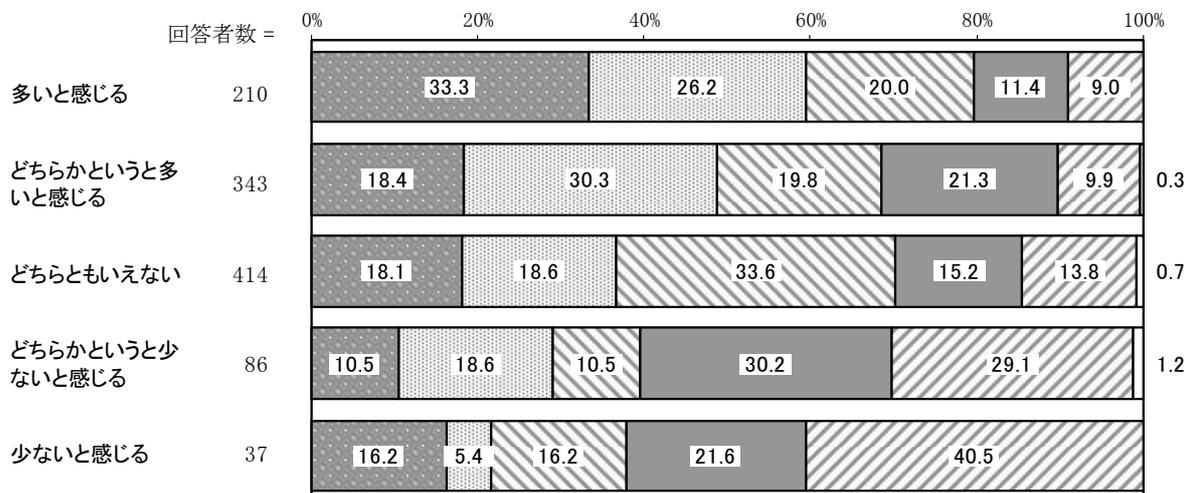
【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、形原中学校区で“多いと感じる”の割合が高く、約5割となっています。



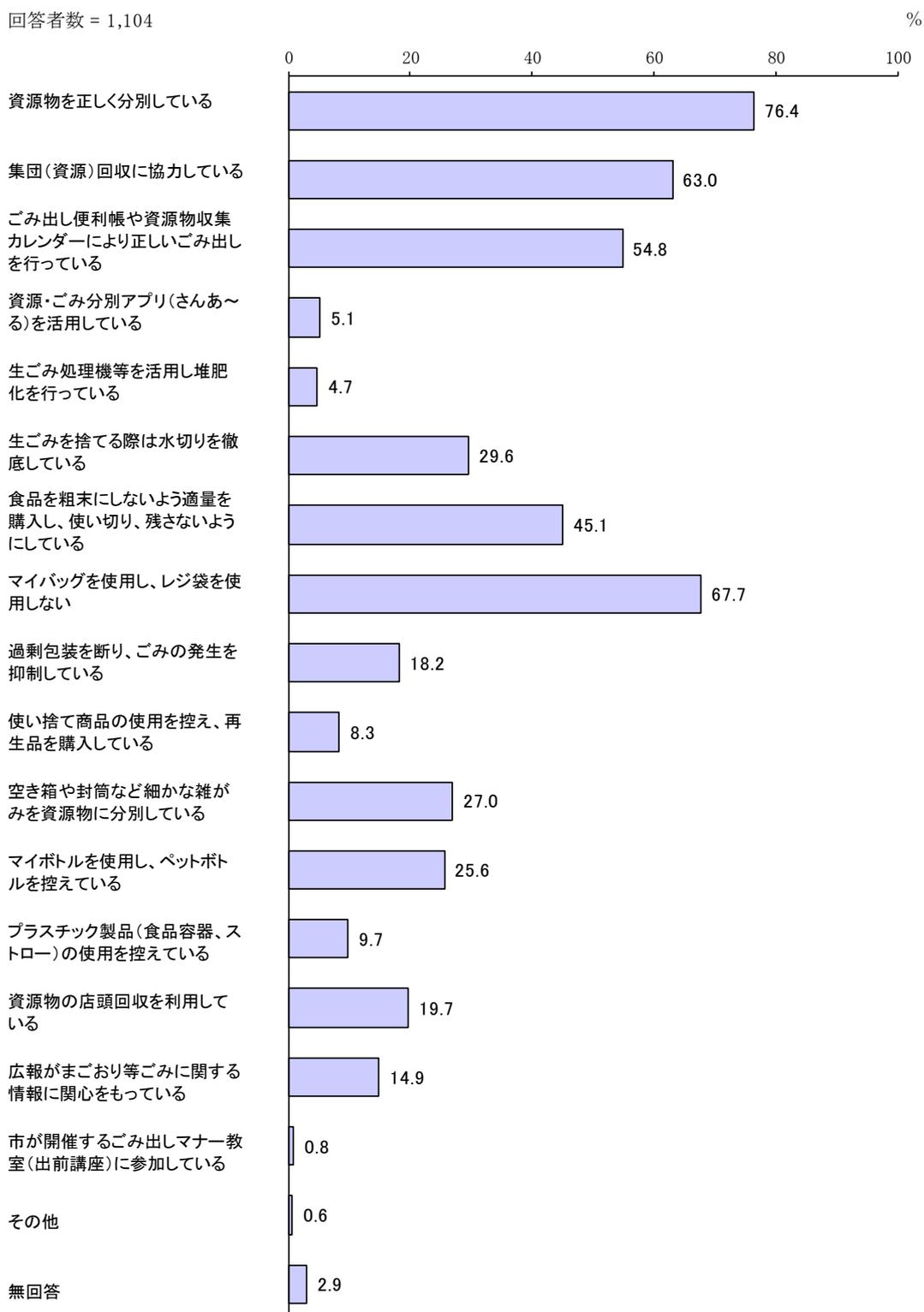
【ごみの量別】

ごみの量別でみると、ごみの量が多いと感じている人ほど“多いと感じる”の割合が高くなっています。



問 49 蒲郡市では令和 10 年度までに「1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量」を 500g に削減することを新たに目標に定め、ごみの減量を推進しています。あなたは、ごみの減量やリサイクルのため、ご家庭ではどのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「資源物を正しく分別している」の割合が 76.4%と最も高く、次いで「マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない」の割合が 67.7%、「集団（資源）回収に協力している」の割合が 63.0%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ごみ出し便利帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている」「生ごみを捨てる際は水切りを徹底している」「空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している」「広報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもっている」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数 (件)	資源物を正しく分別している	集団（資源）回収に協力している	ごみ出し便利帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている	資源（ごみ分別アプリ、さんあぐる）を活用している	生ごみ処理機等を活用し堆肥化を行っている	生ごみを捨てる際は水切りを徹底している	食品を粗末にしないよう適量を購入し、使い切り、残さないようにしている	マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない	過剰包装を断り、ごみの発生を抑制している
20歳未満	121	78.5	55.4	35.5	0.8	3.3	18.2	33.1	52.9	11.6
20歳代	134	70.1	47.8	35.8	4.5	3.7	22.4	40.3	66.4	9.7
30歳代	146	66.4	49.3	56.2	5.5	4.1	22.6	47.9	62.3	17.1
40歳代	139	77.0	69.8	50.4	4.3	2.9	22.3	46.8	69.8	23.0
50歳代	167	80.8	64.7	63.5	7.2	4.8	26.3	43.7	65.9	18.0
60歳代	197	80.7	72.6	66.0	3.0	6.1	39.6	47.2	78.7	23.4
70歳以上	193	79.8	73.1	64.2	8.8	6.7	45.1	52.3	72.0	21.2

区分	使い捨て商品の使用を控え、再生品を購入している	空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している	マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている	プラスチック製品（食品容器、ストロー）の使用を控えている	資源物の店頭回収を利用している	広報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもっている	市が開催するごみ出しマナー教室（出前講座）に参加している	その他	無回答
20歳未満	4.1	18.2	24.8	9.1	7.4	1.7	—	—	1.7
20歳代	7.5	17.9	26.1	6.7	19.4	4.5	0.7	—	1.5
30歳代	9.6	16.4	26.0	9.6	22.6	3.4	—	2.1	2.1
40歳代	7.9	19.4	30.2	6.5	22.3	7.9	—	1.4	2.2
50歳代	7.8	30.5	25.7	9.6	19.8	13.2	—	—	2.4
60歳代	9.6	37.6	22.8	10.7	23.9	27.9	2.0	—	1.5
70歳以上	10.4	38.3	25.4	14.0	19.7	32.6	2.1	0.5	6.7

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、中部中学校区で「集団（資源）回収に協力している」の割合が高く、約7割となっています。塩津中学校区で「マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	資源物を正しく分別している	集団（資源）回収に協力している	ごみ出し便利帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている	資源（ごみ分別アプリさんあ）を活用している	生ごみ処理機等を活用し堆肥化を行っている	生ごみを捨てる際は水切りを徹底している	食品を粗末にしないよう適量を購入し、使い切り、残さないようにしている	マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない	過剰包装を断り、ごみの発生を抑制している
大塚中学校区	77	72.7	59.7	51.9	3.9	9.1	26.0	39.0	61.0	18.2
三谷中学校区	175	76.6	64.6	53.1	6.9	3.4	25.1	48.6	61.7	17.7
蒲郡中学校区	188	78.2	60.1	53.7	5.3	4.8	29.3	45.2	66.0	13.8
中部中学校区	185	78.9	69.2	58.9	4.3	4.3	28.6	40.0	71.9	20.0
塩津中学校区	148	78.4	59.5	53.4	5.4	2.7	33.8	52.0	72.3	24.3
形原中学校区	204	77.0	64.7	56.4	4.9	6.4	31.9	46.6	71.1	16.7
西浦中学校区	66	77.3	62.1	51.5	—	3.0	28.8	47.0	71.2	21.2
わからない	18	61.1	61.1	66.7	5.6	—	27.8	44.4	55.6	16.7

区分	使い捨て商品の使用を控え、再生品を購入している	空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している	マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている	プラスチック製品（食品容器、ストロー）の使用を控えている	資源物の店頭回収を利用している	情報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもっている	市が開催するごみ出しマナー教室（出前講座）に参加している	その他	無回答
大塚中学校区	2.6	28.6	26.0	13.0	7.8	14.3	—	—	2.6
三谷中学校区	5.7	29.1	21.1	10.3	18.9	12.0	0.6	1.7	1.7
蒲郡中学校区	9.6	33.0	21.8	8.5	17.6	16.5	1.1	0.5	2.1
中部中学校区	5.9	21.6	27.0	5.9	21.1	14.6	0.5	—	2.2
塩津中学校区	11.5	26.4	35.8	11.5	25.7	13.5	1.4	0.7	2.7
形原中学校区	10.8	26.0	27.0	9.3	23.5	16.7	1.5	0.5	2.9
西浦中学校区	9.1	27.3	25.8	13.6	15.2	16.7	—	—	3.0
わからない	5.6	27.8	27.8	11.1	33.3	16.7	—	—	—

【ごみの量別】

ごみの量別で見ると、他に比べ、少ないと感じている人で「資源物を正しく分別している」の割合が高くなっています。

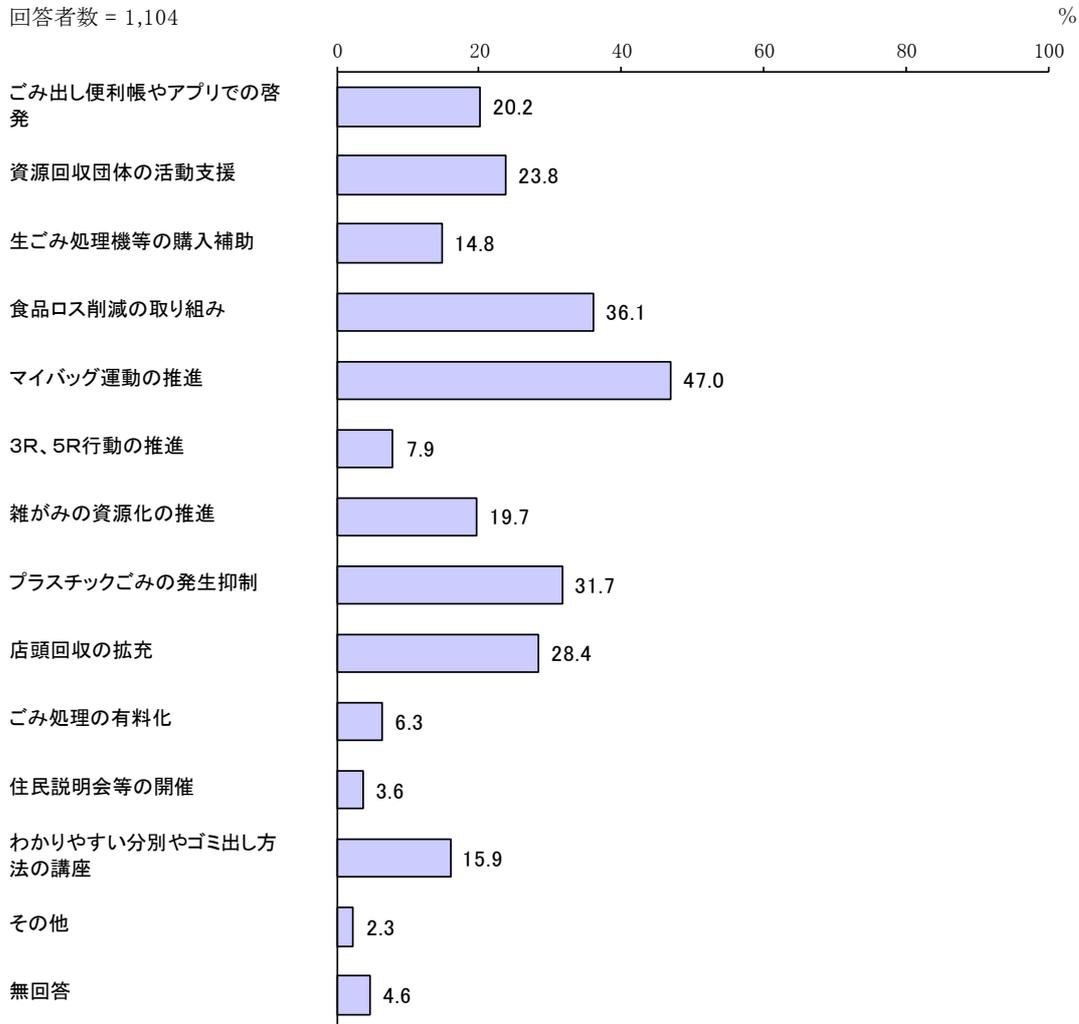
単位：%

区分	有効回答数 (件)	資源物を正しく分別している	集団(資源)回収に協力している	ごみ出し便利帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている	資源(ごみ分別アプリさんあぐる)を活用している	生ごみ処理機等を活用し堆肥化を行っている	生ごみを捨てる際は水切りを徹底している	食品を粗末にしないよう適量を購入し、使い切り、残さないようにしている	マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない	過剰包装を断り、ごみの発生を抑制している
多いと感じる	210	75.7	62.4	54.3	2.9	5.2	23.8	32.9	64.8	15.7
どちらかという 多いと感じる	343	76.7	67.9	53.6	5.0	3.8	31.8	45.2	68.2	19.5
どちらともいえない	414	75.6	60.6	54.3	6.0	3.4	30.2	47.8	68.6	16.2
どちらかという 少ないと感じる	86	83.7	62.8	66.3	4.7	12.8	36.0	60.5	75.6	19.8
少ないと感じる	37	83.8	54.1	56.8	10.8	5.4	24.3	59.5	62.2	37.8

区分	使い捨て商品の使用を控え、再生品を購入している	空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している	マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている	プラスチック製品(食品容器、ストロー)の使用を控えている	資源物の店頭回収を利用している	広報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもっている	市が開催するごみ出しマナー教室(出前講座)に参加している	その他	無回答
多いと感じる	4.8	23.3	24.3	5.2	16.2	17.1	1.0	1.0	1.9
どちらかという 多いと感じる	9.3	22.7	24.8	9.9	21.0	13.1	1.5	0.3	1.7
どちらともいえない	8.0	27.8	23.7	9.7	19.3	13.8	0.2	0.7	3.4
どちらかという 少ないと感じる	10.5	43.0	33.7	12.8	20.9	20.9	—	1.2	1.2
少ないと感じる	13.5	40.5	43.2	24.3	32.4	24.3	—	—	2.7

問 50 ごみの減量やリサイクルのためには、どのような取り組みが必要であるとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

「マイバッグ運動の推進」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「食品ロス削減の取り組み」の割合が 36.1%、「プラスチックごみの発生抑制」の割合が 31.7%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳以上で「マイバッグ運動の推進」の割合が高く、約6割となっています。また、50歳代で「ごみ出し便利帳やアプリでの啓発」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ごみ出し便利帳や アプリでの啓発	資源回収団体の活動支援	生ごみ処理機等の購入 補助	食品ロス削減の取り組み	マイバッグ運動の推進	3R、5R行動の推進	雑がみの資源化の推進	発生抑制	プラスチックごみの	店頭回収の拡充	ごみ処理の有料化	住民説明会等の開催	わかりやすい分別や ごみ出し方法の講座	その他	無回答
20歳未満	121	14.0	28.1	6.6	40.5	52.9	26.4	7.4	30.6	17.4	1.7	—	13.2	—	3.3	
20歳代	134	19.4	20.9	17.2	39.6	50.7	13.4	17.9	32.8	29.9	13.4	1.5	17.9	1.5	0.7	
30歳代	146	11.0	19.9	15.8	36.3	36.3	4.8	13.0	31.5	32.2	8.9	2.7	17.8	4.1	2.1	
40歳代	139	24.5	18.0	14.4	25.9	33.8	5.8	16.5	27.3	31.7	3.6	1.4	16.5	3.6	3.6	
50歳代	167	28.7	23.4	14.4	38.3	41.3	6.6	23.4	29.3	24.0	6.6	3.0	16.2	1.8	4.2	
60歳代	197	22.3	26.4	18.3	37.6	51.8	4.6	22.8	36.0	34.5	5.1	8.1	18.3	1.5	4.1	
70歳以上	193	19.7	28.5	14.5	34.7	60.1	0.5	30.1	33.2	26.4	5.7	5.7	10.9	3.1	10.9	

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、大塚中学校区、形原中学校区、西浦中学校区で「食品ロス削減の取り組み」の割合が高く、約4割となっています。また、大塚中学校区、三谷中学校区で「資源回収団体の活動支援」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ごみ出し便利帳や アプリでの啓発	資源回収団体の活動支援	生ごみ処理機等の購入 補助	食品ロス削減の取り組み	マイバッグ運動の推進	3R、5R行動の推進	雑がみの資源化の推進	発生抑制	プラスチックごみの	店頭回収の拡充	ごみ処理の有料化	住民説明会等の開催	わかりやすい分別や ごみ出し方法の講座	その他	無回答
大塚中学校区	77	18.2	27.3	20.8	41.6	44.2	10.4	26.0	27.3	23.4	7.8	3.9	13.0	2.6	2.6	
三谷中学校区	175	24.6	29.7	12.0	34.9	43.4	9.7	18.3	33.1	24.6	8.0	2.9	15.4	2.9	2.9	
蒲郡中学校区	188	23.9	25.5	13.8	35.6	47.3	5.3	20.7	30.3	26.6	8.0	3.7	19.1	2.1	4.3	
中部中学校区	185	22.7	21.6	13.0	33.5	45.9	8.6	18.4	35.1	24.9	5.4	3.8	11.9	2.2	3.8	
塩津中学校区	148	12.2	20.9	14.9	35.8	47.3	10.8	21.6	24.3	33.1	3.4	4.7	16.2	2.0	4.7	
形原中学校区	204	22.1	21.6	17.2	38.7	51.0	5.9	19.6	35.8	36.8	5.9	4.4	15.2	2.5	3.9	
西浦中学校区	66	12.1	19.7	15.2	43.9	47.0	9.1	21.2	37.9	27.3	9.1	3.0	18.2	3.0	6.1	
わからない	18	22.2	33.3	22.2	22.2	44.4	—	27.8	38.9	38.9	5.6	—	27.8	—	5.6	

【ごみの量別】

ごみの量別で見ると、他に比べ、少ないと感じる人で「店頭回収の拡充」の割合が高くなっています。

単位：％

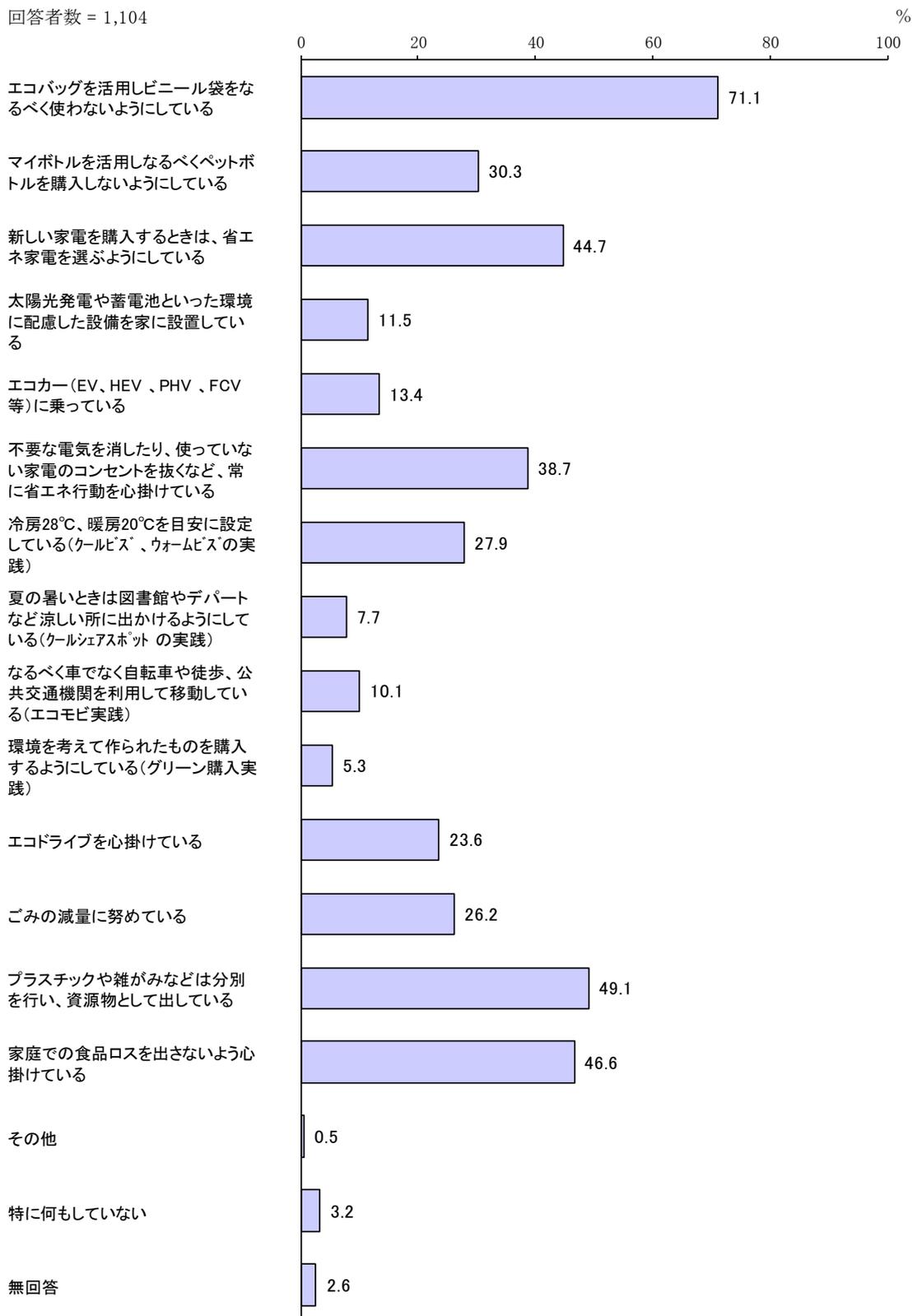
区分	有効回答数 (件)	ごみ出し便利帳や アプリでの啓発	資源回収団体の活 動支援	生ごみ処理機等の 購入補助	食品ロス削減の取 り組み	マイ バッグ 運動の 推進	3R、 5R行動の推 進	雑が みの資 源化の 推進
多いと感じる	210	20.5	22.4	21.0	38.6	45.7	8.6	21.4
どちらかという多い と感じる	343	22.2	28.3	14.6	37.0	47.8	7.3	20.4
どちらともいえない	414	20.5	21.7	13.8	35.0	46.4	8.9	17.9
どちらかという少な いと感じる	86	17.4	23.3	10.5	43.0	53.5	7.0	23.3
少ないと感じる	37	10.8	18.9	8.1	16.2	45.9	2.7	21.6

区分	プ ラス チック ごみ の発 生抑 制	店 頭 回 収 の 拡 充	ご み 処 理 の 有 料 化	住 民 説 明 会 等 の 開 催	わ か り や す い 分 別 や ゴ ミ 出 し 方 法 の 講 座	そ の 他	無 回 答
多いと感じる	34.3	28.6	12.9	5.7	16.2	1.9	4.8
どちらかという多い と感じる	36.7	28.9	4.1	3.2	20.7	2.9	2.0
どちらともいえない	29.2	27.1	5.1	3.4	12.1	2.2	5.3
どちらかという少な いと感じる	26.7	26.7	7.0	3.5	16.3	1.2	1.2
少ないと感じる	13.5	45.9	2.7	—	16.2	2.7	10.8

問 51 地球温暖化対策の取り組みとして家庭で実践している取り組みは次のうちどれですか。実践している取り組みに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

「エコバッグを活用しビニール袋をなるべく使わないようにしている」の割合が71.1%と最も高く、次いで「プラスチックや雑がみなどは分別を行い、資源物として出している」の割合が49.1%、「家庭での食品ロスを出さないよう心掛けている」の割合が46.6%となっています。

回答者数 = 1,104



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「新しい家電を購入するときは、省エネ家電を選ぶようにしている」「ごみの減量に努めている」「プラスチックや雑がみなどは分別を行い、資源物として出している」「家庭での食品ロスを出さないよう心掛けている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、70歳以上で「不要な電気を消したり、使っていない家電のコンセントを抜くなど、常に省エネ行動を心掛けている」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	エコバッグを活用しビニール袋をなるべく使わないようにしている	マイボトルを活用しなるべくペットボトルを購入しないようにしている	新しい家電を購入するときは、省エネ家電を選ぶようにしている	太陽光発電や蓄電池といった環境に配慮した設備を家に設置している	エコカー（EV、HEV、PHV、FCV等）に乗っている	不要な電気を消したり、使っていない家電のコンセントを抜くなど、常に省エネ行動を心掛けている	冷房28℃、暖房20℃を目安に設定している クールビズ、ウォームビズの実践)	夏の暑いときは図書館やデパートなど涼しい所に出かけるようにしている クールシェアスポットの実践)
20歳未満	121	62.8	27.3	19.8	8.3	5.0	35.5	22.3	9.9
20歳代	134	68.7	30.6	19.4	12.7	9.0	35.1	23.1	8.2
30歳代	146	66.4	25.3	41.1	22.6	17.1	35.6	28.8	11.6
40歳代	139	70.5	38.8	52.5	14.4	11.5	38.8	27.3	10.1
50歳代	167	71.9	32.9	52.1	11.4	16.8	36.5	22.2	9.0
60歳代	197	78.7	28.4	56.9	8.6	17.3	36.5	33.5	4.6
70歳以上	193	75.6	29.0	58.0	5.7	14.0	49.7	34.7	3.6

区分	なるべく車でなく自転車や徒歩、公共交通機関を利用して移動している エコモビ実践)	環境を考えて作られたものを購入するようにしている グリーン購入実践)	エコドライブを心掛けている	ごみの減量に努めている	プラスチックや雑がみなどは分別を行い、資源物として出している	家庭での食品ロスを出さないよう心掛けている	その他	特に何もしていない	無回答
20歳未満	14.9	1.7	9.9	13.2	33.1	31.4	—	5.0	0.8
20歳代	11.9	3.0	21.6	17.9	32.8	37.3	—	6.7	1.5
30歳代	4.8	2.7	30.1	15.8	37.7	43.8	—	4.1	1.4
40歳代	7.9	4.3	27.3	23.7	46.0	43.9	0.7	2.9	1.4
50歳代	13.8	7.2	31.1	27.5	56.9	44.9	0.6	1.2	1.8
60歳代	6.1	6.6	26.4	29.9	59.9	50.3	1.0	2.0	1.5
70歳以上	12.4	9.3	16.6	45.6	63.7	64.8	1.0	2.1	7.3

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、西浦中学校区で「エコバッグを活用しビニール袋をなるべく使わないようにしている」の割合が高く、約8割となっています。また、塩津中学校区、西浦中学校区で「家庭での食品ロスを出さないよう心掛けている」の割合が高く、5割半ばとなっています。

単位：%

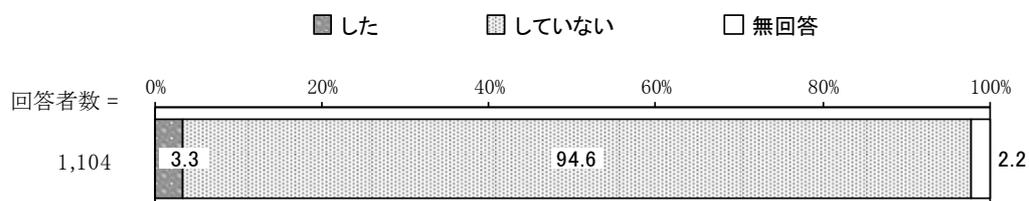
区分	回答者数 (件)	エコバッグを活用しビニール袋をなるべく使わないようにしている	マイボトルを活用しなるべくペットボトルを購入しないようにしている	新しい家電を購入するときは、省エネ家電を選ぶようにしている	太陽光発電や蓄電池といった環境に配慮した設備を家に設置している	エコカー（EV、HEV、PHV、FCV等）に乗っている	不要な電気を消したり、使っていない家電のコンセントを抜くなど、常に省エネ行動を心掛けている	冷房28℃、暖房20℃を目安に設定している クールビズ、ウオームビズの実践)	夏の暑いときは図書館やデパートなど涼しい所に出かけるようにしている クールシェアスポットの実践)
大塚中学校区	77	63.6	35.1	44.2	9.1	10.4	45.5	22.1	6.5
三谷中学校区	175	66.3	28.6	41.7	9.7	21.7	38.9	24.6	9.7
蒲郡中学校区	188	67.6	26.6	38.3	13.3	12.2	41.5	32.4	6.4
中部中学校区	185	74.1	30.3	47.6	13.5	11.4	37.8	29.7	7.6
塩津中学校区	148	75.0	35.1	45.3	15.5	11.5	39.2	27.0	8.1
形原中学校区	204	74.5	31.4	48.5	9.8	12.7	35.8	28.9	5.9
西浦中学校区	66	77.3	28.8	57.6	10.6	15.2	34.8	28.8	9.1
わからない	18	83.3	44.4	33.3	5.6	16.7	44.4	33.3	22.2

区分	なるべく車でなく自転車や徒歩、公共交通機関を利用して移動している エコモビ実践)	環境を考えて作られたものを購入するようにしている グリーン購入実践)	エコドライブを心掛けている	ごみの減量に努めている	プラスチックや雑がみなどは分別を行い、資源物として出している	家庭での食品ロスを出さないよう心掛けている	その他	特に何もしていない	無回答
大塚中学校区	11.7	3.9	19.5	24.7	49.4	41.6	1.3	5.2	3.9
三谷中学校区	10.9	6.9	26.3	24.0	48.0	46.3	1.1	4.6	1.1
蒲郡中学校区	11.7	5.9	26.1	28.7	50.5	46.8	1.1	3.7	1.6
中部中学校区	5.4	5.4	24.9	24.3	51.4	42.7	0.5	5.9	1.1
塩津中学校区	13.5	5.4	18.9	28.4	48.6	56.8	—	0.7	4.1
形原中学校区	9.8	4.9	23.0	25.0	51.0	43.1	—	0.5	2.5
西浦中学校区	7.6	3.0	25.8	30.3	50.0	56.1	—	—	3.0
わからない	16.7	5.6	22.2	16.7	38.9	38.9	—	5.6	—

(9) 新型コロナウイルス感染症について

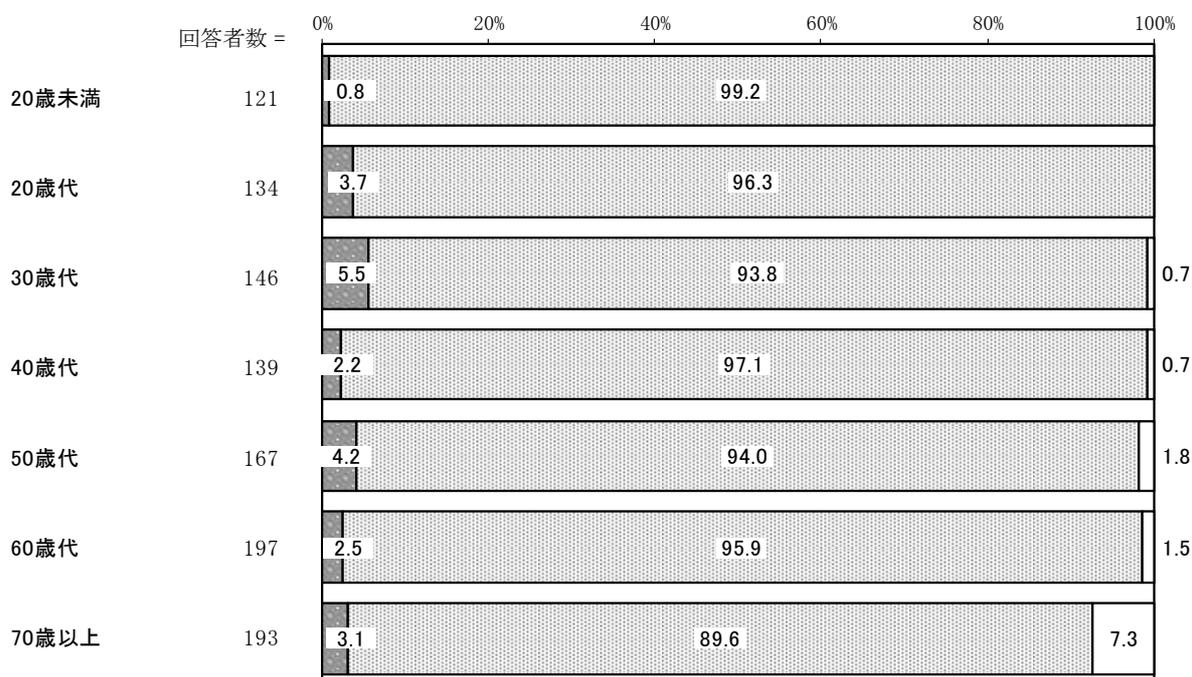
問 52 新型コロナウイルス感染症について相談しましたか。(〇は1つだけ)

「した」の割合が3.3%、「していない」の割合が94.6%となっています。



【年代別】

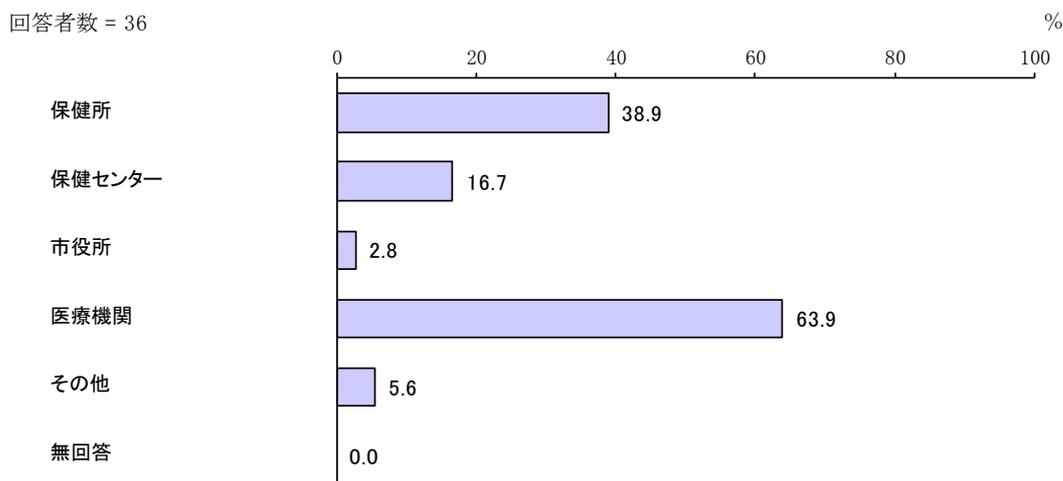
年代別でみると、大きな差異はみられません。



問 52 で「した」と答えた方にお聞きします。

問 52-1 相談をした場所はどこですか。(あてはまるものすべてに〇)

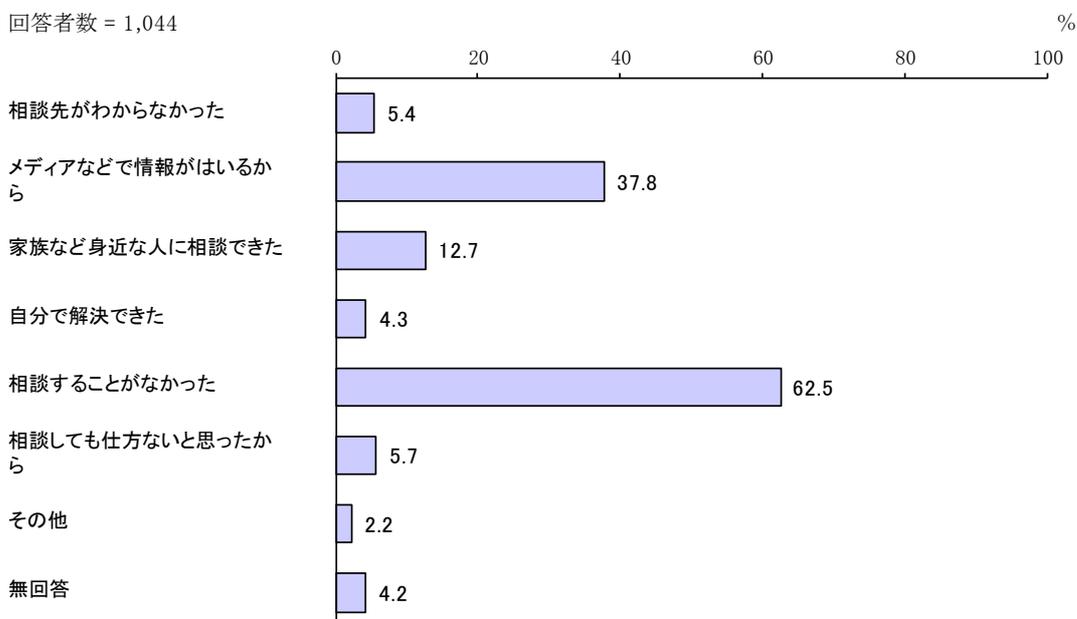
「医療機関」の割合が63.9%と最も高く、次いで「保健所」の割合が38.9%、「保健センター」の割合が16.7%となっています。



問 52 で「していない」と答えた方にお聞きします。

問 52-2 相談をしなかった理由ではまるものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「相談することがなかった」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「メディアなどで情報があるから」の割合が 37.8%、「家族など身近な人に相談できた」の割合が 12.7%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代以上で「メディアなどで情報があるから」の割合が高く、約5割となっています。また、40歳代で「相談することがなかった」の割合が高く、約7割となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	相談先がわからなかった	メディアなどで情報があるから	家族など身近な人に相談できた	自分で解決できた	相談することがなかった	相談しても仕方ないと思ったから	その他	無回答
20歳未満	120	5.0	31.7	10.0	3.3	60.0	5.8	3.3	2.5
20歳代	129	7.8	34.1	9.3	4.7	65.1	7.8	2.3	6.2
30歳代	137	5.1	27.7	11.7	7.3	62.0	8.0	2.9	2.9
40歳代	135	5.2	29.6	11.9	3.0	68.1	5.2	0.7	3.0
50歳代	157	3.8	40.8	12.1	1.3	62.4	5.7	3.2	2.5
60歳代	189	4.2	47.6	13.2	3.7	61.9	3.7	2.6	4.2
70歳以上	173	6.9	46.8	18.5	6.9	58.4	5.2	0.6	7.5

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、塩津中学校区、形原中学校区、西浦中学校区で「メディアなどで情報がはいるから」の割合が高く、4割を超えています。

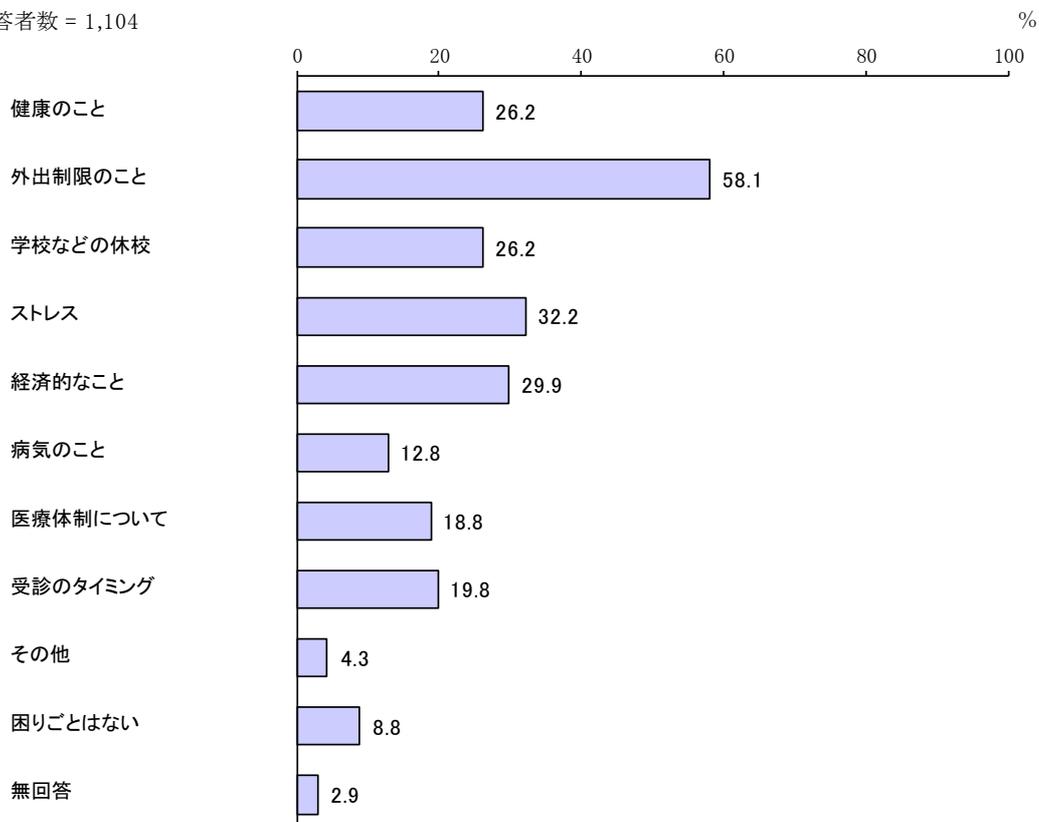
単位：％

区分	回答者数 (件)	相談先がわからなかった	メディアなどで情報はいるから	家族など身近な人に相談できた	自分で解決できた	相談することがなかった	相談しても仕方ないと思ったから	その他	無回答
大塚中学校区	70	2.9	35.7	14.3	2.9	61.4	8.6	5.7	7.1
三谷中学校区	168	4.8	36.3	14.3	5.4	65.5	4.2	3.0	3.0
蒲郡中学校区	182	6.6	38.5	11.0	1.6	64.3	7.7	1.1	3.3
中部中学校区	181	7.2	33.1	7.2	4.4	66.9	3.9	0.6	5.0
塩津中学校区	138	5.1	41.3	13.8	3.6	57.2	4.3	4.3	5.8
形原中学校区	188	5.3	41.5	13.8	4.8	59.0	8.5	1.1	1.6
西浦中学校区	62	3.2	41.9	16.1	8.1	62.9	1.6	1.6	4.8
わからない	18	—	27.8	22.2	5.6	72.2	5.6	—	5.6

問 53 新型コロナウイルス感染症でどんなことが困りましたか。
(あてはまるものすべてに○)

「外出制限のこと」の割合が58.1%と最も高く、次いで「ストレス」の割合が32.2%、「経済的なこと」の割合が29.9%となっています。

回答者数 = 1,104



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「健康のこと」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約4割となっています。また、40歳代で「学校などの休校」の割合が、30歳代、40歳代で「経済的なこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	健康のこと	外出制限のこと	学校などの休校	ストレス	経済的なこと	病気のこと	医療体制について	受診のタイミング	その他	困りごとはない	無回答
20歳未満	121	15.7	62.8	45.5	24.0	28.1	3.3	8.3	4.1	5.0	7.4	0.8
20歳代	134	13.4	67.2	21.6	29.1	30.6	8.2	11.2	11.2	3.7	10.4	1.5
30歳代	146	19.2	55.5	32.9	39.7	41.8	8.2	15.8	23.3	6.8	6.8	2.7
40歳代	139	23.0	59.0	51.8	43.9	43.9	11.5	16.5	25.2	5.0	7.9	1.4
50歳代	167	24.0	53.9	19.2	33.5	25.1	12.6	26.3	21.6	6.0	9.0	4.2
60歳代	197	34.5	56.3	15.7	32.0	23.4	17.8	23.4	23.9	3.0	9.6	2.5
70歳以上	193	42.5	56.0	10.4	24.4	20.7	20.2	23.3	23.8	2.1	9.3	5.7

【中学校区別】

中学校区別で見ると、他の地区に比べ、西浦中学校区で「健康のこと」の割合が高く、3割半ばとなっています。

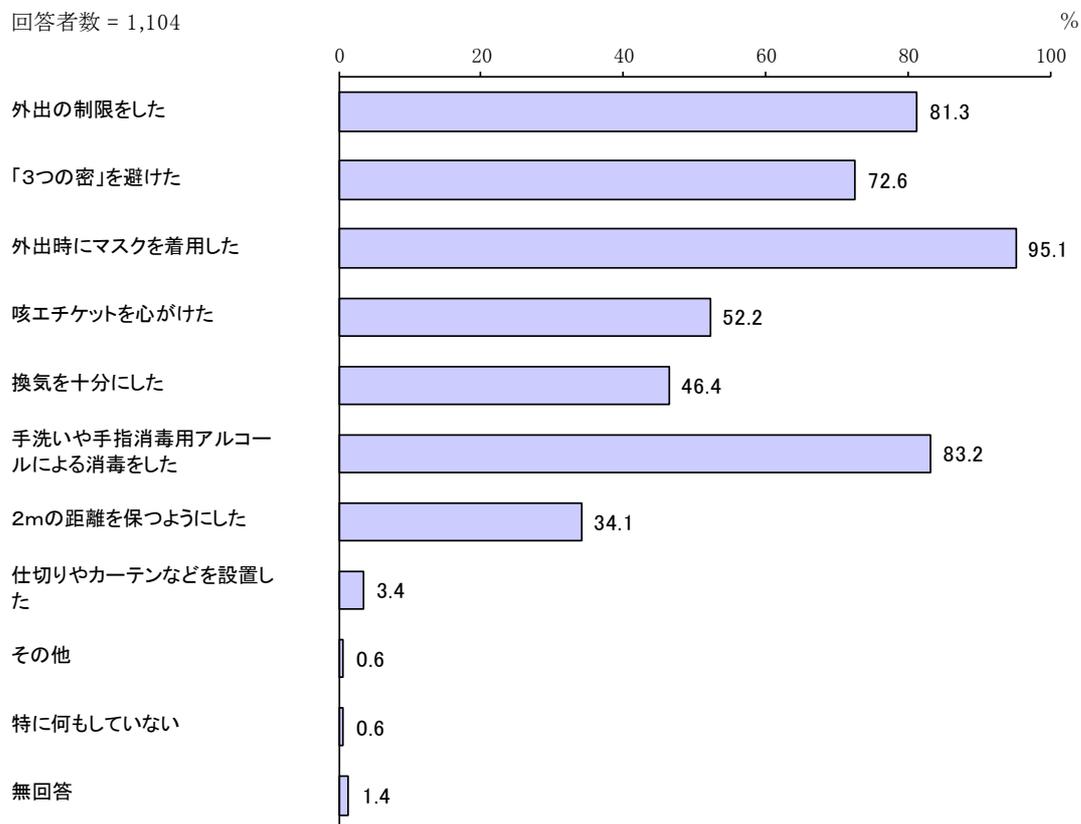
単位：％

区分	回答者数 (件)	健康のこと	外出制限のこと	学校などの休校	ストレス	経済的なこと	病気のこと	医療体制について	受診のタイミング	その他	困りことはない	無回答
大塚中学校区	77	24.7	61.0	28.6	29.9	36.4	9.1	20.8	14.3	6.5	1.3	7.8
三谷中学校区	175	23.4	60.0	30.3	30.9	29.1	12.6	16.0	21.1	2.9	8.6	1.7
蒲郡中学校区	188	21.3	56.9	26.1	31.9	25.0	8.5	17.6	21.8	5.3	10.6	1.1
中部中学校区	185	25.4	48.6	27.6	30.8	24.9	14.6	16.8	13.5	3.8	13.5	5.9
塩津中学校区	148	23.0	61.5	22.3	31.8	33.1	11.5	18.2	21.6	4.7	5.4	1.4
形原中学校区	204	29.4	61.3	27.9	35.8	29.9	13.2	22.5	22.1	4.9	8.3	2.0
西浦中学校区	66	34.8	63.6	24.2	37.9	39.4	18.2	16.7	21.2	4.5	6.1	1.5
わからない	18	27.8	66.7	11.1	27.8	50.0	11.1	16.7	16.7	5.6	—	5.6

問 54 新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言中の生活の制限がある中で、気をつけたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「外出時にマスクを着用した」の割合が95.1%と最も高く、次いで「手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒をした」の割合が83.2%、「外出の制限をした」の割合が81.3%となっています。

回答者数 = 1,104



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「2mの距離を保つようにした」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代以上で約4割となっています。また、他の年代に比べ、40歳代で「外出の制限をした」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	外出の制限をした	『3つの密』を避けた	た 外出時にマスクを着用し	咳エチケットを心がけた	換気を十分にしました	手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒をした	2mの距離を保つようにした	仕切りやカーテンなどを設置した	その他	特に何もしていない	無回答
20歳未満	121	86.0	66.9	95.0	29.8	33.1	84.3	19.0	1.7	—	—	0.8
20歳代	134	79.9	60.4	94.0	46.3	42.5	83.6	29.1	3.0	0.7	—	—
30歳代	146	82.9	78.1	95.9	64.4	44.5	80.8	31.5	3.4	2.7	0.7	0.7
40歳代	139	87.8	76.3	96.4	56.1	41.7	85.6	31.7	4.3	—	0.7	—
50歳代	167	80.2	71.9	93.4	55.7	49.1	79.0	35.9	4.2	1.2	0.6	1.8
60歳代	197	79.7	75.1	96.4	58.9	52.3	86.8	41.6	4.6	—	—	1.5
70歳以上	193	75.1	76.2	94.3	48.2	54.9	81.9	41.5	2.6	—	2.1	4.1

【中学校区別】

中学校区別でみると、他の地区に比べ、西浦中学校区で『3つの密』を避けた」の割合が高く、約8割となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	外出の制限をした	『3つの密』を避けた	た 外出時にマスクを着用し	咳エチケットを心がけた	換気を十分にしました	手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒をした	2mの距離を保つようにした	仕切りやカーテンなどを設置した	その他	特に何もしていない	無回答
大塚中学校区	77	77.9	67.5	90.9	37.7	48.1	75.3	23.4	—	1.3	1.3	5.2
三谷中学校区	175	84.6	75.4	96.0	53.7	40.6	86.9	37.1	5.7	—	—	0.6
蒲郡中学校区	188	77.7	70.2	95.2	52.7	43.6	81.9	31.9	3.2	1.1	1.1	0.5
中部中学校区	185	78.9	72.4	94.1	55.7	48.6	80.5	29.2	4.3	0.5	1.1	1.6
塩津中学校区	148	81.8	72.3	95.9	45.9	48.0	85.8	33.8	3.4	1.4	—	0.7
形原中学校区	204	84.8	73.0	97.1	54.9	46.6	85.8	40.2	2.5	0.5	1.0	1.0
西浦中学校区	66	81.8	78.8	90.9	60.6	50.0	81.8	40.9	4.5	—	—	4.5
わからない	18	72.2	72.2	94.4	50.0	50.0	77.8	33.3	5.6	—	—	5.6

問 55 新型コロナウイルス感染症対策で、どんなことがあったらよいと思いますか。ご自由にお書きください。

(いただいた意見をまとめさせていただきました。)

【マスクによる感染対策について】

- ・ 3密対策や正しいマスク着用、手洗いの徹底。
- ・ 常時市役所でマスクを買えるようにしてほしい。(市役所だけでなく各公民館等でも)
- ・ マスク、除菌シート、アルコールの配布。
- ・ エタノールやマスクを市で取りまとめて(資金は事前に集める)購入し、確実に入手できるようにしてほしい。特に医療機関分、介護施設、高齢者のいる世帯優先。
- ・ 薬局などで販売しているエアーマスクなどの活用をもう少しの方が良いのでは。
- ・ マスク購入支援を持続してほしい。
- ・ マスク、消毒剤など何不自由なく買えるとよいと思った。

【検査の実施について】

- ・ 症状が無くてもPCR検査を希望者にはやる。
- ・ コロナウイルスのドライブスルー検査。
- ・ PCR検査と他の検査がすぐ出来るようにしてほしい。
- ・ 全市民へのPCR検査実施。
- ・ PCR検査を受ける基準の明確化、情報発信。
- ・ 検査体制の充実と窓口のわかりやすさ。

【感染が発生した時の対応について】

- ・ 市外、県外移動時に多いと言われているので、公共交通機関(電車、バス)の消毒をすれば、そんなに発生は出ないと思う。
- ・ 電車に乗る前に手消毒を全員する。帰って来た時も同様に改札口でやると良い。
- ・ 今回の経験を生かしマニュアル化(様々な分野)や備蓄等を徹底してほしい。
- ・ 市内に隔離病棟の設置。
- ・ 2次感染のアプローチの検討、医療、福祉施設への明確な対応の指針。
- ・ 公共施設の利用人数制限の徹底。
- ・ 感染者が増えた場合、再度外出制限などの呼びかけをすると良い。
- ・ もし感染した人が出たときに、差別されない様な働きかけが重要。
- ・ 感染者の自宅待機を徹底する。
- ・ 市民病院で対応しているマニュアル、サーモグラフィ体温測定を市役所その他の施設でも行うと良い。
- ・ 感染予防に良いことをまとめたチラシ配布。
- ・ 外出制限などを徹底して行い、飲食店、仕事など(会社勤め)を短期間でも一時休業するのが良いと思う。そして休業した店、仕事を休んだ手当てを手厚く保証する制度。

【情報について】

- ・ 正確な情報を行政からタイムリーに市民に対して発信してほしい。
- ・ 大都会の情報はメディアで聞いてわかるが、住んでいる蒲郡での「3密」とは違いがあ

るため、私たち市民がどの程度の注意がいるかが知りたい。

- ・ ライン等で市の情勢をわかるようにして欲しい。
- ・ 行政サービスのデジタル化。COCOAアプリの広報。
- ・ 安心ひろめーるを見ていたので安心感があった。これからも配信をお願いしたい。
- ・ どんなことに気をつければ良いのか、正しい情報がほしい。
- ・ 体調が悪くコロナかと思った時に具体的にどうしたらよいかの小冊子などがあれば良いと思う。
- ・ 飲食店のテイクアウト情報の紹介や補助をもっと拡大すると思う。

【ワクチンの開発について】

- ・ ワクチンができたなら、学校等で予防接種してほしい。
- ・ ワクチンが早くできると良い。

【経済面について】

- ・ 蒲郡市独自の補助金を出してほしい。
- ・ 事業者への経済支援の拡充。
- ・ 市内の経済的ダメージを受けた店やホテル、旅館、施設を助けるための、市独自の対策（地域のみで使える券の発行等）があれば協力したい。
- ・ リモートワーク助成。
- ・ 働き口がなくなったら困る。
- ・ 仕事減少における経済支援。
- ・ コロナウイルスで経済的に困っている人に対する補助金。
- ・ 各家庭で感染症対策をするための経済支援（マスク購入、ウイルス除去対策グッズの購入、免疫力を高めるための食品の購入等）。

【その他】

- ・ 妊婦の方にもっと配慮してほしい。新型コロナウイルスがおさまるまで、妊婦の方に特別手当や出産するまでの援助があっても良いのかなと思う。
- ・ アルコール消毒も市民に無料で配布して欲しい。
- ・ 中学3年の中学生生活の思い出が無いまま終わってしまいそうなため（特に部活や学校イベント等）、中学生など、市内の子供たちにも心に残る経験をさせる事ができたら嬉しい。
- ・ 今回を糧にリスクマネジメントをしっかりしてもらいたい。また、リスクマネジメントの経緯と結果を公表してほしい。
- ・ もし仮に今、豪雨や台風などで避難所に集まらなければならない時、パーテーションや消毒液の確保などがされていると、避難する側としても行きやすくなると思うので、そういった物資を確保して、かつアナウンスしてもらえると良い。
- ・ オンライン授業の充実など（小、中学校）があれば更にいい。
- ・ 当面のイベント等、人の集まる機会を減らすこと。
- ・ 観光地（ラグーナ、温泉、競艇など）でのクラスター対策強化。帰省予定者への対応。

これからのまちづくりに関する意見

(1) 自然・環境について

- ・ 山と海があり、良い街ですが、公園や設備など地域差がある。密集地でなくても公園や、キレイな設備を使いたい。公園をもっとつくってほしい。
- ・ 県内では「みかん」、「観光地」のポジションを得ている。クリーンなイメージを保つために、地味だが環境保全に取り組むべきだと思う。
- ・ 海、山に囲まれた温かく美しい景観にすぐれた町だと思う。
- ・ ゴミゴミした都会には無い、ゆったりした蒲郡が住みやすい。
- ・ まち全体がきたない。タバコのポイ捨て等には罰則があってもよいのではないかな。
- ・ 自然にやさしい街づくりをしてほしい。
- ・ 自然が好きなので保護して行ってほしい。
- ・ 町内の歩道や道路、公園などゴミが多い。ペットの排泄物を片付けない飼い主が多い。
- ・ 自然豊かで良いが、海があまりきれいではない。海をきれいにする対策をしてほしい。
- ・ どんどん自然がなくなり、大きな道路や、宅地の造成が行われている。自然を残し、近所の散策を楽しめるような、街づくりをして行ってほしい。
- ・ 夜でも安心してウォーキング、ジョギングできる広い公園があるといい。また、健康の道を中央公園にも作ってほしい。
- ・ 一番の魅力は、自然環境だと思う。市内で気軽に参加できる環境保全ボランティア等があったらぜひ参加したい。また、そのような情報がすぐ確認できるようにしてほしい。
- ・ 静かな環境が気に入って今の場所に住み始めたが、近くに大きな道路ができて静かではなくなってしまった。
- ・ 住みやすく、人がやさしいと感じる。永住するには最高の場所。自然が身近で子どももノビノビ育っている。大好きな蒲郡をより素敵な街にするために、今後も一市民として協力したい。

(2) 基盤整備・交通について

- ・ 国道 23 号バイパスの早期開通、市内の渋滞緩和。
- ・ 23 号蒲郡西インター付近に大型トラックが多く、すれ違い困難。
- ・ 247 号の渋滞が恒常化していて回避するために狭い道を利用する車が増えて困っている。
- ・ 道がボロボロだったり、外灯がなく暗かったり、少しの綻びが治安の悪化に繋がると思うので、これからも整備を進めてほしい。
- ・ 三河湾スカイラインを改善してほしい。
- ・ 歩道、自転車道の整備が進むと、より生活がしやすくなる。サイクルレーン等、自転車の通りやすい、乗りやすい道を増やしてほしい。
- ・ 一つの場所に体育館、武道場、競技場、野球場、多目的広場、ソフトボール場などを将来的に設けてほしい。スポーツ環境がとても劣っていると感じている。体育館などの運動できる施設をもっと充実させ、市民が利用しやすいようにしてほしい。
- ・ 公共施設が全体的に古い。
- ・ 緑が多く、海もある他市とは異なる魅力がある。その部分は残しつつ、宅地開発や道路整備がされることを望む。小学校等の統廃合を住民と行政一体となり進められるとよい。
- ・ 三ヶ根山や五井山の安全な山歩きコースを作ってほしい。

- ・ 市民会館から竹島まで車から降りて歩いてみたいと思えるような魅力ある通りになれば活気のある町に近づく。
- ・ 市の隅々まで公共交通があり、交通弱者が安心して出かけられるようになると良い。
- ・ 公共交通機関がもっと便利になるとよい。名鉄蒲郡線の通勤・通学時間帯の本数を増やしてほしい。
- ・ コミュニティバスの発着所を増やしてほしい。バスがどこでも乗れるようにしてほしい。
- ・ 空き家になってしまった建物が目立つ。昔からの街並みも良いと思うが、せつかくなら活気のある街が良いので駅前開発を期待する。
- ・ 23号バイパス開通もあり、道の駅も出来たらよい。
- ・ 名鉄が無くなったら仕事のために引っ越すことになるため、働く場所と路（道路、鉄路）は重要。

（3）安全・安心について

- ・ 災害等の避難場所、ウイルス等の隔離施設の内容の充実を考えてほしい。市民病院の産婦人科の病棟の充実を。日本人の若い妊婦を大事にしてほしい。
- ・ 医療について不安に思う。安心して暮らせる蒲郡になってくれることを願う。
- ・ 新型コロナウイルスに対応し、マスクなしで笑顔でいられる蒲郡市であってほしい。
- ・ アルコール設置がない店舗や、マスクをしていない人をよく見かけた。
- ・ 高級車の盗難などの事件の心配をなくすため、防犯カメラの設置をお願いしたい。
- ・ 危険な空き家をなくして、安全安心なまちづくりを期待したい。高齢化が進み、空き家が目立つので事件や火事などが起きる前に対応してほしい。
- ・ 空き家にしない事の対策を考えてほしい。
- ・ 健康や安心・安全な、老人に重点をおいたまちづくりをしてほしい。あと、市民向けの教室を平日の昼だけでなく、休日もやってほしい。
- ・ 増えつつある台風災害に対して、どのような対策を考えているのか。
- ・ 交通量が増えて、安全・防犯面が大変心配。
- ・ 地震、豪雨による避難場所の充実。
- ・ 消防団員をやっているが、入団してくれる人が少なく、活動している人間がどんどん高齢化している。

（4）教育・子育てについて

- ・ 女性（母親）がもっと働きやすくなる環境を作してほしい。子供の長期休暇などパート等を休まないといけないので困る。
- ・ 市民病院の小児科、産科の充実。子育て支援スタッフが病院内にいてすぐ相談できるなど子育てしやすい環境を作してほしい。産科、小児科が充実すれば出産増加、人口増加につながる。
- ・ 児童館は比較的きれいなのに、多くの子どもが長い時間生活する保育園の園舎が古くて心配。
- ・ 子どもたちの権利、思いを尊重する教育がもっと行われるとよい。保育園の先生が辞めていってしまうのが多いのも気になる。働きやすい職場づくりができているのか。子どもたちに関わる職業だからこそ良い職場環境で働いてほしい。
- ・ 子どもが安心して遊べる公園を充実してほしい。市民プールを復活してほしい。
- ・ 子供が遊べる大きめの公園が少ない。双太山公園は小さい子どもでも楽しめる遊具が多く、広場もある。

り砂場もあり駐車場も広くとても重宝している。特に3才位までは親子で過ごす時間が長いので、このような公園がたくさんあると、親も子も毎日飽きずに過ごせる。

- ・ 子育て世代をサポートし、将来蒲郡を良くしてくれる人材を育てられる様に取り組んで欲しい。
- ・ 医療環境、子育て支援など今後も充実した市であることを誇れるまちづくりを推進していただきたい。
- ・ 子供と高齢者を同じ空間で遊ばせ、お互い刺激を与え合う。また、高学年が低学年を教えるなど子供同士で勉強を教え合う機会をつくる。
- ・ 公園内に子ども用のトイレ（多目的トイレに補助便座）があると利用しやすい。

(5) 産業について

- ・ 蒲郡市を活性化し魅力ある町にするために、蒲郡駅及び竹島周辺の再開発により集客力のある観光都市を目指す。
- ・ 「遊び足りない」、「もっと遊びたい」がまた来たいにつながる。自然を生かした子どもが喜ぶ公園があるとよい。ヨット、カヌー、ものづくりなどのアクティビティの充実が観光客を増やす。
- ・ 市内で消費できるよう飲食店やレジャー施設、商業施設を充実させてほしい。
- ・ 「ゾッキ」のようにロケ地としてたくさんの映画を誘致し盛り上げてほしい。
- ・ ”ココで写真を撮りたい”と思うインスタ映えするスポットを作るのもよいのではないか。旅行先はSNSで情報を得ることが多いので活用してほしい。
- ・ 海も山も十分に活用できる素晴らしい土地（場所）であるということを認識し、観光やレジャーで温泉宿や飲食店をもっと元気にしてほしい。
- ・ 山を利用してサイクリングロードやランニングコースを作してほしい。また観光地で多くの宿泊施設もあるため、ウルトラマラソンや、トレイルランニングなどの開催にも適しているのではないか。
- ・ 働く所が少ない。企業にとって魅力的な環境を用意することも大切。働くところがないので働くところのある近隣都市に移住するのは仕方ない。
- ・ 海、山などを利用した観光、レジャー等を進めてほしい。老人施設を増やすより、企業を誘致して若者を増やして欲しい。
- ・ 市民のみではなく、企業、観光客、近隣の方が蒲郡へ来たいと思える街にしてほしい。市と住民が一緒になって、まちおこしをしないと魅力度はアップしない。
- ・ 観光資源はたくさんある。工場もたくさんあるので産業観光も各社協力してできないか。
- ・ 海が近いので、海に関係するレジャーをもっと盛り上げてほしい。
- ・ 働くところがないので働くところのある近隣都市に移住するのは致し方ない。
- ・ シッター商店街と化している所が多い。そこを何とか再生し、活気ある町になることを願っている。
- ・ 市内商店街の荒廃、温泉街の荒廃等虚しさがある。昔のように活気ある街にして欲しい。

(6) その他

- ・ 全国的に人口が減少していく中で、選ばれる街になってほしい。蒲郡の文化をしっかりとアピールし、住む人にとっても誇れるところになるよう、政策を充実していただきたい。
- ・ 地域の方との交流があれば良い。優しい方が多いので安心している。

- ・ 若者にとって住みたいまちと感じてもらうことが必要。
- ・ ホームページのみで情報発信するのは高齢者にとって見るできないなど不便であるため誰でもわかるように情報発信をしてほしい。
- ・ 市のホームページに欲しい情報がどこにあるのかわからず調べるのに時間がかかる。もう少しわかりやすくしてほしい。
- ・ やっていることを発信する場を増やす。現状市が何をやっているのかほとんど知らない。
- ・ 下水道がまだ整備されていないところは早く実施していただきたい。
- ・ 活気あるまちづくりが必要。住民の力で行政とまちづくりを協働し、積極的に発信していく。
- ・ 多世代の人と交流する機会や場所が少ないと感じている。
- ・ 年齢に関係なく対話の出来る環境になるとよい。若者が市政に関心が持てる様な取り組みがあると良い。意見交換会などがあると良いのではないか。
- ・ 外国人との交流の場をもっとオープンにして、お互い理解しあえる場がほしい。また、LGBTQの人々も住みやすい町に変えていってほしい。
- ・ コロナで仕事につけない期間が3ヶ月あり、その間は支払いも困難であった。継続した支援をお願いしたい。
- ・ イベント、行事等の中止が相次いでいるので、With コロナの環境でも行えるような案を考えてほしい。
- ・ 蒲郡市の誇れるものを10程度見つけて、それを市民が自覚するようにしたい。そうすることで、そのもの・ことを大切に意識が高まる。
- ・ どのような事にでも住民の声に耳を傾け、行政と市民が話し合い住みやすい蒲郡市にしてほしい。
- ・ 地区別に意見を吸収して市の構想を出して地区で検討して実行に移す。市の方針説明も地区別に開催して頂きたい。

令和2年度

蒲郡市 市民意識調査

市民の皆様には日頃から市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

蒲郡市では、平成23年度にスタートした「第四次蒲郡市総合計画」に基づき「三河湾に輝く人と自然が共生するまち 蒲郡」を指すべき都市像としてまちづくりを進めてきております。取組みを進めていくには、皆様のご意見を積極的に伺うことが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様へのこれまでの取り組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見などをお伺いするため、市民意識調査を実施することといたしました。調査結果は、市民の皆様に満足していただけたら、市政の実現に向けて活用してまいります。

このアンケート調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に2,000人の方を選ばせていただきました。ご回答は無記名の上、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年7月

蒲郡市長 鈴木 寿明

【ご回答にあたってのお願い】

- ◇調査票の記入について
 - ・封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
 - ・尚、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談のうえご家族の方がご記入ください。
 - ・回答にあたっては、設問によって選択する項目の数が必要ですので、設問に依り〇印をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。

◇調査票の回収について
 回答されたアンケート用紙は、7月20日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

◇調査についての不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

蒲郡市 企画部 企画政策課
 電話:0533-66-1162 FAX:0533-66-1190
 E-mail:kikaku@city.gamagori.lg.jp

1 あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢は(令和2年7月1日現在の満年齢)(○は1つだけ)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問3 あなたの家族構成は(○は1つだけ)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の世帯
 4. 三世以上世帯(親と子と孫) 5. その他()

問4 あなたに18歳未満の子どもはいますか(該当する項目に○)

1. 0～2歳 2. 3～5歳 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生等 6. いない

問5 あなたの職業は(○は1つだけ)

1. 会社員・団体職員(常勤) 2. 公務員・教職員(常勤)
 3. パートタイマー・アルバイト・内職 4. 自営業
 5. 農林水産業 6. 学生
 7. 専業主婦・主夫 8. 無職

問5で「1」～「6」と答えられた方にお聞きします

問5-1 あなたの通勤(就業)・通学先は(○は1つだけ)

1. 蒲郡市内 2. 豊橋市 3. 豊川市 4. 岡崎市
 5. 幸田町 6. 西尾市 7. 名古屋
 8. 愛知県内(1～7以外の愛知県内) 9. 愛知県外

問5-2 あなたの通勤・通学の際の主な交通手段は(○は1つだけ)

1. 電車 2. バス 3. 自動車、二輪車(バイク、スクーター)
 4. 自転車 5. 徒歩 6. その他()

問6 あなたの居住地区(中学校区)は

(※地域がわからない方は、住所(町名)をご記入ください。)(○は1つだけ)

1. 大塚中学校区 2. 三谷中学校区 3. 蒲郡中学校区
 4. 中部中学校区 5. 塩津中学校区 6. 形原中学校区
 7. 西蒲中学校区 8. わからない(町名:)

問7 蒲郡市に住むことになったきっかけは(○は1つだけ)

1. 蒲郡で生まれたから 2. 就学、就業 3. 結婚
 4. 親族がいるから 5. 魅力を感じたから 6. その他()

問8 蒲郡市における居住歴は(○は1つだけ)

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

2 蒲郡市の住みややすさ・印象についておたずねします

問9 あなたは、蒲郡市に住みやすまいまじだと思えますか。(○は1つだけ)

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問10 あなたは、蒲郡市に愛着がありますか。(○は1つだけ)

1. とても愛着がある 2. やや愛着がある 3. どちらでもない
4. あまり愛着がない 5. 愛着がない

問11 あなたは、知人に住む場所として蒲郡市を薦めますか。(○は1つだけ)

1. 薦めたい 2. どちらかといえば薦めたい
3. どちらともいえない 4. どちらかといえば薦めたくない
5. 薦めたくない

問12 あなたは、これからも蒲郡市に住み続けたいと思えますか。(○は1つだけ)

1. ずっと住み続けたい 2. 当前の間は住み続けたい
3. いずれは市外へ引っ越したい 4. すぐにも市外へ引っ越したい

問12で「3」、「4」と答えた方にお聞きします

問12-1 どちらへ引っ越したいと思えますか。(○は1つだけ)

1. 豊橋市 2. 豊川市 3. 岡崎市
4. 幸田町 5. 西尾市 6. 名古屋
7. 愛知県内(1～6以外の愛知県内) 8. 愛知県外
9. その他()
10. わからない

問13 あなたは、蒲郡市に対してどのような良い印象をお持ちですか。(○は3つまで)

1. 交通が便利である 2. 住宅地の環境が良い
3. 商業施設が立地して、生活に便利である 4. 働く場所が多い
5. 文化やスポーツなどの公共施設が充実している
6. 福祉・医療施設や福祉サービスが充実している
7. 子育てしやすい環境が整っている
8. 学校教育などの教育環境が整っている
9. 海や山林などの自然が残っており、環境がよい
10. 災害などの心配が少ない 11. 交通事故や犯罪などの危険が少ない
12. 道路の整備が進んでいる 13. 公園や緑地が多い
14. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている
15. 近所づきあいやなどが多く、人情味が感じられる
16. 外国人住民が暮らしやすい環境が整っている
17. 市民レベルでの国際化が進んでいる
18. その他()
19. 特に良い印象はない

問14 あなたは、蒲郡市に対してどのような悪い印象をお持ちですか。(○は3つまで)

1. 鉄道やバスなどの交通の便が悪い 2. 住宅と工場が混在している
3. 買い物に不便である 4. まちに働く場所が少ない
5. 文化施設やスポーツ施設などが少ない 6. 医療・福祉施設が不十分である
7. 子育て環境が整っていない 8. 教育環境が整っていない
9. 農地や山林が多く田舎の雰囲気である 10. 災害の危険がある
11. 交通事故や犯罪が多い 12. 道路の整備が遅れている
13. 公園や緑地が少ない 14. 騒音、悪臭などの問題がある
15. 近所づきあいやなどが少なく、人情味が欠ける
16. 外国人住民に対する行政サービスが遅れている
17. 市民レベルでの国際化が遅れている
18. その他()
19. 特に悪い印象はない

3 日常生活や地域活動等の実態についておたずねします

問15 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。

(1)～(15)それぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

記入例) ○○○○○○について	頻りに取り組んでいる	取り組んでいる	取り組まない	取り組まない	全く取り組まない
(1) 日ごろから健康増進に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(2) 身近な高齢者や障がい者を支援している	4	3	2	1	1
(3) 子育て世帯を支援している	4	3	2	1	1
(4) 再生品やエコマーク商品を購入している	4	3	2	1	1
(5) ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる	4	3	2	1	1
(6) ゴミ拾い等の身近な環境美化に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(7) 学校や地域で子ども達の活動を見守っている	4	3	2	1	1
(8) 生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(9) 災害に対する家庭内の備えができていない	4	3	2	1	1
(10) 地域の防災・防犯活動に参加している	4	3	2	1	1
(11) 町内会や総区等地域の自治活動に参加している	4	3	2	1	1
(12) ボランティア活動に参加している (お住まいの地域以外)	4	3	2	1	1
(13) 外国人住民との交流に参加している	4	3	2	1	1
(14) 男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる	4	3	2	1	1
(15) 地元のお店でできるだけ買い物をしている	4	3	2	1	1

4 蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度についておたずねします

問 16 あなたは、これまでの蒲郡市における(1)～(40)の現状について、どの程度満足していますか。また、今後の蒲郡市のまちづくりにおいて、どれくらい重要であると思いますか。各項目の「満足度」と「重要度」それぞれの欄に、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	現状の満足度			今後の重要度						
	満足	やや満足 言えな いもの	不満	重要	やや重要 なもの	重要でない				
記入例) ○○○○○○について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
1. 自然・環境について										
(1) 海や山などの自然環境の保護	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 海とふれあうまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) ごみの減量化、リサイクル活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2. 基盤整備・交通について										
(6) 駅前などの市街地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 景観・まちなみへの配慮	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) 幹線道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9) 生活道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 公共交通の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 住宅・宅地の環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 下水処理対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3. 安全・安心について										
(14) 健康づくり・疾病対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15) 地域医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) 地域での支え合い・福祉活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17) 子育てに対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18) 高齢者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19) 障がい者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20) 低所得者の自立支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21) 災害に強いまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22) 消防・救急体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23) 交通安全・防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24) 外国人住民への生活支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	現状の満足度			今後の重要度						
	満足	やや満足 言えな いもの	不満	重要	やや重要 なもの	重要でない				
4. 教育・文化について										
(25) 小中学校の教育内容や環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 生涯学習活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27) 図書館、ホールなどの施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28) 文化活動や文化の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29) スポーツ施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(30) 国際化、外国人との交流・共生	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5. 産業について										
(31) 農業や水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) 工業の振興や企業誘致	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33) 商業やサービス業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(34) 観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(35) ポートレーズの円滑な運営や活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6. その他										
(36) 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) コミュニティ活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(38) ボランティア育成や市民活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39) 市政の情報提供や市民の声の広聴	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(40) 周辺市町村との連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

5 これからのまちづくりについておたずねします

問 17 あなたは、蒲郡市の魅力を高めるために、どのような将来像を目指すべきだと思いますか。(○は2つまで)

1. 住環境が整い暮らしやすい快適なまち
2. 観光、レジャー施設の充実したまち
3. 緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち
4. 史跡や文化財、伝統などを大切にすまち
5. 事故や災害、犯罪のない安全なまち
6. まちなみの美しい景観にすぐれたまち
7. 産業が盛んで活気にぎわいのあるまち
8. 障がい者や子ども、高齢者などを大切にすまち
9. スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むまち
10. 芸術や教育が充実した文化からなるまち
11. 地域や市民の自主的な活動が盛んなまち
12. グローバル人材の育成を推進すまち
13. 外国人住民と共生を推進すまち
14. その他()

問 18 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 知っており、興味がある | 2. 知っているが、あまり興味がない |
| 3. 聞いたことはあるが、意味はよくわからない | 4. 知らない |
- ※「協働」とは、住民や行政などの複数の主体が目標を共有し、それぞれに果たすべき責任と役割をもって、ともに力を合わせて活動すること

問 19 あなたは、地域をより良くするために、住民と行政がどのように役割を果たしたらよいと思いますか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する |
| 2. 行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する |
| 3. 住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む |
| 4. わからない |
| 5. その他 () |

問 20 あなたは、地域をより良くするために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。(○は2つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 自治会や老人クラブ、女性会、子育て会などの地区の活動 |
| 2. 福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動 |
| 3. 教育・文化に関わる活動 |
| 4. 環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動 |
| 5. 防災・防犯・交通安全に関わる活動 |
| 6. 地域のまちづくりに関わる活動全般 |
| 7. 国際化を推進する活動 |
| 8. 多文化共生に関わる活動 |
| 9. その他 () |
| 10. 特に参加したいとは思わない |

問 21 あなたは、最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. 非常に親切に早く対応してくれた | 2. まあまあ親切に対応してくれた |
| 3. 以前と比べて対応が良くなった | 4. いろいろな手続きや面倒な書類の記入などの説明が不十分だった |
| 5. 対応が事務的で冷たい感じがした | 6. 課をたらい回しにされ、うんざりした |
| 7. 最近、市役所に行っていない | 8. その他 () |

問 22 行政情報は、ホームページや広報誌を始め、メール配信等複数のツールを使って発信していますが、最も情報を得やすい手段は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. ホームページ | 2. 広報誌 |
| 3. メール配信（安びひろめる） | 4. ライン（LINE） |
| 5. フェイスブック（Facebook） | 6. ツイッター（Twitter） |
| 7. 防災行政無線 | |

問 23 次のうち、興味のある（参加してみたいまたは現在活動している）市民活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 2. 教育・研究 |
| 3. まちづくり・まちおこし | 4. 芸術・文化・スポーツ |
| 5. 自然・環境保全 | 6. 災害救助支援 |
| 7. 地域安全 | 8. 人権・平和 |
| 9. 国際協力・交流・多文化共生 | 10. 子ども・青少年育成 |
| 11. 雇用促進・雇用支援 | 12. その他 () |

問 24 市民活動に興味のある（参加してみたいまたは参加している）理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 自己啓発や自らの成長につながると思うため | |
| 2. 困っている人を支援したいと思う気持ち | |
| 3. 自分のスキルを市民活動に貢献したい | 4. 自分や家族が関係する活動への支援 |
| 5. 社会課題の解決に貢献したい | 6. 社会的に評価されたい |
| 7. その他 () | |

問 25 市民活動について、行政にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 市民活動を行う場所の充実 | 2. 情報提供や情報発信の充実 |
| 3. 学習機会の提供 | |
| 4. 市民活動に参加できるよう、休暇・休職制度の普及を實施 | |
| 5. 経済的支援 | 6. その他 () |

問 26 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つだけ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 聞いたことがあり、意味も理解している |
| 2. 聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない |
| 3. 聞いたことはない |

問 27 外国人の相談のつたり、助けたりしたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
| 3. 相談にのろうとしたが、言葉が通じなかった | |
| 4. 困っていることはわかかったが、声がかけれなかった | |

問 28 外国人市民の人口は増え続けています。ともに暮らしやすい地域をつくるために、私たちが日本人は何をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする |
| 2. 外国人にあいざつを積極的に行う |
| 3. 地域の活動等に外国人の参加を呼びかける |
| 4. 日本での生活ルールを守るように呼びかける |
| 5. 日本語や日本文化を外国人に教える |
| 6. 外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する |
| 7. 日本人がすべきことは特にはない |

問 29 外国人市民と今後どのような交流をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい
2. 一緒に地域のイベントに参加したい
3. 一緒にボランティア活動をしたい
4. 家庭のことや子育てについて相談や情報交換をしたい
5. 友達づきあいをしたい
6. 外国人市民に日本の文化や習慣を紹介したい
7. 交流したいとは思わない

6 子育て支援についておたずねします

問 30 蒲郡市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 子育てしやすいまちだと思う
2. どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば子育てしにくいまちだと思う
5. 子育てしにくいまちだと思う

問 30 で「4」、「5」と答えた方にお問します

問 30-1 子育てしにくいところはどこですか。(○は2つまで)

1. 子どもが安全に遊ぶ場所が少ない
2. 子育てに関する情報が少ない
3. 地域や近所の子育て支援が少ない
4. 保育園・放課後児童クラブなどの環境が十分でない
5. 医療費の助成や経済的な支援が少ない
6. 子育ての相談窓口が少ない
7. 車がないため病院や児童館等を利用しにくい
8. その他 ()

問 31～問 34については子育てしている方もしくは、子育てしていた方のみご回答ください。

問 31 あなたが子育てや子どものことに関して悩みや不安を抱えたとき、相談できる人は誰ですか。またそれはどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 親など、配偶者以外の親戚
3. 友人や知人、職場の人
4. 民生委員・児童委員
5. 保育士や幼稚園・学校の先生
6. 保健センターの保健師
7. かかりつけの医師や医療機関
8. 子育てコンシェルジュ
9. 市役所・家庭児童相談室
10. 子育て世代包括支援センター (うみのこ)
11. インターネットやメールでの相談
12. その他 ()
13. 相談しない

問 32 子育てに関する情報に満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかという満足していない
5. 満足していない
6. わからない

問 33 子育てに関する情報として、信頼して活用しているものを、どこから入手していますか。(○は3つまで)

1. 友人や知人、職場の人
2. 配偶者や親などの親戚
3. 子育てに関するホームページ
4. 保健師等育児の専門家
5. 育児書、育児雑誌
6. 保育士や幼稚園、学校の先生
7. テレビやラジオの育児番組
8. 広報
9. 子育て応援アプリ (うーみんナビ)
10. その他 ()
11. 活用していない

問 34 市の子育て情報の掲載や予防接種・健診・育児日記等が記録及び管理できる子育て応援アプリ(うーみんナビ)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 34 で「1」知っている」と答えた方にお問します。

問 34-1 子育て応援アプリ(うーみんナビ)を登録していますか。(○は1つだけ)

1. 登録している
2. 登録していない → 問 34-2へ

問 34-1 で「2」と答えた方にお問します

問 34-2 登録していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要と思わなかった
2. 登録がわかりにくい
3. 役立つ情報がない
4. その他 ()

7 健康づくり・スポーツ習慣についておたずねします

問 35 あなたは、かかりつけ医をもっていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている
2. 持っていない

問 36 あなたは、かかりつけ薬局をもっていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている
2. 持っていない

問 37 あなたは普段、健康だと感じますか。(○は1つだけ)

1. 健康である
2. まあまあ健康である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 38 あなたが健康感を判断する際に、重視する事項は何ですか。(○は3つまで)

1. 病気がないこと
2. 美味しく飲食できること
3. ぐっすりと眠れること
4. 不安や悩みがないこと
5. 幸せを感じることに
6. 生きがいを感じることに
7. 家族・人間関係がうまくいくこと
8. 経済的に安定していること
9. 他人から認められること
10. その他 ()

問 39 あなたの健康にとって、最もリスクとなることはどれだとお考えですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 食生活
2. 運動不足
3. お酒
4. たばこ・受動喫煙
5. インフルエンザ等の感染症
6. ストレス
7. 大気汚染、水質汚濁等の環境汚染
8. 食中毒等の食品汚染
9. 花粉症、アトピーなどのアレルギー
10. 災害や交通事故といった不慮の事故
11. 加齢や遺伝
12. 医療事故
13. その他 ()

問 40 健康に関してどのような情報が必要だとお考えですか。(○は3つまで)

1. からだの働きや病気についての情報
2. 医療・医療施設についての情報
3. 運動についての情報
4. 休養・ストレスについての情報
5. お酒と健康についての情報
6. タバコと健康についての情報
7. 食事・栄養についての情報
8. 健康診断についての情報
9. 健康づくりのための国・自治体等の目標値
10. 特になし

問 41 健康診査(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)・がん検診を受けていますか。
(○は1つだけ)

①【健康診査】(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)

1. 毎年受けている
2. 時々受けている
3. 受けていない

②【がん検診】

1. 毎年受けている
2. 時々受けている
3. 受けていない

問 41 の①【健康診査】で「1」、「2」と答えた方にお聞きします

問 41-1 どこで受診していますか。(あてはまるものすべてに○)

①【健康診査】(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)

1. 医療機関
2. 職場の健診
3. 人間ドック
4. その他 ()

問 41 の②【がん検診】で「1」、「2」と答えた方にお聞きします

問 41-2 どこで受診していますか。(あてはまるものすべてに○)

②【がん検診】

1. 市のがん検診
2. 職場のがん検診
3. 人間ドック
4. その他 ()

問 42 あなたはCKD(慢性腎臓病)という病気を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 43 生活習慣病はCKD(慢性腎臓病)となるリスクを高める要因であるかを知っていますか。
(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 44 あなたは、フレイル(虚弱)という言葉の意味を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 45 あなたは、この1年間にスポーツ(楽しみを求めたり勝敗を競ったりする目的で行われる身体運動で、陸上、水泳、球技、格闘技などの競技スポーツのほか体力づくり、レクリエーションとして行われるものを含む)を行いましたか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 45-2

問 45-1-1 スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。
(○は1つだけ)

問 45-1-2 あなたがスポーツをしたのはどのような理由からですか。(○は3つまで)

1. 週に3回以上(年151日以上)
2. 週に1~2回(年51日~150日)
3. 月に1~3日(年12日~50日)
4. 3カ月に1~2回(年4日~11日)
5. 年に1~3回
6. わからない

問 45-1-2 あなたがスポーツをしたのはどのような理由からですか。(○は3つまで)

1. 健康のため
2. 体力増進・維持のため
3. 運動不足を感じるから
4. 楽しみ、気晴らしとして
5. 筋力増進・維持のため
6. 肥満解消、ダイエットのため
7. 友人・仲間との交流として
8. 家族のふれあいとして
9. 自己の記録や能力を向上させるため
10. 美容のため
11. 精神の修養や訓練のため
12. わからない
13. その他 ()

問 45-2 この1年間に、スポーツをしながらのどのような理由からですか。(○は3つまで)

1. 仕事(家事・育児)が忙しくて時間がいないから
2. 生活や仕事で体を動かしているから
3. 運動・スポーツが嫌いだから
4. 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから
5. 面倒くさいから
6. 年をとったから
7. 体が弱い(病気・ケガを含む)から
8. お金がかかると感じるから
9. 場所や施設がないから
10. 仲間がいないから
11. 指導者がいないから
12. 機会がなかった
13. 特に理由はない
14. その他 ()

8 環境保全についておたずねします

問 46 家庭から出るごみの量は多いと感じますか。(○は1つだけ)

1. 多いと感じる
2. どちらかというときと多いと感じる
3. どちらともいえない
4. どちらかというときと少ないと感じる
5. 少ないと感じる

問 47 どのようなごみが多いと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. プラスチック製容器包装 | 2. プラスチック製品(容器包装以外) |
| 3. ペットボトル | 4. 空き缶 |
| 5. びん | 6. 生ごみ |
| 7. 小型家電 | 8. 陶磁器、ガラス、蛍光灯など |
| 9. 新聞、ちらし、雑誌 | 10. ダンボール |
| 11. 細かな雑がみ | 12. 古着 |
| 13. 草屑 | 14. その他 () |

問 48 国民一人当たりお茶碗約1杯分(約140g)の食品ロス(まだ食べられるのに廃棄される食品)が家庭から毎日捨てられていると言われます。ご家庭の食品ロスの状況をどのように感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 多いと感じる | 2. どちらかというときと多いと感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというときと少ないと感じる |
| 5. 少ないと感じる | |

問 49 蒲田市では令和10年度までに「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を500gに削減すること」を新たに目標に定め、ごみの減量を推進しています。あなたは、ごみの減量やリサイクルのため、ご家庭ではどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 資源物を正しく分別している | 2. 資源(資源)回収に協力している |
| 3. ごみ出し便利帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている | 4. 資源・ごみ分別アプリ(さんあ〜)を活用している |
| 5. 生ごみ処理機等を活用し堆肥化を行っている | 6. 生ごみを捨てる際は水切りを徹底している |
| 7. 食品を粗末にしないよう適量を購入し、使い切り、残さないようにしている | 8. マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない |
| 9. 過剰包装を断り、ごみの発生を抑制している | 10. 使い捨て商品の使用を控え、再生品を購入している |
| 11. 空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している | 12. マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている |
| 13. プラスチック製品(食品容器、ストロー)の使用を控えている | 14. 資源物の店頭回収を利用している |
| 15. 広報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもちている | 16. 市が開催するごみ出しマナー教室(出前講座)に参加している |
| 17. その他 () | |

問 50 ごみの減量やリサイクルのためには、どのような取り組みが必要であるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. ごみ出し便利帳やアプリでの啓発 | 2. 資源回収団体の活動支援 |
| 3. 生ごみ処理機等の購入補助 | 4. 食品ロス削減の取り組み |
| 5. マイバッグ運動の推進 | 6. 3R、5R行動の推進 |
| 7. 雑がみの資源化の推進 | 8. プラスチックごみの発生抑制 |
| 9. 店頭回収の拡充 | 10. ごみ処理の有料化 |
| 11. 住民説明会等の開催 | 12. わかりやすい分別やゴミ出し方法の講座 |
| 13. その他 () | |

